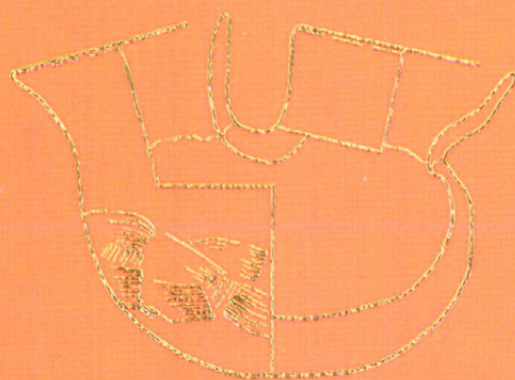
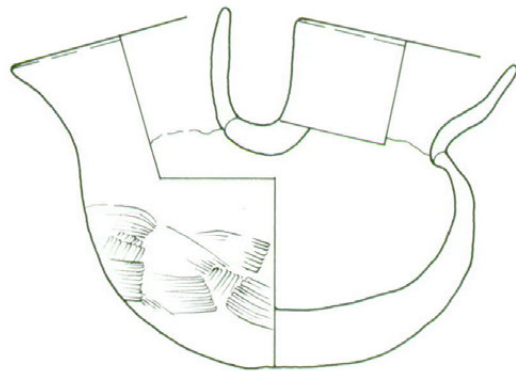

細新遺跡Ⅱ



1998年3月

長野県飯田市教育委員会

細新遺跡Ⅱ



1998年3月

長野県飯田市教育委員会



細新遺跡調査前全景（平成4年11月撮影） 1 : 12,500



調査区遠景（天竜川上流から）



調査区遠景（天竜川下流から）



調査区全景 (上空より)



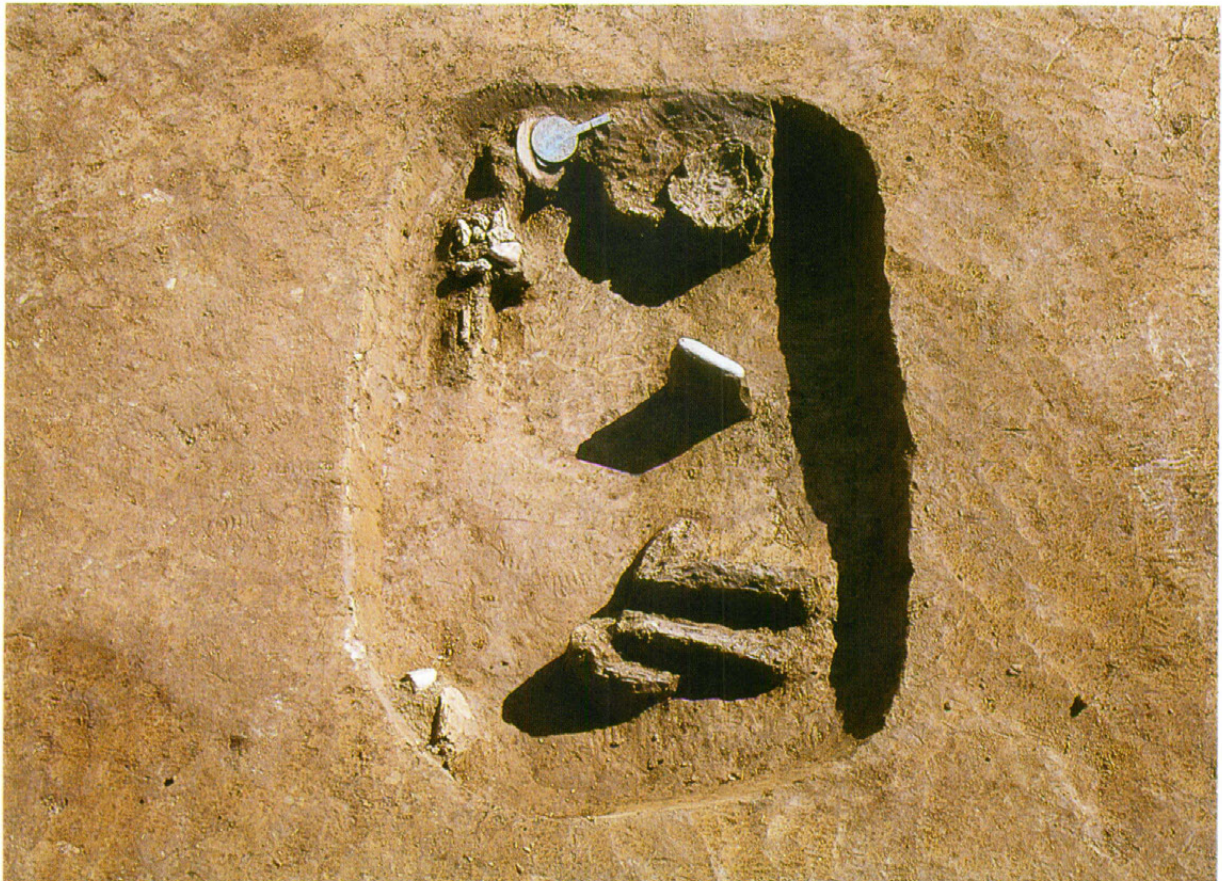
S B 60炭化材分布状況



S B 60遺物出土状況



S K 20遺物出土状況



S K 23遺物分布状況



S B 18出土須恵器甕



S K 20出土双口土器

序

飯田市は「人も自然も美しく、輝くまち飯田ー環境文化都市」として基本計画に示すとおり、山紫水明の自然環境に恵まれ、原始・古代より多くの人々が生活を営んできた地域であります。調査が行われた飯田市龍江地区は、昔から三六災害に代表されるような天竜川による水害を受けており、水害対策が長年の懸案であった土地柄と聞いております。そこで、低地を埋め立てて、安心して暮らせる土地にしようとするのが治水対策事業です。

しかし埋め立てることによって我々の先祖の暮らした痕跡が地中奥深くに眠ってしまうことになり、その確認がほぼ不可能になってしまいます。文化財保護の立場からはその是非について今更言うまでもないことですが、現代から未来の人々にとっては治水対策はやむを得ない当然の権利と言えます。よって何度にも亘る埋蔵文化財保護協議を重ね、保存できるものは保存し、深く埋め立てられてしまうものについては記録保存によって後世に残す方法にいたしました。このような発掘調査の積み重ねによって地域の歴史の再構築が行われ、ひいてはその成果が私たちの生活に還元されていくものがあります。

最後になりましたが、調査実施にあたり文化財保護の本旨に厚いご理解を賜った飯田市治水対策部・土地所有者の方・地元の皆様・現地・整理作業に従事された作業員の皆様に深甚なる謝意を申し上げます。

平成10年3月

飯田市教育委員会教育長 小林恭之助

例 言

1. 本報告書は天竜川治水対策事業に伴い実施された、飯田市龍江地区所在の埋蔵文化財方包蔵地細新遺跡の緊急発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は飯田市治水対策部からの委託を受け、飯田市教育委員会が実施した。
3. 調査は、平成6・7年度現地作業を、9年度整理作業及び報告書作成作業を行った。
4. 遺跡名は、現地調査中に飯田市教育委員会に於いて市内遺跡詳細分布調査を行い、遺跡範囲及び遺跡名の変更があったため、現地作業・整理作業・報告書作成時にそれぞれ異なった略号を用い、下記に表として記述してある。なお、本報告書に用いている遺跡名は市内遺跡詳細分布調査の成果による。また、遺構には以下の略号を用いた。竪穴住居址・SB 掘立柱建物址・ST 溝址・SD 集石・SI 土坑・SK
5. 細新遺跡に於ける発掘調査位置は国土基本図の区画、MC-05にそれぞれ位置し（社団法人日本測量協会 1969 「国土基本図図式 同適用規定」 参照）、グリッド設定は飯田市埋蔵文化財基準メッシュ図に基づいて、株式会社ジャステックに委託した。
6. 本書の記載については地区毎、遺構の順とし、住居址については時代順とした。遺構図・遺物図版・写真図版は本文末に一括した。
7. 土層観察については小山正忠・竹原秀男 1996 『新版標準土色帖』による。
8. 本書は担当者の協議の上、吉川金利が執筆・編集し、小林正春が総括した。なお、石器実測及びトレース、土器実測の一部、遺物写真撮影は株式会社ジャステックに委託した。
8. 本書に関連する出土品及び諸記録は飯田市教育委員会が管理し、飯田市考古資料館及び飯田市上郷考古博物館で保管している。

遺跡名対照表

	調査時点遺跡名	注記名	報告書記載名
龍 江 細 新 (2)	THA(2)cトレンチ	TCIIIcトレ	THAfトレンチ
	THA(2)dトレンチ	TCIII dトレ	THAgトレンチ
	THA(2)B地区aトレンチ	TCIII・Baトレ	THAhトレンチ
	THA(2)B地区bトレンチ	TCIII・Bbトレ	THAiトレンチ
	THA(2)B地区cトレンチ	TCIII・Bcトレ	THAjトレンチ
龍 江 細 新 (3)	THA(3)	THA(3)	THA
	THA(3)aトレンチ	THA(3)aトレ	THAaトレンチ
	THA(3)bトレンチ	THA(3)bトレ	THAbトレンチ
	THA(3)cトレンチ	THA(3)cトレ	THAcトレンチ
	THA(3)dトレンチ	THA(3)dトレ	THAdトレンチ
	THA(3)eトレンチ	THA(3)eトレ	THAeトレンチ

目 次

序	⑪ S B 14	14
	⑫ S B 16	15
例 言	⑬ S B 18	15
	⑭ S B 19	16
目 次	⑮ S B 20	16
	⑯ S B 21	17
I 調査の経過	⑰ S B 22	17
1. 調査に至るまでの経過	⑱ S B 23	18
2. 調査の経過	⑲ S B 25	18
3. 調査組織	⑳ S B 26	19
	㉑ S B 27	19
II 遺跡の環境	㉒ S B 28	20
1. 自然環境	㉓ S B 29	20
2. 歴史環境	㉔ S B 32	21
	㉕ S B 33	21
III 調査結果	㉖ S B 37	22
1. 基本層序	㉗ S B 39	22
2. 竪穴住居址 (S B)	㉘ S B 40	23
(1) 弥生時代	㉙ S B 41	23
① S B 56	㉚ S B 42	24
② S B 63	㉛ S B 43	24
③ S B 100	㉜ S B 44	25
(2) 古墳時代	㉝ S B 48	25
① S B 01	㉞ S B 50	26
② S B 02	㉟ S B 51	26
③ S B 04	㊱ S B 52	27
④ S B 07	㊲ S B 53	27
⑤ S B 08	㊳ S B 54	28
⑥ S B 09	㊴ S B 55	28
⑦ S B 10	㊵ S B 58	29
⑧ S B 11	㊶ S B 60	29
⑨ S B 12	㊷ S B 61	30
⑩ S B 13	㊸ S B 62	30

④④ S B 64	31
④⑤ S B 65	31
④⑥ S B 66	32
④⑦ S B 69	32
④⑧ S B 73	33
④⑨ S B 75	33
⑤⑩ S B 77	34
⑤⑪ S B 78	34
⑤⑫ S B 79	35
⑤⑬ S B 80	35
⑤⑭ S B 81	36
⑤⑮ S B 82	36
⑤⑯ S B 83	37
⑤⑰ S B 84	37
⑤⑱ S B 85	38
⑤⑲ S B 86	38
⑥① S B 88	39
⑥② S B 89	39
⑥③ S B 90	40
⑥④ S B 91	40
⑥⑤ S B 92	41
⑥⑥ S B 93	41
⑥⑦ S B 95	42
⑥⑧ S B 96	42
⑥⑨ S B 97	43
⑥⑩ S B 98	43
(3)平安時代	
① S B 05	44
② S B 06	44
③ S B 15	45
④ S B 17	45
⑤ S B 30	46
⑥ S B 31	46
⑦ S B 35	47
⑧ S B 36	47
⑨ S B 45	48
⑩ S B 46	48

①① S B 47	49
①② S B 49	49
①③ S B 59	50
①④ S B 67	50
①⑤ S B 68	51
①⑥ S B 70	51
①⑦ S B 71	52
①⑧ S B 72	52
①⑨ S B 74	53
②⑩ S B 76	53
②⑪ S B 87	54
(4)不明	
① S B 03	54
② S B 24	55
③ S B 34	55
④ S B 38	56
⑤ S B 57	56
⑥ S B 94	57
⑦ S B 99	57
3. 掘立柱建物址 (S T)	
① S T 01	58
② S T 02	58
③ S T 03	58
④ S T 04	58
⑤ S T 05	58
⑥ S T 06	58
4. 溝址 (S D)	
① S D 12	58
② S D 13	58
③ S D 14	58
④ S D 15	58
⑤ S D 16	58
⑥ S D 17	58
⑦ S D 18	58
⑧ S D 19	59
⑨ S D 20	59
⑩ S D 21	59

5. 集石 (S I)	
① S I 01	59
② S I 02	59
③ S I 03	59
④ S I 04	59
⑤ S I 05	59
⑥ S I 06	59
6. 土坑 (S K)	
① S K 01	59
② S K 03	59
③ S K 04	59
④ S K 05	59
⑤ S K 06	59
⑥ S K 07	59
⑦ S K 08	59
⑧ S K 09	59
⑨ S K 10	59
⑩ S K 11	59
⑪ S K 12	59
⑫ S K 13	59
⑬ S K 14	59
⑭ S K 15	59
⑮ S K 16	60
⑯ S K 17	60
⑰ S K 18	60
⑱ S K 19	60
⑲ S K 20	60
⑳ S K 21	60
㉑ S K 22	60
㉒ S K 23	60
㉓ S K 24	60
㉔ S K 25	60
㉕ S K 26	60
㉖ S K 27	60
㉗ S K 28	60
㉘ S K 29	60
㉙ S K 30	60
㉚ S K 31	60
㉛ S K 32	60
㉜ S K 33	60
7. 土器集中区	
①土器集中区 1	60
②土器集中区 2	60
8. 杭列址 (S A)	
① S A 01	60
9. ピット	60
10. 土層観察表	61
11. 編物石計測表	70
IV まとめ	
1. 縄文時代	73
2. 弥生時代	73
3. 古墳時代	73
(1)集落について	76
(2)遺物について	76
(3)遺構について	77
4. 平安時代	77
5. 中世・近世	77
図版	79
(遺構)	
(遺物)	
写真図版	233
報告書抄録	

I 調査の経過

1. 調査に至るまでの経過

細新遺跡が所在する飯田市龍江地区は、伊那盆地の再南端の天竜川左岸に位置し、下流には天竜峡という狭窄部のある地域である。このため当地区の天竜川氾濫源・低位段丘は過去幾度となく洪水にあっており、土砂を多量に含む洪水が大きな課題となっていたのである。

そこで対岸の竜丘・川路地区を含めた当該地では、昭和36年に見舞われた水害（36災害）時の被害状況を勘案して「天竜川治水対策事業」を行うことになった。

この事業は前述した36災害時に浸水した高さまで埋め立てをするもので、事業対象地には多くの埋蔵文化財包蔵地が存在する。そのため、その保護について長野県教育委員会文化課・飯田市治水対策部・飯田市教育委員会の三者によって、昭和61年10月16日に最初の保護協議を行い、以後数回に亘る協議を経て、平成4年度に事業地内の遺跡に於いて、その状況を把握するため試掘調査を行った。

そして平成5年3月9日に行われた保護協議及び同年5月6日の文化庁の指導を受けて、平成5年5月19日付5教文第7-21号による県教育委員会からの回答で同事業に係る埋蔵文化財の保護について下記の前提が提示された。

- ・原則として試掘調査により把握された遺構確認面及び遺物包含層から2mを越える盛土の範囲は発掘調査を行い記録保存を計る。

- ・2m以下の盛土の範囲についてはトレンチによる確認調査を実施し、遺跡の状況を把握し地下遺構の保存を講ずると共にその判断された内容を記録保存し、後世に伝える。

これらの回答に基づき発掘調査及び確認調査が行われることとなった。

2. 調査の経過

細新遺跡発掘調査の計画段階においては20000m²以上の発掘調査を予定していたが、後述するようにトレンチ調査によって遺構・遺物が確認されない箇所があったため、調査面積が少なくなりそれに伴い期間も短縮された。

平成6年度に於て土砂運搬道路建設に伴い、水路の付け替えの必要が出たため、予定より早く当該遺跡の調査を開始した。4月22日よりb・c・d・eトレンチの調査を開始した。最初に重機によって表土剥ぎを行い、作業員による精査を行ったが、遺構・遺物は確認されず、終了した。

同年5月18日にb・c・d・eトレンチと同様な理由から水路付け替えの必要部分の調査を開始した。当該地は計画の段階から多くの遺構・遺物の存在が予想されていたが、平成4年度に行われた試掘調査の折にも古墳時代と思われる竪穴住居址が確認された経緯があるため、それ以外の調査対象地にもトレンチを入れ、地下の確認を行った所、予想よりはるかに多くの遺構・遺物が確認された。これらの調査は18日より表土剥ぎについては重機で行い、24日から作業員による精査を行い30日に終了した。その後、

他遺跡の調査終了後、10月25日より重機によって表土剥ぎを行い、11月25日から作業員による精査を開始した。調査当初は遺構確認面が多数あると判断し、遺構のない箇所に調査区を横断するトレンチを設定して下層の調査を行ったが最初の遺構確認面より下層には遺構・遺物はないと判断し、調査を進めた。調査は調査区をほぼ3等分し、掘削作業及び部分的な測量が終了するごとに株式会社ジャステックに写真測量を委託した。平成7年9月4日に遺構掘削の作業がほぼ終了したため、写真測量及び空中写真撮影用に清掃を行い、5～7日に写真測量及び空中写真撮影を委託した。9月11日に現場での調査の一切が終了した。10月22日に地域に調査の成果を発表すべく現地見学会を開催し、多くの方々に埋蔵文化財に対する理解を深めていただいたと自負している。

f・gトレンチについては6年5月23日及び25日に重機にて掘削を行った。当該箇所は平成5年度に行われた「今田人形の館」建設に伴う発掘調査の際に湿地であることを確認しており、状況は同様であった。よってトレンチ南側は調査対象地になっていたが、これらの状況より調査不要と判断した。しかし、その南端については状況が不明であったため、平成7年4月6日にh・i・jトレンチを新たに設定し調査したが、湿地ではなかったが昭和初期に瓦製作用の粘土を採掘したということで削平されており、改めて調査不要と判断した。

3. 調査組織

(1) 調査団

調査担当者	馬場保之	吉川金利	下平博行	伊藤尚志	福澤好晃
調査員	佐々木嘉和	佐合英治 (～6. 3)		吉川 豊	山下誠一 (6. 4～)
	渋谷恵美子 (～6. 3)		上沼由彦 (7. 4～)		鳴海紀彦 (9. 7～)
作業員	青島里之	新井幸子	新井ゆり子	池田幸子	池戸智恵子
	市瀬 忠	市瀬長年	市瀬房吉	伊坪 節	伊藤禎七
	伊藤安正	伊藤博紀	伊東裕子	井上恵資	井上晃一
	今村勝次	今村治子	氏井 享	太田沢男	大原千和喜
	大原八重子	岡島三男	岡島 亘	岡田紀子	小木曾せき
	奥村栄子	小倉千年美	尾曾ちぶき	恩沢不二子	瓶田 境
	金井照子	金子正子	金子裕子	唐沢恭子	唐沢古千代
	川上一子	川手周三	川手千敏	川手八重	北川 彰
	北沢兼雄	吉地武虎	北原久美子	北原 裕	木下賢一
	木下早苗	木下貞子	木下千秋	木下 傳	木下義男
	木下良子	木下力弥	木下玲子	櫛原亜紀子	櫛原勝子
	熊谷みゆき	熊谷義章	熊崎三代吉	小池金太郎	小池千津子
	小島幸子	小平晴美	小平不二子	小平まなみ	小林定雄
	小林千枝	小室睦子	斎藤喜千	斎藤千里	斎藤徳子
	坂井勇雄	榊原政夫	酒井優子	坂下やすゑ	左近美智子
	佐々木文茂	佐々木真奈美	佐々木 守	佐々木美千枝	佐藤知代子

塩沢明子	塩沢澄子	塩沢 節	塩沢節子	斯波幸枝
島岡敬子	島岡のり子	清水三郎	清水千波子	清水ひろ子
清水光朗	下田芙美子	代田和登	菅沼和加子	鈴木重雄
鈴木尊子	鈴木道也	関島真由美	瀬古郁保	高木純子
高橋恭子	高橋収二郎	高橋セキ子	滝上正一	竹本常子
田中 薫	田中恵子	田中利男	田本たけ	塚原次郎
筒井千恵子	筒井治雄	鶴岡照儀	遠山重男	遠山政男
常磐昭夫	中沢温子	中田亀男	仲田昭平	中田恵
中平けい子	中平隆雄	鳴海紀彦	西尾芳子	中島佳寿子
丹羽由美	服部光男	林 員子	林 和人	林 悟史
林 勢紀子	林 達郎	林千二三	林 トモ子	林 信子
林 ひとみ	林 福男	林 幹恵	林田加代子	原 淳
原 昭子	原 道子	原田四郎八	久田きぬゑ	久田智美
久田 誠	樋本宣子	広井 保	平栗陽子	平松正子
福沢育子	福沢章子	福沢 勲	福沢幸子	福沢トシ子
福沢誠	福島みゆき	福本静雄	福本まさ志	藤本 宏
古根素子	古林登志子	星本初子	細田七郎	牧内郁代
牧内 修	牧内喜久子	牧内たか子	牧内達雄	牧内利郎
牧内福一	牧内八代	牧田許江	増山局武	松井明治
松下金誉	松下成司	松下節子	松下利彦	松下直市
松下寛美	松下真幸	松下光利	松島 保	松島直美
松島なみ	松田 猛	松村かつみ	松本恭子	三浦厚子
三石貞子	溝上清見	南井則子	宮内真理子	宮下貞一
森 章	森藤美知子	森山律子	矢沢博志	山崎ひろ子
山田穂津香	山田康夫	吉川悦子	吉川和夫	吉川紀美子
吉川小夜子	吉沢佐紀子	吉沢さと	吉沢二郎	依田時子
渡辺幸子	渡辺直子			

(2) 事務局

飯田市教育委員会社会教育課（～8. 6） 博物館課（8. 7～）

安野 節（社会教育課長～6. 3）

横田 穆（ ” 6. 4～8. 6）

矢沢与平（博物館課課長8. 7～9. 3）

小畑伊之助（博物館課課長9. 4～）

原田吉樹（社会教育課文化係長～6. 3）

小林正春（ ” 6. 4～・博物館課埋蔵文化財係長8. 7～）

吉川 豊（社会教育課文化係～8. 6・博物館課埋蔵文化財係8. 7～）

山下誠一（ ” 6. 4～・ ” ）

II 遺跡の環境

1. 自然環境 (図版2・3)

飯田市龍江地区は、飯田市街地から南東へ約4kmに位置し、天竜川の東側に広がる地区である。北は鮎ヶ沢川で下久堅地区と、南は紅葉川で千代地区と境界を接している。東は伊那山地の海拔700m程度の頂でやはり上久堅・千代地区と境を接している。

伊那谷の基本的な地形は、断層運動により形成された構造段丘と、天竜川の浸食により形成された河岸段丘が組み合わされた、天竜川の流れて沿ったほぼ南北方向の段丘地形を特徴としている。これらの段丘を切る方向に小河川が流れ、それらにより形成される扇状地があちらこちらにみられ、かなり複雑な様相を呈している。竜東地区は山地がせまり小河川の落差が大きく、平坦部分は少ない。

龍江地区の最下段は天竜川の氾濫原であり、昭和36年の災害で土砂の堆積・流失があったため、前地形がわからないが、主要地方道飯田・富山・佐久間線が通る段丘面との差はかなりあったと考えられる。この主要地方道飯田・富山・佐久間線が乗る段丘面は天竜橋から姑射橋まで細長く延びている。

その上段部にも天竜川に平行方向(ほぼ南北方向)に天竜川に向かって緩やかに傾斜した段丘面をみることができる。これらは、小河川(北から塩田沢川・城沢川・蟹沢川・御庵沢川・樋沢川・清水川・大平沢川)により、いくつか寸断されており、それほど広さはない。その東側は、伊那山地の前山である高森山・雲母丘陵から延びる尾根上に平坦地がいくつかある。

気候面でみれば、伊那谷は比較的温和であり、龍江地区は飯田市の中でも温暖な地域のひとつである。平均気温は、13℃に近く、降水量も年間1,600mm程度である。

細新遺跡は天竜川氾濫源の境界に位置する遺跡で、飯田市に於いて最も標高が低く、天竜川氾濫源に近い遺跡のひとつである。

2. 歴史環境 (図版2・3)

龍江地区での発掘調査はこれまでほとんど実施されていないため、古代・中世は不明な点が多い。縄文時代前期としては、中段に位置する龍江大平遺跡(5)で中葉の黒浜式併行期の竪穴住居址が3軒調査された。さらに、下段の田中下遺跡(3)では前期の集石炉や遺物包含層が確認されており、付近に集落が存在する可能性がある。中期以降の発掘調査例はほとんどなく、下段の氾濫原に面した龍江城遺跡(1)では、流れ込みと思われる中期～晩期の遺物が、龍江細新遺跡(4)では中期・後期の遺物が確認されている。

弥生時代・古墳時代の集落は、天竜川沿いの下段を中心に広く分布しているものと考えられる。田中下遺跡では集落や方形周溝墓群が、また、龍江細新遺跡では弥生時代から古墳時代後期にかけての大規模な集落が調査された。また、古墳は、多くは中段の段丘崖縁部に築造されており、10基の存在が知られているが、現存するものはハンバ古墳(6)・石原古墳(7)・羽入田原古墳(8)の3基にすぎない。

い。記録に拠ると、後期に属する小規模の円墳が多い。 龍江地区東寄りの高森山の尾根と尾根の間の洞には、須恵器の窯跡の存在が知られており、御殿田窯跡（9）・上の城窯跡（10）はすでに調査されているが、この他にもう数カ所窯跡があり、この山地一帯は古窯跡群を形成していたものとみられる。これらの窯跡で生産された須恵器の消費地は天竜川沿いに展開する集落と考えられる。

中世は知久氏の支配に入っていたとみられる。現在一般廃棄物最終処分場がある上城には、兎城と呼ばれている城跡があり、堀・土塁・曲輪が残っている。この城は「今田原城」（11）とも呼ばれており、地区内新地地籍にある春日神社は、南北朝期にここの城主である桃井掃部守定継が建てたと伝えられる。上城付近には「百目」・「二百目」等の地名が残っている。また、高森山から延びた尾根の、神之峰を見通せる地籍は「池の平」と呼ばれ、その突端部は「城山」（12）と呼ばれて堀・曲輪が残っている。周辺には「窯場」・「御殿田」等の地名がある。この城を「上の城」、兎城を「原城」と呼ぶ人もいる。

近世には、地区内尾林に「尾林古窯」（13）と呼ばれる登り窯が操業しており、摺鉢等の日常飯器が焼かれていた。尾林西側斜面にある八幡神社には、かつて『慶安拾四（1607）年六月日九右衛門』の銘をもつ狛犬が奉納されており、飯田市有形文化財に指定されている。県内最古の焼物の狛犬で、三体とも「阿形」を表わす。現在、「尾林焼」と呼ばれる焼き物は「尾林古窯」とはつながりがない。伝承によれば、明治から大正時代にかけて日用品を焼いた窯が八幡神社西側の尾根にあった。それを引き継いだものが現在の「尾林焼」とされる。他に、近代の焼き物として「東焼」がある。窯元であった田中地籍の松島氏の屋号「東」に因み、御庵沢川南側の高森山支陵の「金治ヶ原」に一部残存する。火鉢・甕等の日用雑器を焼いたとの記録があり、龍江地区を中心に流通していたとされる。

近世以降、庶民の娯楽としての地芝居・人形浄瑠璃が盛んに行なわれており、神明社や尾科諏訪神社等各所に芝居に関する施設や記録が残っている。殊に、地区内今田地籍には伊那谷四座のひとつ、今田人形芝居が伝承されており、大宮八幡神社に奉納されている。

龍江地区は、文化・文化財が比較的よく伝承された地域のひとつといえよう。（吉川 豊・馬場保之）

III 調査結果

今次調査に於て確認された遺構は以下のとおりである。なお、a～jトレンチについては前述したとおり遺構・遺物は確認されず、位置図のみ記載する（第3図）。

縦穴住居址（S B）	弥生時代	3
	古墳時代	69
	平安時代	21
	不明	7
掘立柱建物址（S T）	平安時代	5
	中世	1
溝址（S D）	不明	8
集石（S I）		6
土坑（壙）（S K）		32
ピット		多数

1. 基本層序（第4図）

表土より遺構検出面までは調査区北東側で、遺構検出面下層に於ては中央部トレンチで調査した。遺構検出面は灰黄褐色土で、遺構は比較的容易に検出することができた。土層全般においてシルト質であり、天竜川による幾多の氾濫を受けたものと考えられる。

2. 竪穴住居址 (S B)

(1) 弥生時代

① S B56 (第5図)

検出位置		AG-46	覆土			
重複	切る	なし	床面		中央部たたき状の貼床	
	切られる	S B73 SK22	住居内施設	主柱穴	P 1 ~ P 3か	
規模・形状	プラン	(方形)		貯蔵穴	不明	
	規模m	(5.2)×5.0		入口	不明	
	主軸	N48° W		炉・竈	形状	石囲炉
	壁高cm	33			規模cm	64×64
	状態	緩やか			特記事項	
出土遺物 (第94図)						
甕						
特記事項						
住居址北西側は流失している。						
時期	弥生時代後期後半		根拠	出土遺物・住居址形態		

② S B63 (第5図)

検出位置		AI-16	覆土		単層10YR5/4にぶい黄褐色土 炭化物全体に混じる	
重複	切る	なし	床面		たたき状の貼床	
	切られる	ST06	住居内施設	主柱穴	P 1 ~ P 4	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	なし	
	規模m	6.3×5.8		入口	不明	
	主軸	N140° W		炉・竈	形状	炉縁石を有する土器埋設炉
	壁高cm	44			規模cm	60×70
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第94・95・134・148図)						
壺 甕 高坏						
挟入打製石庖丁						
磨製石鏃						
特記事項						
P 5は間仕切りピットと思われる。						
時期	弥生時代後期後半		根拠	出土遺物・住居址形態		

③SB100 (第5図)

検出位置	AE-4	覆土	不明	
重複	切れる	不明	床面	
	切られる	不明	不明	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模m	不明		主柱穴
	主軸	不明		貯蔵穴
	壁高cm	不明	入口	
	状態	不明	炉・竈	形状
		規模cm		地床炉
		特記事項		70×67
出土遺物 (第95図)				
甕				
特記事項				
炉址のみ検出				
時期	弥生時代中期	根拠	出土遺物	

(2) 古墳時代

①SB01 (第6図)

検出位置	AJ-24	覆土	単層10YR4/2 灰黄褐色土	
重複	切れる	なし	床面	
	切られる	なし	たたき状で堅固な貼床	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	
	規模m	6.4×(6.4)		主柱穴
	主軸	N17°W		貯蔵穴
	壁高cm	57	入口	不明
	状態	やや緩やか	炉・竈	形状
		規模cm		不明
		特記事項	残骸のみ	
出土遺物 (第96図)				
甕 坏 高坏				
特記事項				
焼失却家屋				
時期	古墳後期	根拠	出土遺物	

②SB02 (第6図)

検出位置	BD-30	覆土	単層10YR2/3 黒褐色土 (10YR6/6明黄褐色土が3%混じる)		
重切る	なし	床面	たたき状で堅固な貼床		
	切られる		なし		
規模・形状	プラン	住居内施設	主柱穴	不明	
	規模m		4.0×3.8	貯蔵穴	P1・P2か
	主軸		N30°W	入口	不明
	壁高cm	66	炉・竈	形状	石芯粘土竈
	状態	やや緩やか		規模cm	64×73
				特記事項	甕が残存
出土遺物 (第96・134図) 鉢 須恵器蓋 坏 高坏 有肩扇状形石器					
特記事項 焼失却家屋					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物		

③SB04 (第7図)

検出位置	AO-28	覆土	図版参照		
重切る	なし	床面	たたき状で堅固な貼床 特に中央部		
	切られる		なし		
規模・形状	プラン	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
	規模m		6.3×6.2	貯蔵穴	P6・P9・P11か
	主軸		N54°W	入口	P5・P12・P13か
	壁高cm	54	炉・竈	形状	(石芯粘土竈)
	状態	やや緩やか		規模cm	不明
				特記事項	残骸のみ
出土遺物 (第97・98・134・147・149図) 壺 甕 甑 蓋 坏 高坏 罌 砥石 磨石 編物石 土製紡錘車 白玉					
特記事項 P3横に間仕切りと思われる溝がある					
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物		

④SB07 (第8図)

検出位置	AU-24	覆土	10YR4/2 灰黄褐色土	
重複	切れる	SB27	床面	
	切られる	なし	貼床	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設	
	規模m	6.15×(4.5)		主柱穴
	主軸	(N8°E)		P1・P4か
	壁高cm	45	貯蔵穴	
	状態	やや緩やか	炉・竈	入口
				不明
			形状	
			不明	
			規模cm	
			不明	
			特記事項	
出土遺物 (第98・148図)				
甕 甌 坏 須恵器高坏				
編物石				
石製紡錘車				
特記事項				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物	

⑤SB08 (第9図)

検出位置	BB-23	覆土		
重複	切れる	なし	床面	
	切られる	なし	たたき状で堅固な貼床	
規模・形状	プラン	(方形)	住居内施設	
	規模m	7.3×(6.6)		主柱穴
	主軸	N17°E		P1~P4
	壁高cm	25	貯蔵穴	
	状態	やや緩やか	炉・竈	入口
				不明
			形状	
			不明	
			規模cm	
			不明	
			特記事項	
			竈火床残るのみ	
出土遺物 (第98図)				
甕 坏				
編物石				
特記事項				
時期	古墳後期	根拠	出土遺物	

⑥S B09 (第10図)

検出位置		B I - 30		覆 土		図版参照		
重 複	切 る	なし		床 面		たたき状で堅固な貼床		
	切られる	なし		住 居 内 施 設	主 柱 穴	P 1 ~ P 4		
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	方形			貯 蔵 穴	不明		
	規 模m	5.3×5.2			入 口	不明		
	主 軸	N35°W			炉 ・ 竈	形 状	炉縁石を有する地床炉	
	壁 高cm	64				規 模cm	42×33	
	状 態	ほぼ垂直				特記事項	炉址奥に人頭大の礫2つあり	
出土遺物 (第98・99・135図) 甕 鉢 高坏 小型丸底壺 抉入打製石庖丁 横刃型石器 編物石 打製石斧 (混入品)								
特記事項 焼失却家屋								
時 期	古墳時代中期後半			根 拠	出土遺物			

⑦S B10 (第11図)

検出位置		B C - 34		覆 土		図版参照		
重 複	切 る	なし		床 面		中央部堅固な貼床		
	切られる	なし		住 居 内 施 設	主 柱 穴	P 1 ~ P 4 と P 5 ~ P 8 新旧不明		
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	方形			貯 蔵 穴	不明		
	規 模m	5.7×5.2			入 口	P 9		
	主 軸	N68°E			炉 ・ 竈	形 状	新：炉縁石を有する地床炉 旧：地床炉	
	壁 高cm	81				規 模cm	新：55×43 旧：28×26	
	状 態	ほぼ垂直				特記事項		
出土遺物 (第99・135図) 壺 甕 高坏 小型丸底壺 抉入打製石庖丁 編物石								
特記事項 焼失却家屋 炉と主柱が改築された家屋である。								
時 期	古墳時代中期後半			根 拠	出土遺物			

⑧SB11 (第8図)

検出位置		AW-29	覆土			
重	切る	なし	床面		2面あり	
	切られる	SB15・36	住居内施設	主柱穴	新:P1~P4 旧:P5~P8	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	なし	
	規模m	4.4×4.6		入口	なし	
	主軸	N127°W		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	62			規模cm	85×100
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第149図) 白玉						
特記事項 床は2面ある。図示したのは2枚目の床である。1枚目の床には竈及び炉址はなかった。						
時期	古墳時代後期		根拠	住居址形態・出土遺物		

⑨SB12 (第12図)

検出位置		AY-26	覆土		単層10YR4/1 灰黄褐色土	
重	切る	SB25	床面		竈周辺堅固な貼床	
	切られる	SB35	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴		
	規模m	6.5×6.8		入口	P7か	
	主軸	N63°E		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	26			規模cm	110×120
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第99・100図) 壺 甕 坏 高坏 編物石						
特記事項						
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物		

⑩SB13 (第13図)

検出位置		AU-26	覆 土			
重 複	切 る	SD14	床 面		貼床	
	切られる	なし	住 居 内 施 設	主 柱 穴	P1~P4	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	隅丸方形		貯 蔵 穴		
	規 模m	5.6×5.7		入 口	P5・P6か	
	主 軸	N43°W		炉 ・ 竈	形 状	石芯粘土竈
	壁 高cm	36			規 模cm	85×90
	状 態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第100・135・149図)						
甕 甌 高坏						
砥石 磨石 編物石						
白玉						
特記事項						
焼失却家屋						
時 期	古墳後期		根 拠	出土遺物		

⑪SB14 (第9図)

検出位置		BC-30	覆 土		単層10YR5/2 灰黄褐色土	
重 複	切 る	なし	床 面		部分的に貼床	
	切られる	SD12	住 居 内 施 設	主 柱 穴	P1~P4	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	隅丸方形		貯 蔵 穴	なし	
	規 模m	3.4×3.1		入 口	なし	
	主 軸	N49°W		炉 ・ 竈	形 状	石芯粘土竈
	壁 高cm	28			規 模cm	60×73
	状 態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第135図)						
敲打器 編物石						
特記事項						
時 期	古墳時代後期		根 拠	出土遺物・住居址形態		

⑫ S B 16 (第14図)

検出位置		AW-34	覆 土		図版参照	
重 複	切 る	なし	床 面		軟弱	
	切られる	なし	住 居 内 施 設	主 柱 穴	P 1 ~ P 4	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	方形		貯 蔵 穴	P 5 か	
	規 模 m	4.5×4.7		入 口	なし	
	主 軸	N52°W		炉 ・ 竈	形 状	(石芯粘土竈)
	壁 高 cm	68			規 模 cm	不明
	状 態	ほぼ垂直			特記事項	残骸
出土遺物 (第136・147図) 打製石斧 有肩扇状形石器 編物石 土製紡錘車 白玉						
特記事項 焼失却家屋						
時 期	古墳時代後期		根 拠	出土遺物・住居址形態		

⑬ S B 18 (第15図)

検出位置		BH-26	覆 土			
重 複	切 る	なし	床 面		堅固な貼床	
	切られる	SD12・13	住 居 内 施 設	主 柱 穴	P 1 ~ P 4	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	隅丸方形		貯 蔵 穴	P 6	
	規 模 m	7.4×7.1		入 口	なし	
	主 軸	N62°W		炉 ・ 竈	形 状	石芯粘土竈
	壁 高 cm	31			規 模 cm	162×125
	状 態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第100・101・147・149図) 甕 須恵器甌 鉢 坏 高坏 土玉 白玉						
特記事項 焼失却家屋						
時 期	古墳時代後期		根 拠	出土遺物		

⑭ S B 19 (第16図)

検出位置		AP-33	覆土			
重複	切れる	なし	床面		軟弱	
	切られる	S B 21	住居内施設	主柱穴	P 1 ~ P 4	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	P 5か	
	規模m	4.4×4.2		入口	P 6か	
	主軸	N53°W		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	19			規模cm	88×68
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第101・136・147図)						
甕 坏 高坏						
磨石 編物石						
特記事項						
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物		

⑮ S B 20 (第17図)

検出位置		AR-35	覆土		図版参照	
重複	切れる	なし	床面		中央部が堅固	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P 2 ~ P 4	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	P 5・P 6か	
	規模m	5.8×5.1		入口		
	主軸	N54°E		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	34			規模cm	100×110
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第101・102・136図)						
甕 甌 坏						
打製石斧 抉入打製石庖丁 横刃型石器 磨製石斧 敲打器 編物石						
特記事項						
時期	古墳後期		根拠	出土遺物		

⑩ S B 21 (第14図)

検出位置		AR-31	覆土		図版参照	
重	切る	SB19	床面		軟弱で部分的に貼床	
	切られる	SB03	住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン	方形		貯蔵穴	なし	
	規模m	4.2×4.3		入口	なし	
	主軸	N106°E		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	30			規模cm	80×70
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第102・136・147図)						
甕 須恵器蓋坏						
環状石器						
特記事項						
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物・遺構切り合い		

⑪ S B 22 (第16図)

検出位置		AT-32	覆土		図版参照	
重	切る	なし	床面		中央部堅固	
	切られる	SB24	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸長方形		貯蔵穴		
	規模m	5.0×4.5		入口		
	主軸	N35°E		炉・竈	形状	炉縁石を有する地床炉
	壁高cm	96			規模cm	25×20
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第102・137・148図)						
壺 甕 高坏						
特記事項						
打製石斧 横刃型石器 磨石 磨製石庖丁 編物石						
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物		

⑩ S B 23 (第18図)

検出位置		BJ-27	覆土			
重複	切る	なし	床面		堅固	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1・P2	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴	P3か	
	規模m	6.0×(6.2)		入口	不明	
	主軸	N20°E		炉・竈	形状	削平されてなし
	壁高cm	31			規模cm	
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第102図)						
甕 高坏						
編物石						
特記事項						
焼失却家屋						
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物		

⑨ S B 25 (第18図)

検出位置		BA-26	覆土			
重複	切る	なし	床面		中央部堅固な貼床	
	切られる	S B 12	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴		
	規模m	4.3×4.6		入口		
	主軸	N65°E		炉・竈	形状	不明
	壁高cm	31			規模cm	不明
	状態	緩やか			特記事項	
出土遺物 (第102・148図)						
甕 高坏						
土製紡錘車						
特記事項						
時期	古墳時代中期		根拠	出土遺物・遺構切り合い		

⑳ S B 26 (第19図)

検出位置		BY-12	覆 土			
重 複	切 る	なし	床 面		軟弱	
	切られる	なし	住 居 内 施 設	主 柱 穴	P 1・P 2か	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	(方形)		貯 蔵 穴		
	規 模m	(2.5)×3.9		入 口		
	主 軸	N37°E		炉 ・ 竈	形 状	地床炉か
	壁 高cm	29			規 模cm	(35)×75
	状 態	ほぼ垂直			特記事項	焼土が床面より高いため炉址でない可能性がある
出土遺物 (第102図) 高坏						
特記事項						
時 期	古墳時代中期		根 拠	出土遺物		

㉑ S B 27 (第19図)

検出位置		AS-24	覆 土		図版参照	
重 複	切 る	なし	床 面		堅固	
	切られる	S B 07	住 居 内 施 設	主 柱 穴	不明	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	(隅丸方形)		貯 蔵 穴		
	規 模m	5.0×(3.3)		入 口		
	主 軸	N13°W		炉 ・ 竈	形 状	不明
	壁 高cm	42			規 模cm	不明
	状 態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第102図) 甕						
特記事項 焼失却家屋 住居址の2/3が天竜川によって浸蝕されている。						
時 期	古墳時代中期後半		根 拠	出土遺物		

② S B 28 (第19図)

検出位置		A X - 35	覆 土		単層10YR4/2灰黄褐色土(10YR7/8黄橙が50%混じる)	
重 複	切 る	なし	床 面		軟弱で不明瞭	
	切られる	S D 12	住 居 内 施 設	主 柱 穴	不明	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	(方形)		貯 蔵 穴		
	規 模m	(2.5)×3.4		入 口		
	主 軸	N30°E		炉 ・ 竈	形 状	不明
	壁 高cm	13			規 模cm	不明
	状 態	緩やか			特記事項	
出土遺物 (第103図)						
甕						
特記事項						
時 期	古墳時代後期か		根 拠	出土遺物		

③ S B 29 (第20図)

検出位置		B A - 43	覆 土		単層10YR4/4 褐色土	
重 複	切 る	なし	床 面		貼床	
	切られる	なし	住 居 内 施 設	主 柱 穴	P 1 ~ P 4	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	隅丸方形		貯 蔵 穴		
	規 模m	3.4×3.6		入 口		
	主 軸	N120°E		炉 ・ 竈	形 状	石芯粘土竈
	壁 高cm	25			規 模cm	80×80
	状 態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第103図)						
甕 坏						
編物石						
特記事項						
時 期	古墳時代後期		根 拠	出土遺物		

㊸ S B 32 (第21図)

検出位置	BM-39	覆土	単層10YR4/2灰黄褐色土(10YR6/6明黄褐色が5%混じる)			
重複	切る	なし	床面	堅固な貼床		
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1~P3か 1つは攪乱に切られている可能性あり	
規模・形状	プラン	隅丸長方形		貯蔵穴		
	規模m	4.0×5.0		入口		
	主軸	N75°E		炉・竈	形状	地床炉
	壁高cm	12			規模cm	70×84
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第103・137図)						
甕						
砥石 編物石						
特記事項						
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物			

㊸ S B 33 (第21図)

検出位置	BO-36	覆土	単層10YR4/2灰黄褐色土(10YR6/6明黄褐色土が3%混じる)			
重複	切る	S B 52	床面	部分的に堅固		
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン	方形		貯蔵穴	P5か	
	規模m	5.1×5.0		入口	P6か	
	主軸	N18°W		炉・竈	形状	新：炉縁石を有する地床炉 旧：地床炉
	壁高cm	41			規模cm	新：53×37 旧：53×40
	状態	ほぼ垂直			特記事項	新炉は炉奥に人頭大礫が2つ並ぶ
出土遺物 (第103・137図)						
壺 甕 高坏 ミニチュア土器						
編物石 敲打器						
特記事項						
焼失却家屋						
炉のみ改築						
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物			

㊦ S B 37 (第22図)

検出位置		BH-40	覆土	図版参照	
重	切	る	なし	床面	
複	切	られる	S B 17	中央部貼床で堅固	
規模・形状	プラン	方形	住居内施設	主柱穴	
	規模m	6.0×5.3		貯蔵穴	
	主軸	N55°E		入口	
	壁高cm	78	炉・竈	形状	
	状態	ほぼ垂直		規模cm	地床炉
				特記事項	32×32
出土遺物 (第104・137図) 壺 甕 高坏 小型丸底壺 磨石 編物石					
特記事項 焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物	

㊧ S B 39 (第23図)

検出位置		BD-45	覆土	図版参照	
重	切	る	なし	床面	
複	切	られる	なし	明確	
規模・形状	プラン	方形	住居内施設	主柱穴	
	規模m	5.6×5.7		貯蔵穴	
	主軸	N7°E		入口	
	壁高cm	54	炉・竈	形状	
	状態	ほぼ垂直		規模cm	地床炉
				特記事項	46×31
出土遺物 (第104図) 壺 甕 台付甕 高坏 小型丸底壺 編物石					
特記事項 焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物	

㊸SB40 (第24図)

検出位置	AR-46	覆土	図版参照	
重複	切る	なし	床面	
	切られる	ST01・02		中央部堅固で全体に貼床
規模・形状	プラン	方形	住居内施設	
	規模m	4.7×4.5		主柱穴
	主軸	N47°E		P1～P4
	壁高cm	57	貯蔵穴	
	状態	ほぼ垂直	入口	P5・P6か
	炉・竈	形状	地床炉	
	規模cm	45×29		
	特記事項	炉址奥にピットあり		
<p>出土遺物 (第105・138図)</p> <p>壺 甕 甑 高坏 小型丸底壺</p> <p>打製石斧 抉入打製石庖丁 横刃型石器 編物石</p>				
<p>特記事項</p> <p>焼失却家屋</p>				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物	

㊹SB41 (第25図)

検出位置	AY-49	覆土	図版参照	
重複	切る	なし	床面	
	切られる	ST04		中央部堅固で全面貼床
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	
	規模m	6.8×7.2		主柱穴
	主軸	N60°W		P1～P4
	壁高cm	47	貯蔵穴	
	状態	ほぼ垂直	入口	P5
	炉・竈	形状	石芯粘土竈	
	規模cm	102×98		
	特記事項			
<p>出土遺物 (第106・138図)</p> <p>壺 甕 坏 高坏 小型丸底壺</p> <p>磨製石庖丁 横刃型石器 編物石</p>				
<p>特記事項</p> <p>焼失却家屋</p>				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物	

⑩S B42 (第26図)

検出位置	BD-0		覆土	単層10YR3/2 黒褐色土		
重複	切る	なし	床面	中央部堅固で全体貼床		
	切られる	ST05		住居内施設	主柱穴	P1~P4
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴		P6	
	規模m	4.2×4.0	入口			
	主軸	N138°E	炉・竈		形状	粘土竈
	壁高cm	40			規模cm	90×90
	状態	ほぼ垂直			特記事項	破壊されている
出土遺物 (第106・149図)						
壺 甕 坏 高坏						
玉						
特記事項						
焼失却家屋						
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物		

⑪S B43 (第27図)

検出位置	AY-3		覆土	単層10YR3/2 黒褐色土		
重複	切る	なし	床面	軟弱		
	切られる	なし		住居内施設	主柱穴	P1~P4
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴		P5か	
	規模m	4.3×4.6	入口			
	主軸	N75°W	炉・竈		形状	破壊されており不明
	壁高cm	31			規模cm	不明
	状態	緩やか			特記事項	火床のみ残存
出土遺物 (第106・138図)						
甕 鉢 坏 須恵器蓋坏						
編物石 打製石斧 (混入品)						
特記事項						
時期	古墳後期		根拠	出土遺物		

㊸ S B 44 (第27図)

検出位置	BM-44	覆土	単層
重 複	切る	なし	床面
	切られる	S B 45	中央部堅固で全面貼床
規 模 ・ 形 状	プラン	隅丸方形	住 居 内 施 設
	規模m	5.0×5.3	
	主軸	N40°W	
	壁高cm	54	炉 ・ 竈
	状態	ほぼ垂直	
	形状	ほぼ垂直	
		主柱穴	P 1 ~ P 4
		貯蔵穴	
		入口	
		形状	地床炉
		規模cm	25×25
		特記事項	炉址奥に間仕切りと思われる溝あり
出土遺物 (第107・108・109図)			
壺 甕 台付甕 高坏 小型丸底壺			
編物石			
特記事項			
焼失却家屋			
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物

㊸ S B 48 (第28図)

検出位置	BB-47	覆土	図版参照
重 複	切る	なし	床面
	切られる	SB41 ST03・04 SK16・17	貼床
規 模 ・ 形 状	プラン	方形	住 居 内 施 設
	規模m	4.6×4.7	
	主軸	N38°W	
	壁高cm	52	炉 ・ 竈
	状態	ほぼ垂直	
	形状	ほぼ垂直	
		主柱穴	P 1 ~ P 4
		貯蔵穴	P 5
		入口	
		形状	地床炉
		規模cm	70×50
		特記事項	
出土遺物 (第109・138図)			
壺 坏 高坏			
有肩扇状形石器 編物石			
特記事項			
焼失却家屋			
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物

㊸ S B 50 (第29・30図)

検出位置		BH-1	覆土		図版参照	
重	切る	S B 50	床面		中央部堅固で貼床	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P 1 ~ P 4	
規模・形状	プラン	方形		貯蔵穴	P 5か	
	規模m	7.2×6.8		入口		
	主軸	N58°W		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	46			規模cm	115×105
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第109・110・149図)						
壺 甕 甑 坏						
編物石						
白玉						
特記事項						
焼失却家屋						
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物		

㊸ S B 51 (第28図)

検出位置		BK-49	覆土		単層10YR4/3鈍い黄褐色土	
重	切る	なし	床面		軟弱	
	切られる	S B 49・50	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	方形		貯蔵穴		
	規模m	5.2×5.8		入口		
	主軸	N50°W		炉・竈	形状	
	壁高cm	18			規模cm	
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第110・149図)						
甕 高坏						
白玉						
特記事項						
焼失却家屋						
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物・住居址形態・切り合い		

㊸ S B 52 (第31図)

検出位置		BP-38	覆土			
重 複	切る	なし	床面		中央部堅固な貼床	
	切られる	S B 33	住 居 内 施 設	主柱穴	P 1・P 3・P 4	
規 模 ・ 形 状	プラン	方形		貯蔵穴		
	規模m	2.9×3.2		入口		
	主軸	(N42°W)		炉 ・ 竈	形状	地床炉
	壁高cm	30			規模cm	15×11
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第110・138図) 壺 甕 高坏 有肩扇状形石器						
特記事項 焼失却家屋						
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物		

㊹ S B 53 (第31図)

検出位置		BV-37	覆土		単層10YR3/3暗褐色土	
重 複	切る	なし	床面		不明で掘り方を確認した	
	切られる	なし	住 居 内 施 設	主柱穴	P 1～P 4	
規 模 ・ 形 状	プラン	長方形		貯蔵穴		
	規模m	5.0×4.5		入口		
	主軸	(N50°E)		炉 ・ 竈	形状	
	壁高cm	38			規模cm	
	状態	ほぼ垂直			特記事項	炉址があったと思われるが不明
出土遺物 (第111・138図) 壺 甕 高坏 袈入打製石庖丁 有肩扇状形石器						
特記事項 焼失却家屋						
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物		

③ S B 54 (第32図)

検出位置		BU-42	覆土	単層10YR4/4褐色土		
重複	切る	S B 65	床面	中央部堅固な貼床		
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	方形		貯蔵穴		
	規模m	6.3×6.5		入口		
	主軸	N44°W		炉・竈	形状	炉縁石を有する地床炉
	壁高cm	37			規模cm	(40)×(40)
	状態	やや緩やか			特記事項	図では周辺の焼土も図示してある。
出土遺物 (第111・112・139図) 壺 甕 高坏 小型丸底壺 有肩扇状形石器						
特記事項 焼失却家屋						
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物		

③ S B 55 (第33図)

検出位置		BP-46	覆土	なし		
重複	切る	なし	床面	明確な貼床		
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴		
	規模m	(4.6)×(4.3)		入口		
	主軸	(N35°W)		炉・竈	形状	
	壁高cm	5			規模cm	
	状態	ほとんどなし			特記事項	床面に焼土があるが不明
出土遺物 図示できる遺物なし						
特記事項						
時期	古墳時代後期か		根拠	住居址形態		

④ S B 58 (第33図)

検出位置		BU-2	覆土	単層10YR5/6黄褐色土		
重複	切る	なし	床面	堅固な貼床		
	切られる	S B 61・S K 19		主柱穴	P 1～P 4か	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴	P 6か	
	規模m	5.3×5.4		入口	P 5か	
	主軸	N14°E		炉・竈	形状	地床炉か
	壁高cm	45	規模cm			
	状態	ほぼ垂直	特記事項		竈の可能性もあるが詳細不明	
出土遺物 (第112・139図) 甕 鉢 坏 高坏 挟入打製石庖丁						
特記事項						
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物		

④ S B 60 (第34図)

検出位置		AD-2	覆土	単層10YR4/6褐色土		
重複	切る	S B 83	床面	中央部に貼床があり堅固		
	切られる	なし		主柱穴	P 1～P 4	
規模・形状	プラン	方形	住居内施設	貯蔵穴	P 8	
	規模m	5.7×5.9		入口		
	主軸	N18°E		炉・竈	形状	地床炉
	壁高cm	50	規模cm		20×16	
	状態	ほぼ垂直	特記事項			
出土遺物 (第112・113・114・139図) 壺 甕 台付甕 鉢 坏 高坏 小型丸底壺 挟入打製石庖丁 有肩扇状形石器 編物石						
特記事項 焼失却家屋						
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物		

④S B 61 (第34図)

検出位置		BV-3	覆土		単層10YR5/6黄褐色土	
重	切る	SB58	床面		貼床なく特に堅固ではない	
	切られる	SK19	住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴		
	規模m	(3.5)×4.0		入口		
	主軸	N34°W		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	17			規模cm	
	状態	緩やか			特記事項	残骸のみ
出土遺物 (第115・139図)						
甕 高坏						
挟入打製石庖丁						
特記事項						
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物・切り合い		

④S B 62 (第35図)

検出位置		AL-14	覆土		単層10YR3/4暗褐色土	
重	切る	なし	床面		貼床明確で堅固	
	切られる	SD16	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	方形		貯蔵穴		
	規模m	(4.3)×4.9		入口		
	主軸	N33°E		炉・竈	形状	地床炉
	壁高cm	19			規模cm	15×15
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第115・139図)						
壺						
打製石斧 (混入品)						
特記事項						
時期	古墳時代中期後半		根拠	住居址形態		

④S B 64 (第35図)

検出位置		AH-18	覆土	単層10YR3/4暗褐色土	
重	切れる	なし	床面	堅固	
	切られる	なし			
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	主柱穴	新：P1～P4 旧：P7～P10
	規模m	4.5×4.7		貯蔵穴	P5か
	主軸	N60°W		入口	新：P6 旧：P11
	壁高cm	56	炉・竈	形状	新：炉縁石を有する地床炉 旧：地床炉
	状態	ほぼ垂直		規模cm	新：35×35 旧：40×30
				特記事項	
出土遺物 (第115・116・139・148図)					
壺 甕 鉢 高坏					
挟入打製石庖丁 打製石庖丁 磨石					
石製紡錘車					
特記事項					
焼失却家屋					
炉址と主柱穴の改築が見られる。					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物	

④S B 65 (第36図)

検出位置		BT-41	覆土		
重	切れる	なし	床面	貼床堅固で明確	
	切られる	SB54			
規模・形状	プラン	方形	住居内施設	主柱穴	不明
	規模m	4.0×(2.6)		貯蔵穴	
	主軸	N38°W		入口	
	壁高cm	37	炉・竈	形状	地床炉か
	状態	ほぼ垂直		規模cm	36×(28)
				特記事項	北西壁際に焼土があるがこれが炉址と思われる
出土遺物 (第116図)					
高坏 小型丸底壺					
編物石					
特記事項					
焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物・切り合い	

④ S B 66 (第36図)

検出位置		AF-14	覆土			
重複	切れる	なし	床面		堅固	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(方形)		貯蔵穴		
	規模m	4.9×(2.9)		入口		
	主軸	不明		炉・竈	形状	
	壁高cm	59			規模cm	
	状態	ほぼ垂直			特記事項	調査区外により不明
出土遺物 (第116・117・139図)						
壺 甕 鉢 高坏						
挟入打製石庖丁						
特記事項						
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物		

④ S B 69 (第36図)

検出位置		BP-6	覆土		単層10YR4/1褐灰色土(10YR7/6明黄褐色土がブロック状に混じる)	
重複	切れる	なし	床面		明確な貼床	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴		
	規模m	3.8×3.5		入口		
	主軸	N26°E		炉・竈	形状	炉縁石を有する地床炉
	壁高cm	51			規模cm	34×26
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第117図)						
高坏						
特記事項						
焼失却家屋						
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物		

④S B73 (第37図)

検出位置	AE-46	覆土	10YR4/4褐色土		
重切る	SB56	床面	軟弱		
	切られる		なし		
規模・形状	プラン	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
	規模m		5.0×5.3	貯蔵穴	P5
	主軸		N27°E	入口	P6
	壁高cm	50	炉・竈	形状	地床炉
	状態	やや緩やか		規模cm	29×17
				特記事項	
出土遺物 (第117・148図) 甕 坏 高坏 小型丸底壺 磨製石鏃					
特記事項					
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物		

④S B75 (第38図)

検出位置	BW-10	覆土	図版参照		
重切る	なし	床面	堅固		
	切られる		なし		
規模・形状	プラン	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
	規模m		6.6×6.6	貯蔵穴	
	主軸		N69°E	入口	P9 土手状縁部あり
	壁高cm	62	炉・竈	形状	炉縁石を有する地床炉
	状態	ほぼ垂直		規模cm	50×52
				特記事項	
出土遺物 (第117・118・139・149図) 壺 甕 高坏 小型丸底壺 ミニチュア土器 打製石斧 抉入打製石庖丁 編物石 白玉					
特記事項					
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物		

㊦ S B 77 (第37図)

検出位置		BY-3	覆土	単層	
重複	切る	S B 85	床面	全体に堅固な貼床	
	切られる	S B 59			
規模・形状	プラン	方形	住居内施設	主柱穴	P 1 ~ P 4
	規模m	5.1×5.0		貯蔵穴	P 5・P 6か
	主軸	N50°E		入口	南西壁側土手状縁部あり
	壁高cm	51	炉・竈	形状	炉縁石を有する地床炉
	状態	ほぼ垂直		規模cm	64×48
特記事項					
出土遺物 (第118・139図) 壺 甕 鉢 高坏 小型丸底壺 有肩扇状形石器 編物石					
特記事項 焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物	

㊧ S B 78 (第39図)

検出位置		BT-48	覆土	単層10YR4/3鈍い黄褐色土	
重複	切る	なし	床面	中央部堅固な貼床	
	切られる	S B 70・74・79			
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	主柱穴	P 1 ~ P 4
	規模m	5.5×5.9		貯蔵穴	P 11・P 12か
	主軸	N65°E		入口	P 5 ~ P 7 土手状縁部あり
	壁高cm	46	炉・竈	形状	炉縁石を有する地床炉
	状態	ほぼ垂直		規模cm	36×21
特記事項					
出土遺物 (第118・119図) 甕 高坏 小型丸底壺 編物石					
特記事項 焼失却家屋					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物	

㊦ S B 79 (第39図)

検出位置	BR-48	覆土	単層10YR4/3鈍い黄褐色土			
重切	切る	SB78	床面	軟弱		
	切られる	SB70・74	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴		
	規模m	不明		入口		
	主軸	不明		炉・竈	形状	
	壁高cm	48			規模cm	
	状態	ほぼ垂直			特記事項	不明
出土遺物 図示できるものはない						
特記事項 焼失却家屋 多くの住居址に切られて詳細不明						
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物・切り合い			

㊦ S B 80 (第40図)

検出位置	BN-4	覆土	図版参照			
重切	切る	なし	床面	全面堅固な貼床		
	切られる	SB68・82	住居内施設	主柱穴	P1~P4	
規模・形状	プラン	方形		貯蔵穴	P5・P6か	
	規模m	6.5×7.3		入口		
	主軸	N46°E		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	60			規模cm	138×134
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第119・120・140図) 甕 坏 須恵器蓋坏 高坏 挟入打製石庖丁 敲打器 編物石						
特記事項 焼失却家屋						
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物			

㊦ S B 81 (第38図)

検出位置		AA-0	覆土	単層10YR5/3鈍い黄褐色土	
重複	切れる	S B 85	床面	堅固な貼床	
	切られる	S B 72・76		住居内施設	主柱穴
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設		貯蔵穴
	規模m	4.7×5.2		入口	
	主軸	N 3°E		炉・竈	形状
	壁高cm	39	規模cm		41×37
	状態	やや緩やか	特記事項		
出土遺物 (第120・140図) 高坏 小型丸底壺 袂入打製石庖丁					
特記事項					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物・切り合い	

㊧ S B 82 (第41図)

検出位置		BN-4	覆土	単層	
重複	切れる	S B 80	床面	不明瞭で掘り過ぎてしまった	
	切られる	S B 68		住居内施設	主柱穴
規模・形状	プラン	(隅丸長方形)	住居内施設		貯蔵穴
	規模m	(4.9)×(6.1)		入口	
	主軸	N49°W		炉・竈	形状
	壁高cm	48	規模cm		105×90
	状態	ほぼ垂直	特記事項		
出土遺物 (第120図) 甕 坏 須恵器蓋坏 高坏					
特記事項					
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物・切り合い	

⑤S B83 (第42図)

検出位置	AE-49	覆土	単層10YR6/4鈍い黄橙色土	
重複	切れる	なし	床面	
	切られる	S B60	全面堅固な貼床	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	
	規模m	4.3×5.1		主柱穴
	主軸	N44°W		P1~P3
	壁高cm	12	貯蔵穴	
	状態	やや緩やか	炉・竈	入口
				P5 南東壁際土手状縁部あり
			形状	
			規模cm	
			特記事項	
			2箇所あるか新旧不明	
出土遺物 (第120・140図)				
甕 高坏				
抉入打製石庖丁				
特記事項				
時期	古墳時代中期後半	根拠	出土遺物・住居址形態・切り合い	

⑤S B84 (第42図)

検出位置	BW-0	覆土		
重複	切れる	なし	床面	
	切られる	S B59・72・85	あまり堅固ではないが明確	
規模・形状	プラン	(隅丸長方形)	住居内施設	
	規模m	(3.9)×2.2		主柱穴
	主軸	不明		不明
	壁高cm	19	貯蔵穴	
	状態	やや緩やか	炉・竈	入口
			形状	
			規模cm	
			特記事項	
			不明	
出土遺物				
図示できるものはない				
特記事項				
時期	古墳時代中期後半か	根拠	切り合い	

⑤8 S B 85 (第43図)

検出位置	B X - 1		覆 土	単層10YR6/8明黄褐色土		
重 複	切 る	S B 84	住 居 内 施 設	床 面	中央部堅固	
	切られる	S B 59・77・81		主 柱 穴	P 1 ~ P 4	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	方形	貯 蔵 穴	入 口	P 6 土手状縁部あり	
	規 模 m	4.9×4.9		炉 ・ 竈	形 状	炉縁石を有する地床炉 地床炉
	主 軸	N53°W			規 模 cm	35×23 40×28
	壁 高 cm	44	特記事項		2箇所あるが新旧不明	
	状 態	やや緩やか				
	出土遺物 (第120・140図) 甕 高坏 小型丸底壺 砥石					
特記事項 焼失却家屋						
時 期	古墳時代中期後半		根 拠	出土遺物・切り合い		

⑤9 S B 86 (第42図)

検出位置	A F - 8		覆 土			
重 複	切 る	なし	住 居 内 施 設	床 面	明確	
	切られる	S K 25・26		主 柱 穴	不明	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	(隅丸方形)	貯 蔵 穴	入 口		
	規 模 m	(2.1)×(2.2)		炉 ・ 竈	形 状	
	主 軸	不明			規 模 cm	
	壁 高 cm	30	特記事項		不明	
	状 態	やや緩やか				
	出土遺物 (第120図) 高坏					
特記事項 多くが未調査部分であり詳細不明						
時 期	古墳時代中期後半		根 拠	出土遺物		

⑥ S B 88 (第43図)

検出位置		AI-8	覆土		単層10YR5/4鈍い黄褐色土	
重複	切る	なし	床面		堅固	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴		
	規模m	(1.1)×4.7		入口		
	主軸	不明		炉・竈	形状	
	壁高cm	12			規模cm	
	状態	やや緩やか			特記事項	不明
出土遺物 (第120・140図)						
甕 坏						
挟入打製石庖丁 打製石斧						
特記事項						
多くが未調査であり、詳細不明						
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物		

⑥ S B 89 (第44図)

検出位置		BT-20	覆土		単層	
重複	切る	なし	床面		北東壁際が堅固	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン	方形		貯蔵穴	P1か	
	規模m	3.9×4.2		入口		
	主軸	N71°W		炉・竈	形状	
	壁高cm	15			規模cm	
	状態	やや緩やか			特記事項	火床のみである
出土遺物 (第120図)						
甕						
特記事項						
時期	古墳時代後期		根拠	住居址形態・出土遺物		

②SB90 (第44図)

検出位置		BX-22	覆土		単層	
重複	切る	なし	床面		堅固	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1・P2	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴	P5か	
	規模m	5.6×(4.3)		入口		
	主軸	真北		炉・竈	形状	
	壁高cm	27			規模cm	
	状態	やや緩やか			特記事項	火床のみ残存
出土遺物 (第121・140図)						
甕鉢 坏 高坏						
打製石斧						
特記事項						
住居の半分が流失						
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物		

③SB91 (第45図)

検出位置		AB-21	覆土		単層	
重複	切る	なし	床面		堅固で明確	
	切られる	SB92	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(方形)		貯蔵穴	P1	
	規模m	(1.7)×(4.2)		入口		
	主軸	北89°E		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	17			規模cm	84×107
	状態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 (第121図)						
甕						
特記事項						
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物・切り合い		

㊦ S B 92 (第44図)

検出位置	AC-21	覆土		
重複	切れる	S B 91	床面 堅固	
	切られる	S B 98	主柱穴 不明	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設	
	規模m	(2.5)×(2.4)		貯蔵穴
	主軸	不明		入口
	壁高cm	32	炉・竈	形状
	状態	ほぼ垂直		規模cm
			特記事項 不明	
出土遺物 (第121図)				
甕				
特記事項				
住居址の多くが流失している				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物・切り合い	

㊦ S B 93 (第45図)

検出位置	AG-23	覆土	単層	
重複	切れる	S B 94・99	床面 堅固で明確	
	切られる	S B 98	主柱穴 P1・P2	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	
	規模m	4.6×(3.5)		貯蔵穴
	主軸	N163°W		入口
	壁高cm	26	炉・竈	形状
	状態	やや緩やか		規模cm
			特記事項 火床のみ残存	
出土遺物 (第121・122図)				
甕 坏 須恵器蓋坏 高坏				
特記事項				
時期	古墳時代後期	根拠	出土遺物・切り合い	

㊦SB95 (第46図)

検出位置		AD-6	覆土	単層10YR4/3 鈍い黄褐色土	
重複	切れる	SB97	床面	堅固な貼床	
	切られる	SB87		住居内施設	主柱穴
規模・形状	プラン	方形	住居内施設		貯蔵穴
	規模m	6.4×6.3		入口	
	主軸	N41°E		炉・竈	形状
	壁高cm	52	規模cm		新：40×35 旧：20×20
	状態	ほぼ垂直	特記事項		
出土遺物 (第123・140図) 壺鉢 高坏 小型丸底壺 挟入打製石庖丁					
特記事項 炉址の改築が見られる					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物	

㊦SB96 (第47図)

検出位置		AI-3	覆土		
重複	切れる	なし	床面	明確	
	切られる	SD19		住居内施設	主柱穴
規模・形状	プラン	方形	住居内施設		貯蔵穴
	規模m	6.2×(6.0)		入口	
	主軸	N43°E		炉・竈	形状
	壁高cm	30	規模cm		21×20
	状態	やや緩やか	特記事項		
出土遺物 (第123・124図) 壺甕 高坏					
特記事項					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物	

⑥8 S B 97 (第47図)

検出位置		AF-6	覆土	単層10YR5/6黄褐色土	
重複	切る	なし	住居内施設	床面	中央部堅固な貼床
	切られる	SB95・SD19		主柱穴	P1~P3
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴	
	規模m	4.5×5.0		入口	
	主軸	N27°W		炉・竈	形状
	壁高cm	23	規模cm		38×37
	状態	ほぼ垂直	特記事項		
出土遺物 (第124・140図) 甕 高坏 他成績婦 分銅形石斧 (混入品)					
特記事項					
時期	古墳時代中期後半		根拠	出土遺物・住居址形態	

⑥9 S B 98 (第48図)

検出位置		AE-22	覆土	単層	
重複	切る	SB92・93・99	住居内施設	床面	堅固で明確
	切られる	なし		主柱穴	P1・P2
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴	
	規模m	5.4×(3.8)		入口	
	主軸	N11°E		炉・竈	形状
	壁高cm	56	規模cm		94×100
	状態	ほぼ垂直	特記事項		
出土遺物 (第124・149図) 壺 甕 坏 白玉					
特記事項 住居の半分以上が流失					
時期	古墳時代後期		根拠	出土遺物	

(3)平安時代

①S B05 (第49図)

検出位置		AO-35	覆土	単層10YR4/2黄褐色土(10YR6/6明黄褐色土が5%混じる)	
重複	切る	なし	床面	中央部堅固であるが全体にグライ化しており不明瞭	
	切られる	なし			
規模・形状	プラン	隅丸長方形	住居内施設	主柱穴	
	規模m	4.4×3.4		不明	
	主軸	N58°E		貯蔵穴	
	壁高cm	28	炉・竈	入口	
	状態	やや緩やか		形状	
				規模cm	
			特記事項		
出土遺物(第125図) 土師器長胴甕・甕 須恵器坏					
特記事項					
時期	平安時代前半		根拠	出土遺物	

②S B06 (第49図)

検出位置		AU-40	覆土	単層10YR4/2灰黄褐色土(10YR6/6明黄褐色土が1%混じる)	
重複	切る	なし	床面	明確であるか軟弱	
	切られる	SD12			
規模・形状	プラン	隅丸長方形	住居内施設	主柱穴	
	規模m	5.0×3.8		不明	
	主軸	N66°E		貯蔵穴	
	壁高cm	15	炉・竈	入口	
	状態	やや緩やか		形状	
				規模cm	
			特記事項		
出土遺物(第125図) 土師器甕 須恵器甕・坏・蓋 編物石					
特記事項					
時期	平安時代前半		根拠	出土遺物	

③SB15 (第50図)

検出位置	AW-31	覆土	不明	
重切る	SB11・36	床面	不明瞭	
	切られる			なし
規模・形状	プラン	住居内施設	主柱穴	不明
	規模m		貯蔵穴	
	主軸		入口	
	壁高cm	炉・竈	形状	(石芯粘土竈)
	状態		規模cm	
			特記事項	火床が残存するのみ
出土遺物 図示できるものはない				
特記事項				
時期	平安時代か	根拠	切り合い	

④SB17 (第51図)

検出位置	BH-40	覆土	図版参照	
重切る	なし	床面	軟弱で不明瞭のため掘り過ぎてしまった。	
	切られる			SB37
規模・形状	プラン	住居内施設	主柱穴	なし
	規模m		貯蔵穴	
	主軸		入口	
	壁高cm	炉・竈	形状	新旧共に石芯粘土竈
	状態		規模cm	
			特記事項	残骸のみ
出土遺物 (第125・126・141図) 土師器長胴甕・甕 須恵器甕・坏・蓋 有肩扇状形石器				
特記事項 改築の跡が見られる。				
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物	

⑤ S B 30 (第50図)

検出位置		BB-41	覆土		単層	
重 複	切れる	なし	床面		堅固な貼床	
	切られる	なし	住 居 内 施 設	主柱穴	なし	
規 模 ・ 形 状	プラン	隅丸長方形		貯蔵穴	P1	
	規模m	4.4×3.3		入口		
	主軸	N54°W		炉 ・ 竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	36			規模cm	85×115
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第126図) 土師器長胴甕・甕・碗 須恵器坏 灰釉陶器皿						
特記事項						
時期	平安時代前半		根拠	出土遺物		

⑥ S B 31 (第52図)

検出位置		BJ-35	覆土		10YR4/2灰黄褐色土(10YR6/6明黄褐色土が3%混じる)	
重 複	切れる	なし	床面		堅固な貼床	
	切られる	なし	住 居 内 施 設	主柱穴	P1~P4	
規 模 ・ 形 状	プラン	隅丸長方形		貯蔵穴		
	規模m	4.2×5.5		入口		
	主軸	N59°E		炉 ・ 竈	形状	(石芯粘土竈)
	壁高cm	11			規模cm	100×120
	状態	緩やか			特記事項	上部削平のため、詳細不明
出土遺物 (第126・127図) 土師器長胴甕・甕 須恵器坏						
特記事項						
時期	平安時代前半		根拠	出土遺物		

⑦ S B 35 (第52図)

検出位置	BB-28	覆土	単層10YR5/3鈍い黄褐色土(10YR8/8黄橙色土がブロック状に混じる)		
重切る	S B 12	床面	堅固		
	切られる		なし	住居内施設	主柱穴
規模・形状	プラン	隅丸長方形	貯蔵穴		
	規模m	4.0×4.7		入口	
	主軸	N15°E		炉・竈	形状
	壁高cm	23	規模cm		
	状態	やや緩やか	特記事項		残骸のみ
出土遺物 (第127図) 土師器甕 須恵器長頸壺・坏・蓋					
特記事項					
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物		

⑧ S B 36 (第53図)

検出位置	AW-31	覆土	単層			
重切る	S B 11	床面	不明瞭のため掘り過ぎてしまった			
	切られる		S B 15	住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴			
	規模m	3.4×3.6		入口		P 6か
	主軸	N37°W		炉・竈	形状	
	壁高cm	27	規模cm			
	状態	ほぼ垂直	特記事項		火床が残存するのみ	
出土遺物 (第127図) 土師器甕・坏 須恵器坏 灰釉陶器碗 編物石						
特記事項 焼失却家屋						
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物			

⑨ S B 45 (第53図)

検出位置		B J - 44	覆 土		単層10YR4/4褐色土	
重 複	切 る	S B 44	床 面		竈前面が堅固	
	切られる	S B 46・49 S A 01	住 居 内 施 設	主 柱 穴	なし	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	隅丸方形		貯 蔵 穴	P 1	
	規 模m	5.2×(5.3)		入 口		
	主 軸	N43°W		炉 ・ 竈	形 状	(石芯粘土竈)
	壁 高cm	14			規 模cm	
	状 態	やや緩やか			特記事項	残骸のみ
出土遺物 (第127・141図) 土師器甕 須恵器甕・坏 袂入打製石庖丁						
特記事項 焼失却家屋						
時 期	平安時代前半		根 拠	出土遺物		

⑩ S B 46 (第53図)

検出位置		B I - 45	覆 土		削平されており不明	
重 複	切 る	S B 45	床 面		削平されており不明	
	切られる	S A 01	住 居 内 施 設	主 柱 穴		
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	不明		貯 蔵 穴	P 1	
	規 模m	3.3×(2.3)		入 口		
	主 軸	不明		炉 ・ 竈	形 状	
	壁 高cm	4			規 模cm	
	状 態	やや緩やか			特記事項	不明
出土遺物 (第127図) 須恵器坏						
特記事項 焼失却家屋						
時 期	平安時代前半		根 拠	出土遺物		

⑪ S B 47 (第54図)

検出位置	BH-46	覆土	削平されており不明			
重切る	なし	床面	部分的に堅固			
複切られる	S B 47	住居内施設	主柱穴	なし		
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	P 1	
	規模m		5.0×5.2	入口		
	主軸		N42°W	炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm		23		規模cm	100×(120)
	状態		ほぼ垂直		特記事項	
出土遺物 (第127・128図) 土師器長胴甕 須恵器甕・坏						
特記事項 焼失却家屋						
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物			

⑫ S B 49 (第54図)

検出位置	B J - 46	覆土				
重切る	S B 47・51	床面	中央部堅固な貼床			
複切られる	S K 12・15	住居内施設	主柱穴	なし		
規模・形状	プラン		隅丸方形	貯蔵穴	P 1	
	規模m		4.8×4.3	入口		
	主軸		N46°W	炉・竈	形状	(壁を掘込む石芯粘土竈)
	壁高cm		34		規模cm	87×75
	状態		ほぼ垂直		特記事項	破壊されており詳細は不明
出土遺物 (第128図) 土師器甕・坏・皿 須恵器長頸壺・甕・坏・碗 灰釉陶器碗・皿						
特記事項 焼失却家屋 墨書 (判読不能) のある灰釉陶器出土						
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物			

⑬ S B 59 (第55図)

検出位置		BX-1	覆土			
重複	切る	S B 77・84・85	床面		不明瞭	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(方形)		貯蔵穴		
	規模m	4.1×(4.0)		入口		
	主軸	不明		炉・竈	形状	
	壁高cm	43			規模cm	
	状態	やや緩やか			特記事項	不明
出土遺物 (第128図) 灰釉陶器碗						
特記事項						
時期	平安時代前半		根拠	出土遺物		

⑭ S B 67 (第55図)

検出位置		BJ-5	覆土		単層10YR3/4暗褐色土	
重複	切る	なし	床面		明確	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	P 4	
	規模m	4.2×4.2		入口		
	主軸	N41°E		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	50			規模cm	70×160
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第128・129・141図) 長胴甕 須恵器甕・坏 灰釉陶器長頸壺・碗・蓋 袂入打製石庖丁 有肩扇形状石器						
特記事項						
時期	平安時代前半		根拠	出土遺物		

⑮ S B 68 (第56図)

検出位置		BN-4	覆土		単層10YR4/2灰黄褐色土	
重複	切れる	SB80・82	床面		不明瞭で軟弱	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン	隅丸長方形		貯蔵穴	なし	
	規模m	3.8×3.5		入口		
	主軸	N120°E		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	37			規模cm	100×70
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第129・148図)						
灰釉陶器碗・皿						
横刃型石器 編物石						
石製紡錘車						
特記事項						
時期	平安時代後半		根拠	出土遺物・住居址形態		

⑯ S B 70 (第56図)

検出位置		BT47	覆土			
重複	切れる	SB74・78	床面		不明瞭	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	P1～P3・P5	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	P4	
	規模m	3.6×3.8		入口		
	主軸	N50°W		炉・竈	形状	壁を掘り込む石芯粘土竈
	壁高cm	23			規模cm	100×50
	状態	ほぼ垂直			特記事項	
出土遺物 (第129図)						
土師器甕・坏・皿 灰釉陶器碗						
特記事項						
時期	平安時代前半		根拠	出土遺物		

⑰ S B 71 (第57図)

検出位置	BW-48	覆土	削平されている			
重複	切る	なし	床面	不明瞭		
	切られる	S B 72	住居内施設	主柱穴	なし	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴		
	規模m	(3.9) × (4.1)		入口		
	主軸	不明		炉・竈	形状	不明
	壁高cm	0			規模cm	
	状態	壁なし			特記事項	芯材の堀方と思われるものが残る
出土遺物 (第129図) 須恵器坏						
特記事項						
時期	平安時代前半	根拠	出土遺物・切り合い			

⑱ S B 72 (第58図)

検出位置	BX-48	覆土				
重複	切る	S B 71・76・81・84	床面	堅固な貼床		
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	隅丸長方形		貯蔵穴	P 7	
	規模m	3.4 × 3.9		入口		
	主軸	N138°W		炉・竈	形状	石芯粘土竈
	壁高cm	9			規模cm	88 × 150
	状態	緩やか			特記事項	
出土遺物 (第129図) 土師器坏・碗 灰釉陶器皿						
特記事項 焼失却家屋						
時期	平安時代後半	根拠	出土遺物			

①9 S B 74 (第57図)

検出位置		BS-47	覆土	単層10YR4/2灰黄褐色土	
重	切る	SB78・79	床	面	
	切られる	SB70		堅固な貼床	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	主柱穴	不明
	規模m	4.4×4.7		貯蔵穴	P9か
	主軸	N43°E		入口	
	壁高cm	44	炉・竈	形状	
	状態	ほぼ垂直		規模cm	
				特記事項	竈は切り合いのため破壊されており不明
<p>出土遺物 (第129・130図)</p> <p>土師器長胴甕・坏・碗・皿 須恵器甕・坏・皿 灰釉陶器長頸壺・碗・皿 手づくね土器</p>					
<p>特記事項</p> <p>P9より大量に遺物が出土している。</p>					
時期	平安時代前半		根拠	出土土器	

②0 S B 76 (第59図)

検出位置		AA-48	覆土	単層10YR5/4鈍い黄褐色土	
重	切る	SB81	床	面	
	切られる	SB72		明確で堅固	
規模・形状	プラン	隅丸長方形	住居内施設	主柱穴	なし
	規模m	4.1×3.6		貯蔵穴	
	主軸	N49°E		入口	
	壁高cm	18	炉・竈	形状	壁を掘り込む粘土竈
	状態	緩やか		規模cm	130×85
				特記事項	
<p>出土遺物 (第131図)</p> <p>長胴甕</p>					
<p>特記事項</p>					
時期	平安時代前半		根拠	住居址形態	

②S B87 (第59図)

検出位置		AD-8	覆 土			
重 複	切 る	なし	床 面		堅固で明確	
	切られる	S B95	住 居 内 施 設	主 柱 穴	不明	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	(隅丸方形)		貯 蔵 穴		
	規 模m	(2.8)×4.8		入 口		
	主 軸	不明		炉 ・ 竈	形 状	
	壁 高cm	13			規 模cm	
	状 態	ほぼ垂直			特記事項	不明
出土遺物 (第131図) 土師器甕 須恵器坏						
特記事項						
時 期	平安時代前半		根 拠	出土土器		

(4)不明

①S B03 (第60図)

検出位置		AR-29	覆 土		削平によりなし	
重 複	切 る	S B21	床 面		削平によりなし	
	切られる	なし	住 居 内 施 設	主 柱 穴	不明	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	(隅丸長方形)		貯 蔵 穴		
	規 模m	(4.7)×(3.9)		入 口		
	主 軸	(N23°E)		炉 ・ 竈	形 状	
	壁 高cm	0			規 模cm	
	状 態	不明			特記事項	竈らしき痕跡あり
出土遺物 図示できる遺物なし						
特記事項						
時 期	平安時代か		根 拠	切り合い		

② S B 24 (第60図)

検出位置		AT-30	覆土			
重複	切る	SB22	床面			
	切られる	不明	住居内施設	主柱穴		
規模・形状	プラン			貯蔵穴		
	規模m			入口		
	主軸			炉・竈	形状	
	壁高cm				規模cm	
	状態				特記事項	
出土遺物 なし						
特記事項 鍛冶遺構と思われるが詳細不明						
時期	不明		根拠			

③ S B 34 (第60図)

検出位置		BQ-29	覆土			
重複	切る	なし	床面		ほぼ削平されている。	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(方形)		貯蔵穴		
	規模m	4.0×(2.5)		入口		
	主軸	不明		炉・竈	形状	
	壁高cm	6			規模cm	
	状態	緩やか			特記事項	不明
出土遺物 (第131図) 土師器底部						
特記事項						
時期	不明		根拠			

④ S B 38 (第60図)

検出位置		AW-42	覆土			
重複	切れる	なし	床面		不明瞭で軟弱	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	不整形		貯蔵穴		
	規模m	3.9×4.0		入口		
	主軸	不明		炉・竈	形状	
	壁高cm	14			規模cm	
	状態	やや緩やか			特記事項	なし
出土遺物 (第131図) 土師器甕						
特記事項 住居址の可能性が低い						
時期	古墳時代か		根拠			

⑤ S B 57 (第61図)

検出位置		BP-1	覆土		削平によりなし	
重複	切れる	なし	床面		堅固な貼床	
	切られる	なし	住居内施設	主柱穴	不明	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)		貯蔵穴		
	規模m	(3.6)×(3.8)		入口		
	主軸	不明		炉・竈	形状	
	壁高cm	0			規模cm	
	状態	不明			特記事項	不明
出土遺物 なし						
特記事項						
時期	不明		根拠			

⑥ S B 94 (第61図)

検出位置		A I - 22	覆 土			
重 複	切 る	なし	床 面		明確であるが軟弱	
	切られる	S B 93	住 居 内 施 設	主 柱 穴	P 2か	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	(隅丸方形)		貯 蔵 穴		
	規 模m	(2.0) × (1.8)		入 口		
	主 軸	N20°E		炉 ・ 竈	形 状	地床炉
	壁 高cm	20			規 模cm	30 × 29
	状 態	やや緩やか			特記事項	
出土遺物 なし						
特記事項 遺構の大半が流失している						
時 期	古墳時代の可能性強い		根 拠	住居址形態		

⑦ S B 99 (第61図)

検出位置		A E - 23	覆 土			
重 複	切 る	なし	床 面		明確であるが軟弱	
	切られる	S B 93・98	住 居 内 施 設	主 柱 穴	不明	
規 模 ・ 形 状	プ ラ ン	(方形)		貯 蔵 穴		
	規 模m	(3.2) × (2.1)		入 口		
	主 軸	不明		炉 ・ 竈	形 状	
	壁 高cm	56			規 模cm	
	状 態	やや緩やか			特記事項	不明
出土遺物 なし						
特記事項						
時 期	古墳時代の可能性が強い		根 拠	周囲の遺構の状況		

3. 掘立柱建物址 (S T)

No.	図No.	検出位置	重 複	規 模 (梁行×桁行)m 桁 行 方 向	柱間m 上梁 下桁	覆 土	時代・時期	出土 遺物	備 考
1	62	A U - 46	S B 40切る	2.9×2.9	1.45 1.45		平安時代	なし	時期決定は切り合いと周囲の状況
2	62	A Y - 46	S B 40切る	3.4×3.6	1.7 1.8		平安時代	なし	時期決定は切り合いと周囲の状況
3	63	B B - 47	S B 40・48 切る	3.7×3.2	1.9 1.6		平安時代	なし	時期決定は切り合いと周囲の状況
4	63	B B - 48	S B 48切る	3.4×3.2	1.7 1.6		平安時代	なし	時期決定は切り合いと周囲の状況
5	64	B C - 49	S B 42切る	3.3×3.1	1.7 1.6		平安時代	なし	時期決定は切り合いと周囲の状況
6	64	A J - 14	S B 63切る	3.3×1.4	1.6 0.7		中世	なし	時期決定は覆土より

4. 溝 址 (S D)

No.	図No.	検出位置	重 複	規 模 (長×大幅×大深)m (小幅×小深)	主 軸	覆土	時代・時期	出土 遺物	備 考
12	65	A Y - 33	S B 06・14・18・28 切る	80×4×0.2 1×0.1	N135°E		不明	なし	
13	65	B D - 28	S B 18	(8.1)×0.9×0.1 0.8×0.1	N126°E		不明	なし	
14	65	A R - 28	S B 03・13・21 切る	(9.1)×1.1×0.1 0.5×0.1	N57° E N132°E N 7° E		不明	なし	
15	66	A C - 43	なし	(9.6)×1.6×0.2 1.2×0.2	N51° W		不明	なし	
16	66	A K - 14		(11.4)×0.8×0.4 0.4×0.02	N44° E		不明	なし	
17	66	A P - 11	なし	5.3×0.7×0.1 0.4×0.02	N37° E		不明	なし	
18	66	A L - 11	なし	(4.8)×1.1×0.2 0.3×0.1	N44° E		不明	なし	
19	67	A H - 5	S B 96切る	(11.7)×1.8×0.4 0.6×0.01	N104°E		不明	なし	

No.	図No.	検出位置	重 複	規模(長×大径×大深)m (小径×小深)	主 軸	覆土	時代・時期	出土 遺物	備 考
20	68	AN-5	SK23・32 切られる	12×2.1×0.2 0.7×0.1	N38° E		不明	なし	
21	68	AQ-9		4.7×0.4×0.1 0.3×0.6	N52° E		不明	なし	

5. 集 石 (S I)

No.	図No.	検出位置	規模(長軸×短軸×深)cm	形 態	時代・時期	出 土 遺 物	備 考
01	69	BM-22	110×105×41	円 形	縄文か	なし	
02	69	BW-36	146×130×72	円 形	縄文か	なし	
03	69	AE-27	102× 77×27	楕円形	縄文か	なし	
04	70	AE-26	203× 58×24	瓢箪形	縄文か	なし	
05	69	AP-0	176×163×22	円 形	縄文か	なし	
06	69	AT-33	276× 95×-	不定形	不明	なし	

6. 土 坑 (S K)

No.	図No.	検出位置	規模(長軸×短軸×深)cm	形 態	時代・時期	出 土 遺 物	備 考
01	71	BA-40	150 ×125× 26	円 形		なし	
02		欠 番					
03	71	BB-32	97 × 92× 70	円 形	近世	人骨・木棺片・キセル・銭	近世墓
04	71	BB-32	100 × 97× 53	円 形	近世	人骨・木棺片・キセル・銭	近世墓
05	71	BC-32	93 × 90× 40	円 形	近世	木棺片・銭・櫛	近世墓
06	71	BD-32	100 ×100× 90	円 形	近世	人骨・木棺片	近世墓
07	71	BD-33	90 × 87× 77	円 形	近世	人骨・キセル	近世墓
08	71	BC-32	87 × 87× 74	円 形		横刃型石器	近世墓か
09	71	BD-32	100 × 95× 70	円 形		なし	近世墓か
10	72	BD-33	(127) × 96× 41	楕円形		なし	近世墓か
11	72	BD-33	102 × 95× 70	円 形		なし	近世墓か
12	72	BK-46	128 ×108× 30	楕円形	近世	人骨・火打石・キセル・銭	近世墓
13	73	BL-47	126 × 70× 45	不定形	近世	人骨・銭	近世墓
14	73	BK-47	104 × 75× 40	不定形	近世	人骨	近世墓
15	72	BK-46	100 × 79× 54	円 形	近世	人骨	近世墓
16	72	BB-48			近世	人骨・木棺片・銭	近世墓

No.	図No.	検出位置	規模(長軸×短軸×深)cm	形態	時代・時期	出土遺物	備考
17	72	BA-48			近世	銭	近世墓
18	72	BK-46	100× 83× 47	隅丸長方形	近世	人骨・木棺片・キセル・銭	近世墓
19	72	BU-3	80× 76× 24	円形	近世	人骨・木棺片・キセル・銭	近世墓
20	74	BJ-3	85× 70× 22	円形	古墳中期後半	小型丸底壺・高坏・双口土器	
21	74	AD-48	67× 58× 32	円形	平安	長胴甕	時期決定は出土遺物より
22	74	AE-47	80× 70× 23	円形	平安	長胴甕・須恵器坏	時期決定は出土遺物より
23	74	BW-6	160× 69× 15	隅丸方形	近世	人骨・木棺片・柄鏡・銭	近世墓
24	74	BV-6	94× 94× 48	円形	近世	木棺片	近世墓
25	74	AE-8	150× (50)× 57	不定形	近世か	磁器碗・播鉢・挟入打製石庖丁	近世墓か
26	74	AE-9	(87)× 76× 44	楕円形	平安	灰釉陶器碗	時期決定は出土遺物より
27	74	BV-23	155× 112× 40	隅丸方形		なし	
28	75	BV-24	75× 67× 35	隅丸方形		なし	
29	75	AF-29	85× 77× 20	円形		なし	
30	75	AH-26	70× 65× 23	円形		なし	
31	75	BU-23	130× (87)× 20	隅丸方形		なし	
32	75	AN-5	132× 80× 5	不定形	近世	人骨・櫛・銭	近世墓
33	75	AM-5	97× 85× 47	円形			

7. 土器集中区

①土器集中区1 (第76・132・141 図)

AS-32を中心として検出した。4.5 m×1 mの範囲に土器・礫が中心に出土した。出土遺物から古墳時代後期に位置付けられる。

②土器集中区2 (第77・132・141 図)

BG-44を中心に、1.8 m×1.5 mの範囲で検出した。本址も土器集中区1と同様、土器・礫が中心に出土している。出土遺物から古墳時代後期後半に位置付けられる。

8. 杭列址 (SA)

①SA01 (第78図)

BN-41を中心として検出し、総延長は24.5mを測る。覆土の状況から近世から現代にかけての遺構と思われるが、性格等は不明である。

9. ピット (第79～93図)

個々の説明は割愛するが、全てのピットを掲載してある。

10. 土層観察表

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壤 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
S B56 炉	1		焼土	SiCL	ややあり	ややあり	10YR4/4(褐色土)と炭が30%混じる
	2	10YR4/4	褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	
S B63 炉	1						灰・炭化物混じる 硬く焼きしまる
	2		焼土				
S B100 炉	1		焼土				
S B01 竈	1	10R4/4	赤褐色土		なし		灰・骨片・焼土等から成る層 火床 硬くしまる
	2	10R5/8	赤色土				
S B02 竈	1	10YR5/2	灰黄褐色土	SiC			炭化物等含まず φ1cm大の焼土ブロック及び炭化物粒子多量に含む 火床 硬く焼きしまる 焼土ブロック多量に含む 竈堀方 石組を支える粘土部分と思われる
	2	10YR3/1	黒褐色土	SiC			
	3	10R5/8	赤色土				
	4	10YR5/4	鈍い黄褐色土				
	5	10YR7/6	明黄褐色土				
S B04 炉	1	10YR6/3	鈍い黄橙色土	SiC	なし	なし	10YR7/6明黄褐色土ブロックが全体の80%位モザイク状に混じる 10YR7/6明黄褐色土ブロックが約10%・炭化物等少し混じる
	2	10YR4/1	褐灰色土	SiC	なし	なし	
	1		焼土				
	2						
S B09 炉	1	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiCL	ややあり	なし	10YR7/8(黄橙色土)が5%混じる 炭多量に混じる 炭・焼土多量に混じる 10YR7/8(黄橙色土)が10%混じる 焼土・炭化物なし φ1cm大の焼土粒含む φ1cm大の焼土粒及び炭化物80%混じる ほぼ焼土・炭化物で構成される層
	2	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiCL	ややあり	なし	
	3	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiCL	ややあり	なし	
	4	10YR4/3	鈍い黄褐色土				
	5	10YR3/3	暗褐色土	SiCL	ややあり	なし	
	6	10YR6/8	明黄褐色土	SiCL	ややあり	なし	
	7	10YR5/1	褐灰色土	SiC	あり		
	8	10YR7/3	鈍い黄橙色土	SiC	ややあり	ややあり	
	9	10YR6/4	鈍い黄橙色土		なし		
	10	10YR3/1	黒褐色土		なし		
	11	10YR2/1	黒色土				
S B10	1	10YR4/1	褐灰色土	SiC			炭化物等含まない φ5mm位の炭化物粒約5%混じる 炭化物粒混じる
	2	10YR6/4	鈍い黄褐色土	SiC	ややあり	ややあり	
	3	10YR7/4	鈍い黄褐色土	SiC	あり	あり	
	4	10YR5/1	褐灰色土			あり	
	5	10YR7/6	明黄褐色土		なし		

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壤 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
S B10 炉 (新旧)	6	10YR5/2	灰黄褐色土				φ5mm位の炭化物粒少し混じる
	7	10YR4/2	灰黄褐色土		なし		焼土粒・炭化物40%混じる
	8	10YR4/1	褐灰色土				焼土粒・炭化物30%混じる
	9	10YR6/6	明黄褐色土				焼土・炭化物やや混じる
	1		硬化した焼土				
S B11 竈	1		焼土				
	2	10YR5/8	黄褐色土	SiCL	ややあり	なし	焼土が混じる
S B12 竈	1	10YR6/4	鈍い黄褐色土	SiL	なし	なし	φ0.5mm炭化粒・焼土少々混じる ポソポソしてる 住居址の覆土
	2		炭				φ1mm位焼土粒50%炭化物少々混じる
	3		炭				焼土粒が多い
	4	2.5R5/8	明赤褐色土				硬い 火床
	5	10YR4/1	褐灰色土		なし		10YR7/4(鈍い黄橙色土)のブロック混ざりあった層
	6	10YR5/1 10YR7/4	褐灰色土 鈍い黄橙色土				炭化物少々混じる 袖石堀方
S B13 竈	1	10YR5/1	褐灰色土		なし		炭化物10%焼土粒たくさんから成る層
	2	10YR4/1	褐灰色土				灰が多くパサパサしている
	3	10YR6/2	灰黄褐色土		なし		10YR6/1(褐灰色土)の灰約50%焼土粒50%混じる
	4	2.5YR6/4	鈍い橙色土		なし		同色の焼土がほとんどを占める 少し灰が混じる
	5	2.5YR5/8	明赤褐色土				火床 硬く焼きしまる
	6	10YR5/3	鈍い褐色土				
	7	10YR5/2	灰黄褐色土				
	8	10YR4/1	褐灰色土				ごくわずかに炭化物・焼土混じる 袖石の堀方
	9						
S B14 竈	1	10YR5/1	褐灰色土				焼土粒と炭化物等混じる
	2	10YR6/3	鈍い黄橙色土				焼土粒(φ1cm大)から成る層
	3		焼土				火床
	4	10YR4/6	赤褐色土				火床 硬く焼きしまる
	5	2.5YR2/3	極暗赤褐色土				灰・焼土粒が混じる層 パサパサ
	6	10YR4/1	黒褐色土		なし		灰・焼土混じる
S B16 竈	1	10YR3/4	暗褐色土	SiL	ややあり	なし	
	2	10YR4/4	褐色土	SiL	ややあり	なし	
	3	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiL	ややあり	なし	
	4	10YR4/4	褐色土	SiL	なし	なし	10YR5/6(黄褐色土)が10%混じる
	1		灰・炭				
	2		焼土				

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壤 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
S B18 竈	1	2.5YR5/8	明赤褐色土				火床 硬く焼きしまる φ0.5mm位の炭化物等わずかに混じる φ1cm大の2.5YR6/2(灰赤色土)ブロックが80%炭化物粒子灰等が混じる
	2	10YR5/1	褐灰色土				
	3	5YR6/4	鈍い橙色土				
S B19 竈	1	5YR5/4	鈍い赤褐色土	SiC	なし		炭化物・焼土粒・灰からなる層 焼土粒や10YR4/1(褐灰色土)ブロックがほだらに混じる 火床 硬く焼きしまる
	2	10YR7/4	鈍い黄橙色土				
	3	2.5YR5/6	明赤褐色土				
S B20 竈	1	5YR6/3	鈍い赤褐色土				5YR5/1(褐灰色土)ブロック(焼土・灰の混合物)焼土ブロック多量に混じる 土器などが混じる 火床・硬く焼きしまる φ5mm位の焼土粒等混じる 竈の堀方? 竈の構築材?
	2	5YR4/1	褐灰色土				
	3	5YR6/8	橙色土				
	4	7.5YR6/4	鈍い橙色土				
	5	10YR6/1	褐灰色土	SiC		やや強い	
	6						
S B21 竈	1	10YR4/6	褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	10YR6/8(明黄褐色土)が7%混じる
	2	10YR6/8	明黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	10YR4/6(褐色土)が5%混じる
	1	10YR6/1	褐灰色土		なし		灰100%炭化物・骨片等わずかに混じる
	2	5YR6/4	鈍い橙色土				焼土粒・炭化物・灰等からなる層
	3	2.5YR5/6	明赤褐色土				火床 硬く焼きしまる
	4	2.5YR5/1	赤灰色土		なし		10YR6/6(明黄褐色土)ブロック炭化物等混じる
S B22 炉	1		焼土				
S B26 竈	1		焼土				
S B27	1	10YR3/1	黒褐色土	SiC	あり		炭化物等含まない φ1cm大の炭化物約10%混じる
	2	10YR6/3	鈍い黄褐色土	SiC			
	3	10YR6/4	鈍い黄褐色土	SiC	あり		
S B29 竈	1		焼土・灰・炭化物				混入物なし 混入物なし 支脚堀方 炭化物・灰・焼土混じる 火床の堀方? 火床 硬く焼きしまる
	2	10YR7/6	明黄褐色土		なし		
	3	10YR5/1	褐灰色土				
	4	10YR6/1	褐灰色土				
	5	2.5YR5/6	赤褐色土				
S B32 炉	1		焼土				
	2		灰				
S B33 炉	1		焼土				
	2		焼土・灰				
S B37	1	10YR5/1	褐灰色土	SiC	あまりなし		炭化物等含まない
	2	10YR6/4	鈍い黄橙色土	SiL	なし	なし	

遺構名	層	JIS標準色票	土壌色	土性	しまり	粘性	備考
S B37 炉	3	10YR5/2	灰黄褐色土				φ1mmの焼土粒・炭化物粒多い 土器片・炭化物粒少量混じる 焼土30% 炭化物も多い 10YR4/1(褐灰色土)ブロック・10YR7/6(明黄褐色土) ブロック共に約30%混じるボソボソしている
	4	10YR5/3	鈍い黄褐色土		なし	なし	
	5	10YR5/2	灰黄褐色土				
	6	10YR4/2	灰黄褐色土				
	7	10YR4/1	褐灰色土		なし	なし	
	8			炭			
	9			焼土			
	1			焼土			
	S B39	1	10YR5/3	鈍い黄褐色土	SiL	少ない	
2		10YR6/4	鈍い黄橙色土			強い	
3		10YR3/1	黒褐色土		あり		
4			焼土・炭化物				
S B40 炉	1	10YR4/1	褐灰色土	SiC		ややあり	地山ブロック及び炭化物・焼土粒わずかに混じる 焼土ブロック・灰・炭化物等多量に混じる 土器片・石等混じる
	2	10YR6/1	褐灰色土			やや強い	
	1		焼土				
S B41 竈	1	10YR5/1	褐灰色土				φ1cmの地山ブロックを多量に含む 焼土等も混じる 硬く焼きしめる部分とブロック状に焼土粒が混じる部分が見られる 竈構築材か？ 灰層・焼土・灰・炭化物等混じる 硬く焼きしめる 支脚の堀方 混入物なし 火床 硬く焼きしめる
	1	2.5YR6/8	橙色土				
	2	10YR7/6	明黄褐色土				
	3	10YR5/1	褐灰色土				
	4	2.5YR6/8	橙色土				
	5	10YR6/1	褐灰色土				
S B42 竈	1	10YR7/3	鈍い黄褐色土			強い	竈構築材の粘土 硬く焼きしめる 焼土粒・灰・炭化物から成る層 灰等含まない 袖石の後？ φ5mm~1cm大の焼土粒が混じる 煙道内部の土 火床・硬く焼きしめる
	2						
	3	2.5YR6/8	橙色土				
	4	10YR5/1	褐灰色土				
	5	10YR5/1	褐灰色土				
	6	10YR4/1	褐灰色土				
	7	2.5YR5/8	明赤褐色土				
S B44 炉	1		焼土				
	2		攪乱				
S B48	1	10YR5/1	褐灰色土				φ5mm~1cm大の地山ブロック炭化物混じる 1cm大の地山ブロック混じる 埋め戻した土 炭化物・焼土・灰等混じる 粘土の固まり
	2	10YR6/4	鈍い黄褐色土				
	3	10YR5/3	鈍い黄褐色土				
	4	10YR8/4	浅黄橙色土				

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壤 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
S B50 竈	1	10YR3/2	黒褐色土	SiCL			10YR6/6(明黄褐色土)3%混じる
	2	10YR6/6	明黄褐色土				10YR3/2(黒褐色土)が15%混じる
	3	10YR2/2	黒褐色土	SiCL			
	4	10YR2/2	黒褐色土				10YR6/6(明黄褐色土)が15%混じる
	1	10YR5/3	鈍い黄褐色土				地山ブロック・焼土粒等混じる 煙道内部の土
	2	2.5YR6/8	橙色土				焼土がほとんど硬い
	3	10YR7/4	鈍い黄褐色土				竈構築土
	4						
	5	10YR4/1	褐灰色土				焼土・炭化物等混じる
	6	10YR6/4	鈍い黄橙色土				混入物あまりない
	S B52 炉	1		焼土			
S B54 炉	1		焼土				
	2		焼土・炭				
S B55 炉	1		焼土				
	2		灰				
S B58 炉	1		焼土・灰				
	2		焼土				
S B60 炉	1		焼土				
S B62 炉	1		焼土				
S B64 炉 (新旧)	1		焼土				
S B69 炉	1		焼土・炭・灰				
S B73 炉	1		炭				褐色土混じる
	2		焼土				かなり硬化している
S B75 炉	1		炭・灰				黒くなる
	2		焼土				硬く焼きしまる
S B77 炉	1		焼土				
S B78 炉	1		焼土・炭・灰				
	2		焼土				
S B80 竈	1	2.5Y5/4	黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	
	2	2.5Y5/4	黄褐色土	SiCL			焼土・炭が混じる
	3	2.5Y5/6	黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	焼土・炭混じる
	4		焼土				
	5	10YR5/3	鈍い黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	炭が少々混じる
S B81 炉	1		焼土・灰				地山との境に部分的に焼けた部分が見られる
S B82 竈	1	10YR5/2	灰黄褐色土	SiCL	ややあり		

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壤 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
S B82 竈	2		焼土				黒みがかった焼土
	3		焼土・炭・灰				
	4	10YR3/2	黒褐色土				焼土粒混じる
	5	2.5Y6/4	鈍い黄色土	SiCL	ややあり	なし	
	6		焼土				硬化している
S B83 炉	1		灰				
	2		焼土				
S B85 炉 (新旧)	1	2.5Y5/4	黄褐色土				炭混じる
	2		焼土・炭				
	3		焼土				
S B89 竈	1	10YR3/2	黒褐色土	SiL			シルト質壤土 焼土混じる
	2	5YR5/6	明赤褐色土				焼土
S B90 炉	1		焼土				
S B91 竈	1		焼土				
	2		焼土・炭				
S B93 炉	1		焼土				
S B95新炉 旧炉	1		焼土				
	2	2.5Y5/4	黄褐色土	SiCL			焼土粒・炭が少々混じる
	1		焼土				
	2	10YR5/4	鈍い黄褐色土				焼土が混じる
S B96 炉	1		焼土				
S B97 炉	1	10YR5/3	鈍い黄褐色土				
	2	10YR4/3	鈍い黄褐色土				
	3		焼土				
S B98 竈	1		暗褐色土				灰
	2		焼土・炭				
	3		焼土				火床
	4		焼土				後で乗ったもの
S B06 竈	1	10YR5/6	黄褐色土				
	2		焼土				10YR5/6(黄褐色土)と炭が30%混じる
	3	10YR3/4	暗褐色土				
	4	10YR4/3	鈍い黄褐色土				
	5	10YR5/4	鈍い黄褐色土				
	6	10YR5/6	黄褐色土				10YR7/8(黄橙色土)が10%混じる
	7		焼土				10YR5/6(黄褐色土)と炭が20%混じる
	8		焼土				火床

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壤 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
S B06 竈	9		焼土				10YR5/6(黄褐色土)と炭が25%混じる
S B15 竈	1						火床
S B17 (新床面) 竈 (旧床面)竈	1	10YR4/6	褐色土	SiCL	あり	なし	10YR7/6(明黄褐色土)が7%混じる
	2	10YR4/6	褐色土	SiCL			10YR7/6(明黄褐色土)が15%混じる
	1		焼土・灰				
	2		焼土				火床
	1		焼土				火床
S B30 竈	1	10YR6/6	明黄褐色土	SiC	あり	ややあり	黒褐色の灰15%が混じった層 焼土10%混じる
	2	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiL	ややなし	ややあり	
	3	5YR5/6	明赤褐色土				石の堀方
	4	10YR6/4	鈍い黄橙色土	SiL	あり	なし	
S B31 竈	1	10YR4/3	鈍い黄褐色土	SiCL			焼土・炭粒が混じる
	2		焼土				10YR4/3(鈍い黄褐色土)が混じる
S B35 竈	1		焼土				褐色土がブロック状に入る
	2		暗褐色土				
	3		褐色土				
	4		焼土・炭				
	5		黄褐色砂質土				
S B45 竈	1	10YR5/1	褐灰色土				焼土ブロック・炭化物・灰等混じる
	2	10YR6/1	褐灰色土				混入物等含まない 袖石堀方?
	3	2.5YR5/8	明赤褐色土				火床 硬く焼きしまる
S B47 竈	1	10YR4/1	褐灰色土		なし	なし	φ1cm大の地山ブロック(黄色土)・焼土粒わずか混じる
	2	10YR3/1	黒褐色土		なし	なし	地山ブロック1層より多い
	3	10YR6/1	鈍い黄褐色土				焼土粒・炭化物混じる
	4	10YR5/2	灰黄褐色土		なし	なし	混入物なし
	5	10YR5/3	鈍い黄褐色土				地山ブロックたくさん入る pit
	1	10YR6/8	明黄褐色土	LiC	あり		火床 φ1mm程の炭化物やや混じる
	2	10YR5/6	黄褐色土	LiC	あり		φ1~3mm程の黄色ブロックφ1~2mm程の炭化物やや混じる
	3	10YR4/4	褐色土	SiC	ややあり		φ1~3mm程の炭化物やや混じる
	4	10YR5/8	黄褐色土	LiC	あり		φ1~2mm程の炭化物やや混じる
	5	10YR4/6	褐色土	SiC	あり		φ1~3mm程の炭化物やや混じる
S B49 竈	1	10YR5/4	鈍い黄褐色土	LiC	あり		φ1~4mm程の炭化物やや多い φ1~5mm程の黄色ブロックやや混じる
	2	10YR5/8	黄褐色土	LiC	あり		φ1~3mm程の炭化物やや混じる
	3	10YR4/4	褐色土	SiC	ややあり		φ1~8mm程の炭化物微少に混じる
	4	10YR6/8	明黄褐色土	LiC	あり		火床 φ1~3mm程の炭化物やや混じる
S B67 竈	1	10YR7/6	明黄褐色土				焼土粒混じる

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壤 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
S B67 竈	2		焼土				火床
	3	10YR8/6	黄橙色土				焼土粒混じる
	4	10YR5/3	鈍い黄褐色土				10YR7/6(黄橙色土)が5%混じる
S B68 竈	1		灰				焼土粒混じる
	2	10YR5/4	鈍い黄褐色土	SiCL	あまりなし	ややあり	焼土粒やや混じる
S B70 竈	1	2.5Y4/3	オリーブ褐色土	SiCL			
	2	10YR4/4	褐色土				10YR6/6(明黄褐色土)が5%ブロック状に混じる
	3		灰+焼土				
	4		焼土				火床
	5	10YR6/6	明黄褐色土				焼土粒混じる
	6		焼土				灰が混じる
S B72 竈	1		焼土				
	2	2.5Y5/2	暗灰黄色土		なし	なし	炭・焼土粒混じる
	3	2.5Y5/2	暗灰黄色土		なし	なし	焼土・炭多量に混じる
	4	2.5Y6/4	鈍い黄色土		なし	なし	2.5Y7/4(浅黄色土)がマーブル状に混じる
	5	2.5Y6/4	鈍い黄色土		なし	なし	焼土多量に混じる
S B76 竈	1		焼土				灰・炭が多量に混じる
	2		焼土				硬化していない
	3	2.5Y6/4	鈍い黄色土	SiCL	なし	なし	焼土・炭・灰が少々混じる
	4		炭・灰				
	5		焼土				硬化している 火床
S B03 竈	1		焼土				
S B24 炉	1	5BG5/1	青灰色土	HC			粘土によって構築された炉本体部 焼けて硬くまる
	2	2.5YR5/3	鈍い赤褐色土				焼けがしみた部分
S B94 炉	1		焼土				

S T01	1	10YR3/2	黒褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	
	2	10YR3/2	黒褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	10YR5/6(黄褐色土)が30%混じる
	3	10YR5/6	黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	10YR3/2(黒褐色土)が5%混じる
	4	10YR5/6	黄褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	

S D19	1	10YR4/3	鈍い黄褐色土				
	2	10YR6/3	鈍い黄橙色土				
	3	10YR4/1	褐灰色土				10YR6/4(鈍い黄褐色土)がブロック状に混じる
	4	10YR6/4	鈍い黄褐色土				
	5	10YR4/1	褐灰色土				10YR6/4(鈍い黄褐色土)がブロック状に混じる 3層より多い

遺構名	層	JIS 標準色票	土 壤 色	土 性	しまり	粘 性	備 考
SD19	6	10YR5/1	褐灰色土				
	7	10YR5/2	灰黄褐色土				

SI01	1		暗黄褐色粘質土				炭が多量に混じる
SI02	1	10YR4/6	褐色土	SiCL	あり	ややあり	φ1～4mm程の炭化物混じる
	2	10YR3/3	暗褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	φ1～5mm程の炭化物、φ1～4mm程の黄色ブロックやや混じる
	3	10YR3/4	暗褐色土	SiCL	ややあり	ややあり	φ1mm～3mm程の炭化物、φ1～5mm程の黄色ブロックやや混じる
	4	10YR4/3	鈍い黄褐色土	LiC	ややなし	あり	φ1～3mm程の炭化物微少に混じる
	5	10YR4/4	褐色土	LiC	ややあり	あり	φ1～3mm程の炭化物微少に混じる
	6	10YR5/6	黄褐色土	SiC	あり	あり	φ1～4mm程の炭化物微少に混じる
SI03	1	10YR5/4	鈍い黄褐色土	S	なし	なし	
SI04	1	10YR4/6	褐色土	SiL	なし	なし	
	2	10YR5/4	鈍い黄褐色土	SiL	なし	なし	
SI05	1	10YR4/4	褐色土				
	2	10YR5/3	鈍い黄褐色土				
	3	10YR7/4	鈍い黄橙色土				
	4	10YR6/4	鈍い黄橙色土				

10. 編物石計測表

遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材	遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材	
SB04	13.0	5.5	375	硬砂岩	09	13.5	5.5	270	硬砂岩	
	14.0	5.0	410	硬砂岩		15.5	7.0	840	硬砂岩	
	12.2	4.7	275	硬砂岩		14.0	8.0	1000	砂岩	
	15.0	6.0	560	不明		16.5	7.5	645	硬砂岩	
	16.5	7.5	520	砂岩		17.0	6.0	630	硬砂岩	
	14.0	7.0	550	砂岩	10	14.0	6.0	595	硬砂岩	
	16.0	6.0	490	不明		17.0	7.0	885	硬砂岩	
	12.0	6.0	350	砂岩	12	12.0	5.5	380	硬砂岩	
	12.0	5.5	400	硬砂岩		15.5	8.0	790	硬砂岩	
	15.3	6.5	720	不明		13.0	5.0	370	不明	
	14.0	5.0	505	硬砂岩		17.5	5.0	530	硬砂岩	
	16.0	7.5	840	不明		15.0	5.0	400	硬砂岩	
	14.5	6.0	630	不明		17.5	7.0	790	不明	
	20.5	7.0	1020	不明		17.0	5.5	810	不明	
07	17.5	5.5	730	硬砂岩	16.5	5.5	650	不明		
08	16.0	5.5	630	硬砂岩	18.0	5.5	730	不明		
	14.7	6.5	580	硬砂岩	15.5	6.5	755	不明		
	15.0	5.0	625	硬砂岩	13.5	5.5	655	砂岩		
	16.0	5.0	500	硬砂岩	13	14.2	5.0	410	硬砂岩	
	14.2	6.5	505	硬砂岩		14	17.0	7.0	1020	花崗岩
	16.5	4.5	450	硬砂岩			16.0	6.0	860	硬砂岩
	15.8	4.0	500	緑色岩	15.5		6.0	790	硬砂岩	
	15.5	6.0	505	砂岩	15.0		6.0	650	硬砂岩	
	16.0	5.5	700	硬砂岩	16	12.7	6.0	705	花崗岩	
	15.0	6.5	640	不明		17.0	7.5	800	緑色岩	
	16.5	7.5	815	硬砂岩		13.0	5.5	515	硬砂岩	
	15.0	6.5	505	硬砂岩		14.7	5.3	370	硬砂岩	
16.5	6.5	640	硬砂岩	15.0		6.0	560	硬砂岩		
09	16.0	5.0	615	硬砂岩	14.0	7.0	625	硬砂岩		
	15.5	5.5	765	硬砂岩	19	16.0	7.0	590	硬砂岩	
	12.5	5.5	485	緑色岩		12.8	5.5	450	硬砂岩	
	9.5	3.2	95	硬砂岩	20	12.8	4.0	330	緑色岩	
	15.0	6.0	665	硬砂岩		11.5	6.5	490	硬砂岩	
	15.5	6.0	550	不明		12.8	5.5	475	硬砂岩	

遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材	遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材
S B22	15.5	6.5	425	硬砂岩	39	17.0	6.0	430	緑色岩
	14.0	6.7	435	硬砂岩	40	15.5	4.0	360	硬砂岩
	18.5	6.0	640	不明		13.7	4.7	420	小砂岩
23	15.0	6.0	650	硬砂岩		17.5	5.5	500	砂岩
29	15.5	6.5	680	不明	41	15.5	5.5	475	不明
	15.5	7.0	700	硬砂岩	43	16.7	5.5	530	硬砂岩
	15.7	6.5	515	不明		15.0	5.7	650	硬砂岩
	14.5	7.0	700	硬砂岩		16.5	7.0	740	硬砂岩
	17.5	6.0	660	硬砂岩		14.3	5.0	565	硬砂岩
	8.5	4.5	260	不明		14.0	5.0	410	砂岩
	15.5	6.0	600	硬砂岩		13.5	4.8	400	硬砂岩
	17.0	6.5	810	硬砂岩		15.0	4.8	395	硬砂岩
	17.5	6.0	730	硬砂岩		16.0	5.8	490	硬砂岩
	18.0	6.5	800	硬砂岩		13.7	5.5	495	硬砂岩
	15.0	6.5	570	硬砂岩		16.0	6.0	500	不明
	14.5	6.5	590	硬砂岩		15.2	5.0	390	不明
	17.0	6.0	690	硬砂岩		17.3	6.5	715	硬砂岩
	14.5	6.5	660	硬砂岩		6.5	6.3	110	硬砂岩
14.0	6.5	620	不明	14.5		5.5	510	硬砂岩	
32	16.0	5.8	780	硬砂岩	15.7	6.0	480	硬砂岩	
33	16.0	7.0	670	硬砂岩	16.5	5.5	615	緑色岩	
	16.5	7.7	730	硬砂岩	16.5	5.0	400	硬砂岩	
	15.0	7.5	700	硬砂岩	14.5	4.0	515	硬砂岩	
	14.3	5.5	520	硬砂岩	15.3	4.0	520	硬砂岩	
	15.5	7.0	890	硬砂岩	14.0	6.0	340	硬砂岩	
	14.5	5.8	690	緑色岩	12.0	8.0	480	硬砂岩	
37	14.5	6.0	610	硬砂岩	6.5	3.5	50	硬砂岩	
	18.5	7.0	1080	硬砂岩	8.0	4.5	60	硬砂岩	
	16.0	6.0	815	砂岩	6.0	3.5	25	硬砂岩	
	18.0	7.0	1145	硬砂岩	9.0	7.5	110	硬砂岩	
	16.0	5.5	595	硬砂岩	3.0	3.0	25	砂岩	
	15.5	6.0	520	不明	7.5	3.0	40	硬砂岩	
	18.0	6.0	995	砂岩	10.8	5.0	215	砂岩	
	14.0	4.5	445	硬砂岩	16.0	6.5	535	砂岩	
	12.5	3.5	340	硬砂岩	6.5	5.0	125	不明	
	15.5	6.5	710	不明	15.0	5.0	450	不明	

遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材	遺構番号	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	石 材	
S B43	15.5	4.5	610	不明	65	18.0	5.5	680	硬砂岩	
	4.0	4.0	20	硬砂岩		15.0	5.0	270	硬砂岩	
	14.0	5.3	460	花崗岩		16.0	7.0	600	硬砂岩	
	15.2	5.0	400	硬砂岩		17.0	6.5	615	硬砂岩	
	14.5	6.0	550	硬砂岩		18.5	5.0	680	硬砂岩	
	15.0	4.8	410	硬砂岩		16.5	6.0	620	硬砂岩	
44	14.5	6.0	690	硬砂岩	14.5	4.0	480	硬砂岩		
	16.0	5.0	470	硬砂岩	17.5	4.0	620	硬砂岩		
	16.5	7.0	650	硬砂岩	18.0	4.5	610	緑色岩		
	15.0	6.5	560	硬砂岩	75	15.5	5.0	730	硬砂岩	
	18.0	6.0	825	硬砂岩		17.0	5.5	620	硬砂岩	
	10.5	7.0	395	硬砂岩		15.0	5.5	330	硬砂岩	
	14.5	6.0	470	不明	77	13.5	5.5	430	硬砂岩	
	13.0	7.5	745	硬砂岩		13.0	6.0	410	砂岩	
	17.0	6.0	810	不明		11.5	5.5	390	硬砂岩	
	17.2	5.0	370	不明		12.0	5.5	425	硬砂岩	
48	16.2	7.0	710	硬砂岩	13.0	6.2	450	硬砂岩		
50	16.0	6.5	527	硬砂岩	12.5	7.0	400	硬砂岩		
	9.8	5.5	235	硬砂岩	14.5	7.0	670	不明		
	9.5	4.5	200	硬砂岩	78	15.0	5.5	620	不明	
	16.0	6.5	580	硬砂岩		80	15.0	6.5	635	硬砂岩
	11.2	5.5	290	硬砂岩			15.0	5.0	350	硬砂岩
	10.0	5.3	248	硬砂岩	17.0		6.0	575	硬砂岩	
	10.3	5.0	200	硬砂岩	11.0		4.0	260	硬砂岩	
10.0	4.2	220	不明	15.7	6.0	550	不明			
60	15.2	5.7	470	硬砂岩	06	11.8	5.8	380	硬砂岩	
63	16.2	5.3	450	硬砂岩		16.5	5.0	395	硬砂岩	
	16.3	6.8	520	花崗岩		15.3	4.6	450	硬砂岩	
65	13.0	5.0	330	硬砂岩	13.5	3.3	175	硬砂岩		
	16.0	6.5	740	硬砂岩	36	14.5	5.0	520	硬砂岩	
	16.5	6.0	675	硬砂岩		68	14.0	6.0	435	硬砂岩
	11.7	9.0	470	砂岩	12.0		3.5	225	硬砂岩	
	17.0	7.5	1020	不明	15.5		7.0	590	硬砂岩	
	16.5	5.0	890	不明	16.5		5.0	470	硬砂岩	
	14.8	7.5	535	砂岩	13.0		5.0	390	不明	

IV ま と め

調査結果は以上の如くであるが、時間の制約・担当者の努力不足等で十分な調査結果の分析・検討ができなかったことは誠に遺憾であるが、発掘調査及び整理作業時に気付いた感想や疑問点及び問題点などを時代毎に掲げてまとめとする。

なお、本遺跡の立地は前述のとおり、天竜川に面した狭長な平坦面である。一部は天竜川流路により、欠失した部分もあるが遺跡の全体を調査し得たことを念頭に各時代を概括したい。

1. 縄文時代

今次調査では顕著な遺構・遺物は検出されなかったが、集石土坑は該期と考えられるが根拠はなく詳細は不明である。また、遺構外出土の遺物の中には該期のものが若干出土しているが、特に土器に関しては時間的制約で資料提示できなかった。

よって今次調査位置は、縄文時代に於いては中心的活動地とは考えがたい。

2. 弥生時代

竪穴住居址3軒（S B56・63・100）とそれに伴う遺物が確認された。時期的には出土遺物より、S B56・63がほぼ同時期で後期後半の中島式期新段階、S B100は中期中葉の北原式期にそれぞれ位置付けられると考えられる。

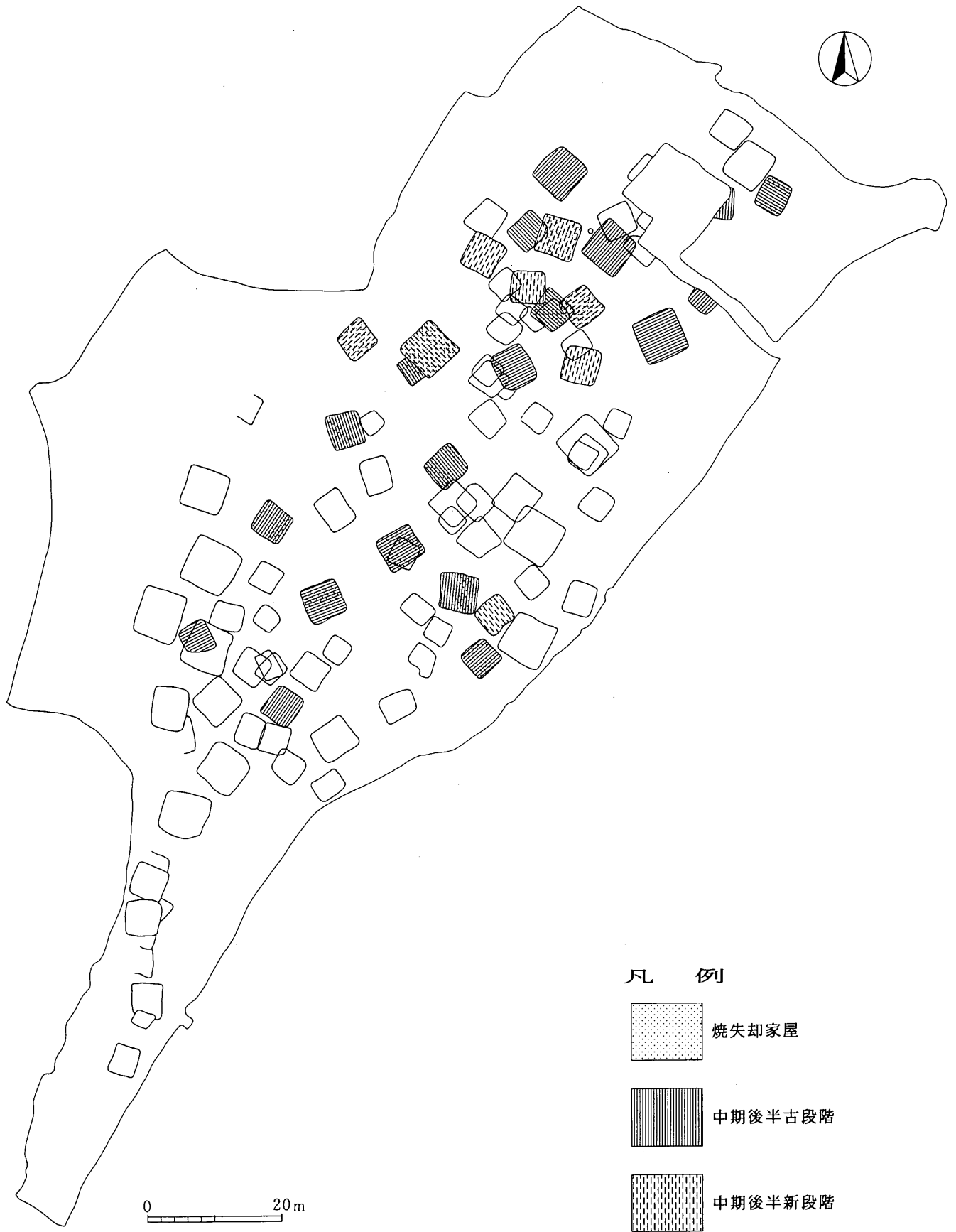
S B100 に関しては前述の如く炉址らしき箇所を調査したのみであり、且単独という点より今次調査地点に於ける位置付けは困難であるが、平成9年度治水対策事業に伴う井戸下遺跡に於て、時期が先行するが中期の阿島式期の住居址及び遺物が出土していることより、井戸下遺跡の調査報告により弥生中期の様相が明らかになると思われる。この井戸下遺跡は細新遺跡の天竜川のほぼ対岸に位置する遺跡であり、天竜川氾濫源隣接地域における遺跡の状況を考える上に重要である。

後期後半に位置付けられるS B56・63は調査区北東側でそれぞれ検出されており、これらが所属する集落が大規模なものであるとすれば、その位置はaトレンチで確認した湿地帯の北東側であるe・f・gトレンチを設定した周辺であろうと思われるが、前述の如く攪乱のため、詳細は不明である。

該期の遺物については当地域に普遍的に出土するものである。遺構についてはS B56炉址が当地域ではあまり見られない形態を有している。これは石組炉と呼ばれているもので当地域では5例目に当たる。

3. 古墳時代

該期については本遺跡の中心をなす時代であり、項目を細分することとする。



挿図1 古墳時代中期後半の集落変遷



挿図2 古墳時代後期の集落変遷

(1) 集落について

検出した住居址100軒中、69軒が該期に相当する。それらを遺構の重複状況と、『長野県史考古資料編』全1巻(4)遺構・遺物((財)長野県史刊行会 1988)を基準資料として出土遺物から集落の変遷を考えると、中期後半古段階・同新段階、後期古段階・同新段階の大きく4時期に分けられる。ただし、出土遺物量等により詳細な位置付けができなかった遺構も多い。故に後述する段階毎の遺構数は傾向としては捉えうるが、各期の戸数の確定にまでは至らない。

中期後半古段階に相当する遺構は住居址19軒・土坑1基と考えられる。これらの遺構はほぼ調査区中央部から北側にかけて分布している。主軸は2方向がある。次の中期後半新段階では住居址8軒とやや減少し、調査区北側に集中する。主軸は古段階と同様2方向と思われる。

後期古段階に至り、住居址6軒となり、調査区中央部からやや南側に移行し、新段階では住居址12軒がほぼ古段階と同様な分布を示す。主軸は各々2方向が考えられる。

以上のように集落の変遷が概略として捉えられる。但し、前述したように十分な分析及び検討ができていないため、今後の研究に委ねたい。

(2) 遺物について

検出遺構に比例して多くの遺物が出土している。その多くが住居址一括資料と思われ、特に当地域の土器編年の基準資料として十分に耐えられるものと確信している。しかし、本報告書では資料化することに重点を置き分析及び検討まで至らなかったことは遺憾である。

前述の集落変遷は、出土した土器による編年に基づいて述べた訳であるが、担当者が該期の土器研究及び本遺跡出土土器からの情報を十分に消化できていないため、多くの問題点があると思われる。例としては中期後半の土器の細分に於いては、本報告書では坯の有無に注目し細分した。また、後期については坯・高坯の形態及び内面黒色土器の数量から行った。特に後期についてはより細分できる可能性があると思われる。

出土した土器において注目されるものとしては、S B18より出土した須恵器甑とS K20出土の双口土器があげられる。須恵器甑は、5世紀後半と考えられ、半島での流儀を持ちつつも製作は国内でなされているようである。東海地方では類例があるものの、当地方では元より東海地方以東では初見である。本集落内において初期須恵器他器種の出土量はごく少量であり、本器のみが単独で本集落に持ち込まれたといえ、特殊な背景がこの器自体にあったことも推測される。双口土器については同址出土遺物により中期後半(5世紀後半)に位置付けられ、楕円球状の胴部に2つの頸～口縁部を持つもので、類例があまり見当たらない。所謂日常什器とは考え難く、祭祀に関連するものと思われる。

該期の住居址から石器が出土している。当地方では古墳時代に於いても石器の使用が指摘されているが、今次調査でもそれを裏付ける結果となった。その多くは砥石・編物石であるが、弥生時代の収穫具とされている有肩扇状型石器・抉入打製石庖丁が確認されている。それらの石器と対比される鉄器は非常に少なく、今回図示できなかったがS B54から鉄鎌・鋤先・鉄斧2点が、S B40から鉄斧が出土しているのみである。しかし、砥石が出土していることより鉄器は普遍的に存在していたと思われる。また、鉄器が出土した住居址はS B54が中期後半古段階、S B40は中期後半新段階であり、調査時の所見では中期後半までは確実に(収穫具としての)石器が使用されていたといえる。このことから中期後半まで

は石器と鉄器が併用して使用されていたと考えられる。

(3) 遺構について

今次調査に於いて検出した住居址に於いて相当数が焼失却家屋であった。焼失却家屋としたのは失火による焼失と人為的意図のある焼却の双方が考えられることによる。時期別にみると中期後半古段階が住居址19軒中10軒、中期後半新段階は8軒中4軒、後期古段階は6軒中3軒、後期新段階は12軒中4軒となっている(挿図1・2)。焼失・焼却の判断はほとんどができなかったが、S B45については、竈が破壊されている焼失却家屋であった。このことは竈を破壊した後、焼却したと考えられる。一方、焼失却家屋のうち比較的遺物の出土量が多いものは、使用中の什器がそのまま残された可能性があり、失火による火災家屋とも考えられる。現場での調査時点では「一集落火災に遭ったのではないかと考えていたが、整理作業を進めていく中で住居址の廃棄パターンとして「焼却」が多かったのではないかと考えている。というのは前述した井戸下遺跡に於いてもほとんど同時期(中期後半～後期)の住居址が同じような焼失却家屋であったためである。今後類例を検討して明確にしたい。

4. 平安時代

該期は竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑が検出され、それに伴う遺物が出土している。出土遺物から時期を検討すると9世紀初頭の住居址はS B06・17・35、9世紀中葉はS B05・30・47、9世紀後葉がS B36・49・59・67・70・74・76、10世紀後葉から11世紀初頭にかけての住居址はS B68・72にそれぞれ位置付けられる。掘立柱建物址は出土遺物がなく、遺構の重複関係より時期決定したもので詳細な時期の位置付けはできなかった。以上より該期に於いてはほぼ連続して集落が営まれ、9世紀後葉が集落として最盛期を迎えたことが看取できる。また、この時期に於いて、住居址7軒中3軒の竈の形態が壁を掘込む石芯粘土竈であり、該期にのみ存在する。

該期の遺物については特筆すべき点はないが、S B49から墨書土器が出土した。灰釉陶器碗の底部に書かれているものであるが、判読は不能である。また、S B74からは灰釉陶器の底部を転用した碗が出土している。S B49・74はいずれも9世紀後葉に位置付けられ、周辺の遺跡の状況は不明であるが、集落規模・文化程度共に周辺集落の中核をなしていたと考えてもよさそうである。

5. 中世・近世

中世に於いては掘立柱建物址が1棟確認された。中世の遺構については当地方では掘立柱建物址が主体となるが明確に確認できる場合が少ない。よって本遺跡に於いても他にも該期の遺構があったと思われるが、確認できなかった。

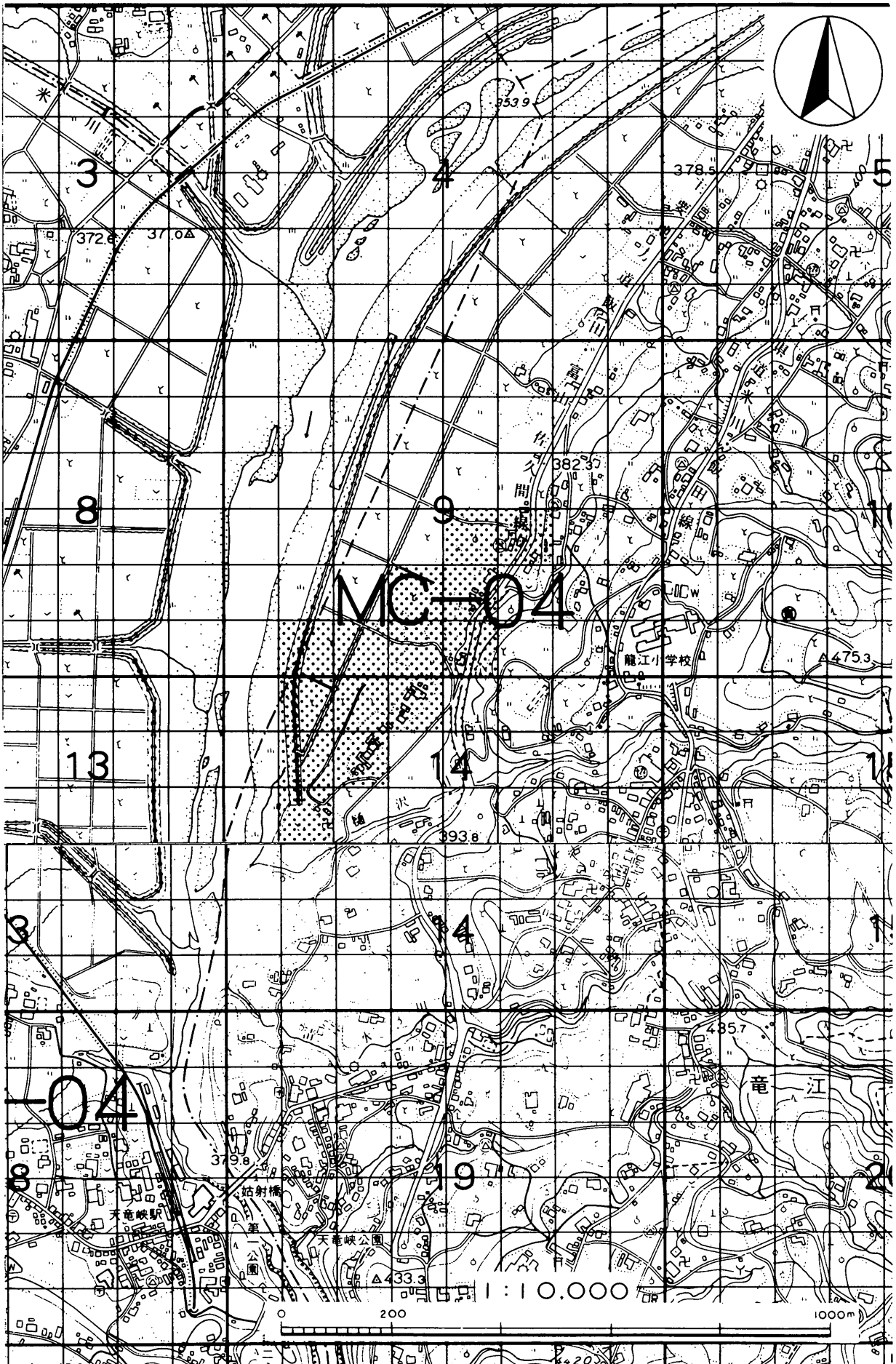
近世では土壙墓が多く検出されている。ほぼ全てが円筒状の形状で、副葬品として六道銭・キセル等が出土している。平面形が隅丸長方形で礫が入っているものもあり、分類も可能と思われる。

以上時期毎、概略で気付いた点を述べてきた。まとめを記述して改めて細新遺跡の重要性を再認識した所である。本遺跡は治水対策事業により地中に埋没しており、調査時の風景とは全く異なっている。

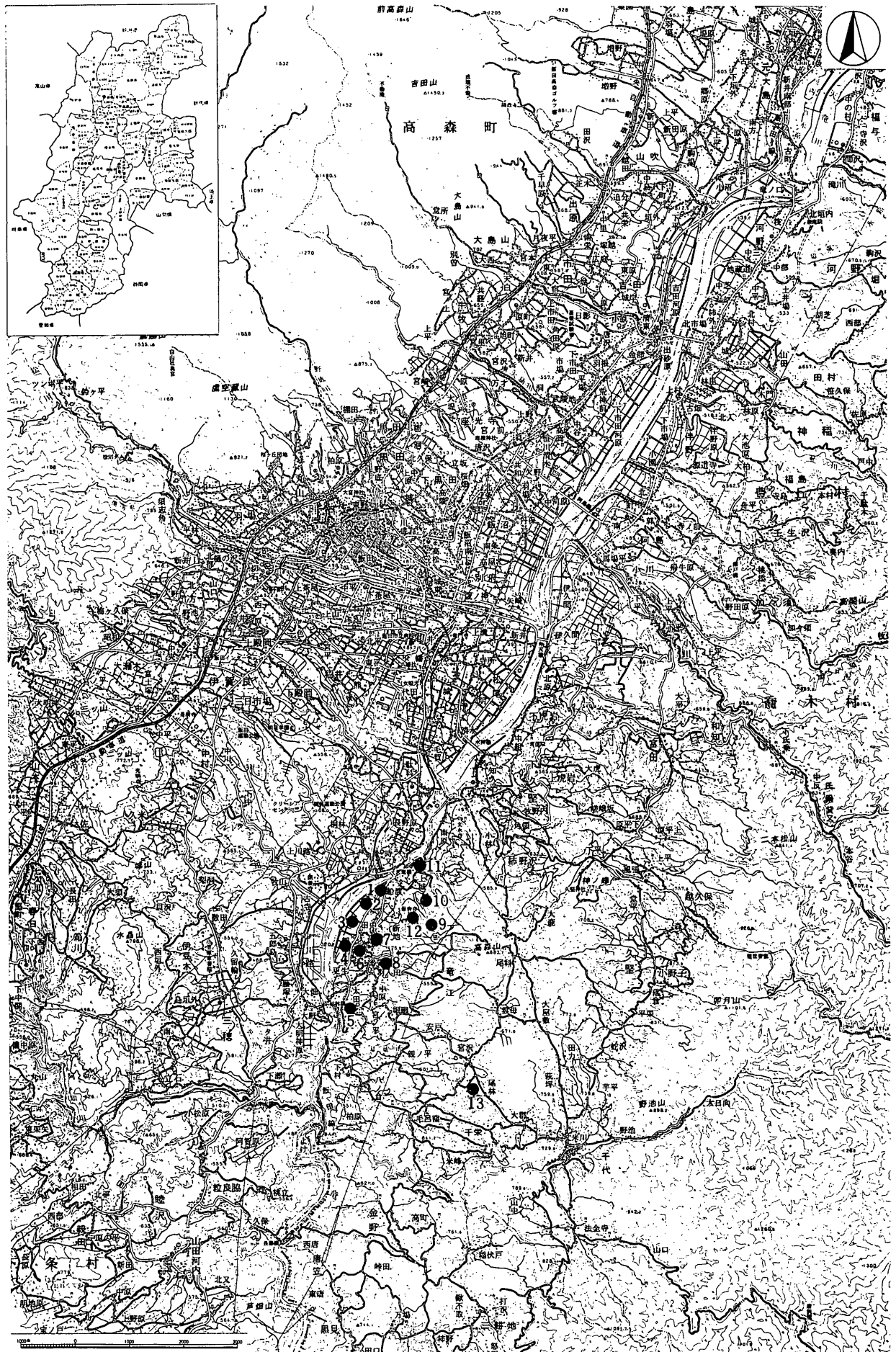
これも現在・未来の人間のハード的利益を考えれば致し方ないことかもしれない。しかし、過去から保存されてきた人類共有の財産を現在人間が破壊してしまったことは、未来の人々へ、その代償として調査の成果がソフト的な利益として与えることができれば幸いである。

最後になりましたが、酒井清治・原明芳両氏には多くの御教示を賜りここに記して感謝申し上げます。

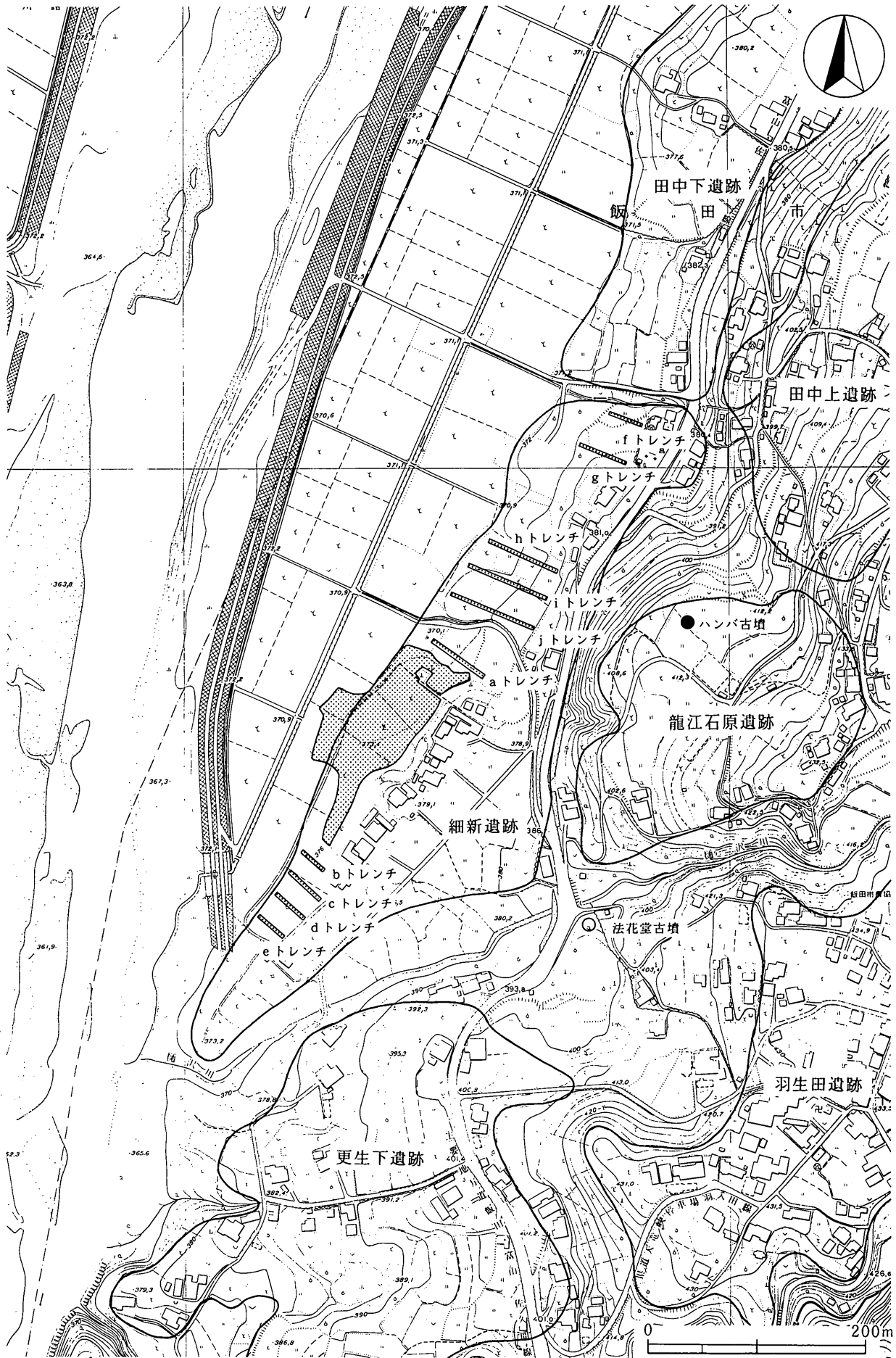
版 图



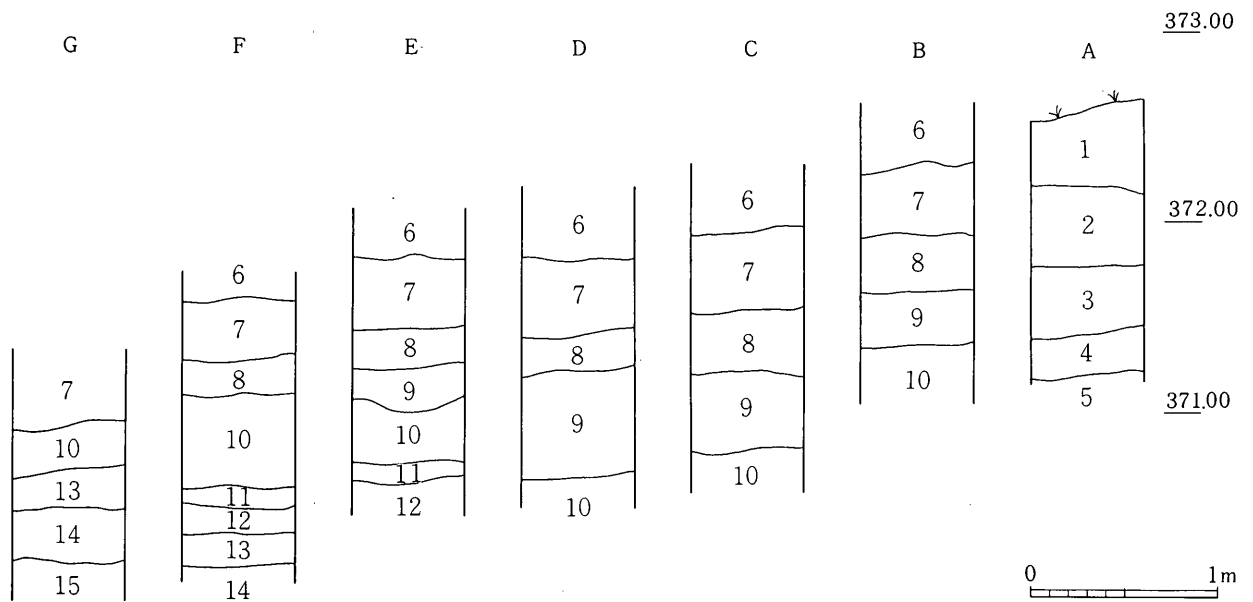
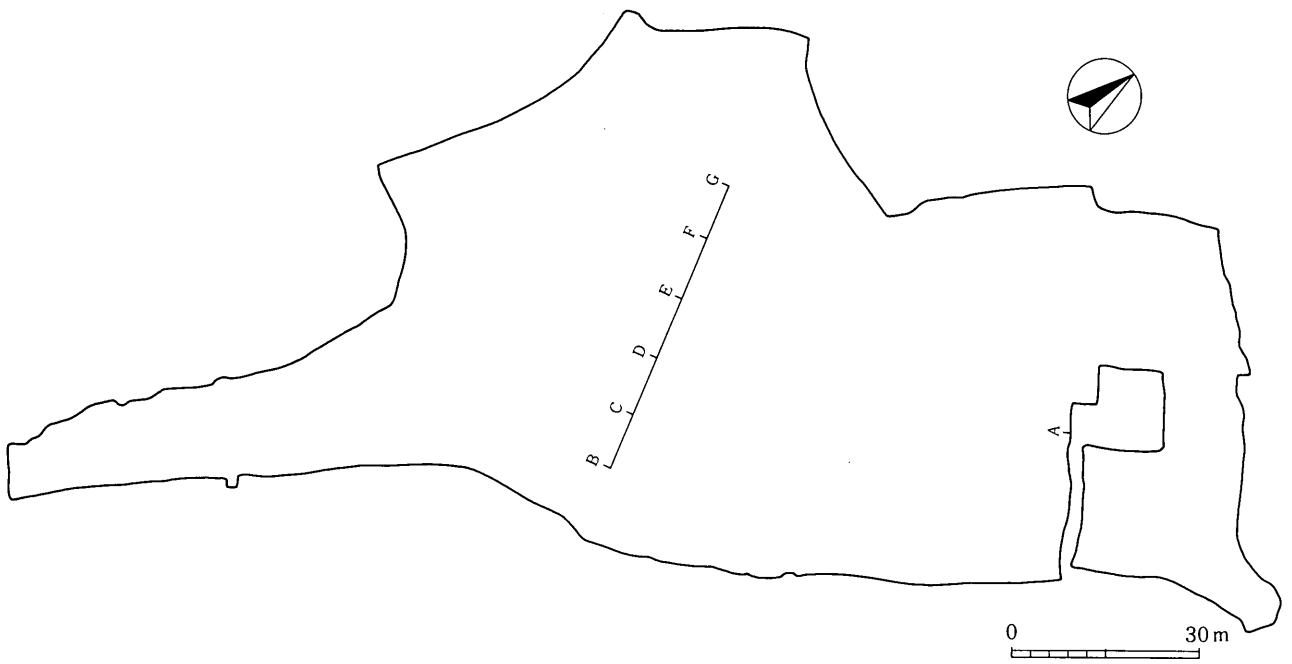
第1図 基準メッシュ図区画調査位置図



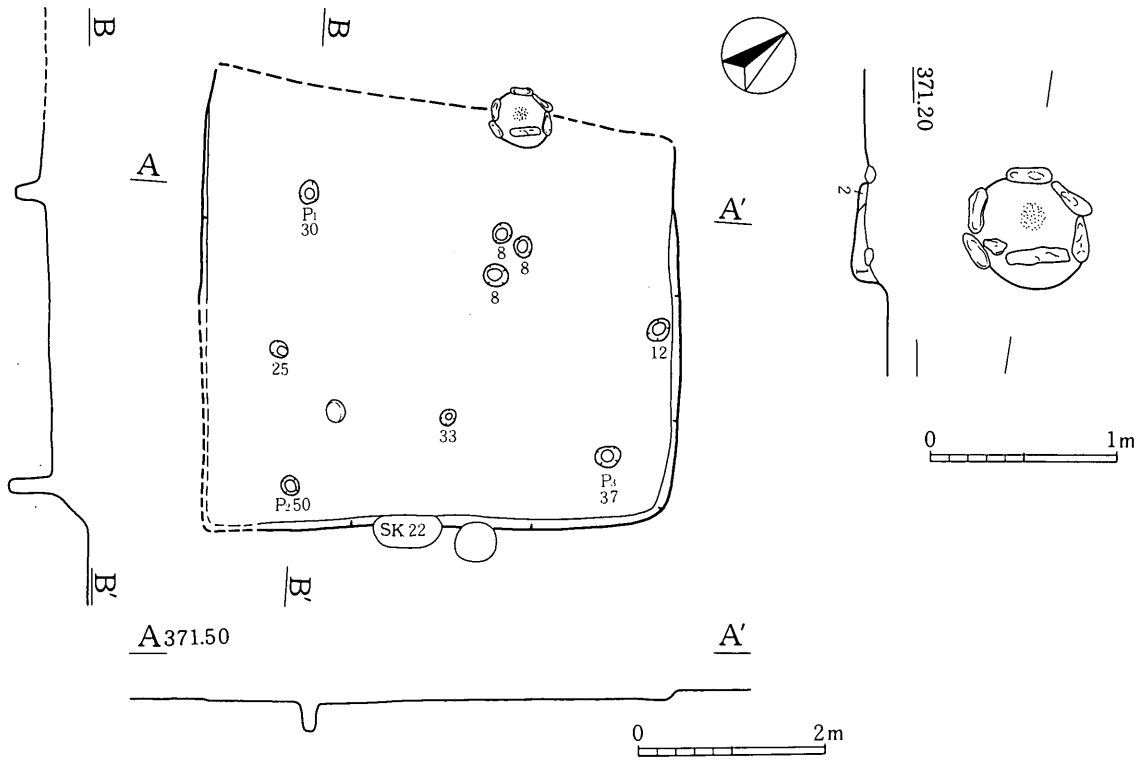
第2図 調査遺跡及び周辺遺跡位置図



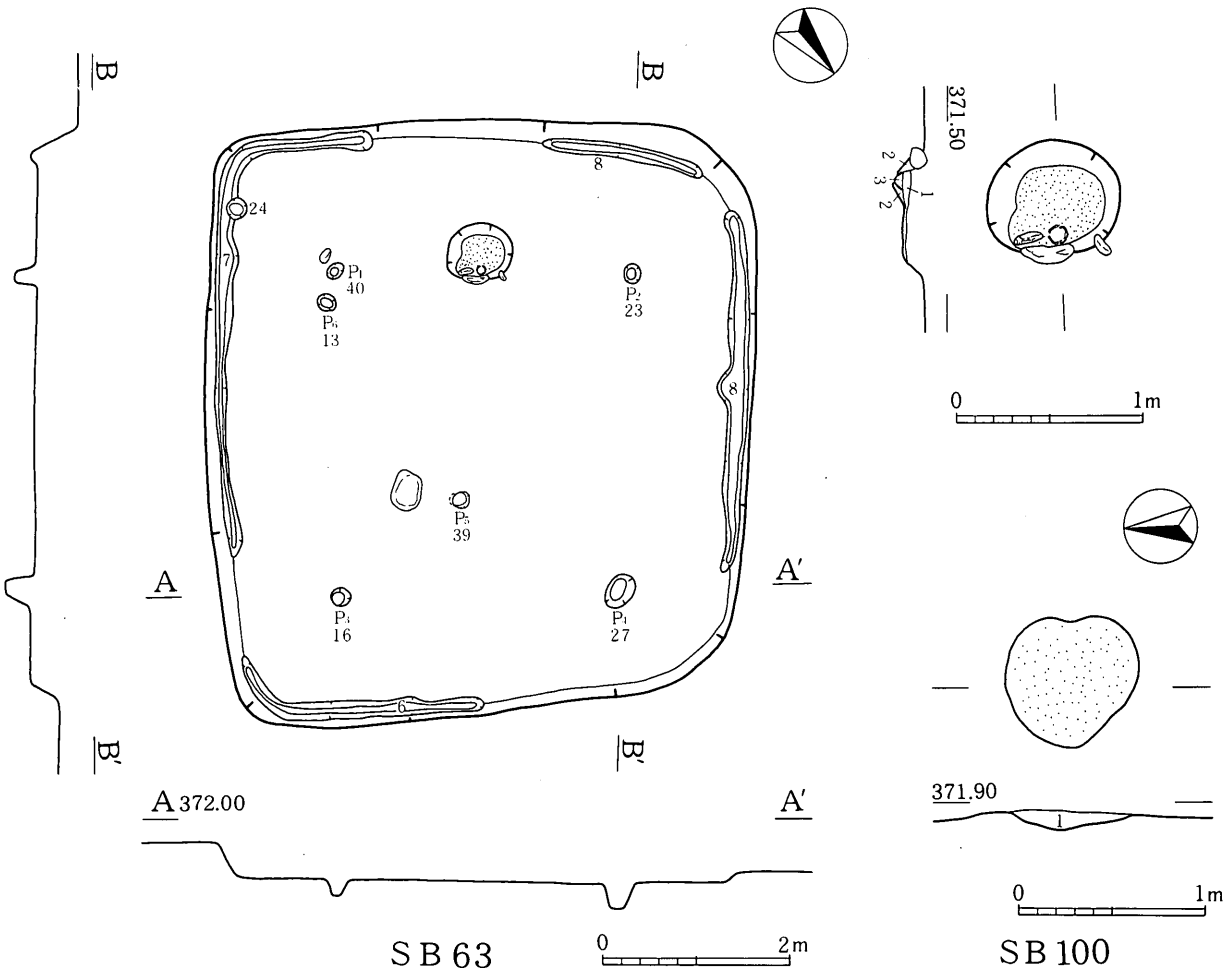
第3図 調査位置図及び周辺地図



第4图 基本层序



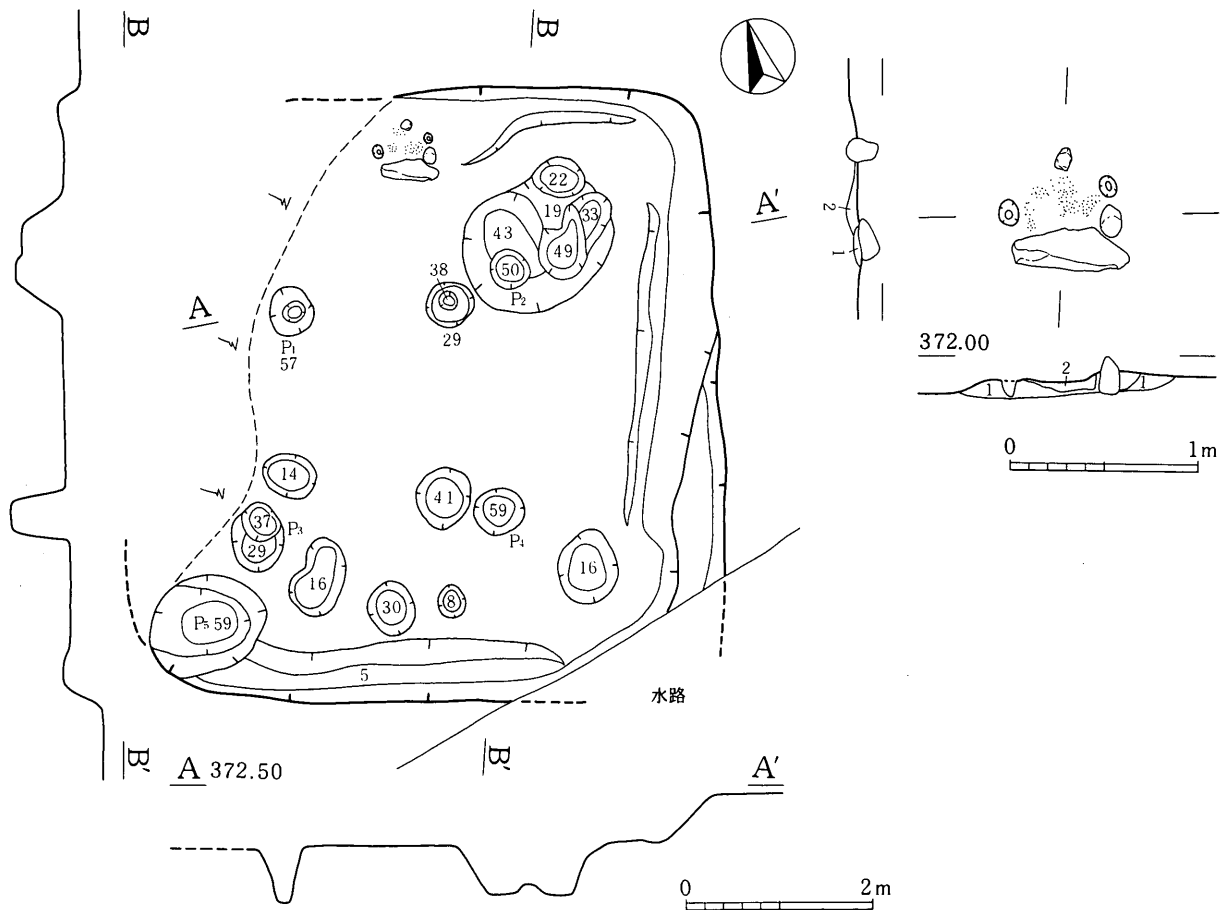
SB 56



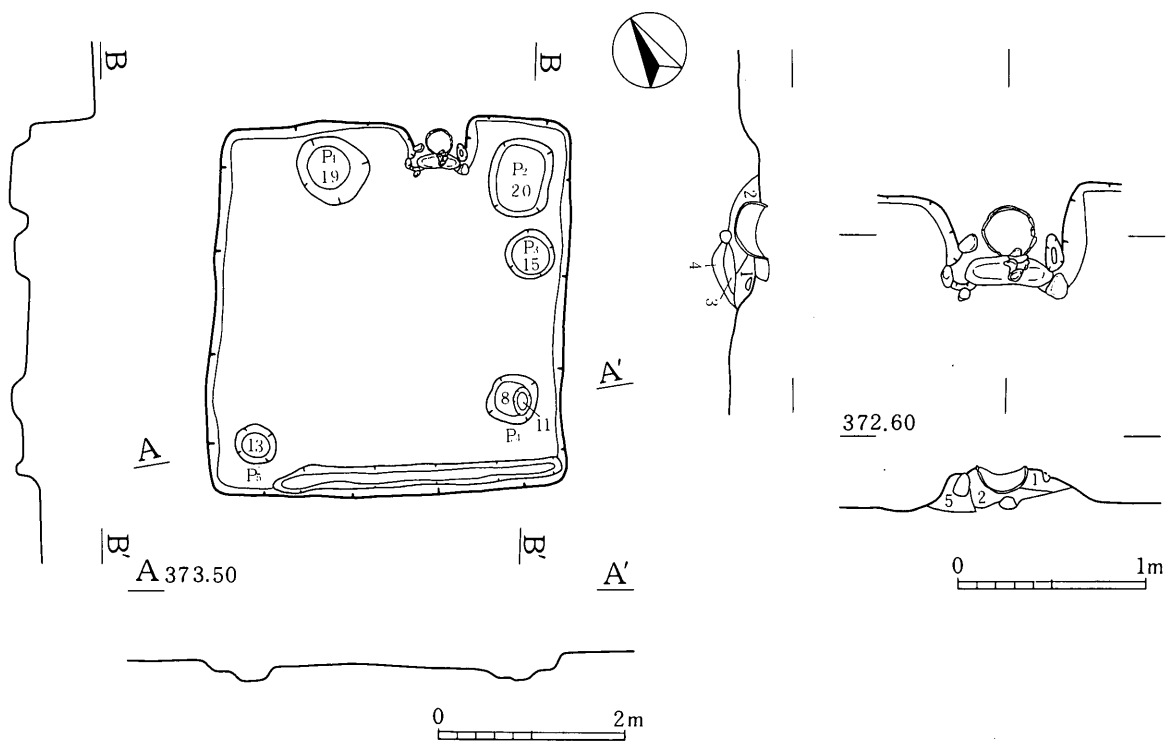
SB 63

SB 100

第 5 图 SB 56 · 63 · 100

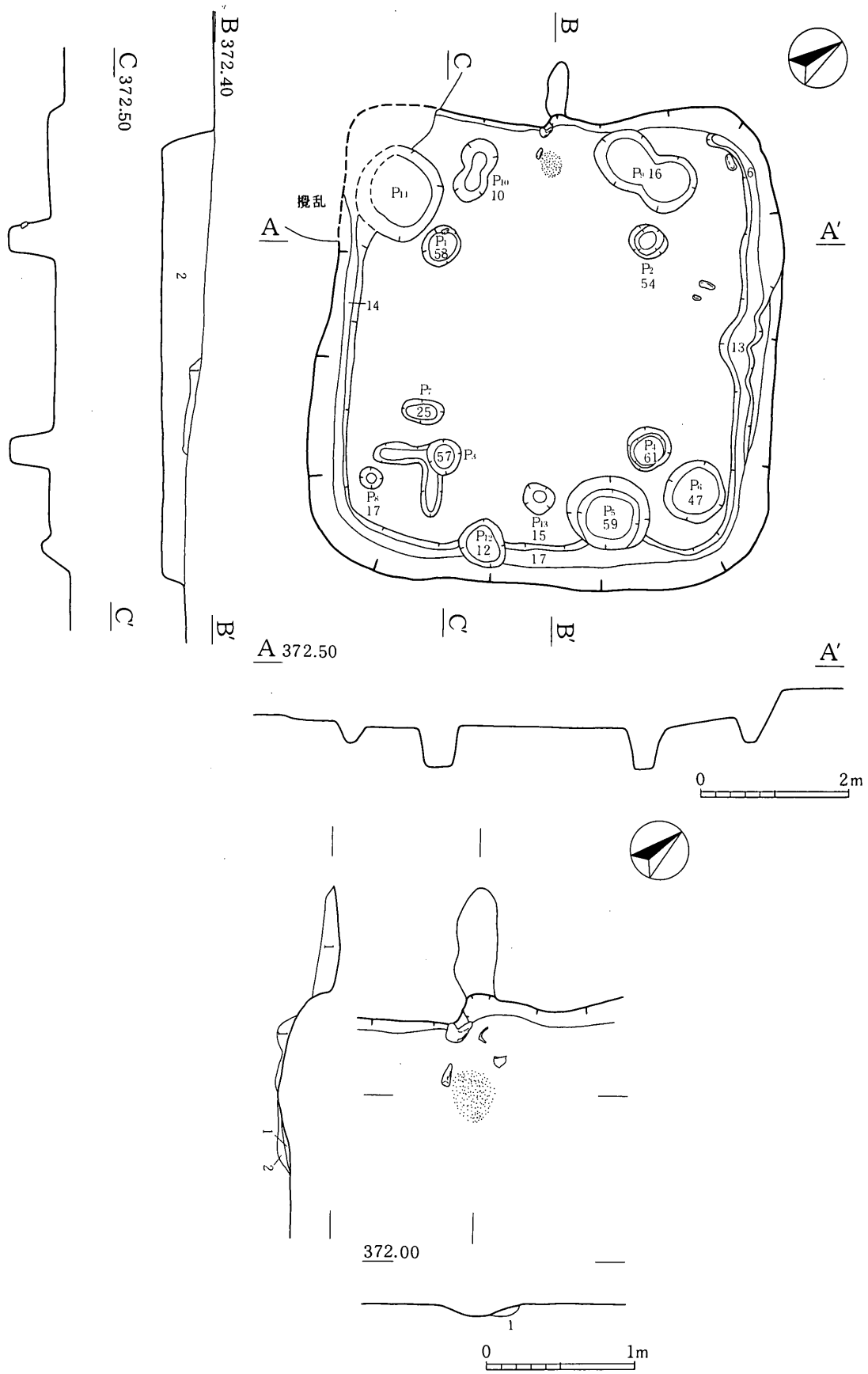


SB01

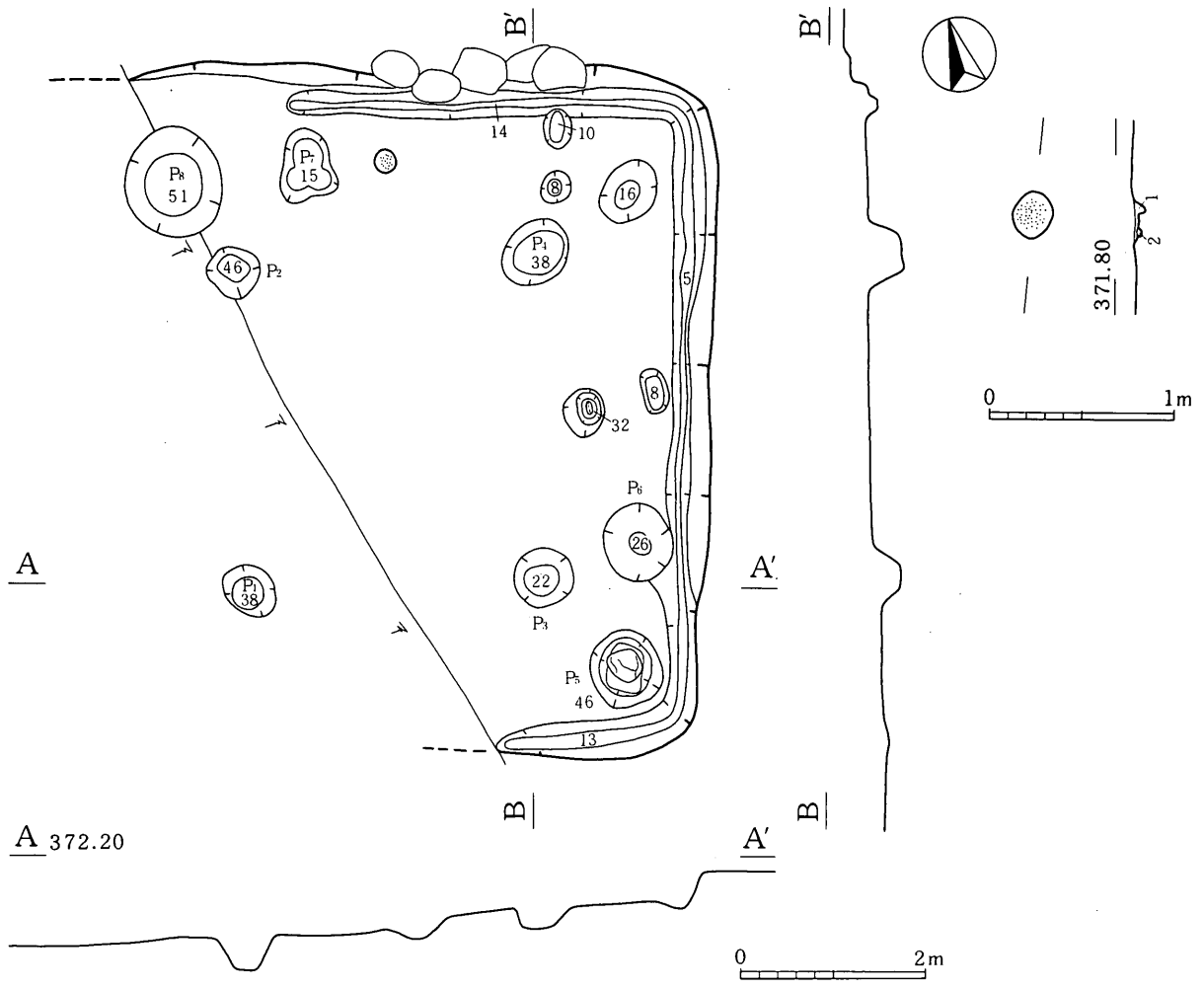


SB02

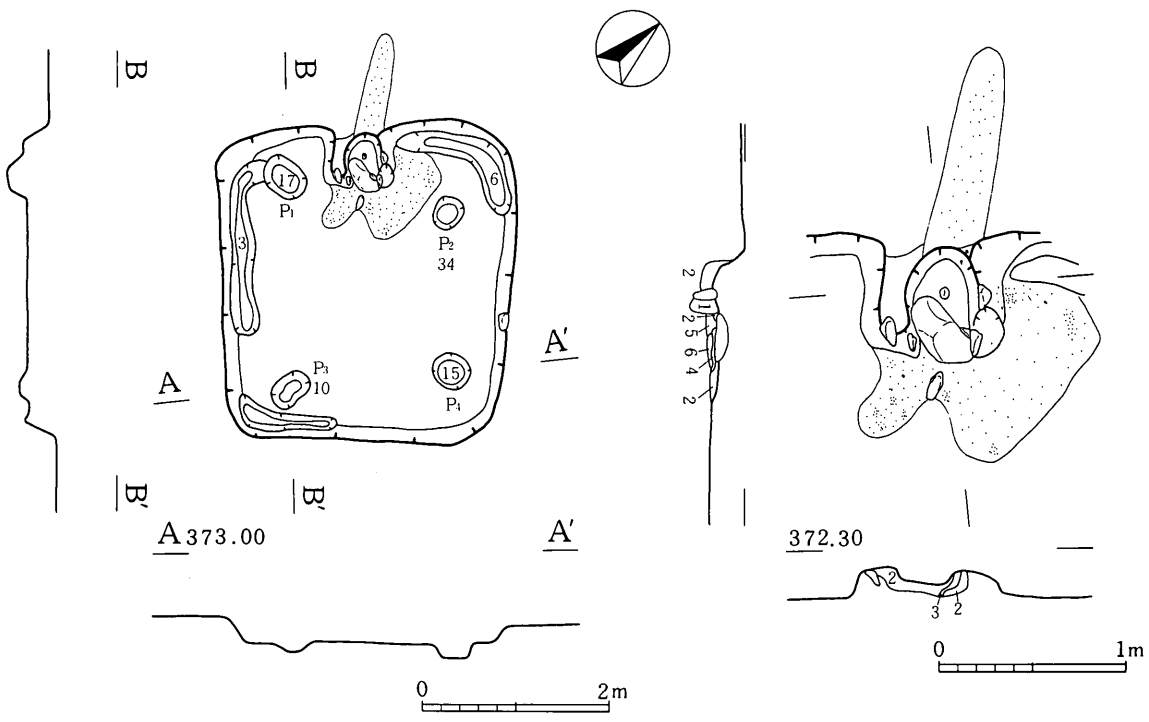
第6图 SB01·02



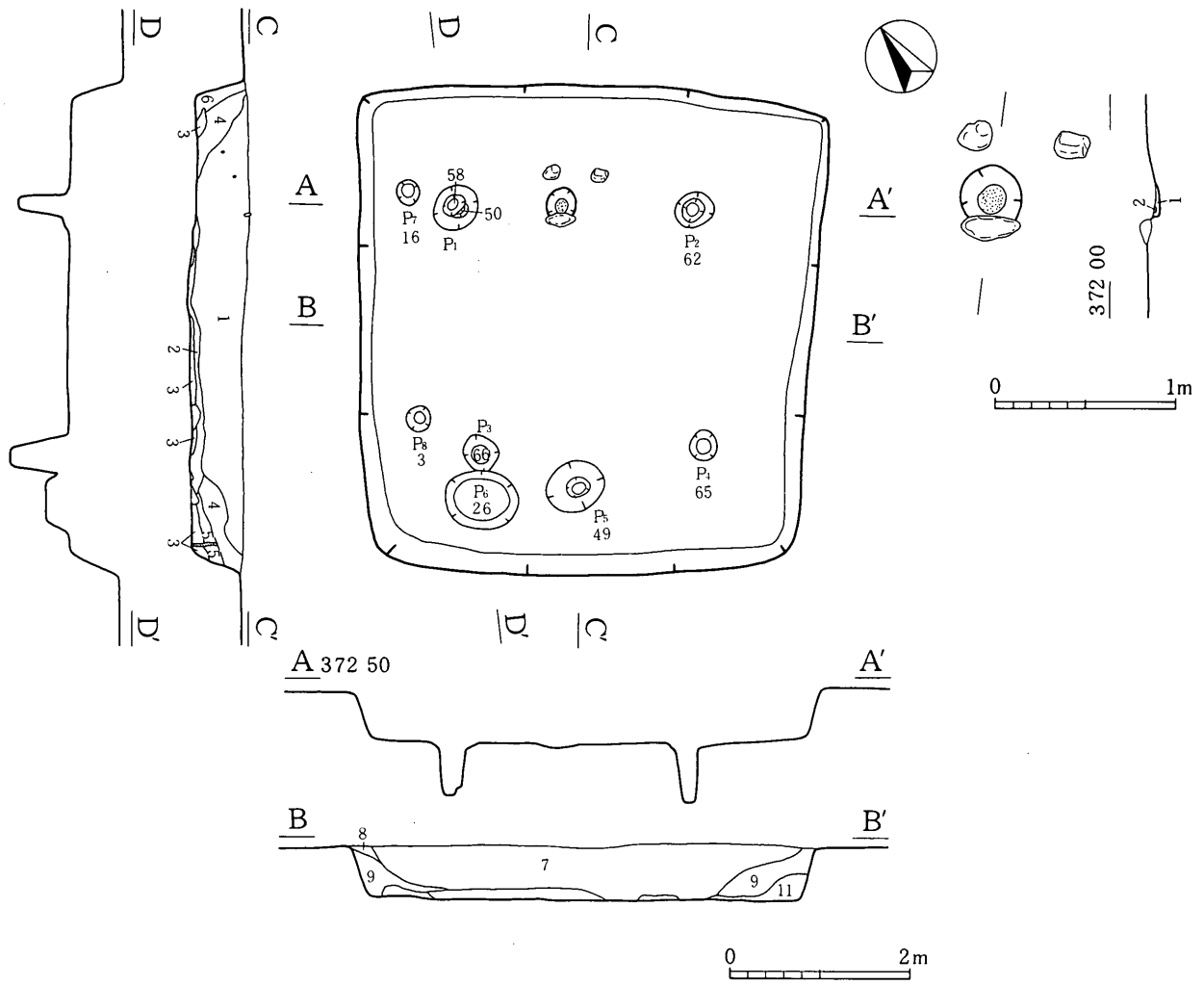
第7図 SB04



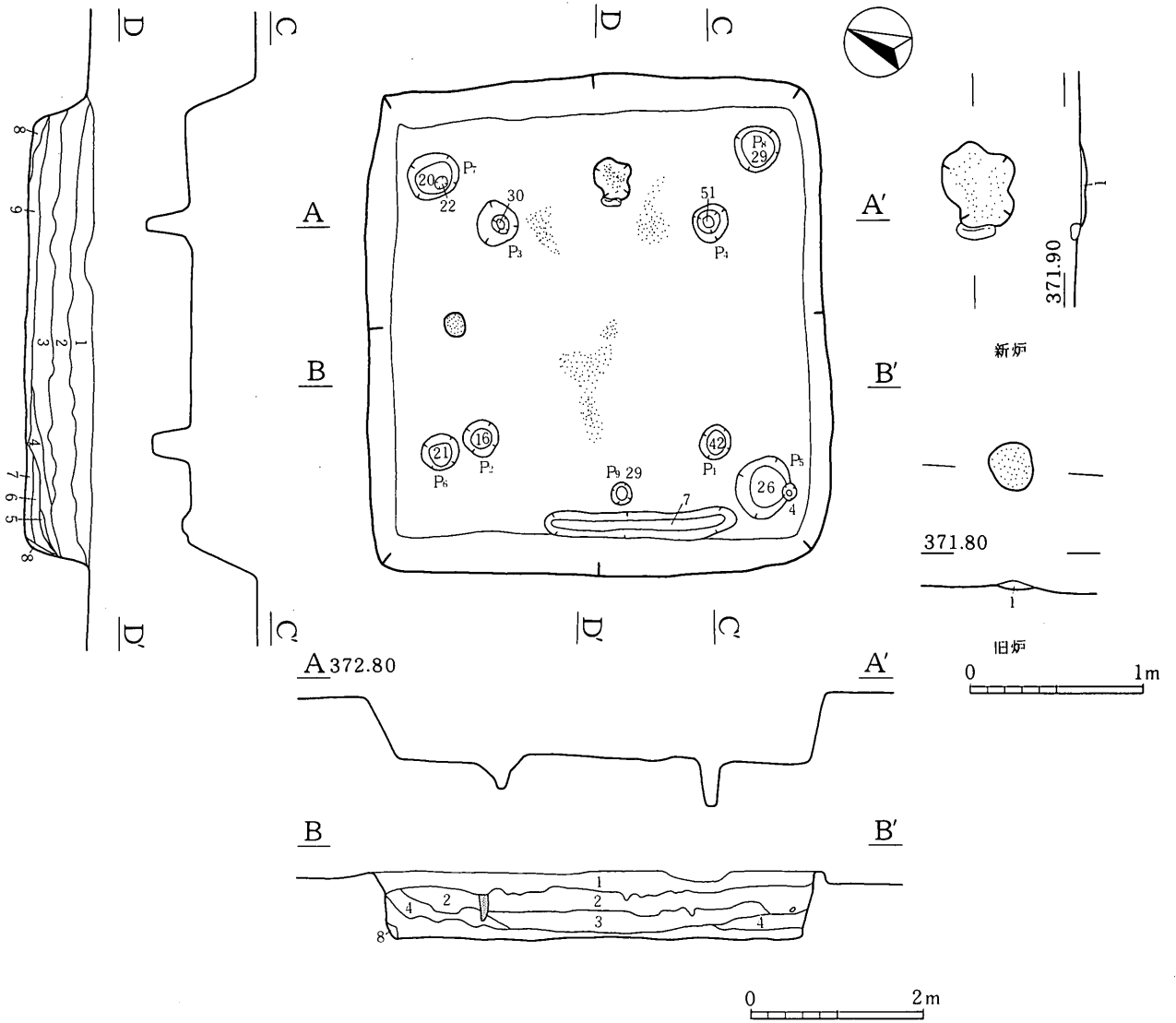
SB 08



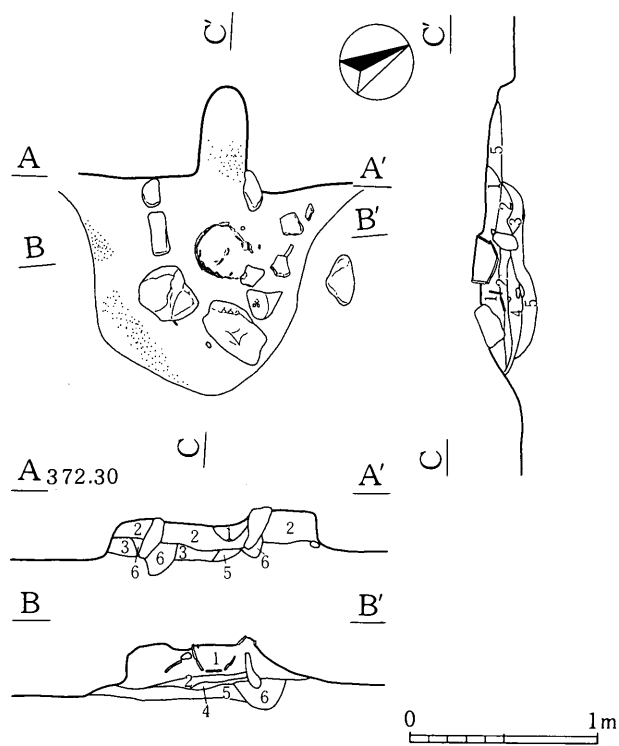
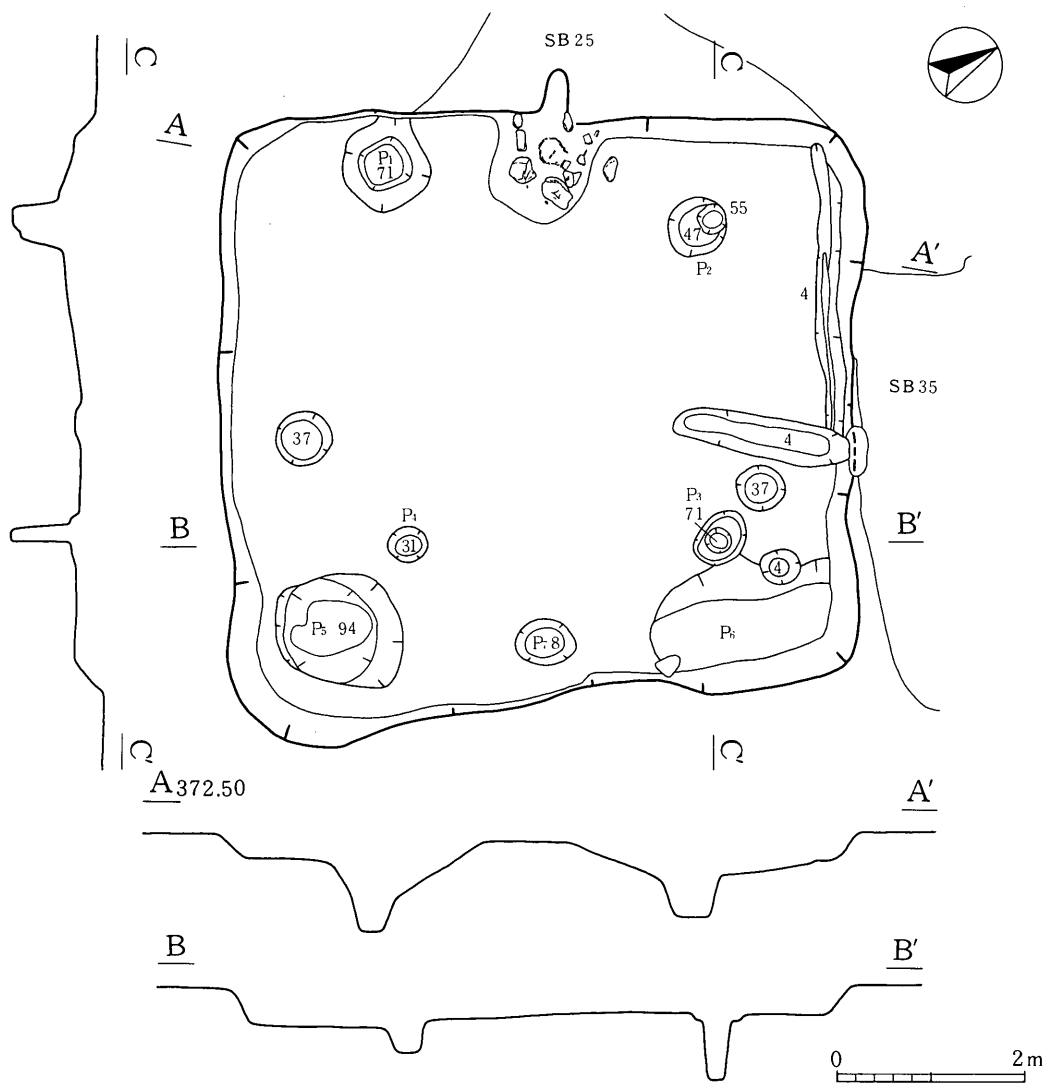
SB 14
第 9 图 SB 08 · 14



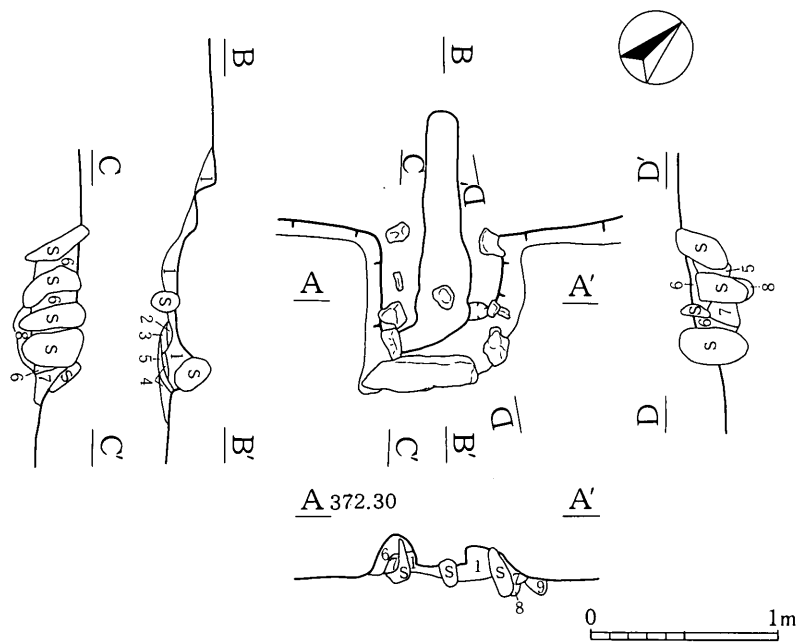
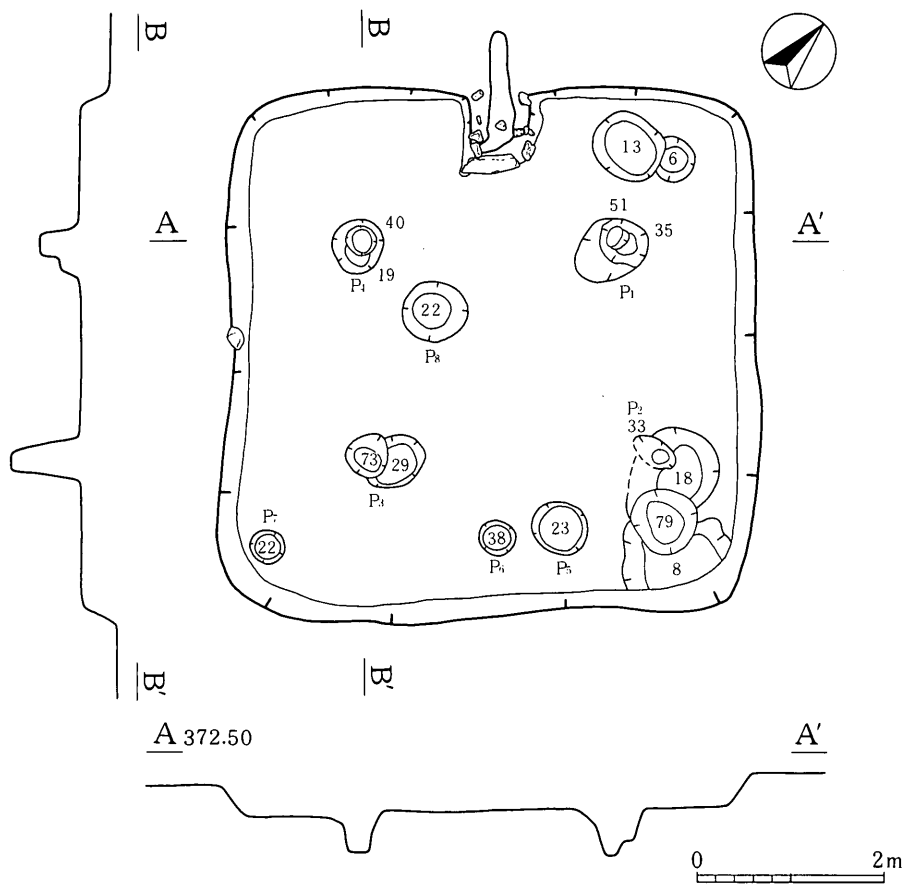
第10图 SB09



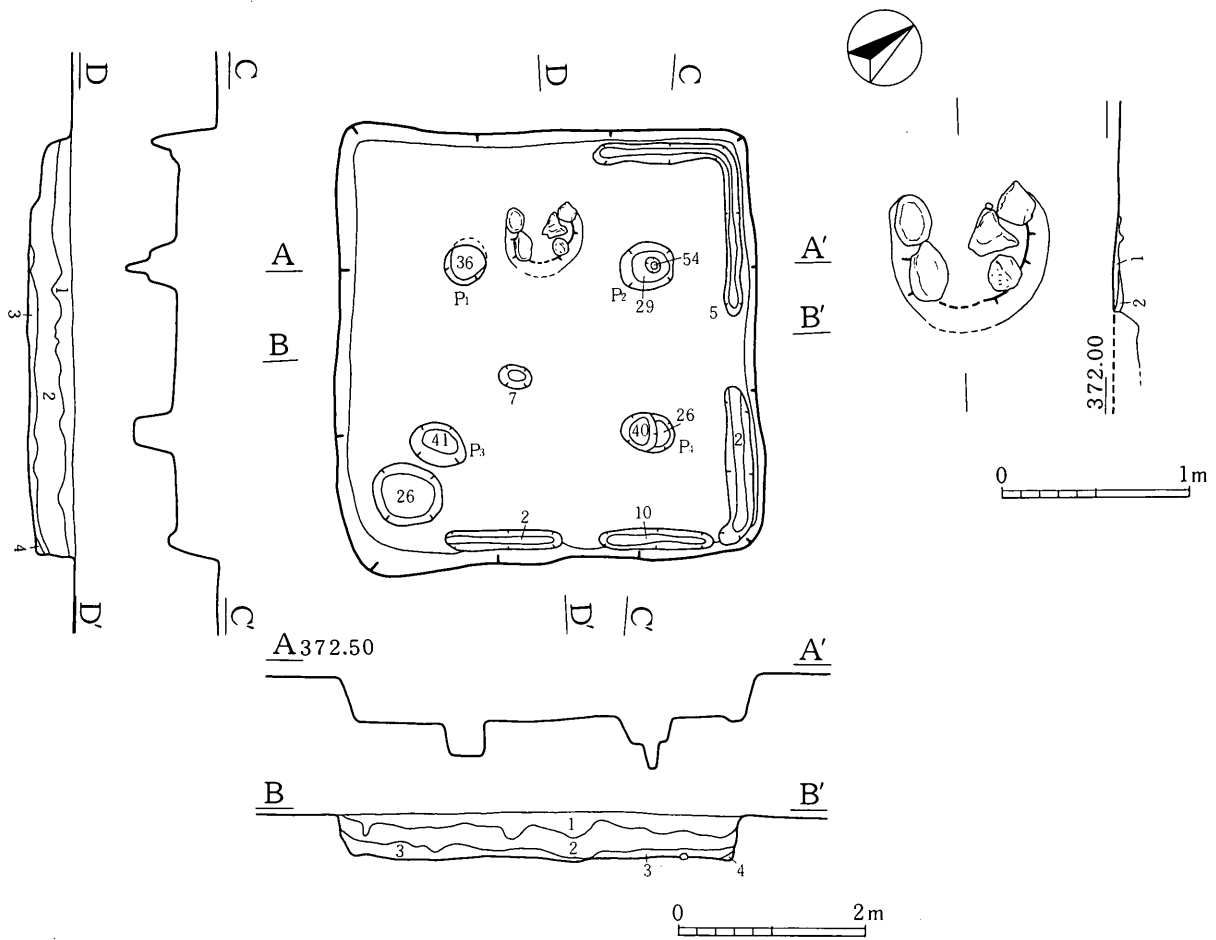
第11图 SB10



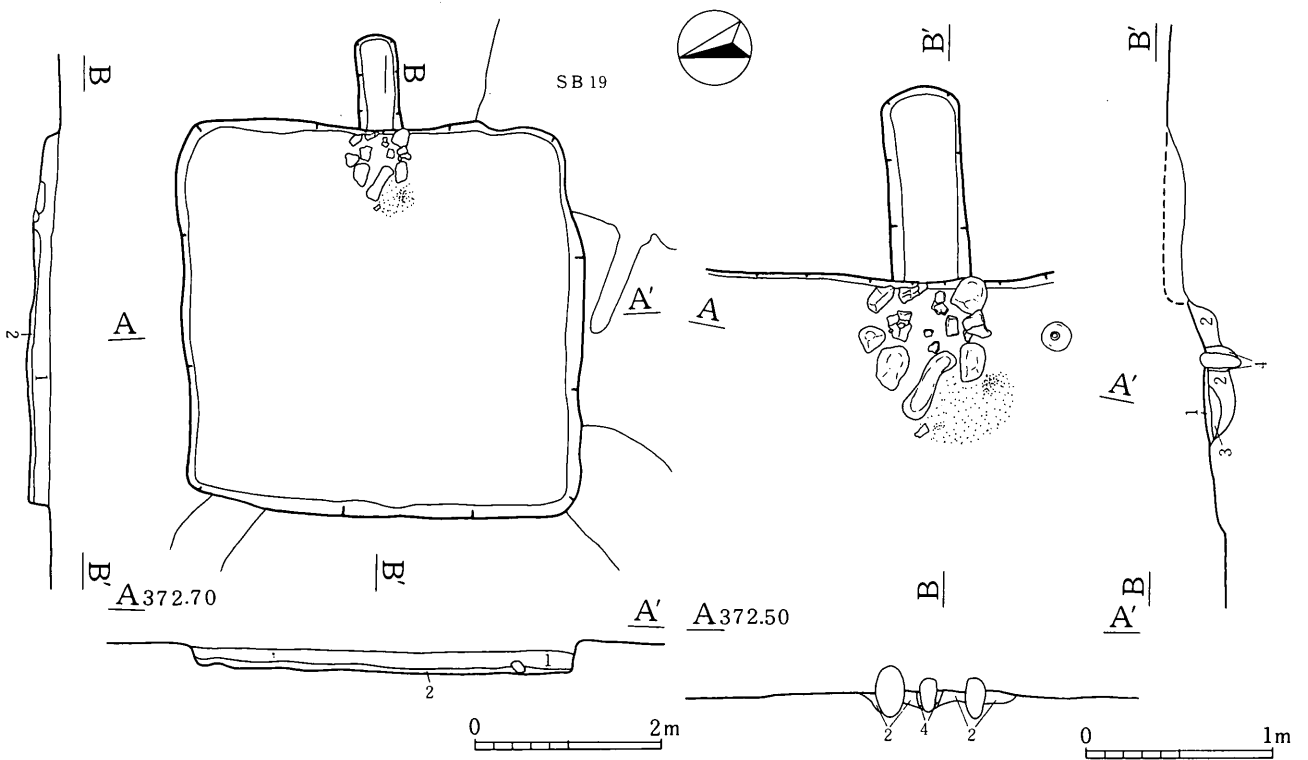
第12図 SB12



第13图 SB13

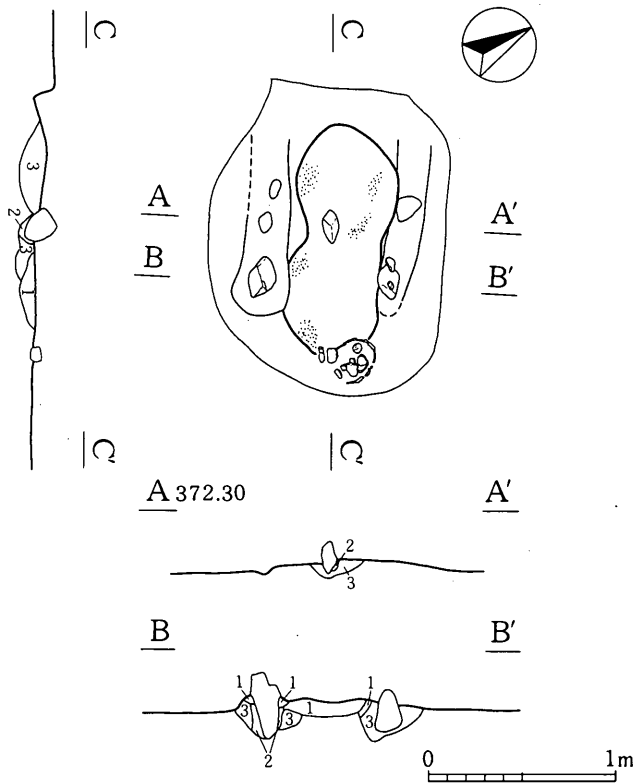
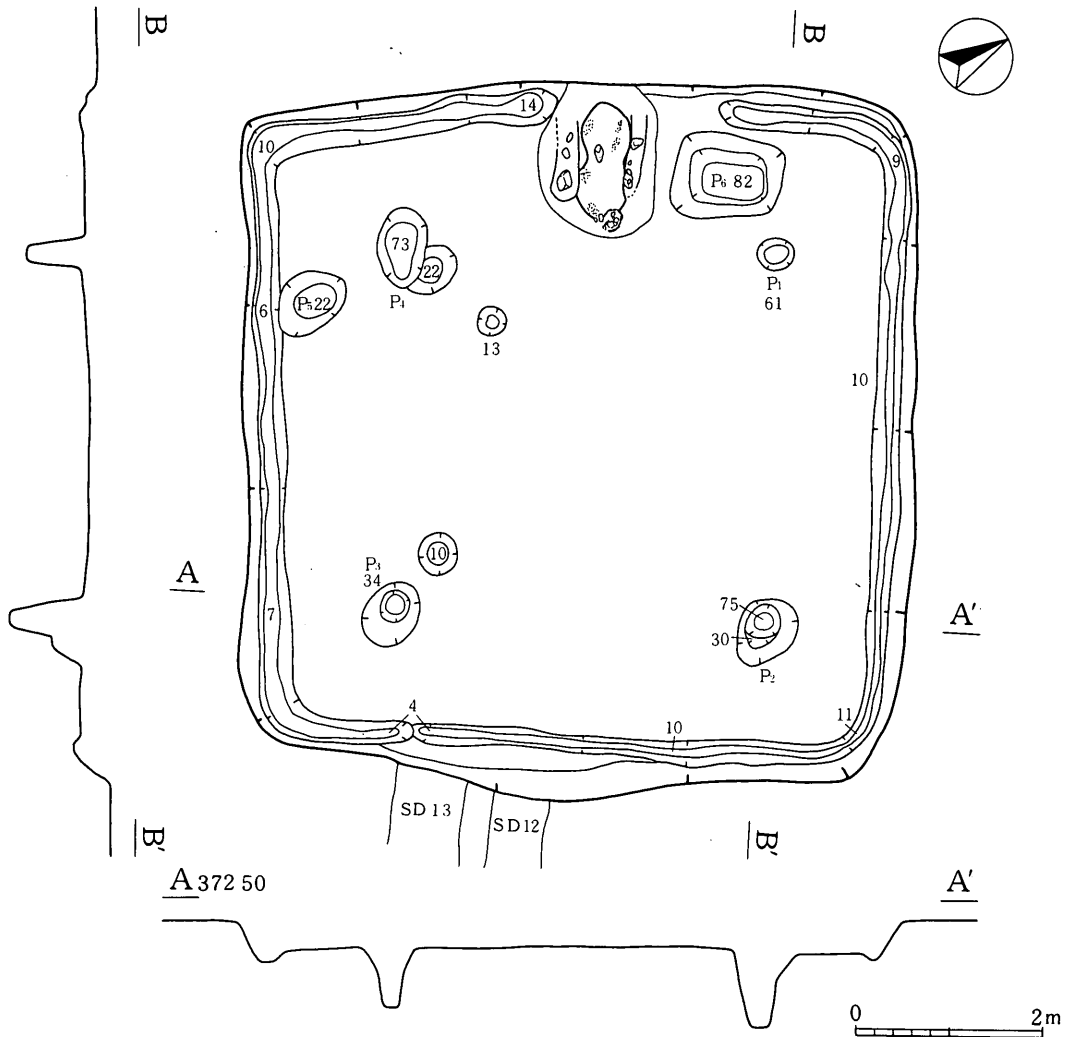


SB 16

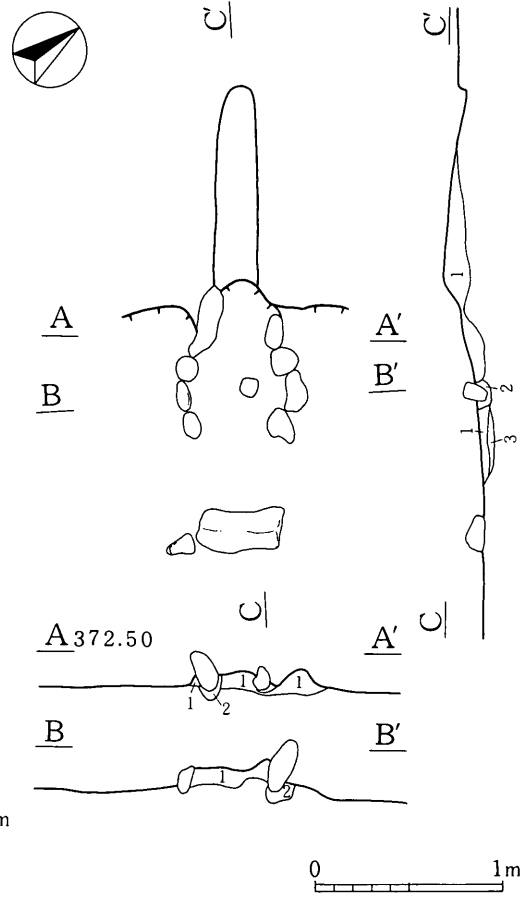
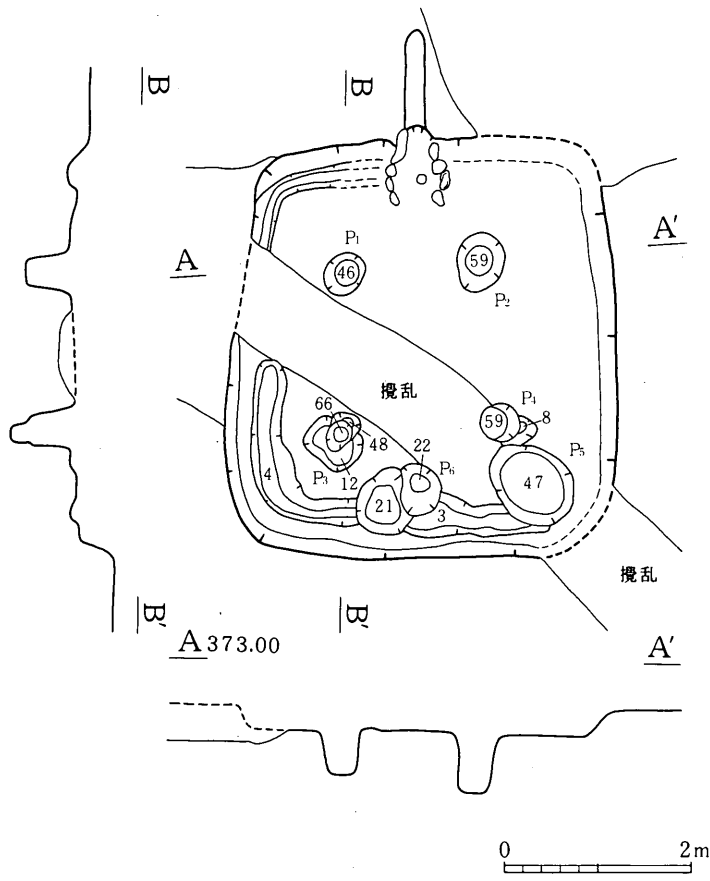


SB 21

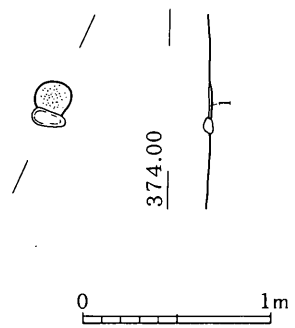
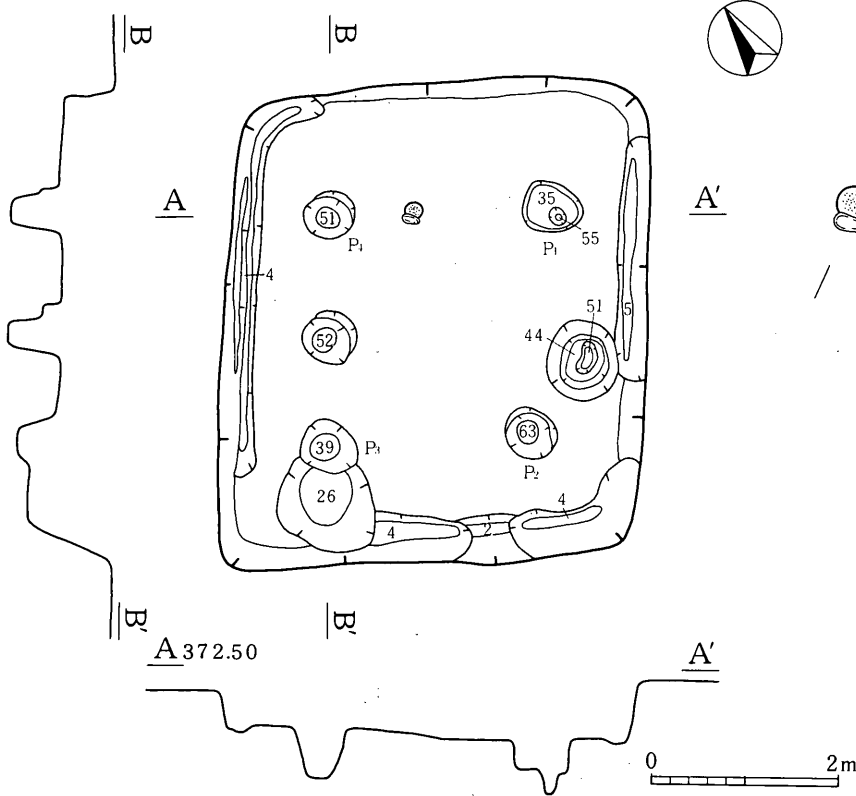
第14图 SB 16 · 21



第15図 SB18

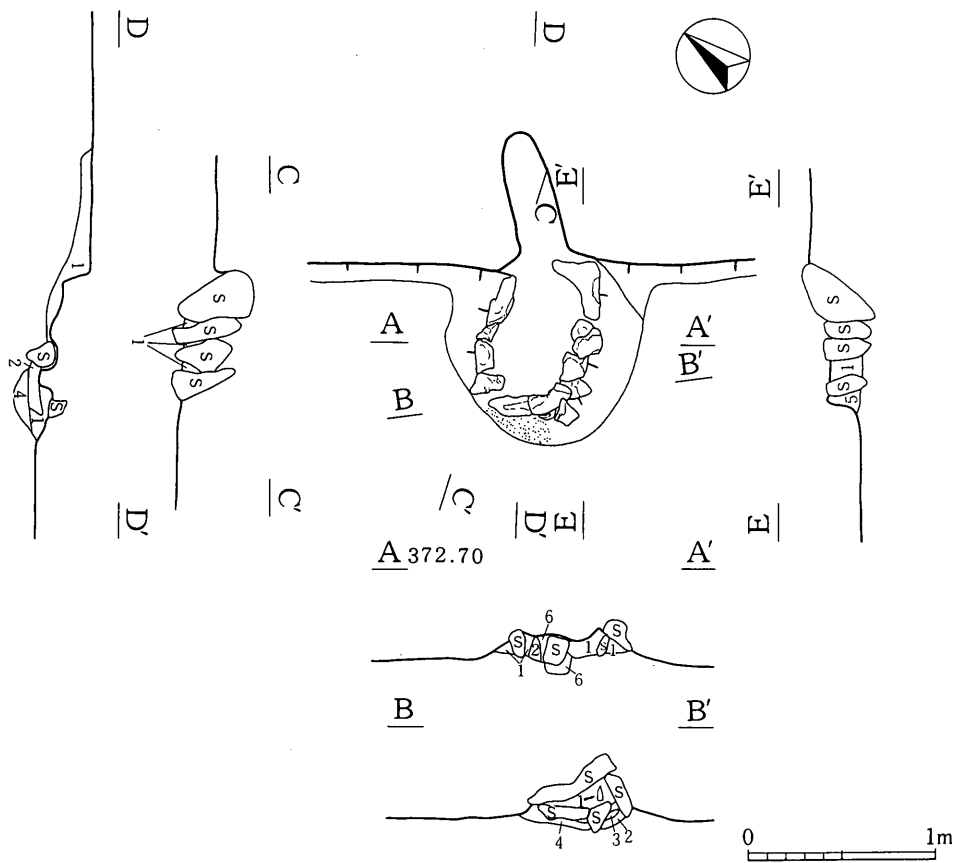
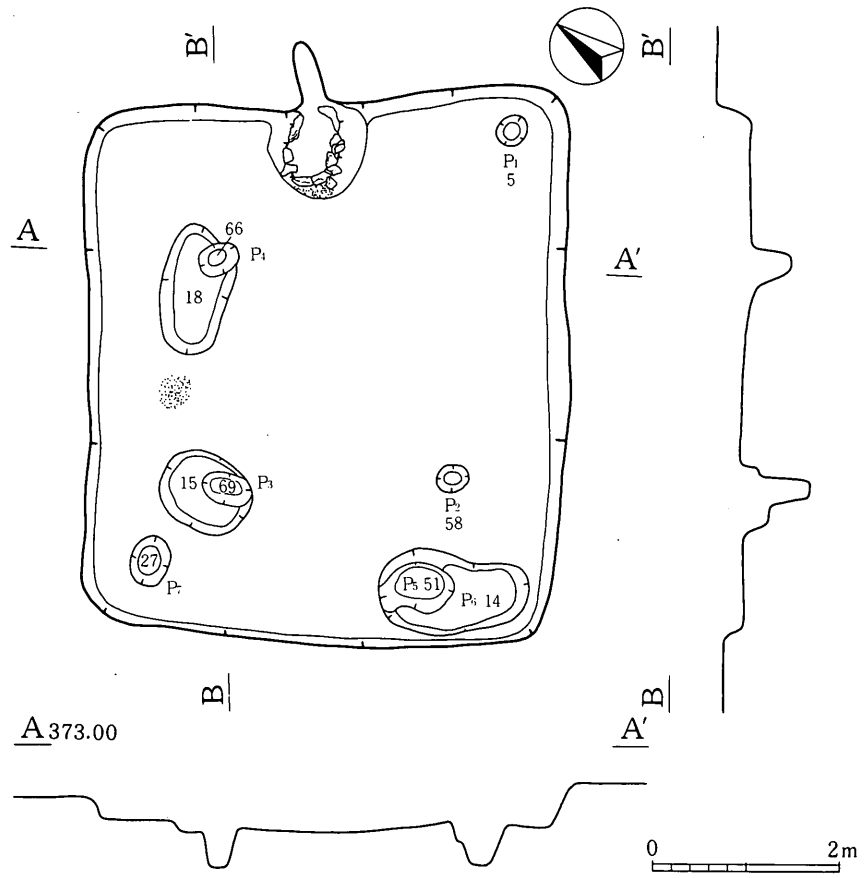


SB 19

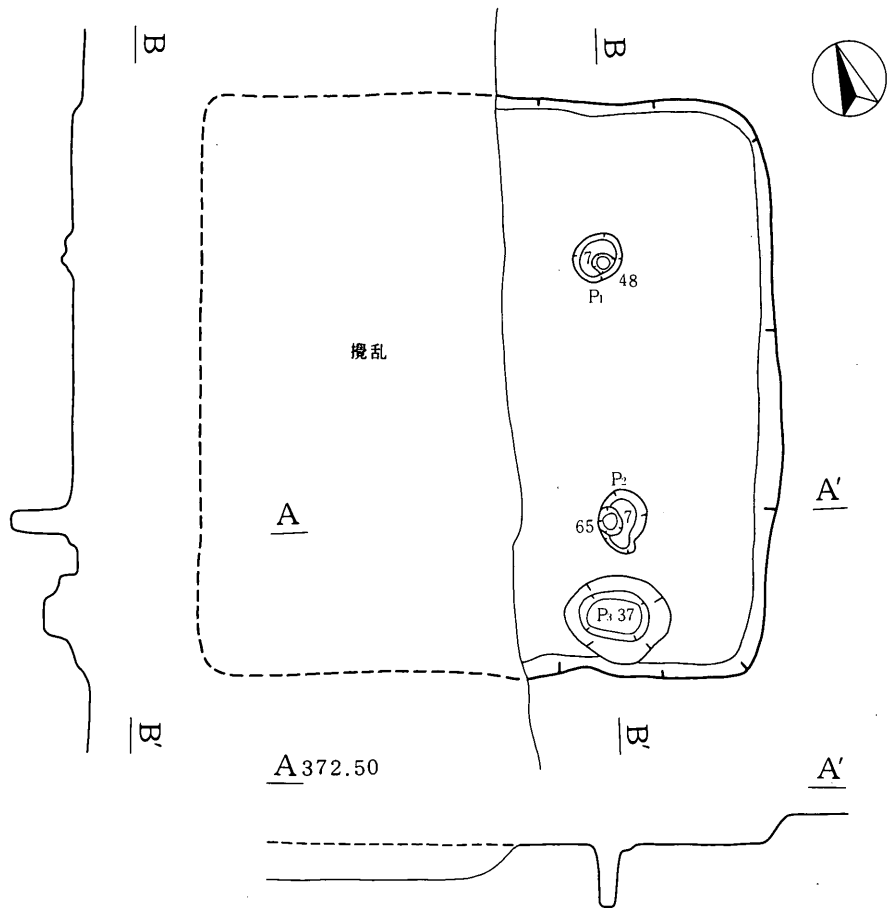


SB 22

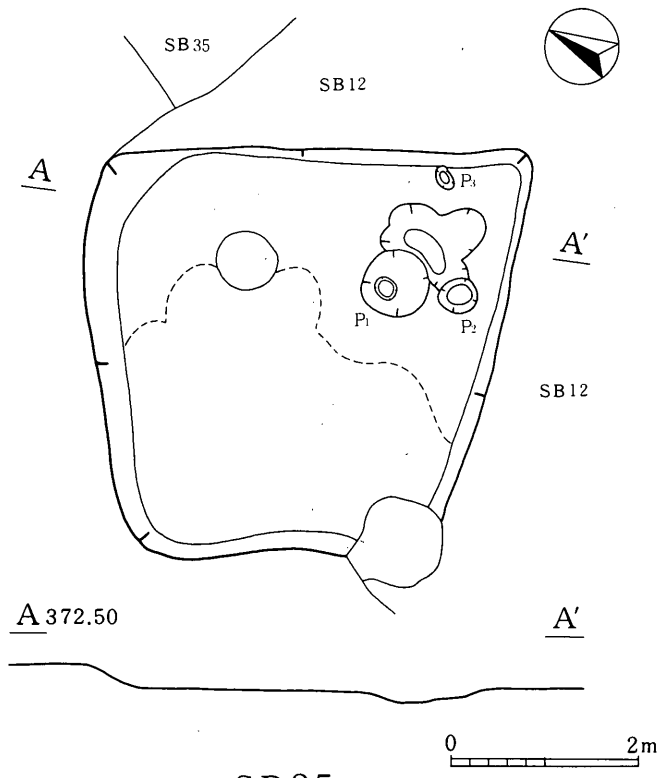
第16图 SB 19·22



第17图 SB20

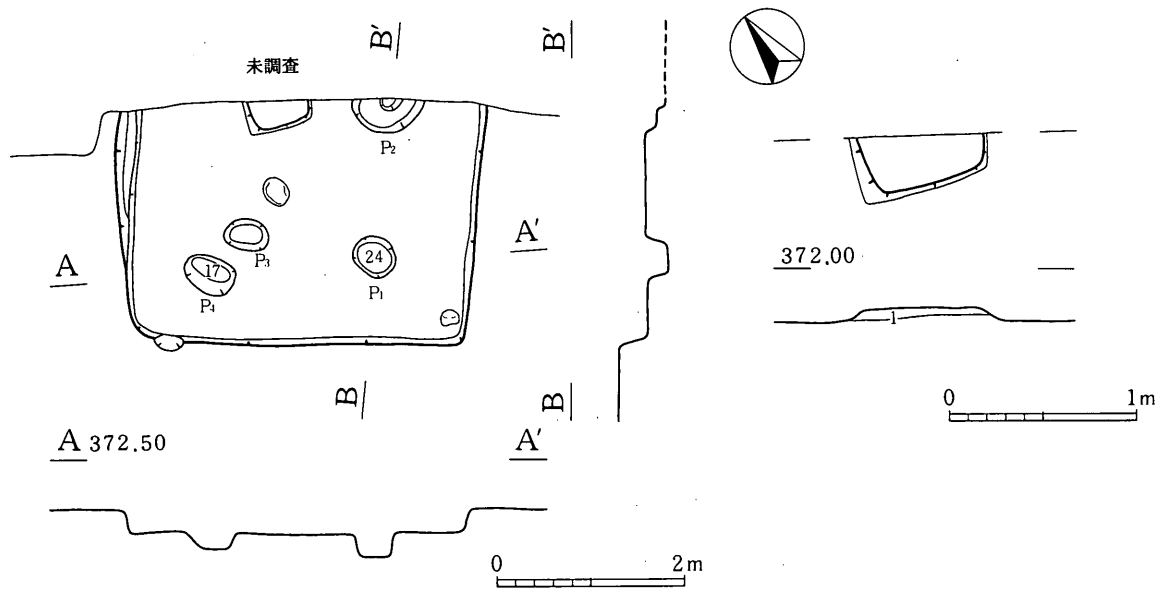


SB 23

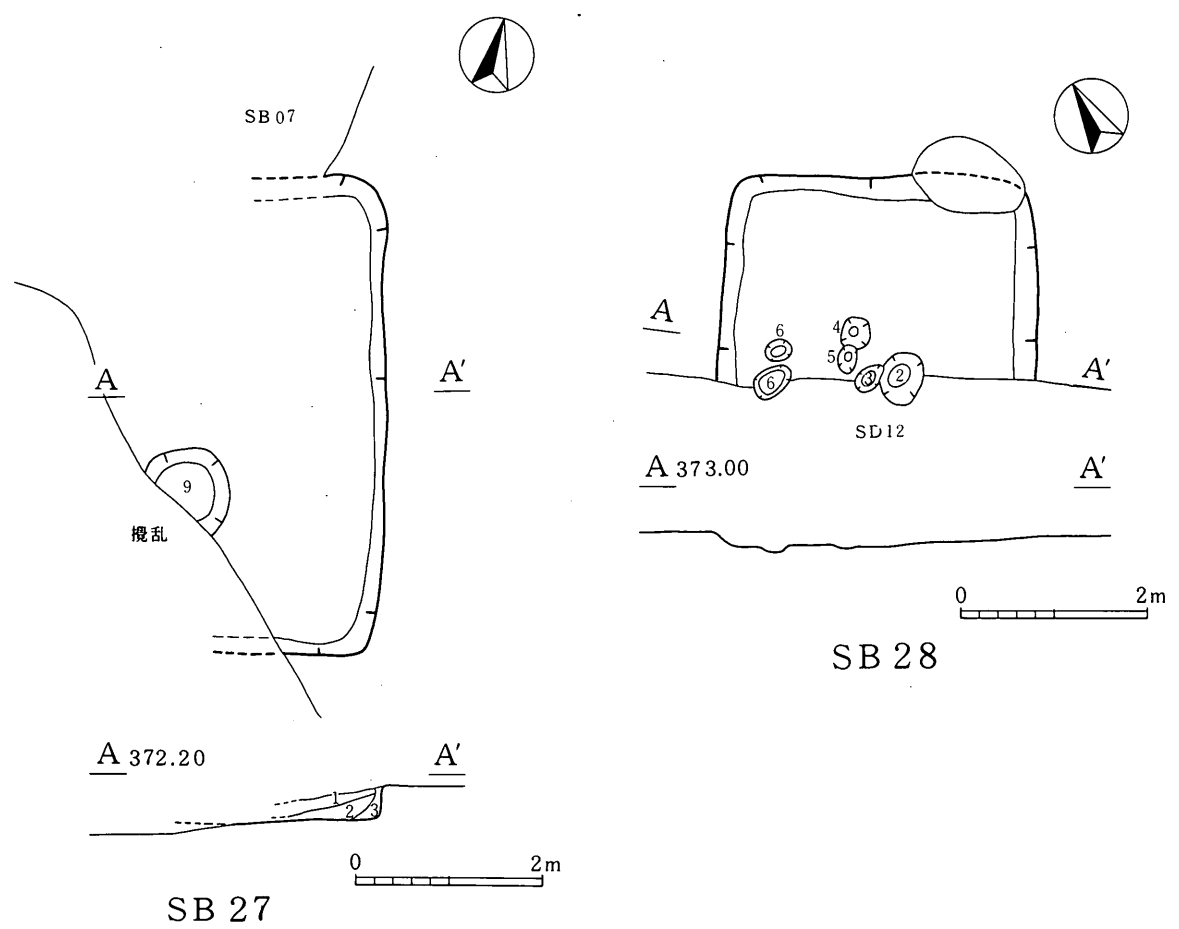


SB 25

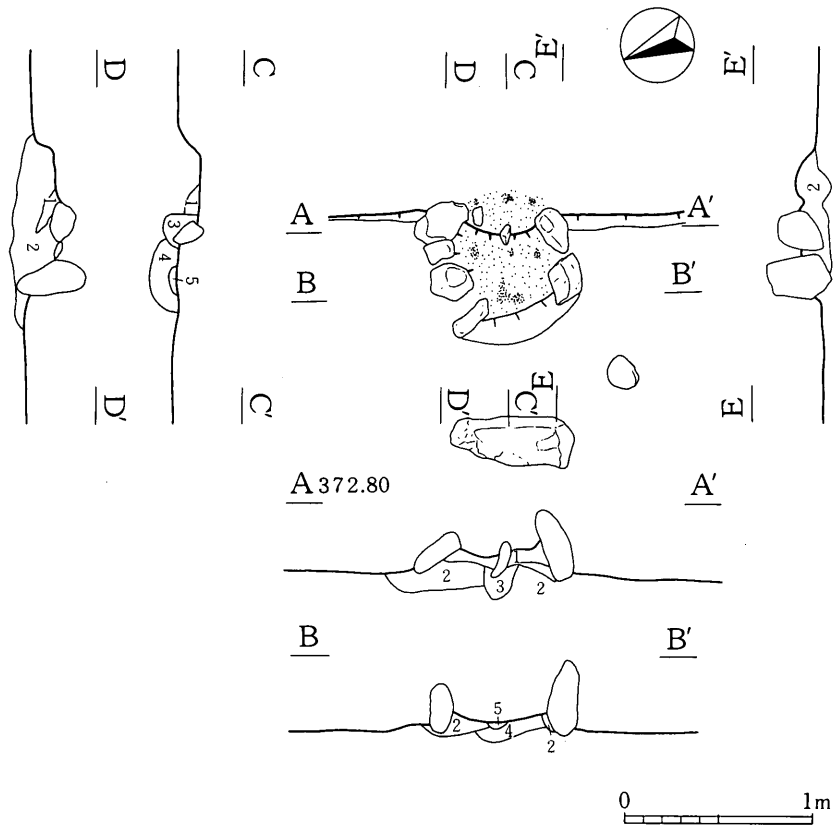
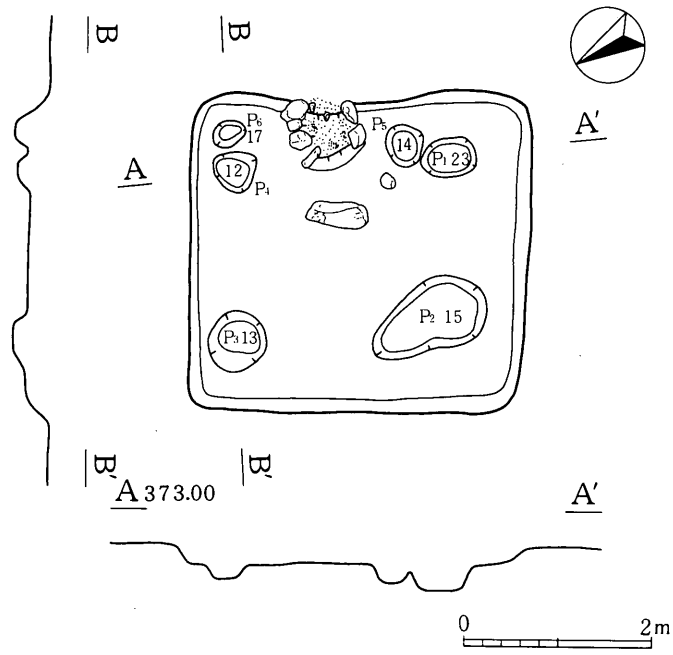
第18圖 S B 23 · 25



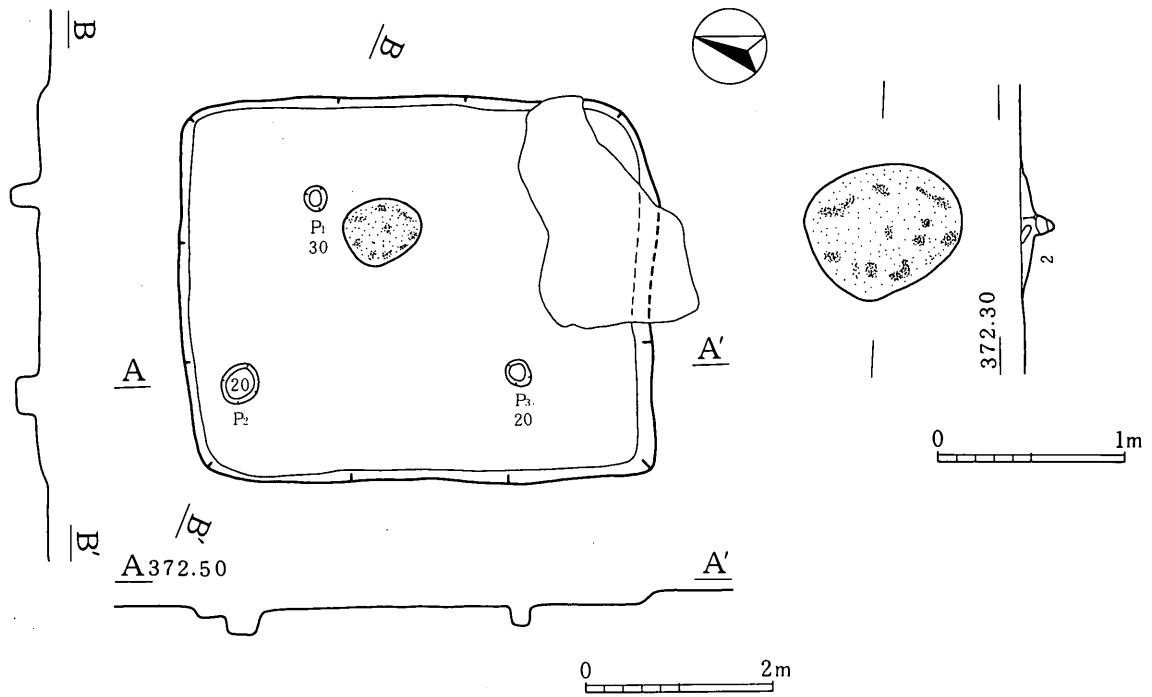
SB 26



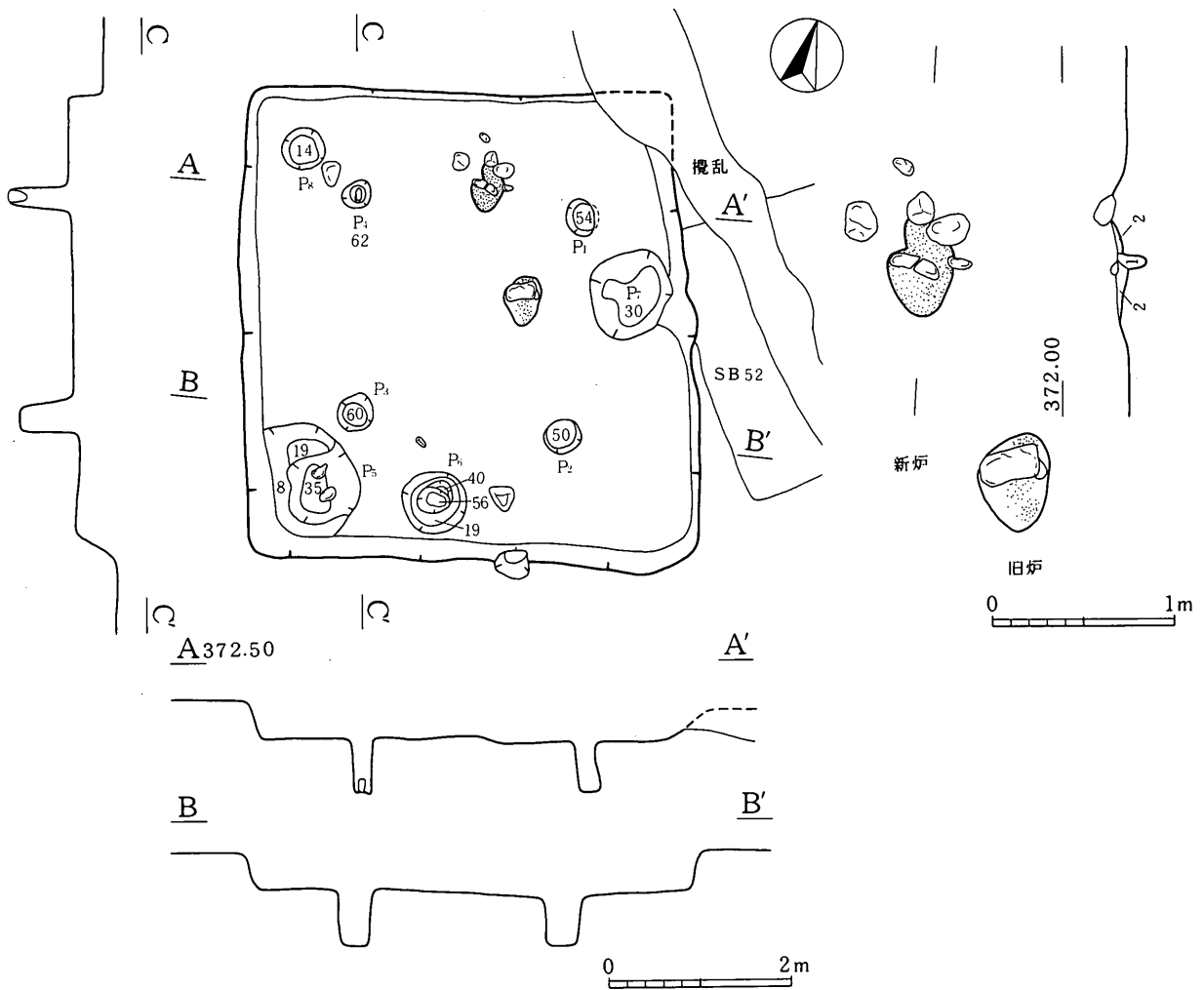
第19図 SB 26・27・28



第20图 SB29

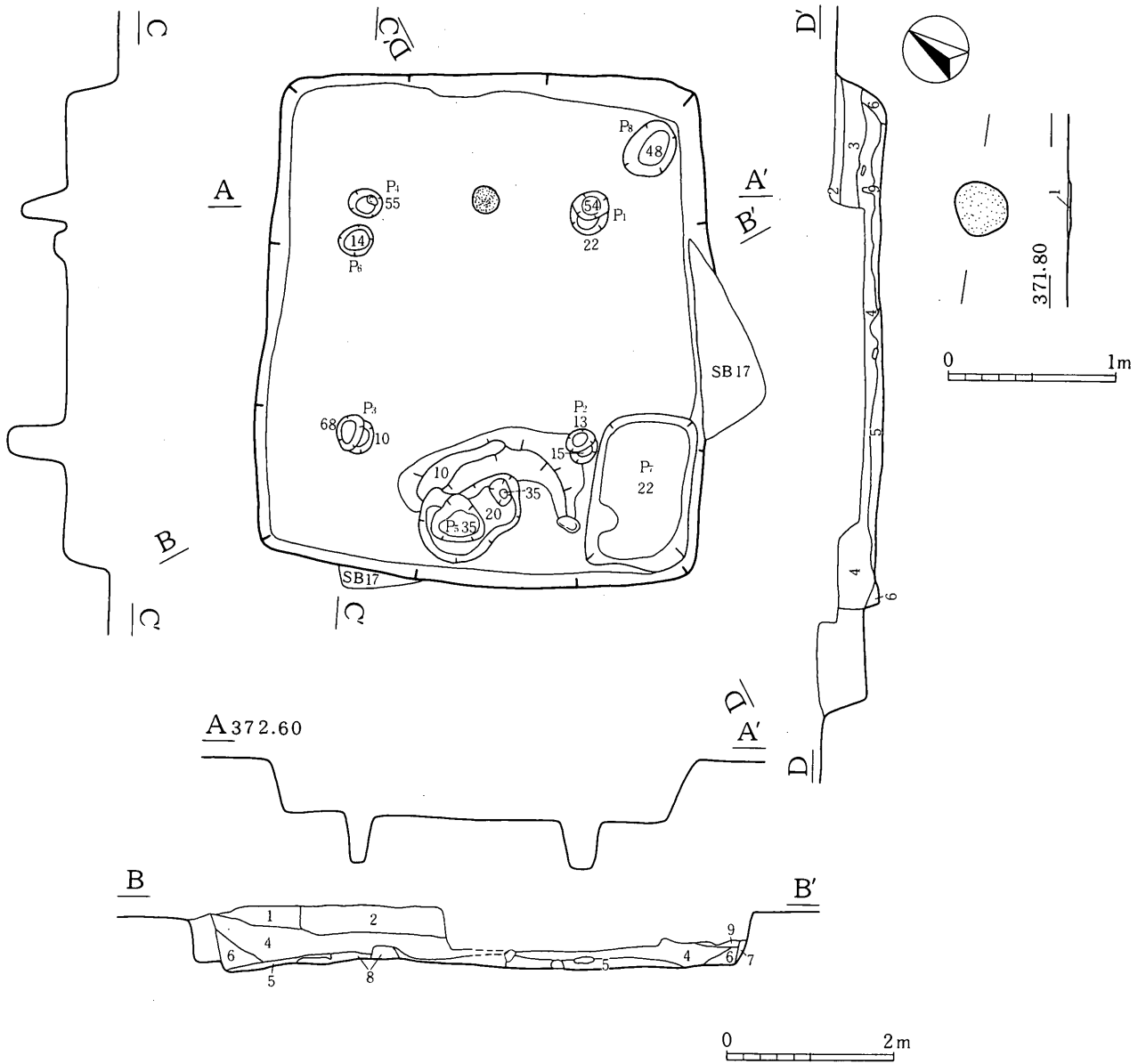


SB 32

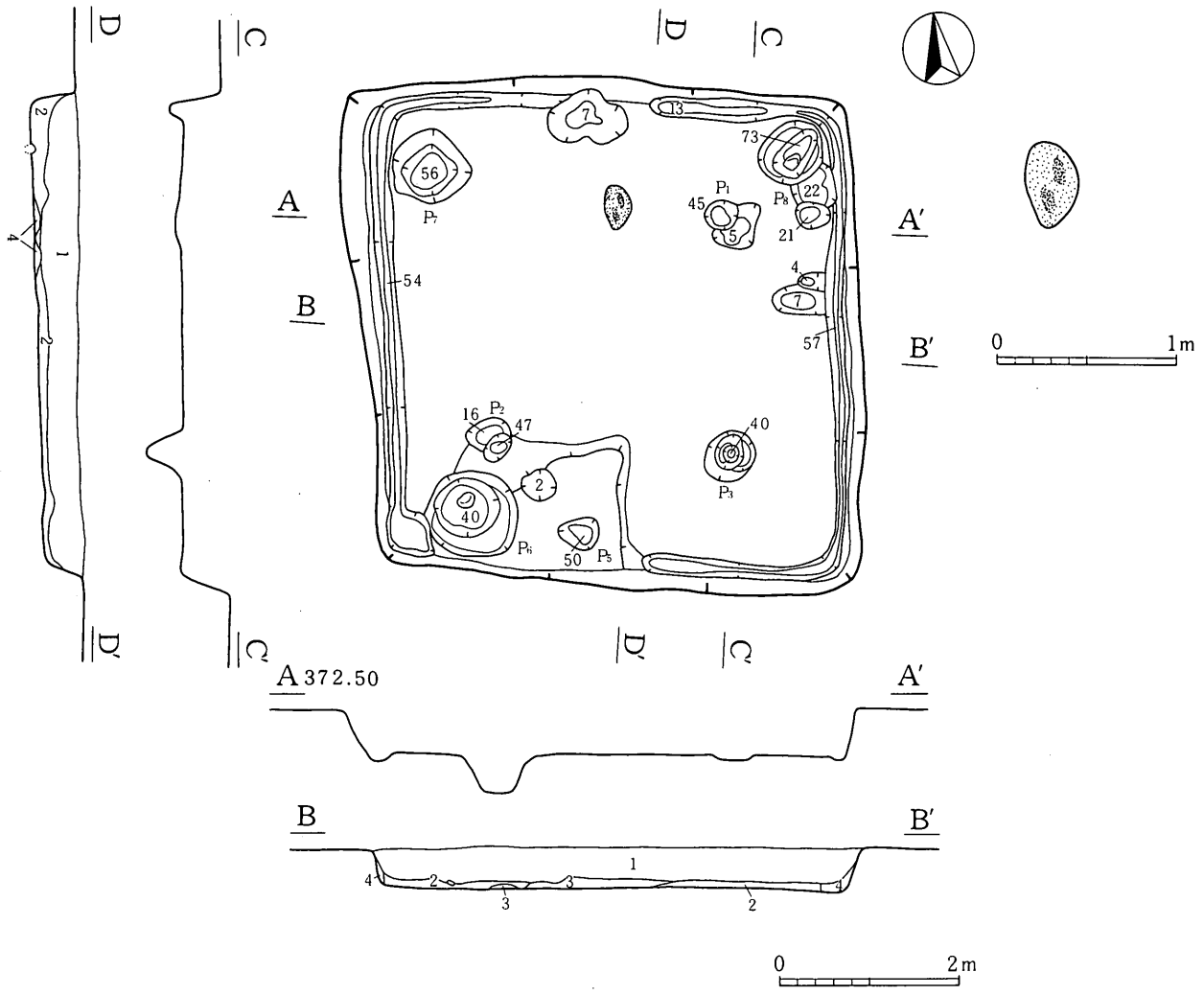


SB 33

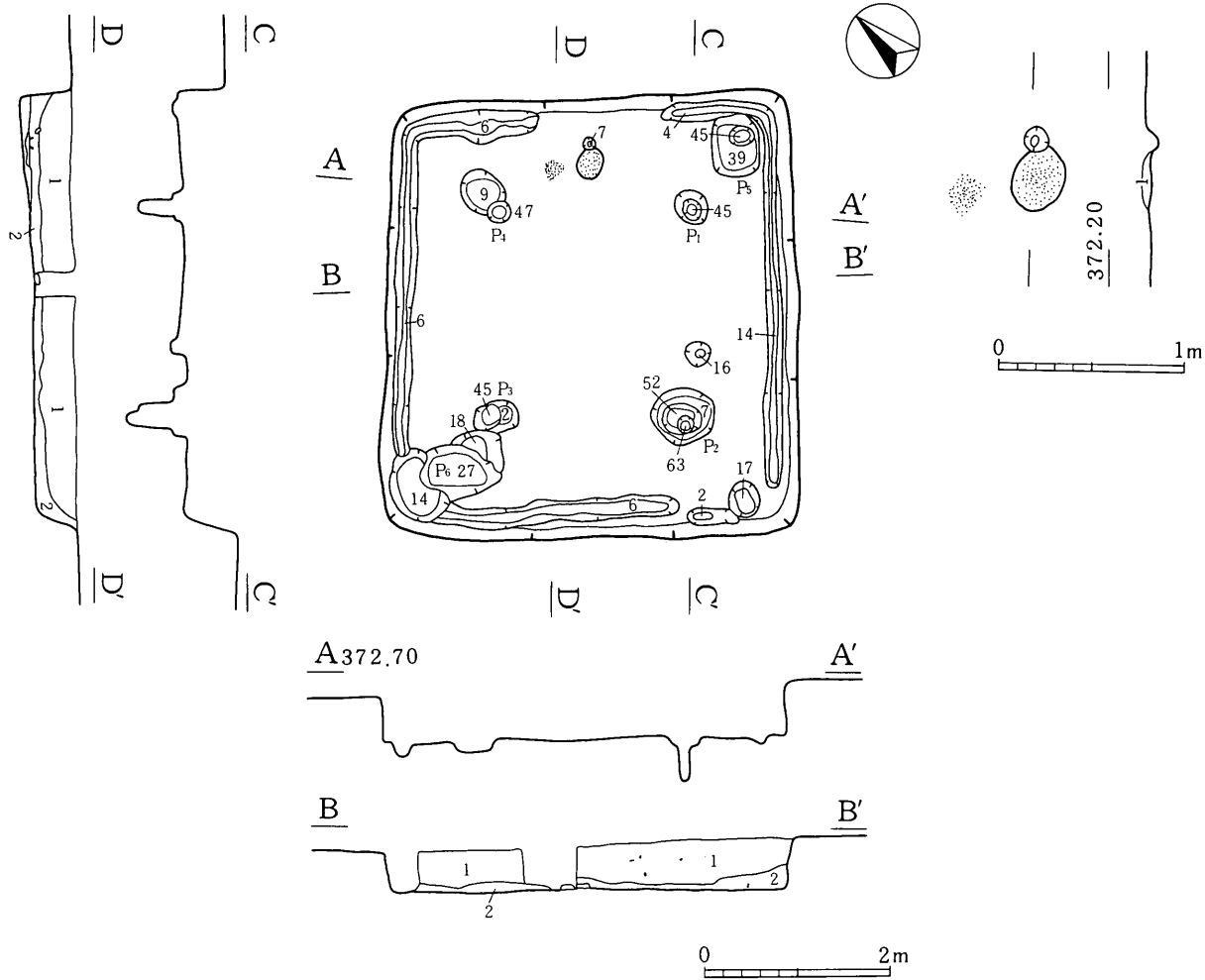
第21图 SB 32 · 33



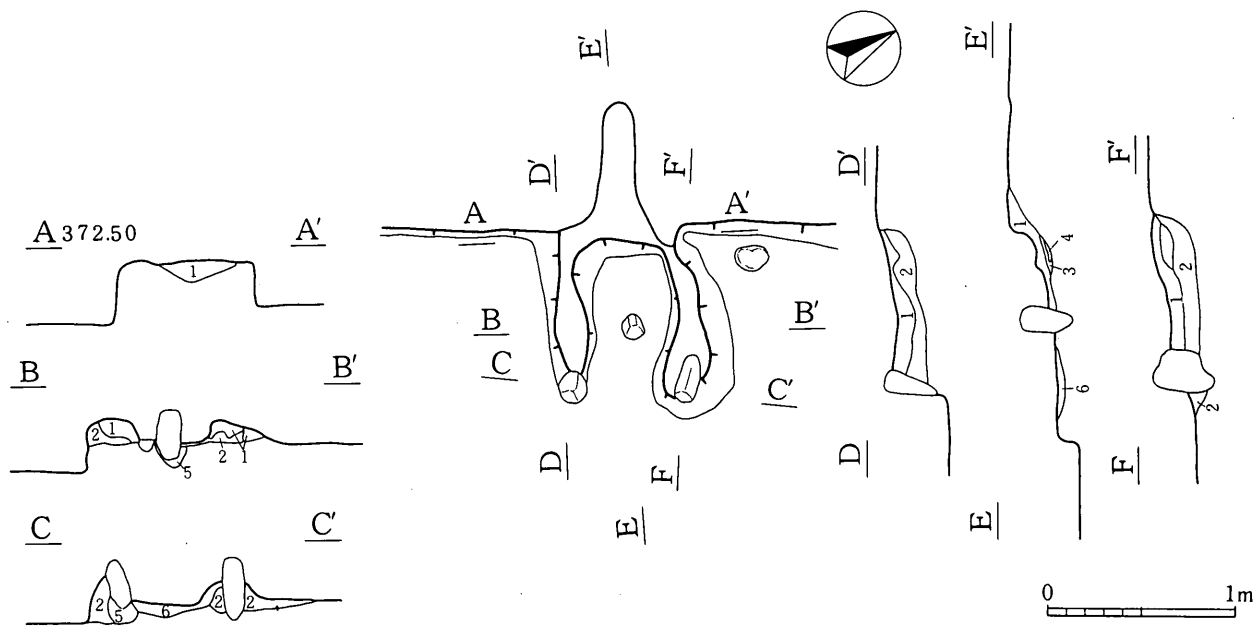
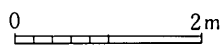
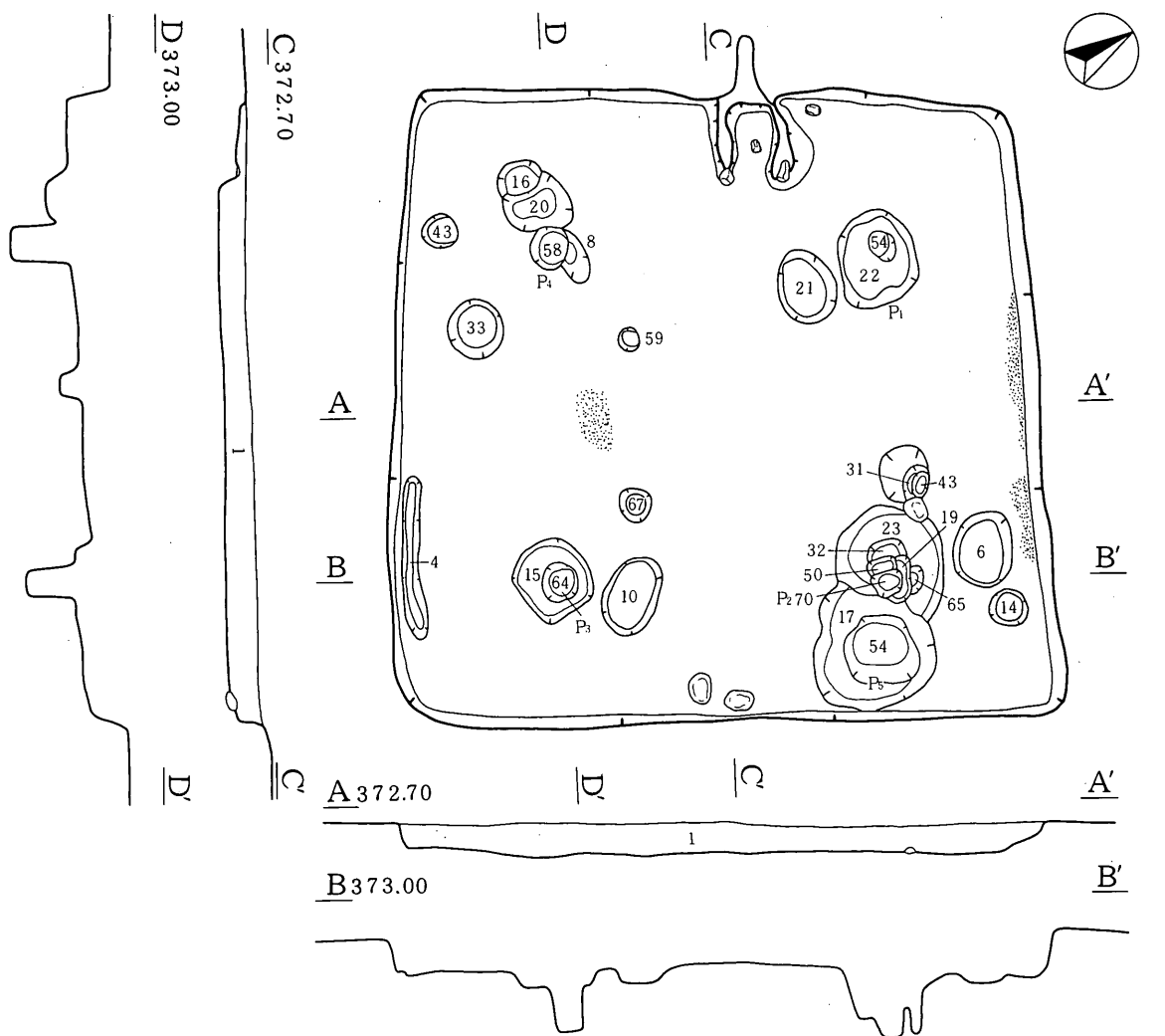
第22図 SB37



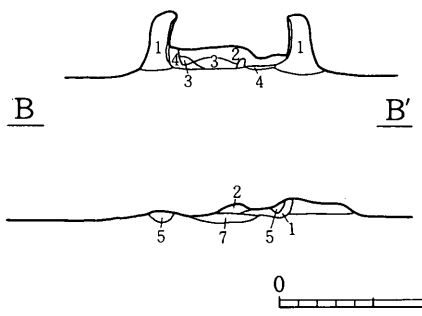
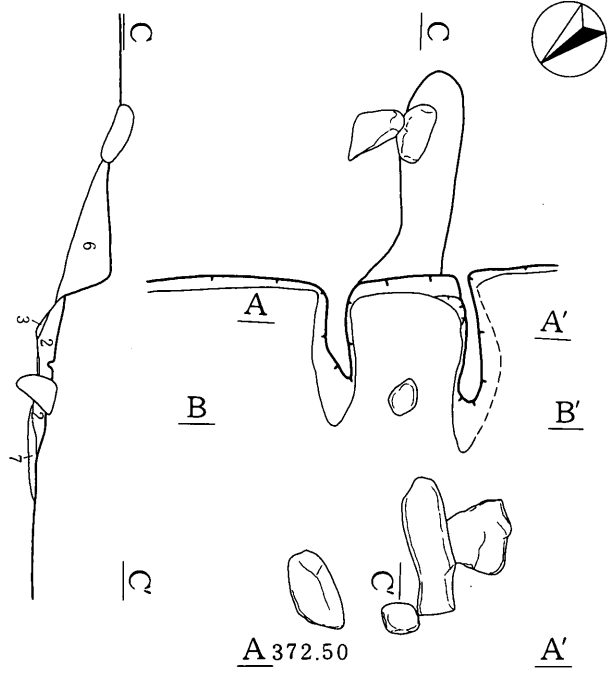
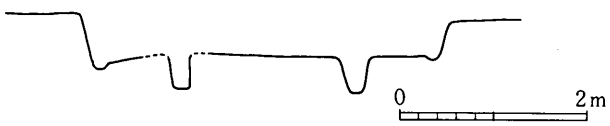
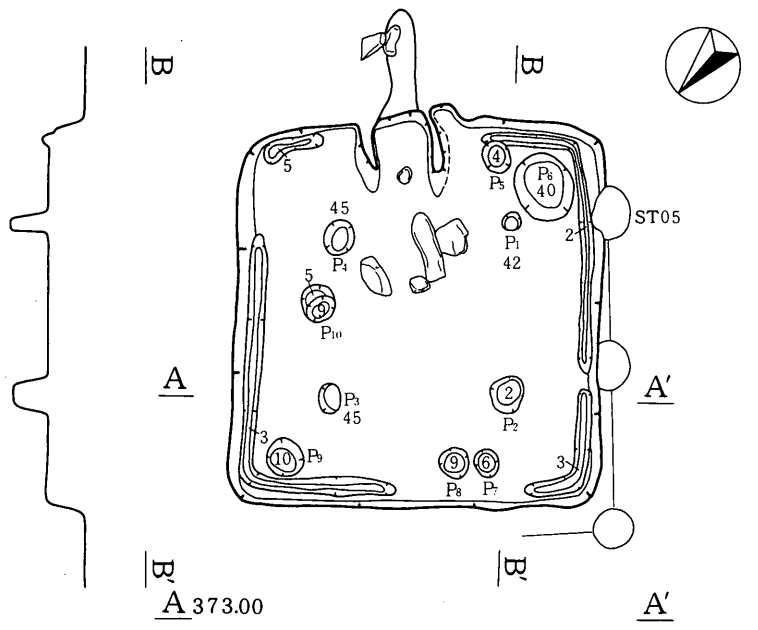
第23图 SB39



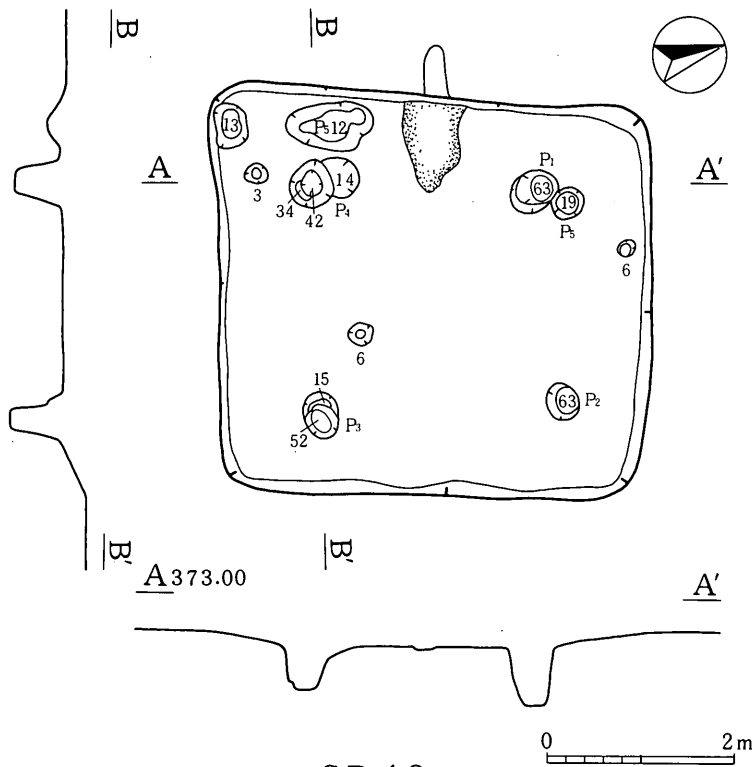
第24図 SB40



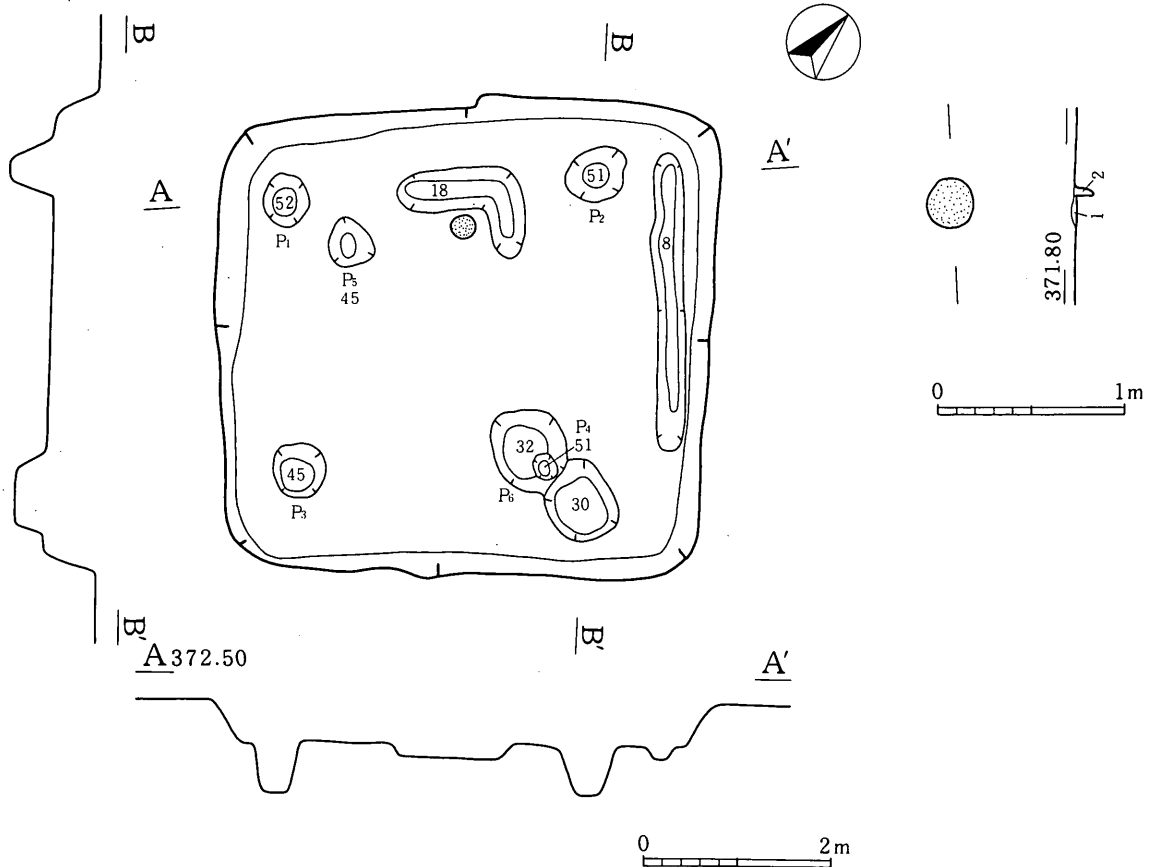
第25图 SB41



第26图 S B 42

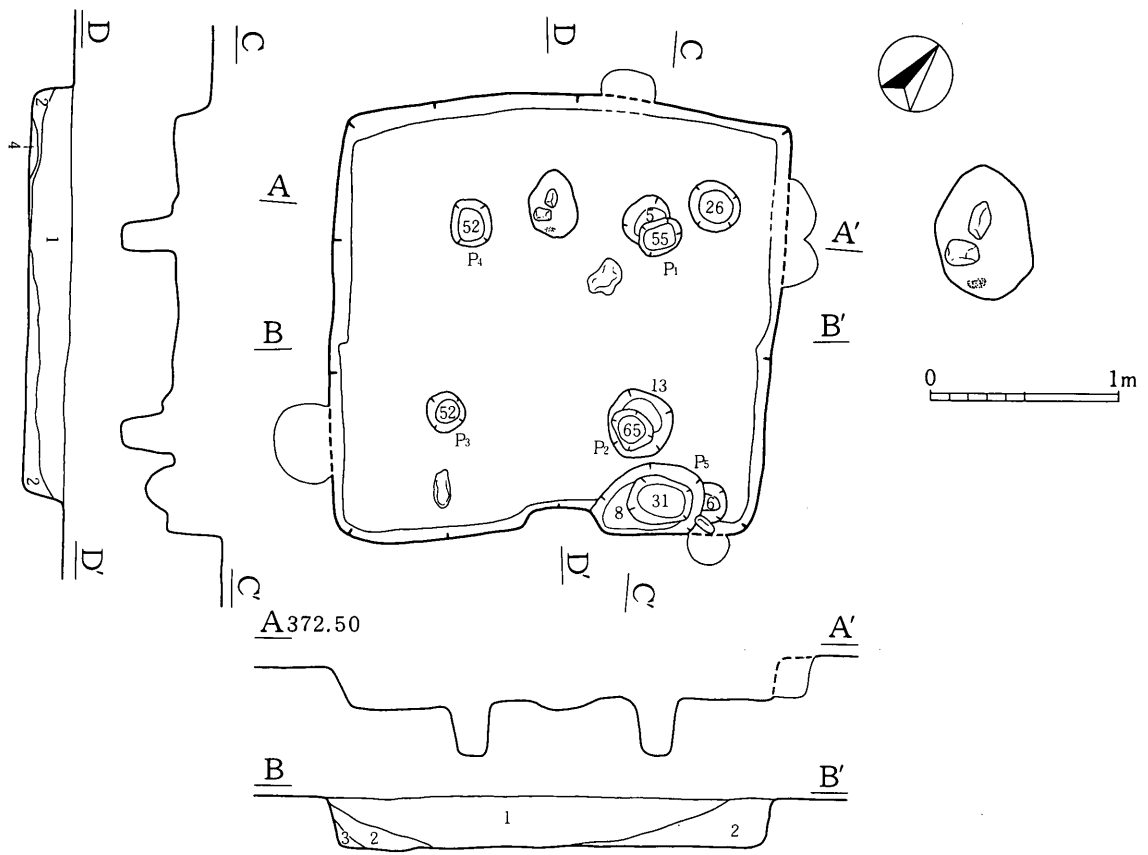


SB 43

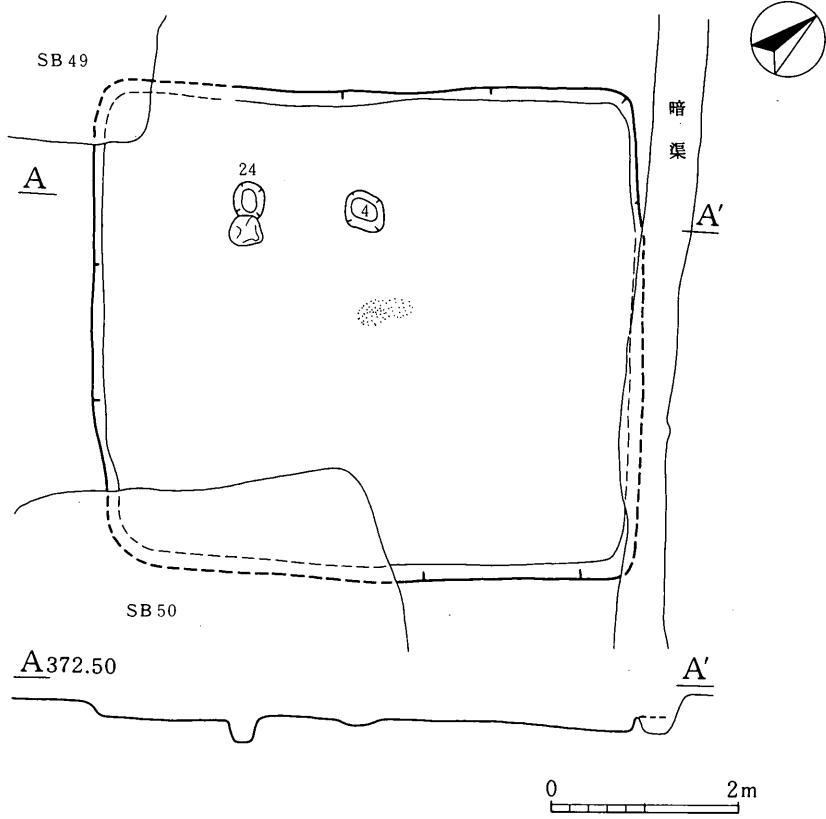


SB 44

第27图 SB 43 · 44

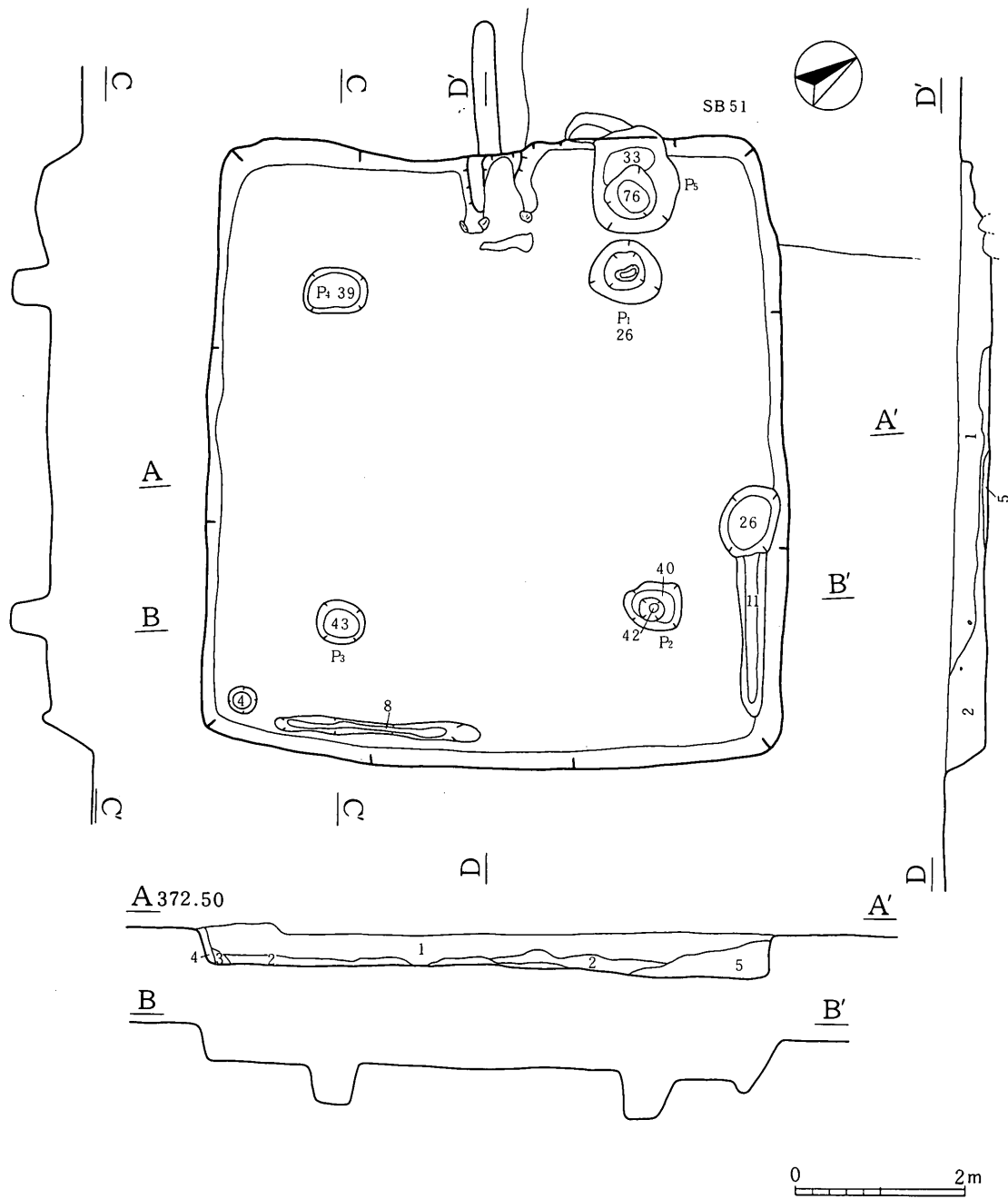


SB 48

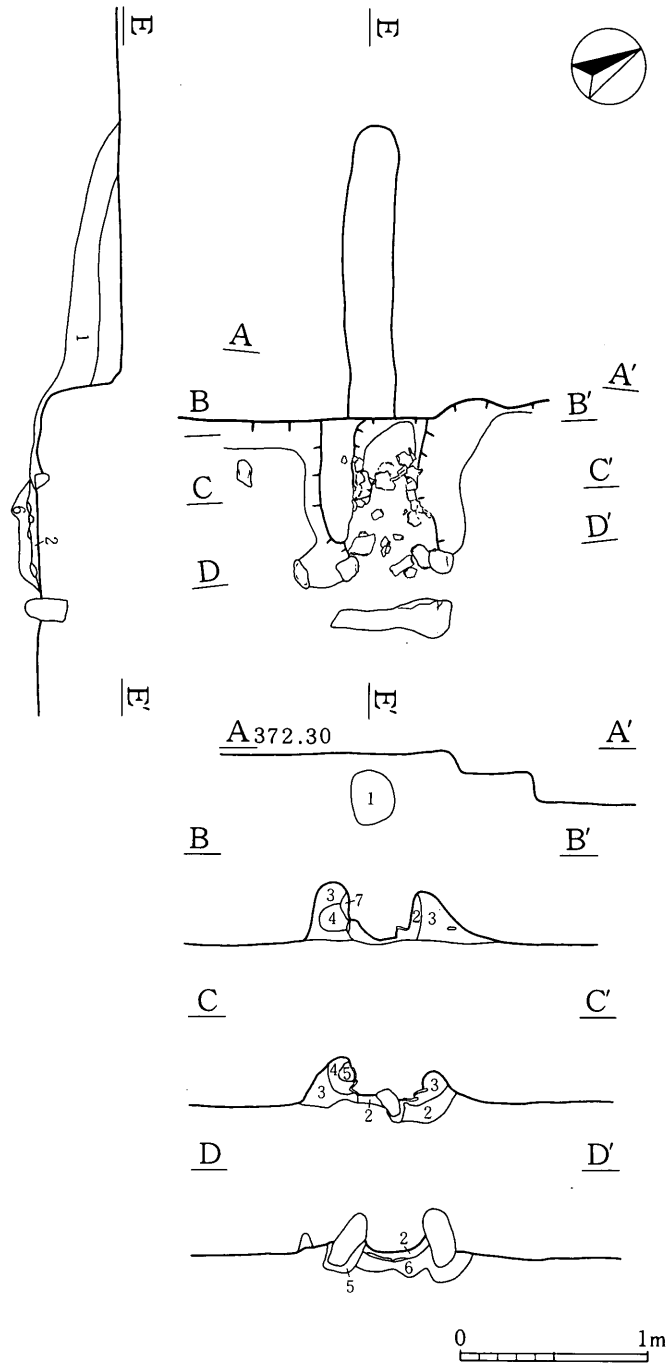


SB 51

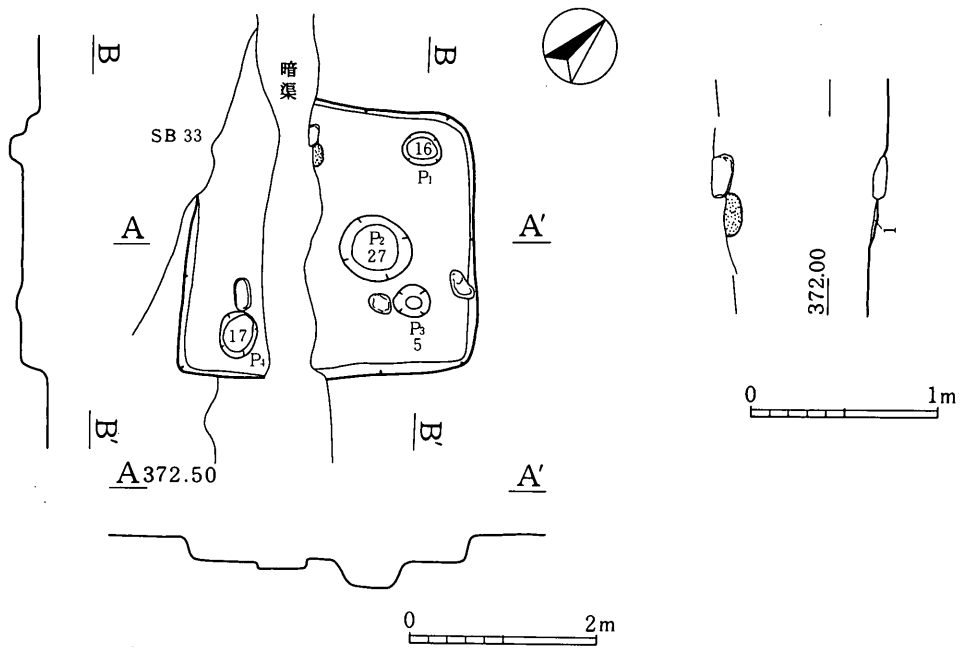
第28図 SB 48・51



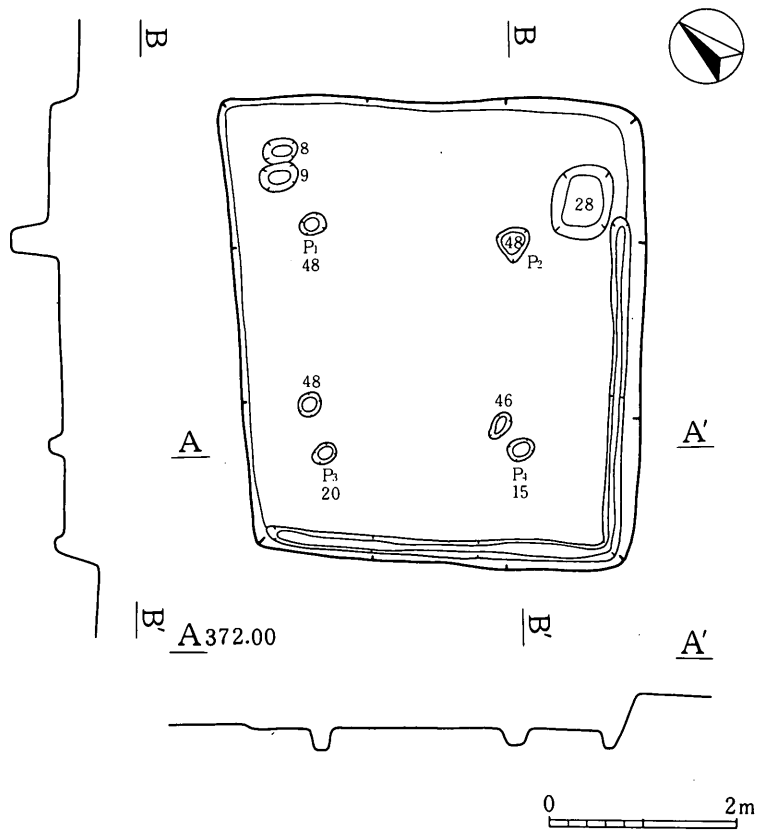
第29図 SB 50



第30図 SB50カマド

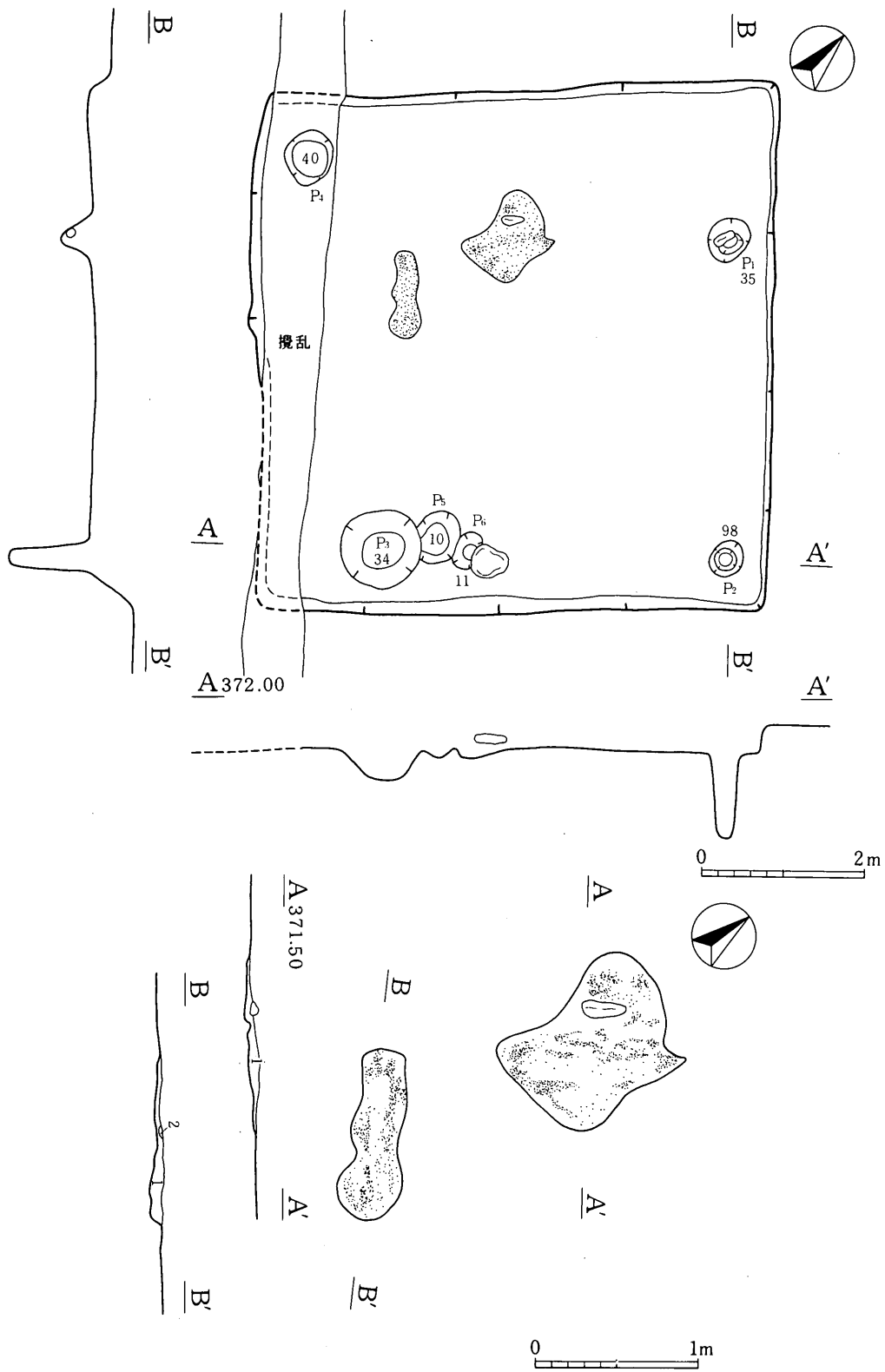


SB 52

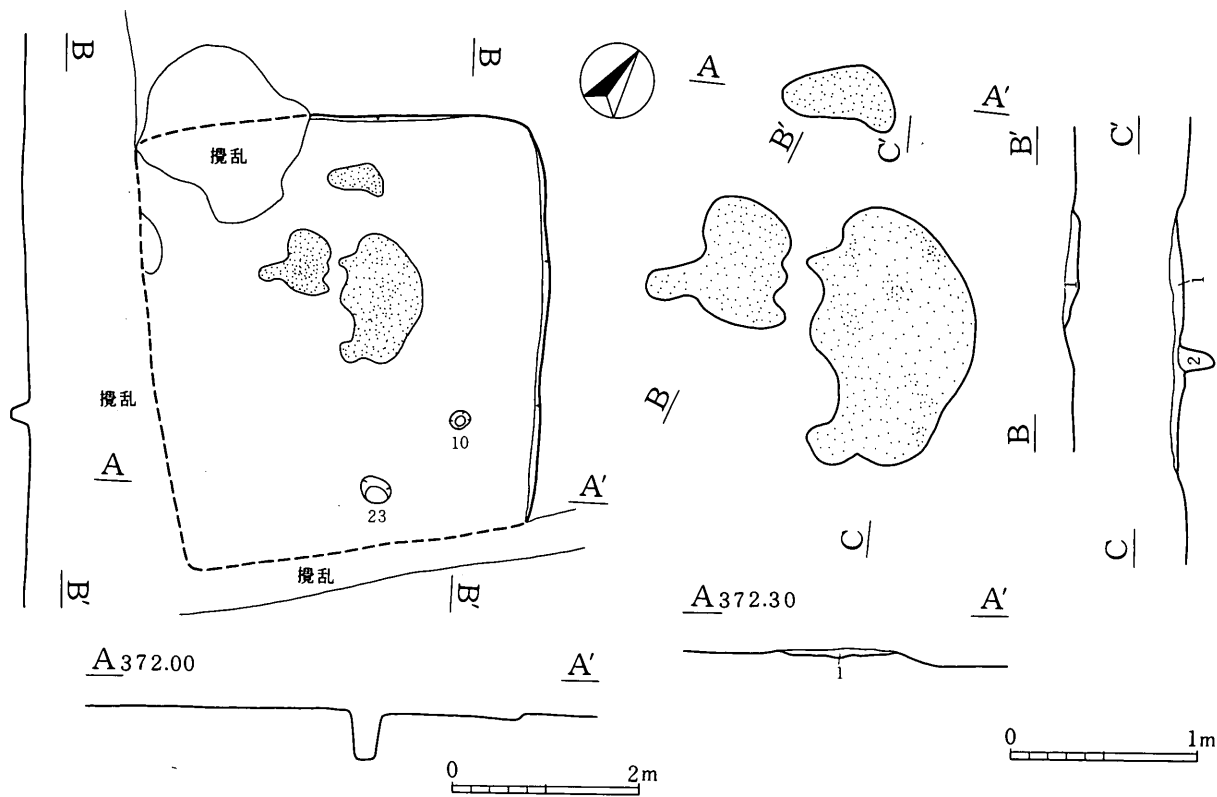


SB 53

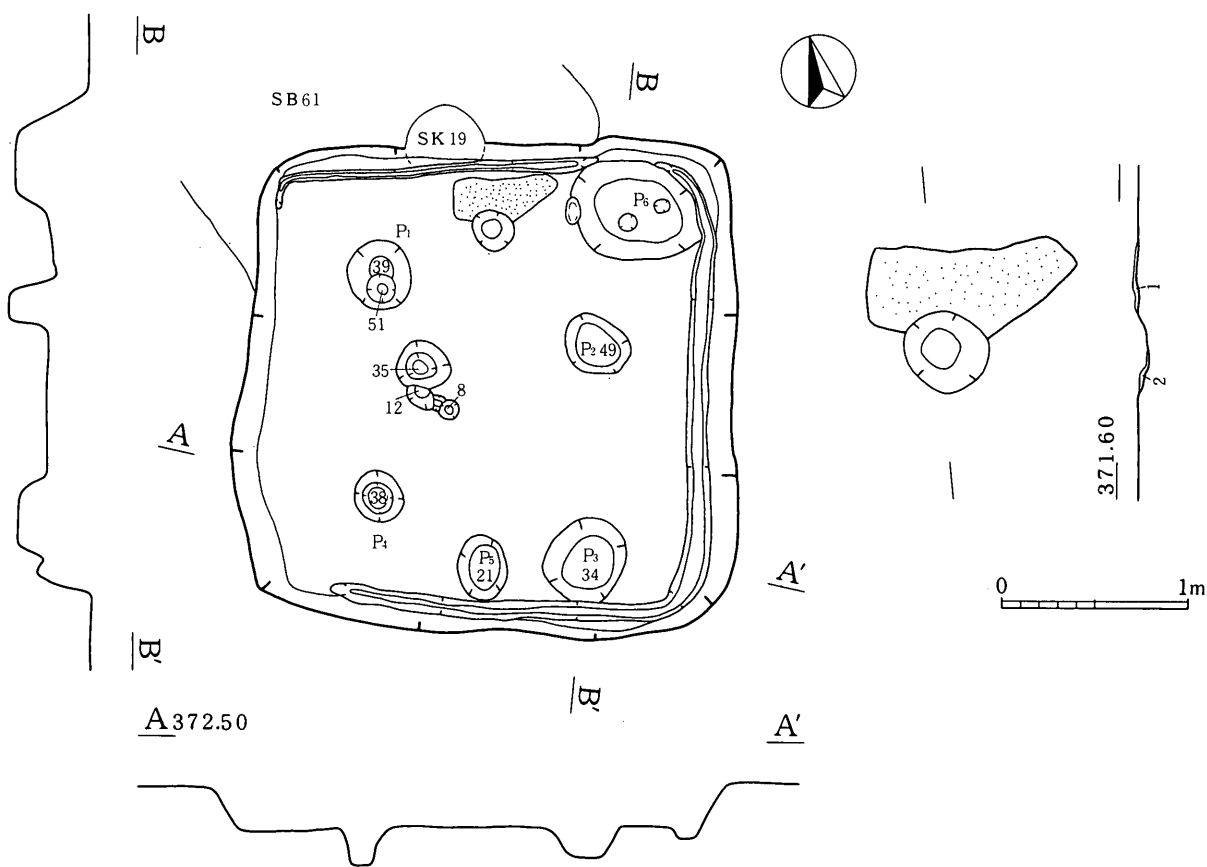
第31図 S B52・53



第32图 SB54

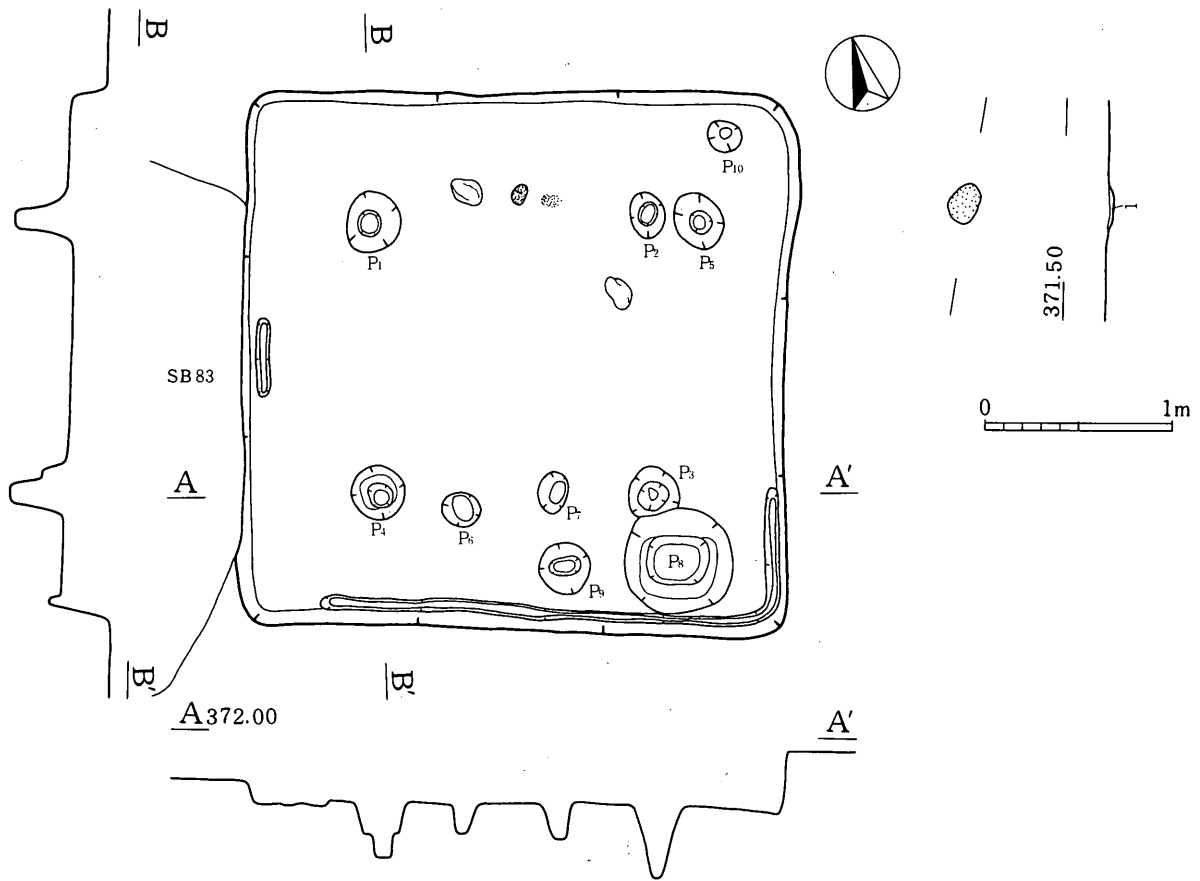


SB 55

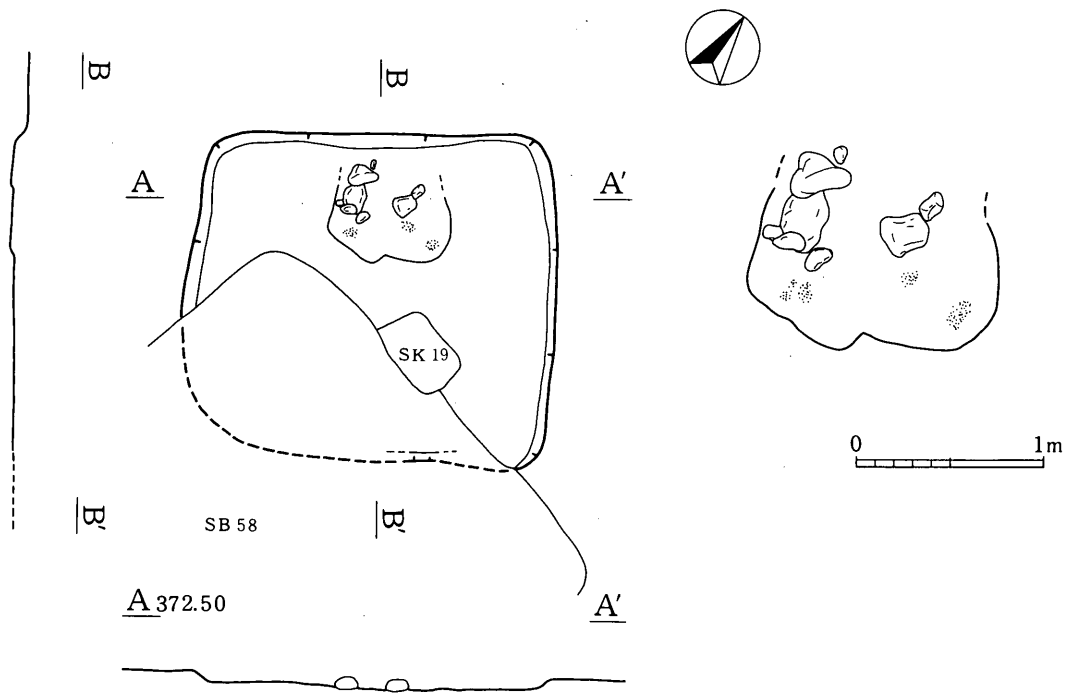


SB 58

第33图 SB 55 · 58

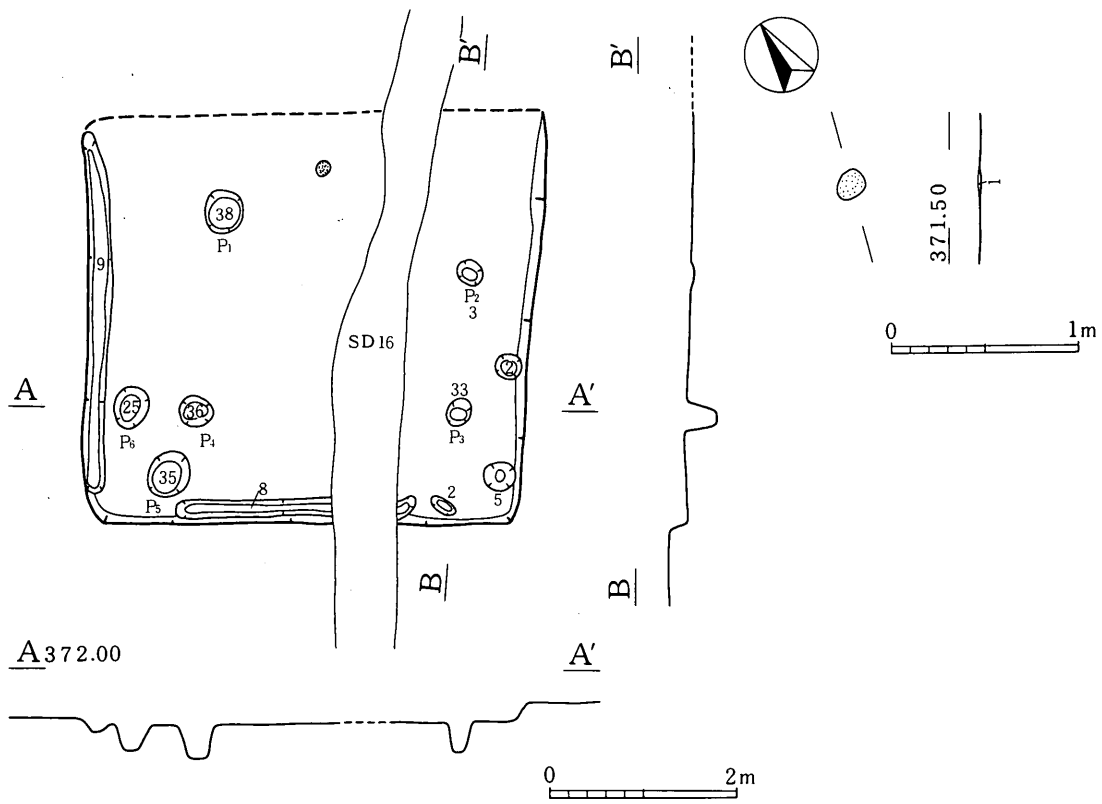


SB 60

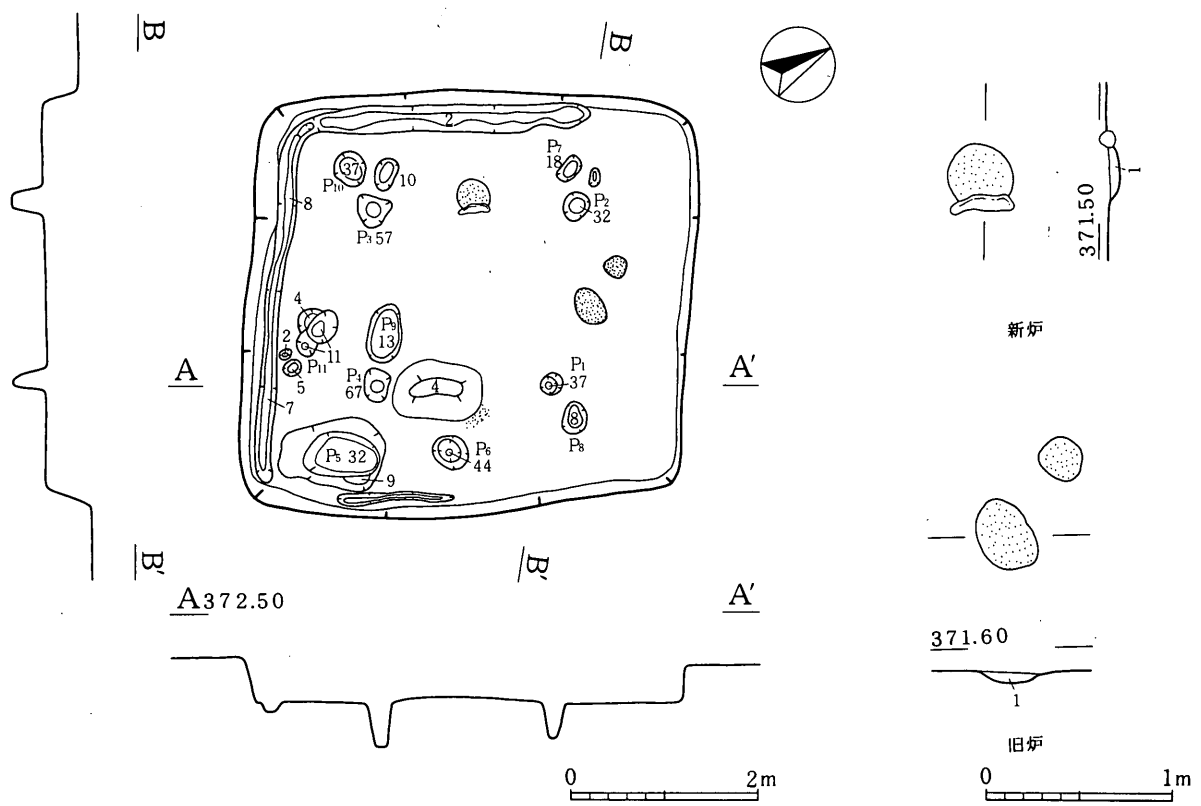


SB 61

第34图 SB 60·61

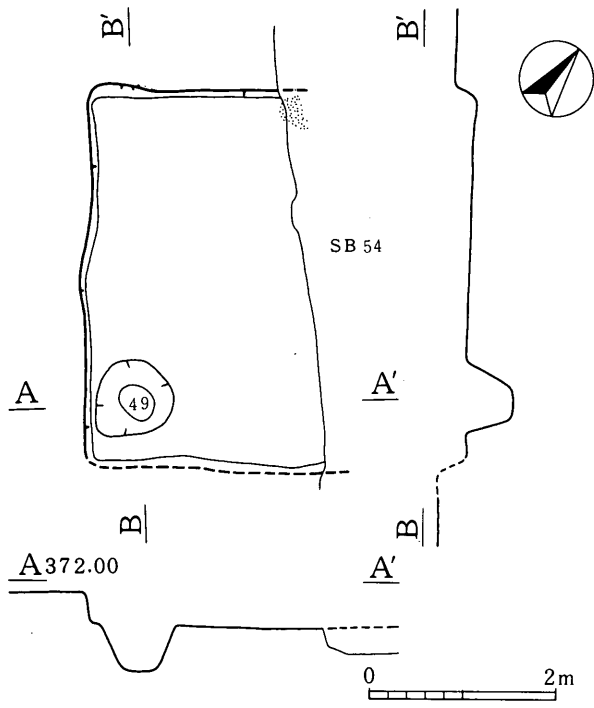


SB 62

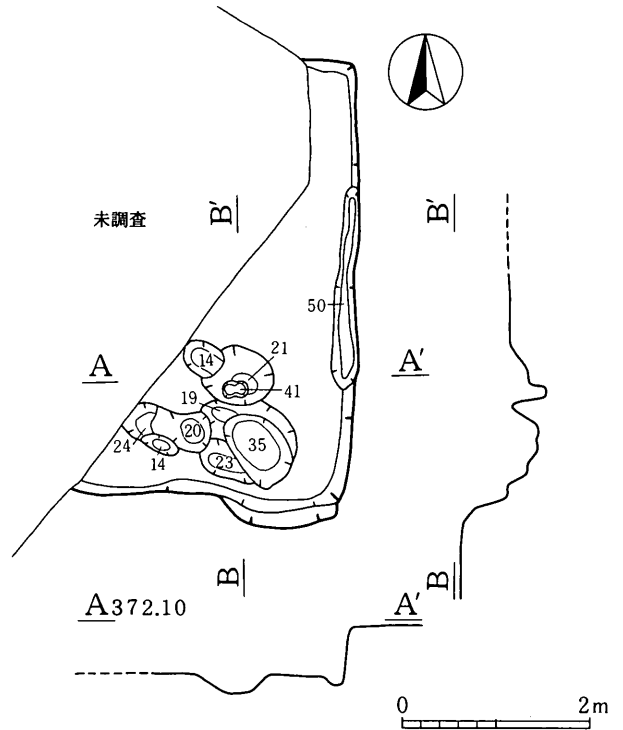


SB 64

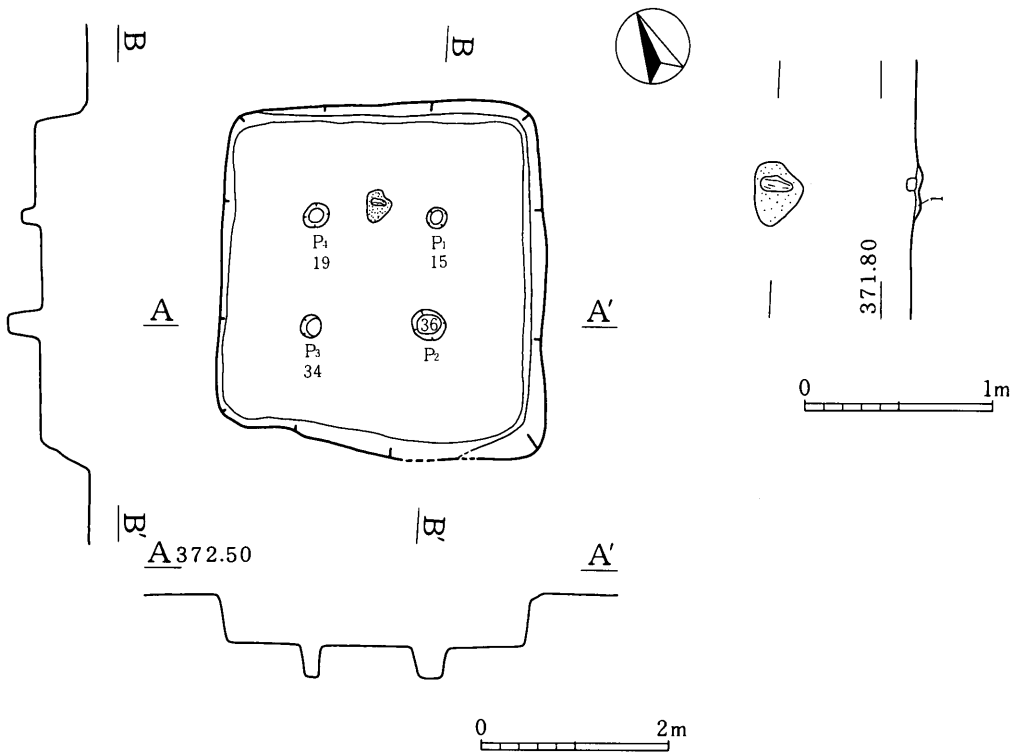
第35图 SB 62 · 64



SB 65

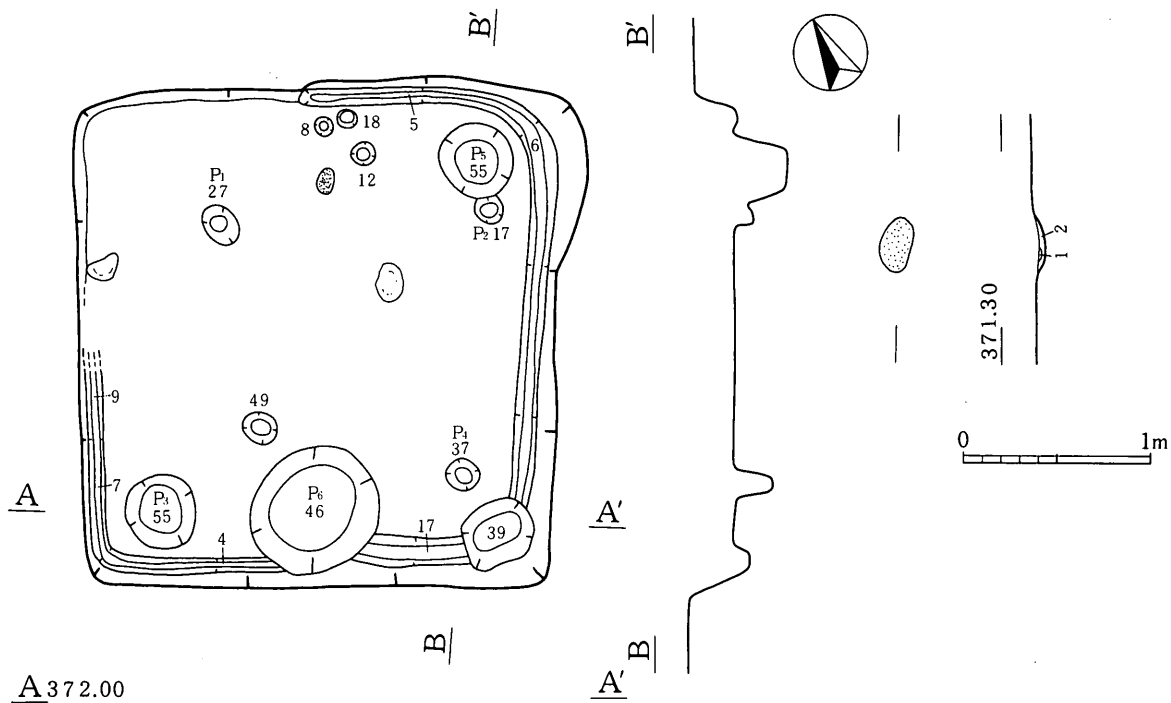


SB 66

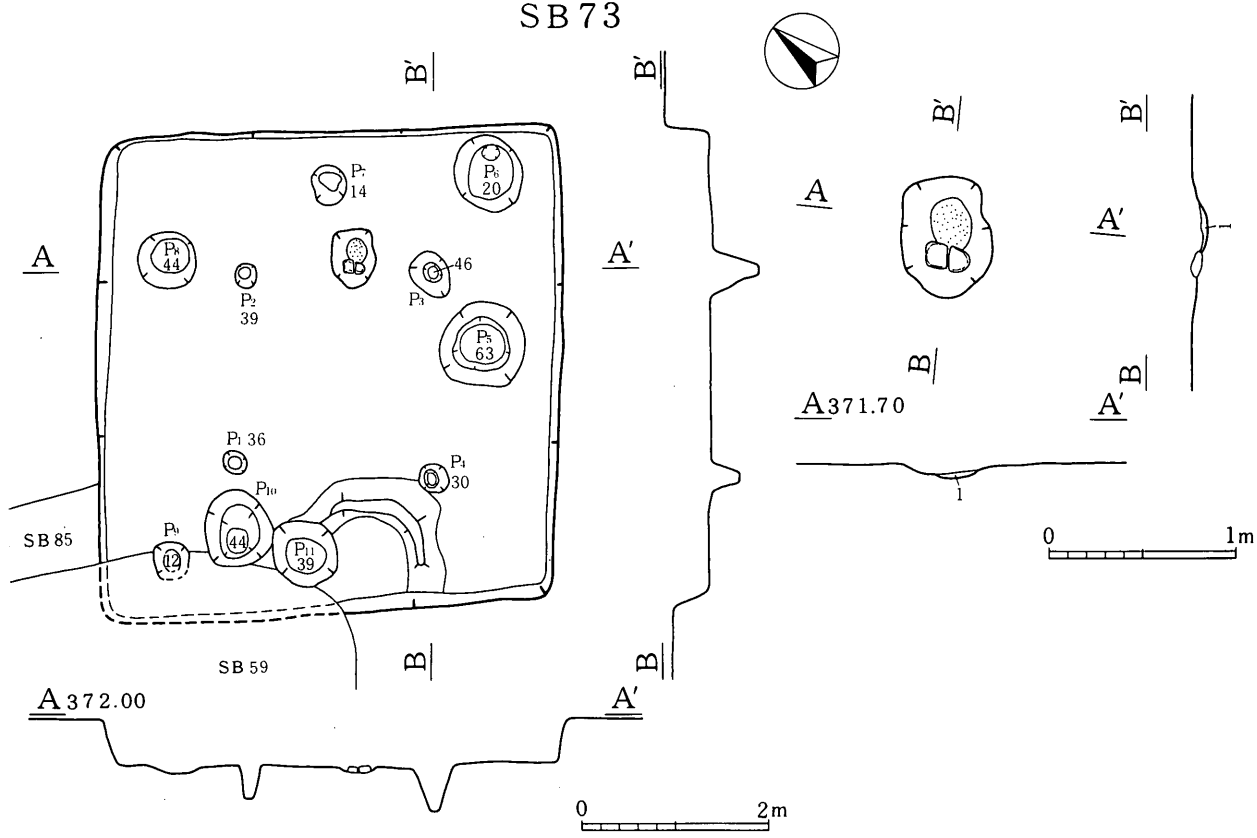


SB 69

第36図 S B65・66・69

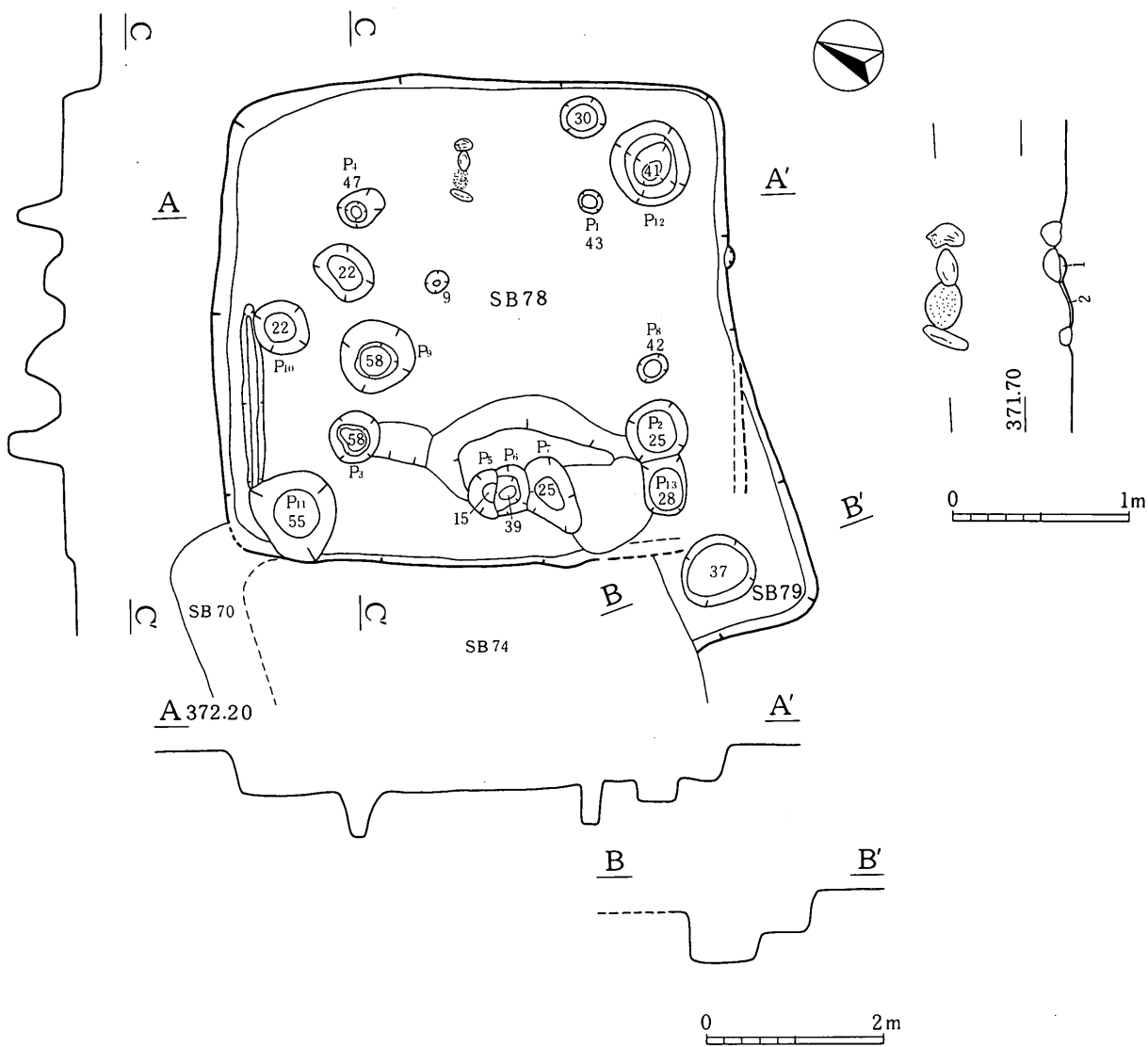


SB 73

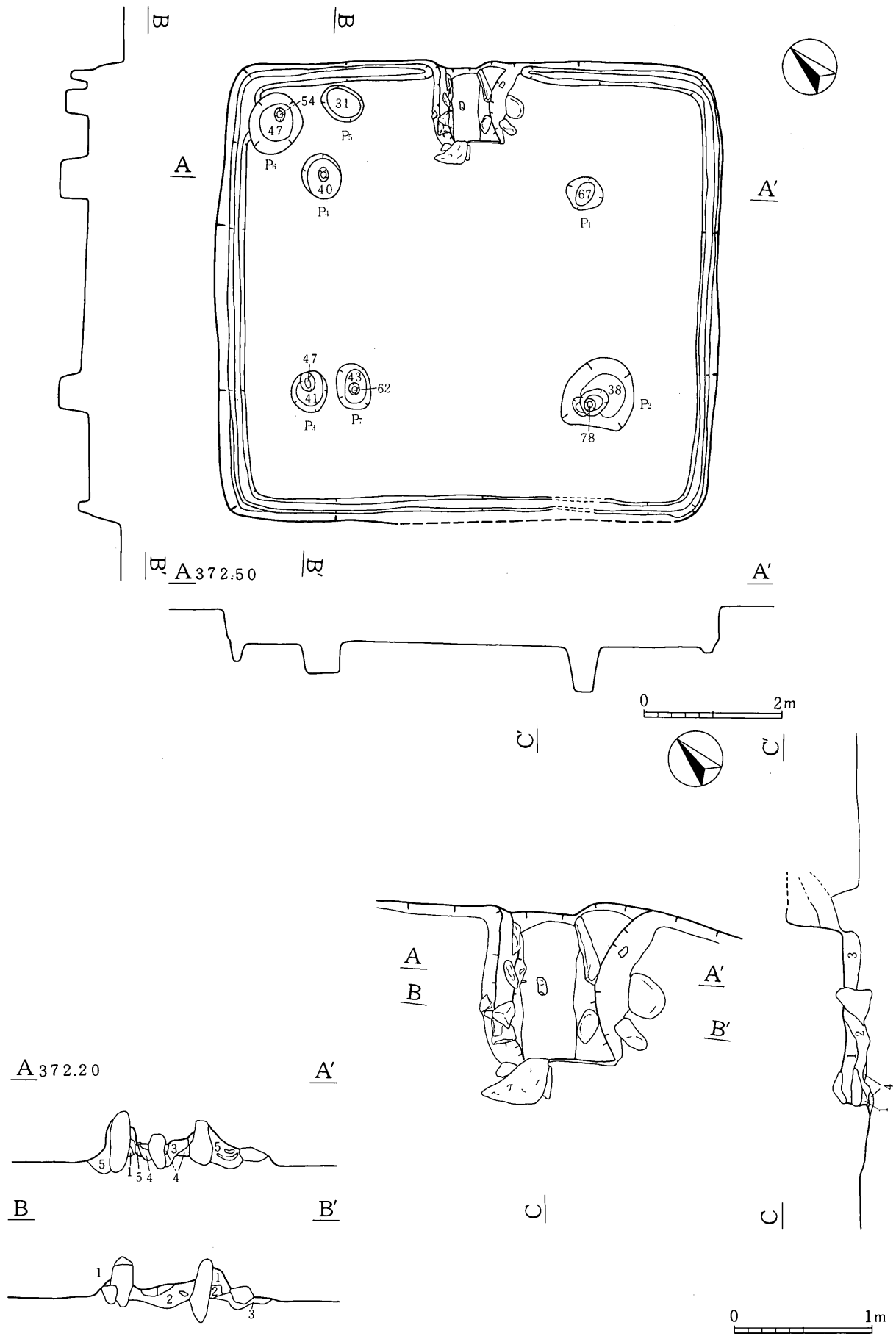


SB 77

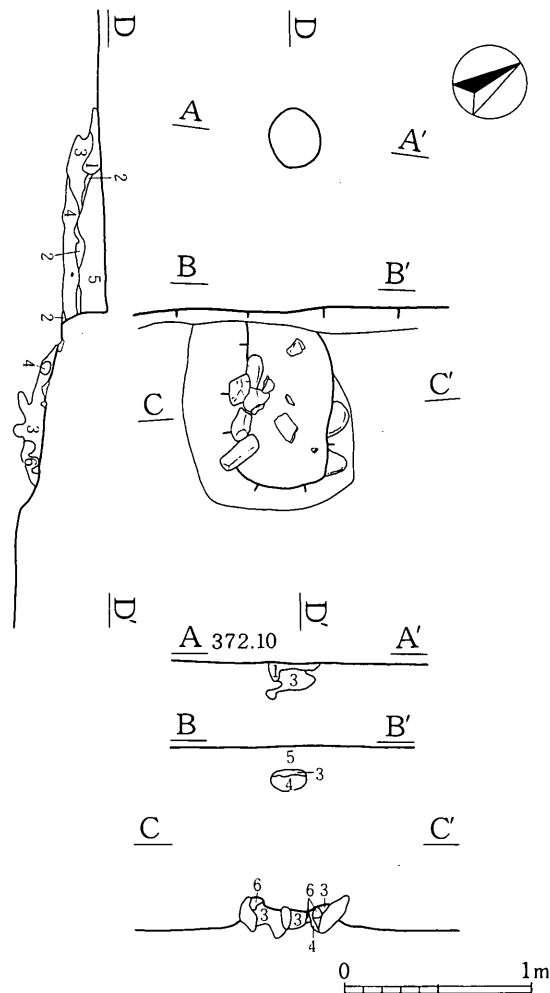
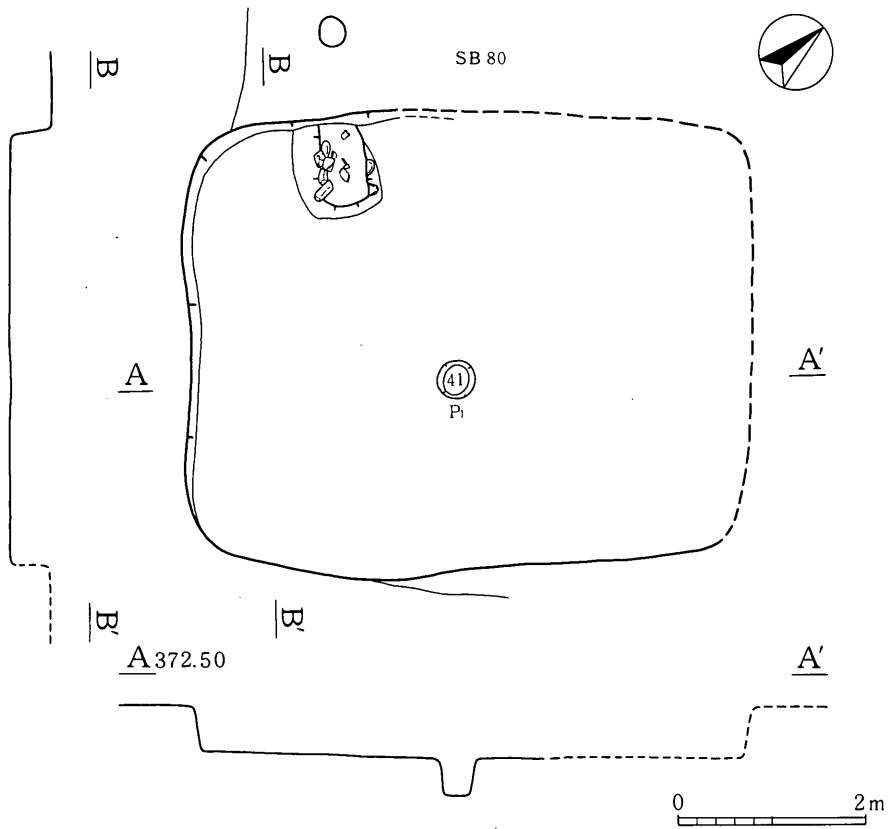
第37图 SB 73 · 77



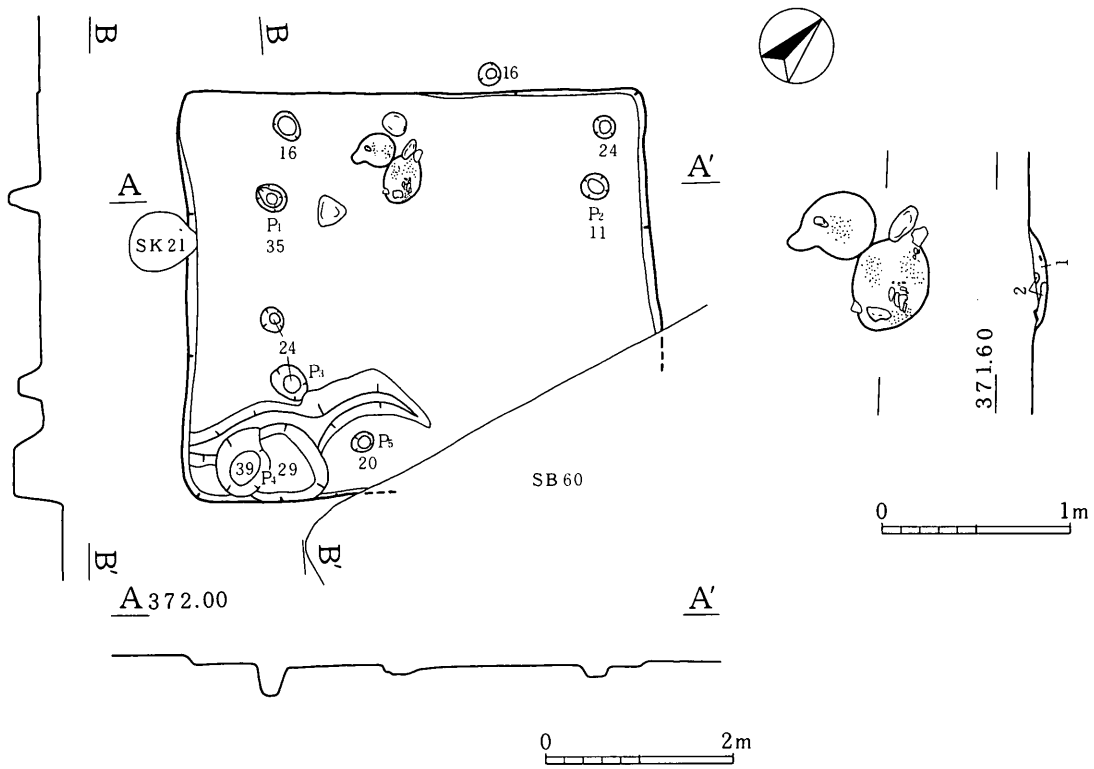
第39図 S B 78 · 79



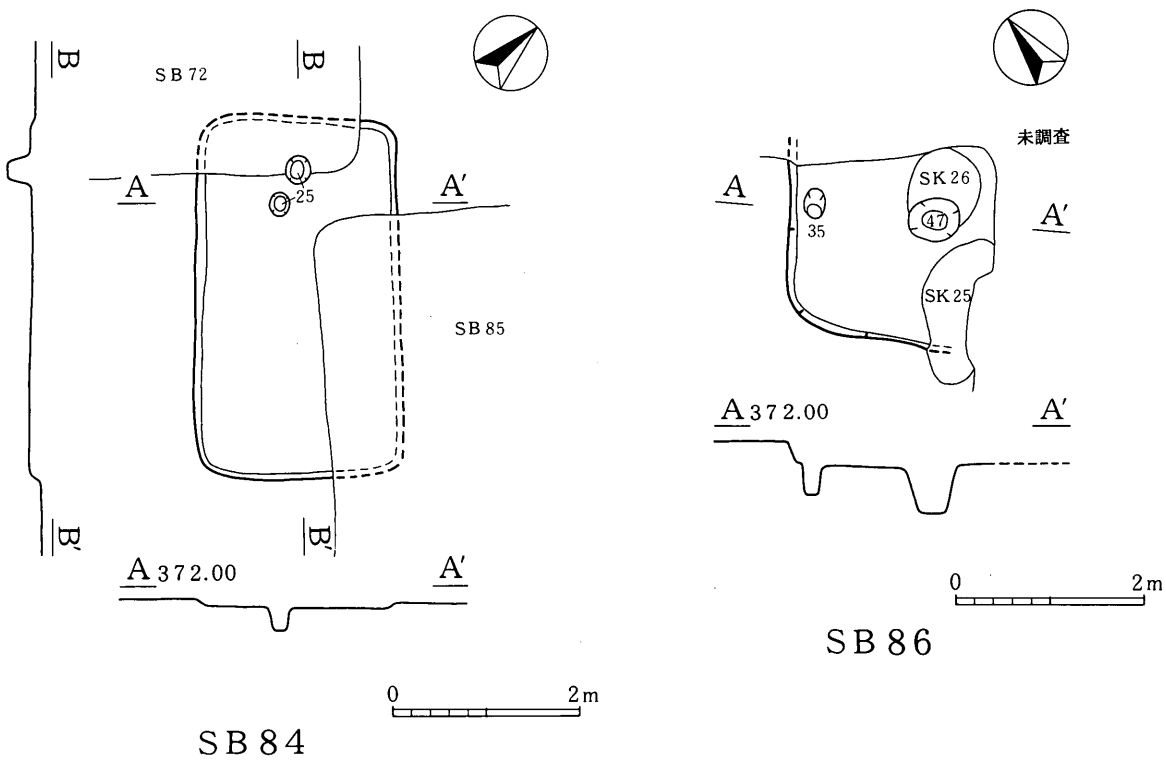
第40图 SB80



第41圖 SB 82



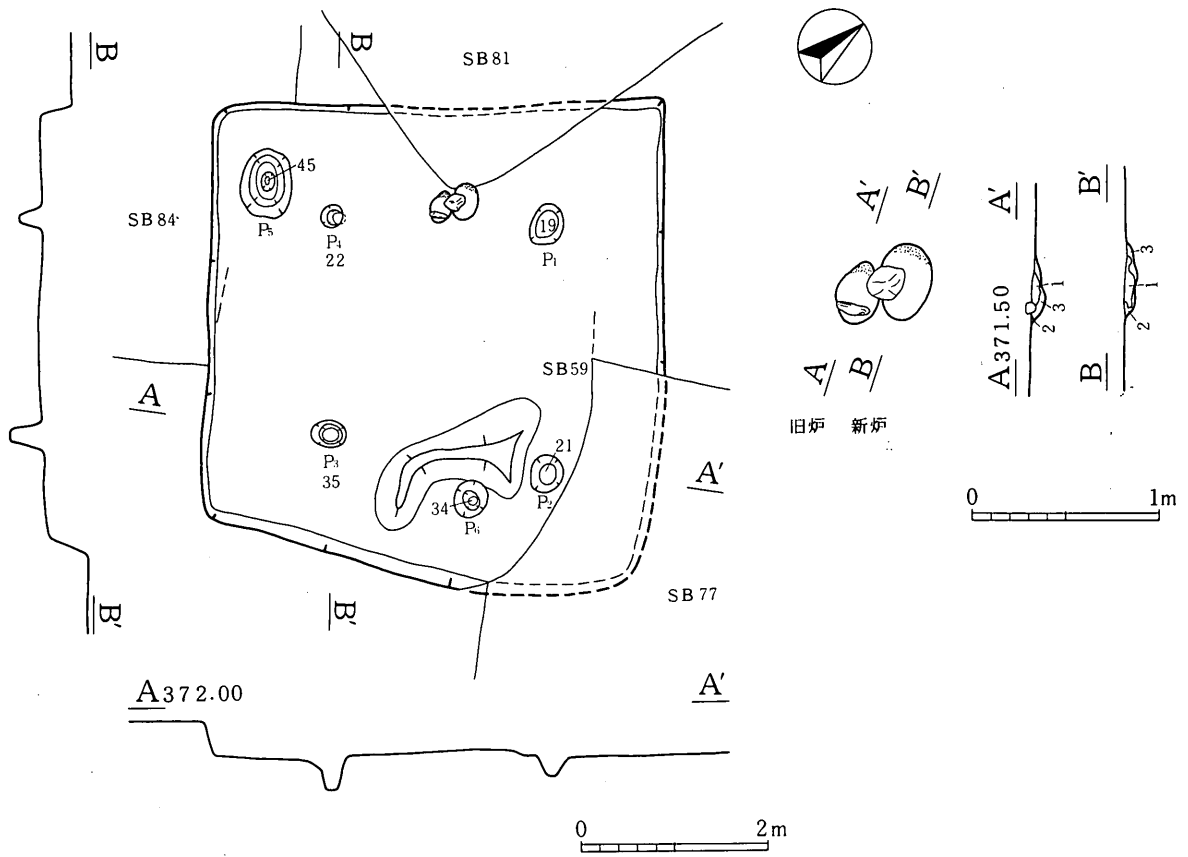
SB 83



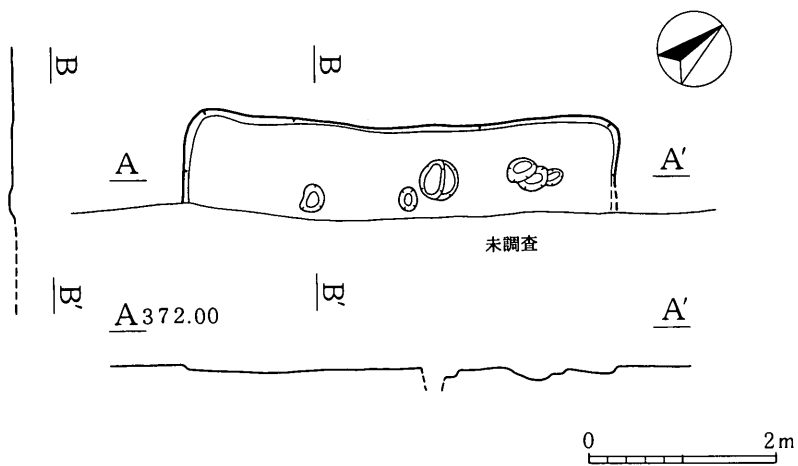
SB 84

SB 86

第42図 SB 83・84・86

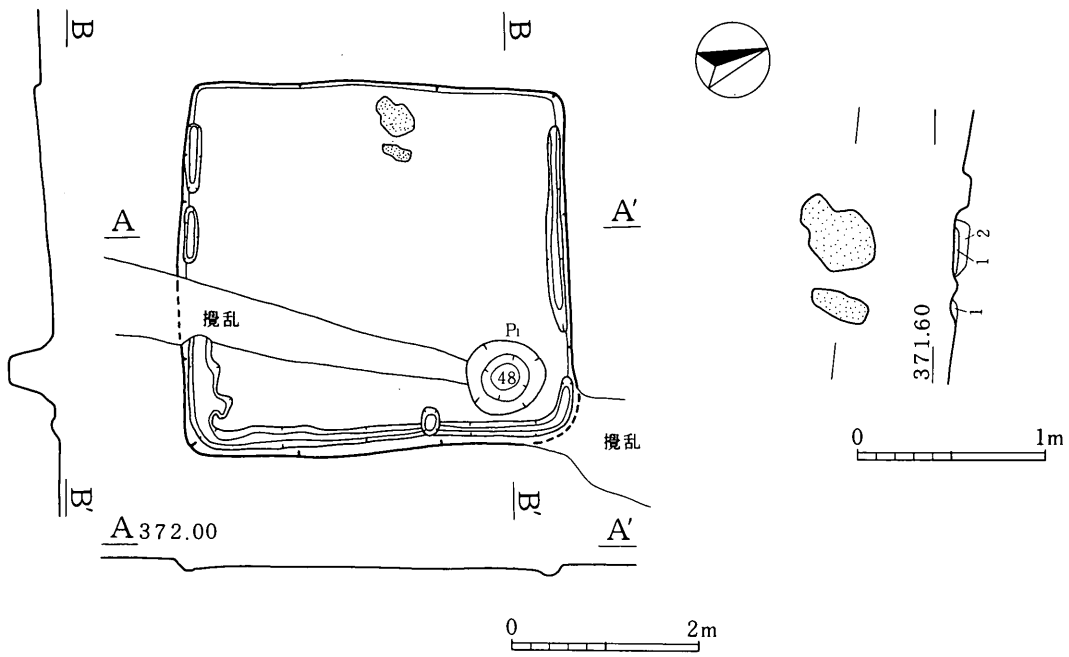


SB 85

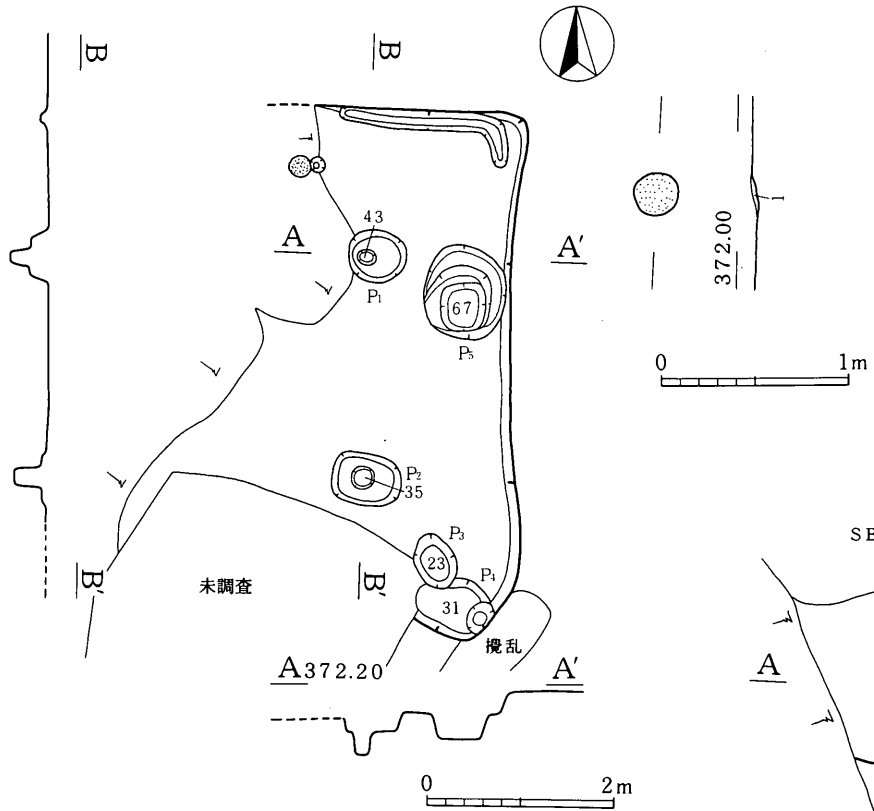


SB 88

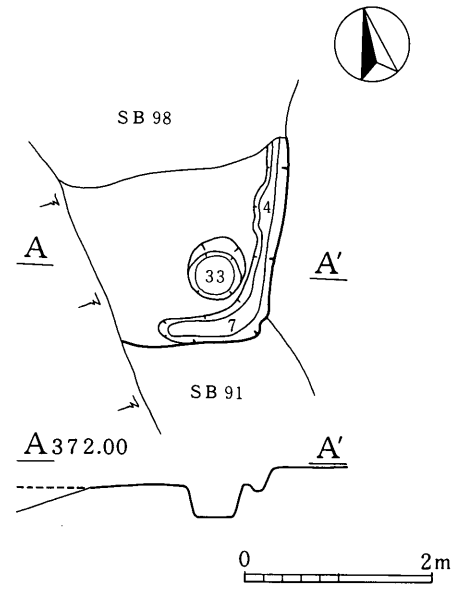
第43図 SB85・88



SB 89

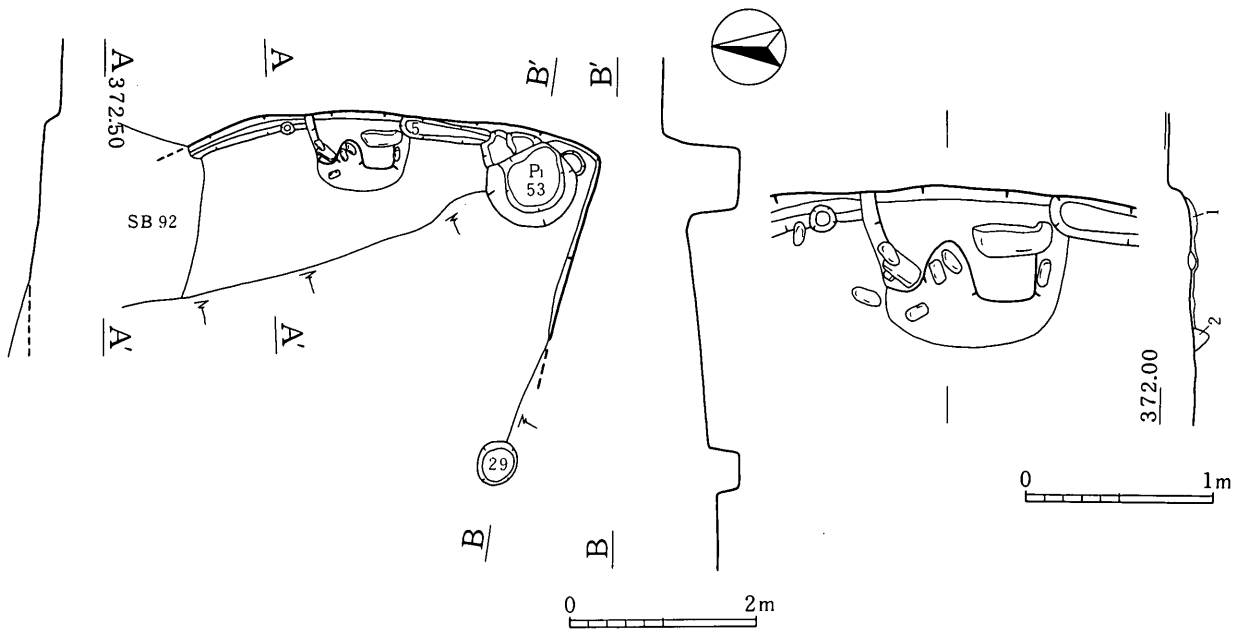


SB 90

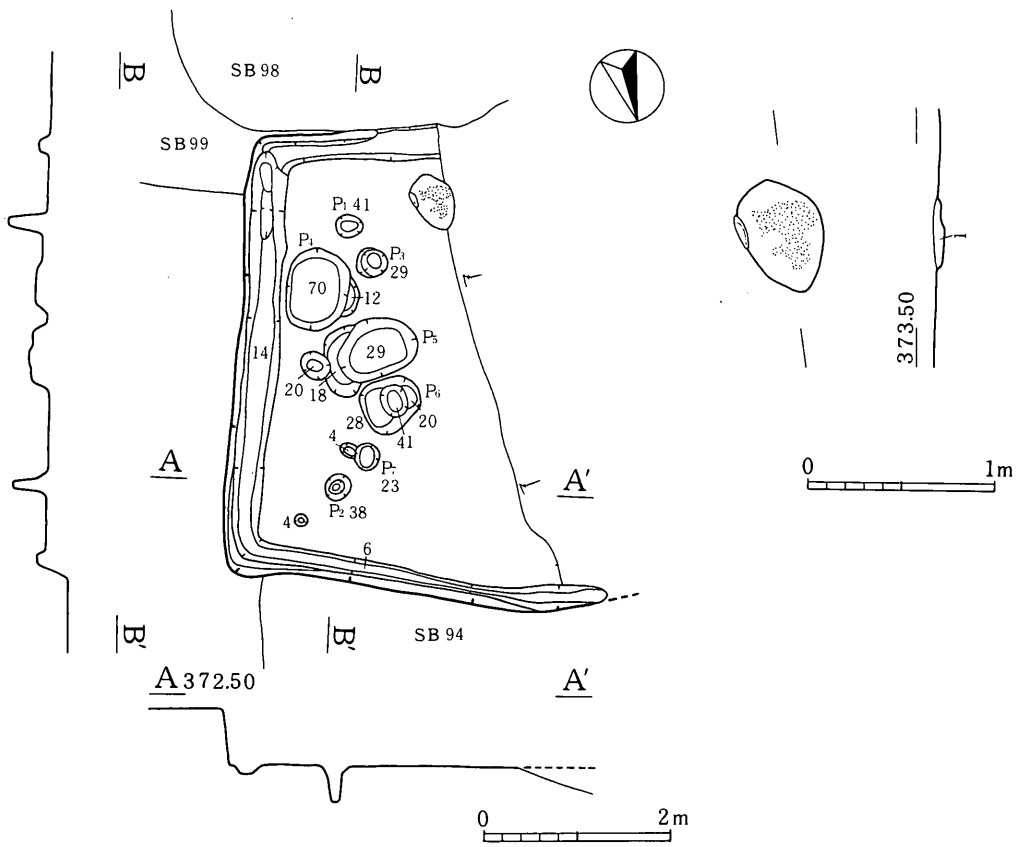


SB 92

第44図 S B 89・90・92

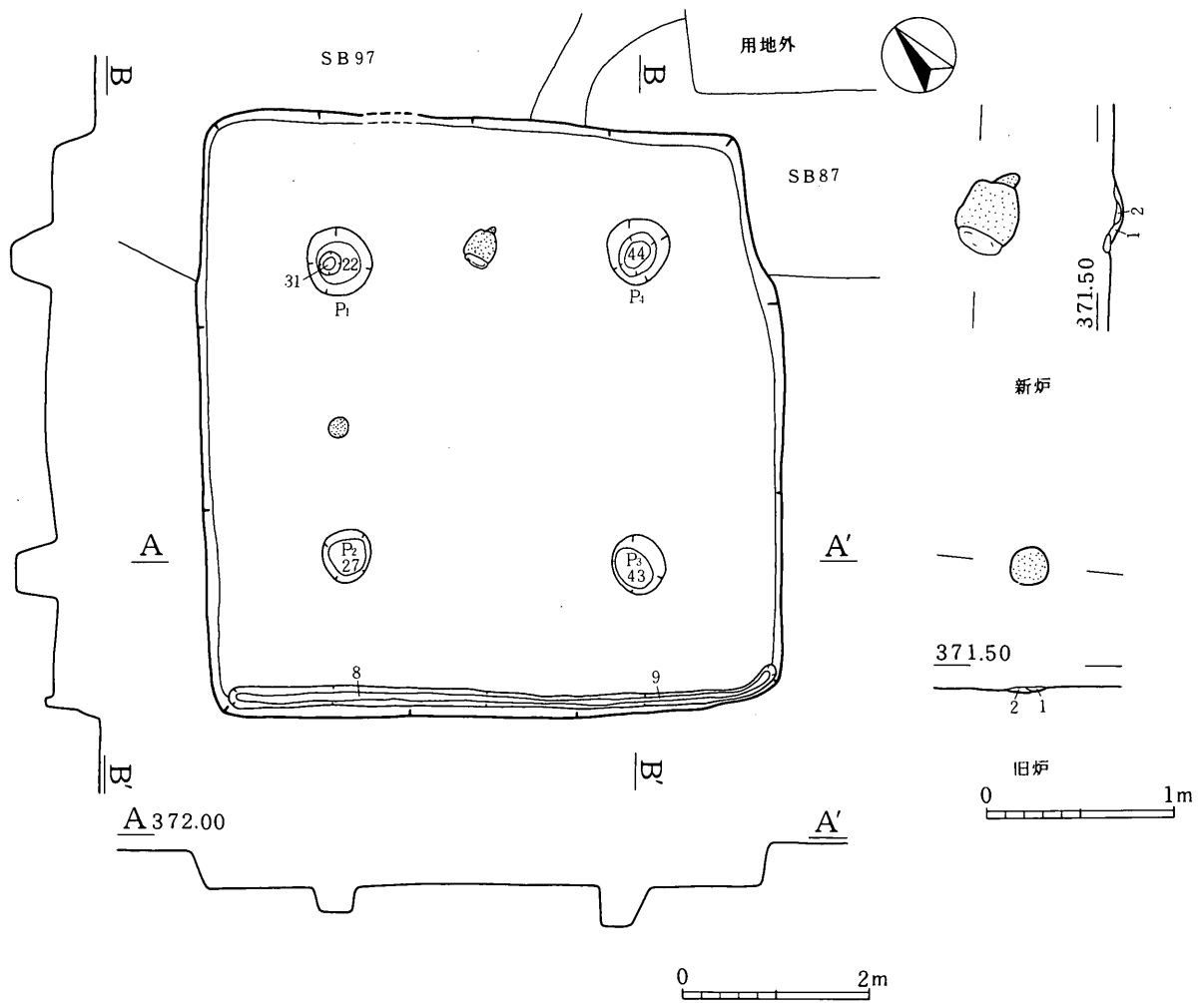


SB91

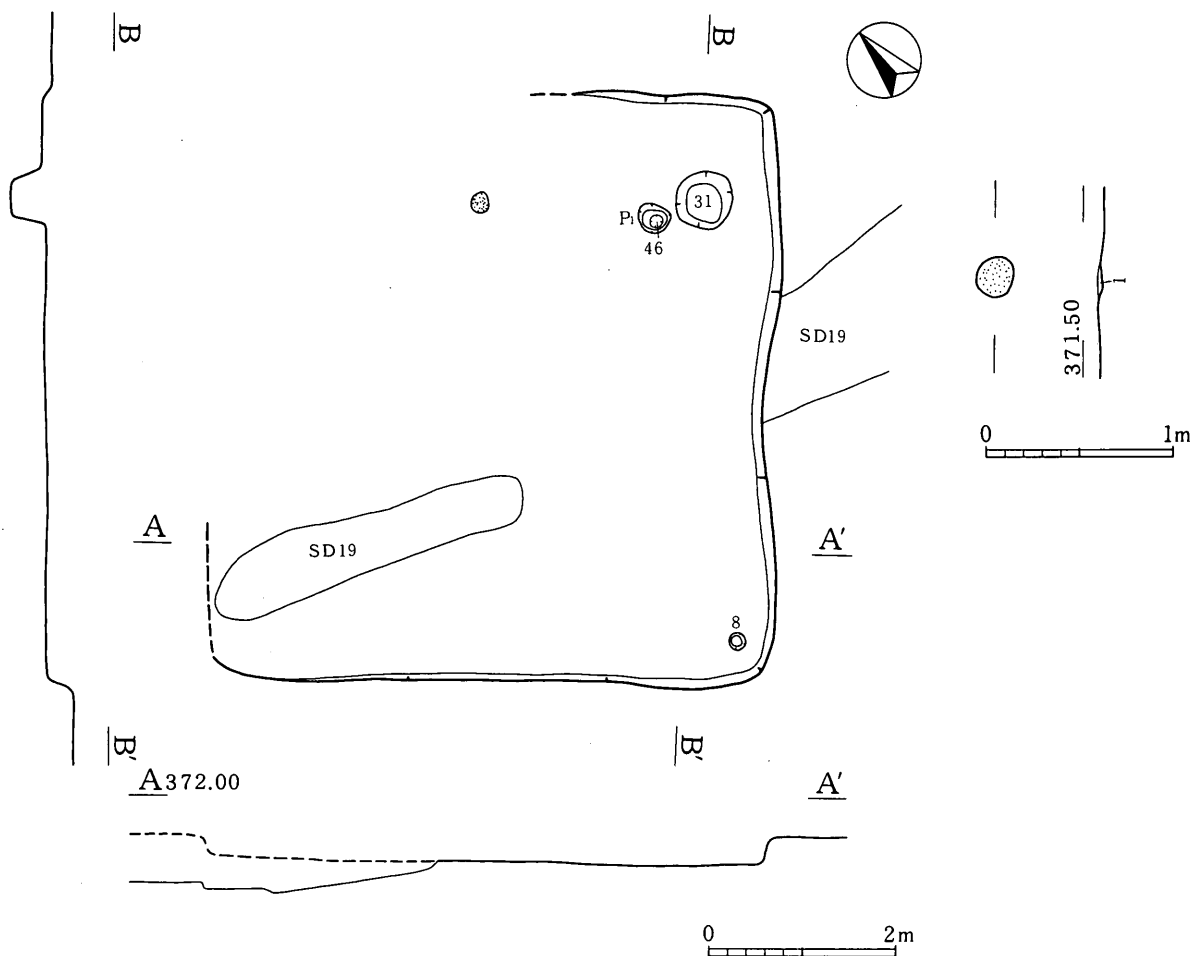


SB93

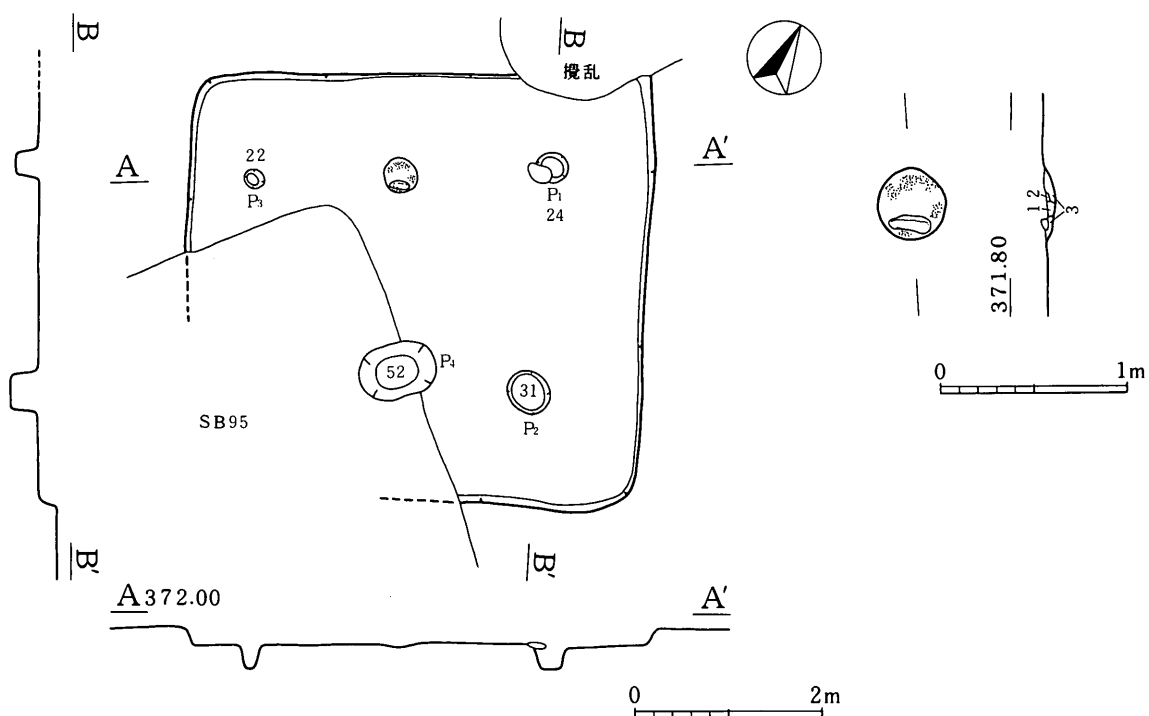
第45图 S B91 · 93



第46图 SB95

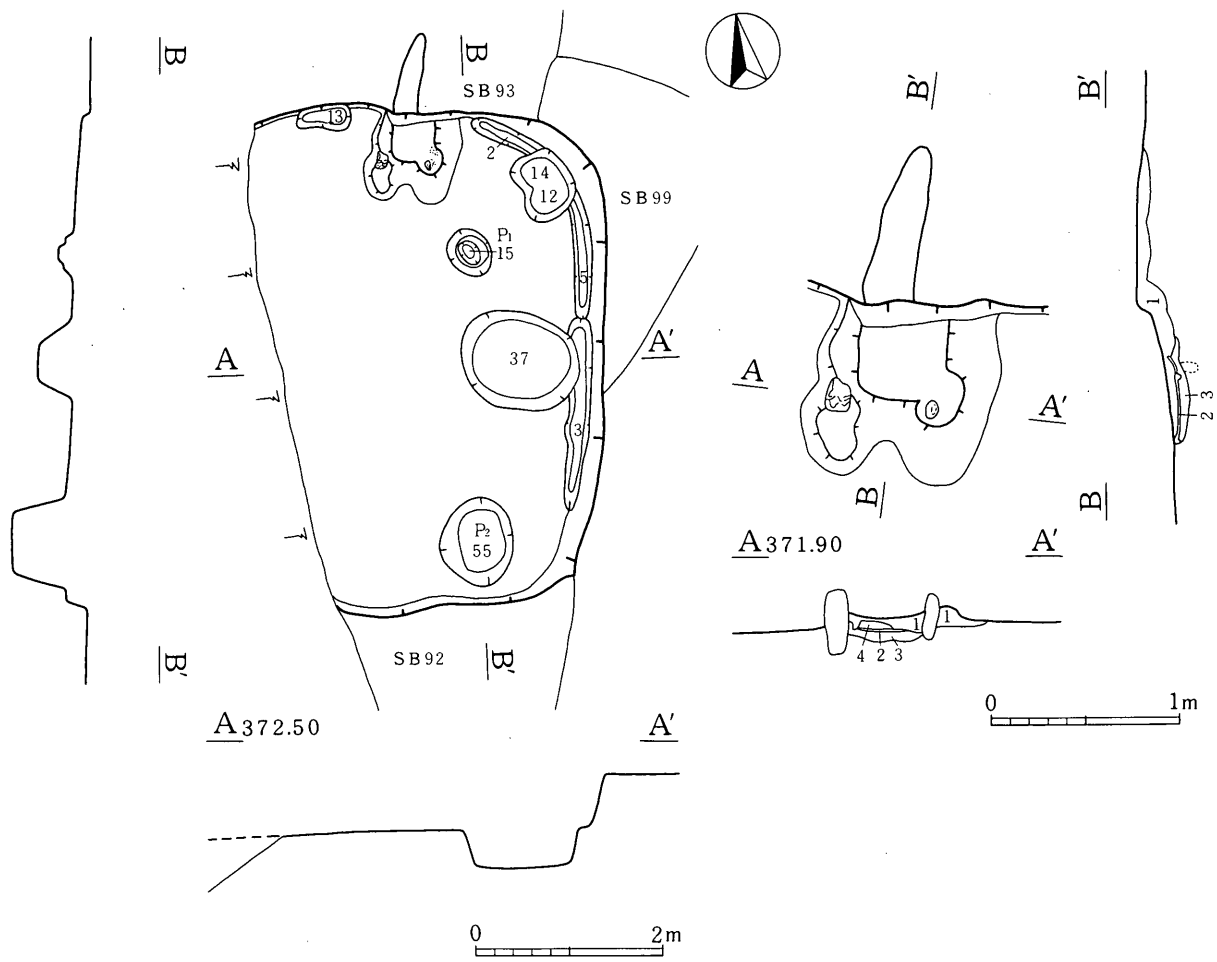


SB96

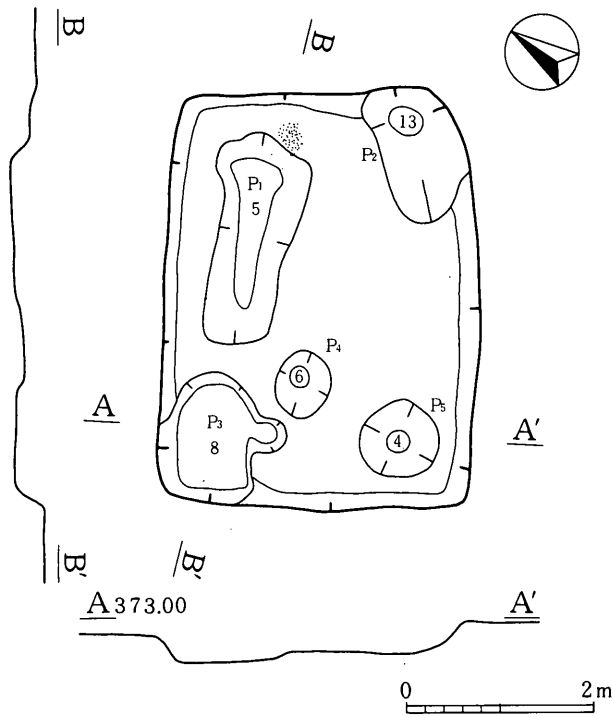


SB97

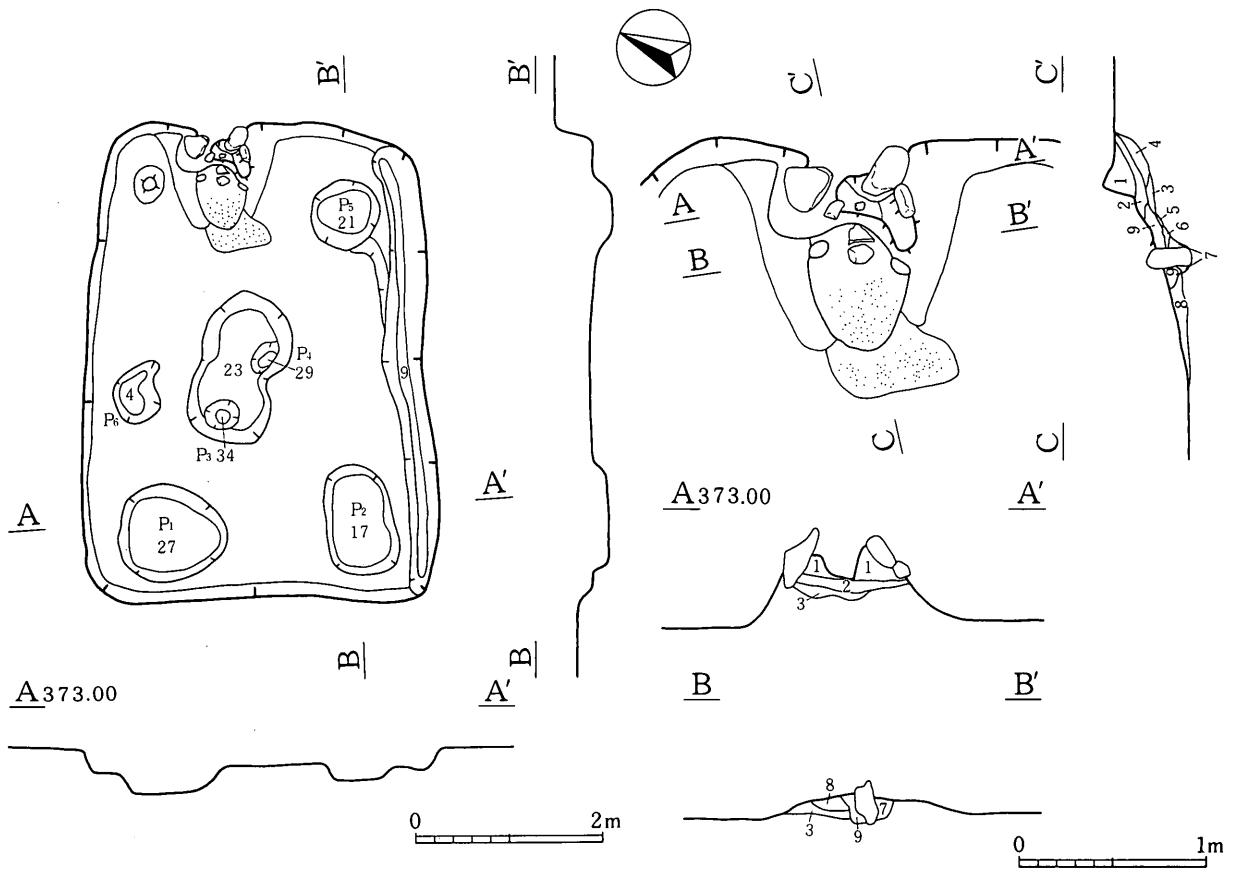
第47图 S B96·97



第48図 SB98

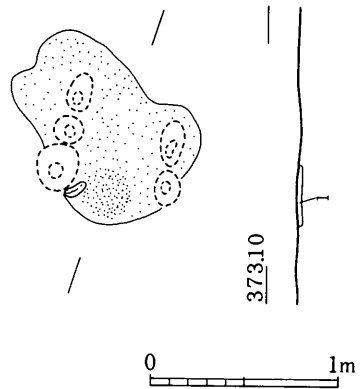
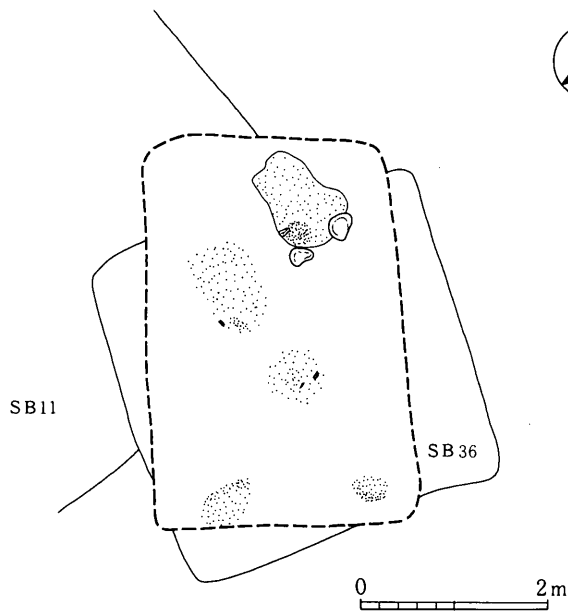


SB 05

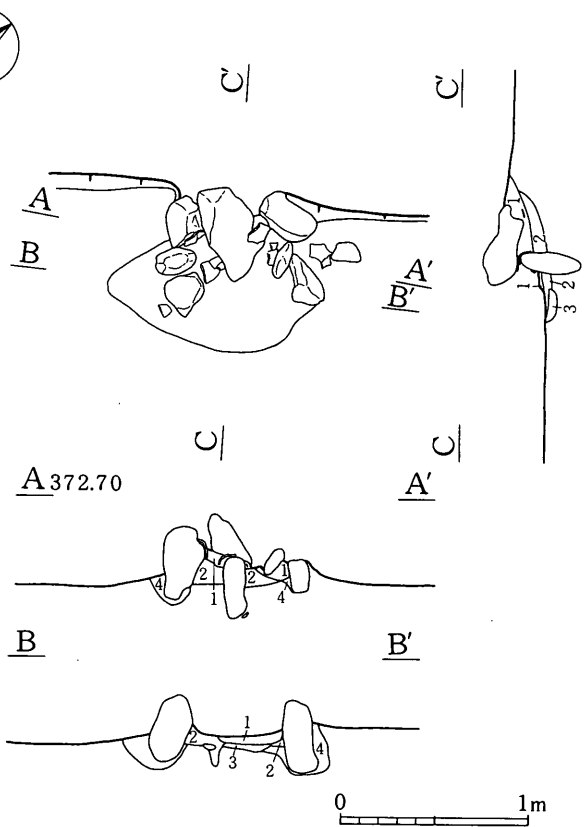
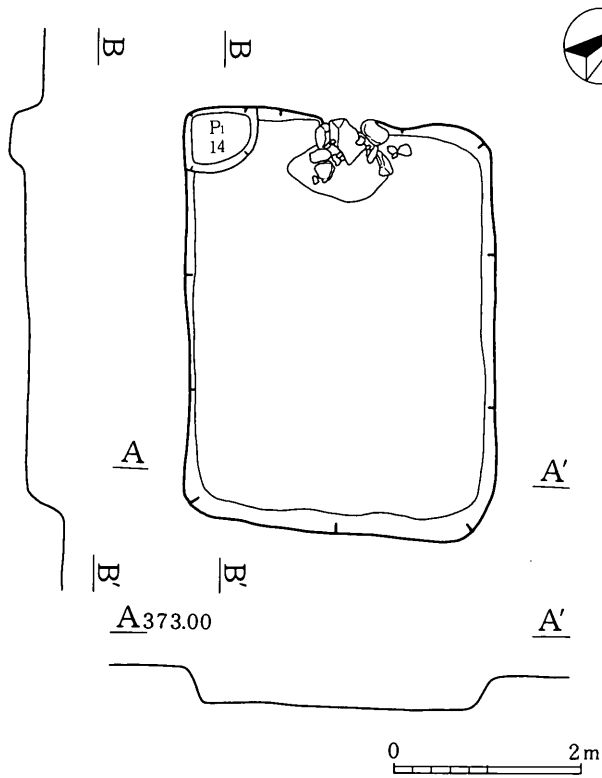


SB 06

第49图 SB 05 · 06

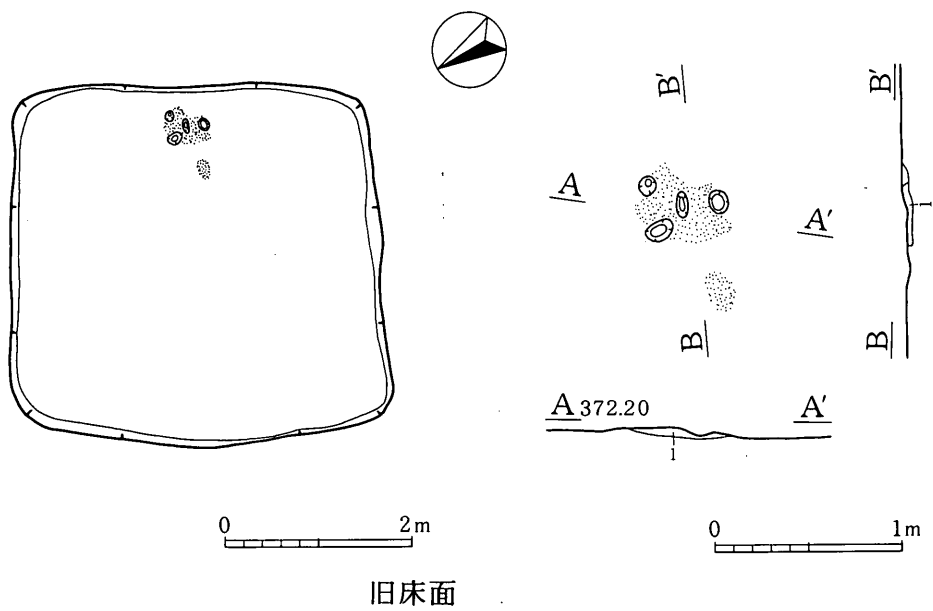
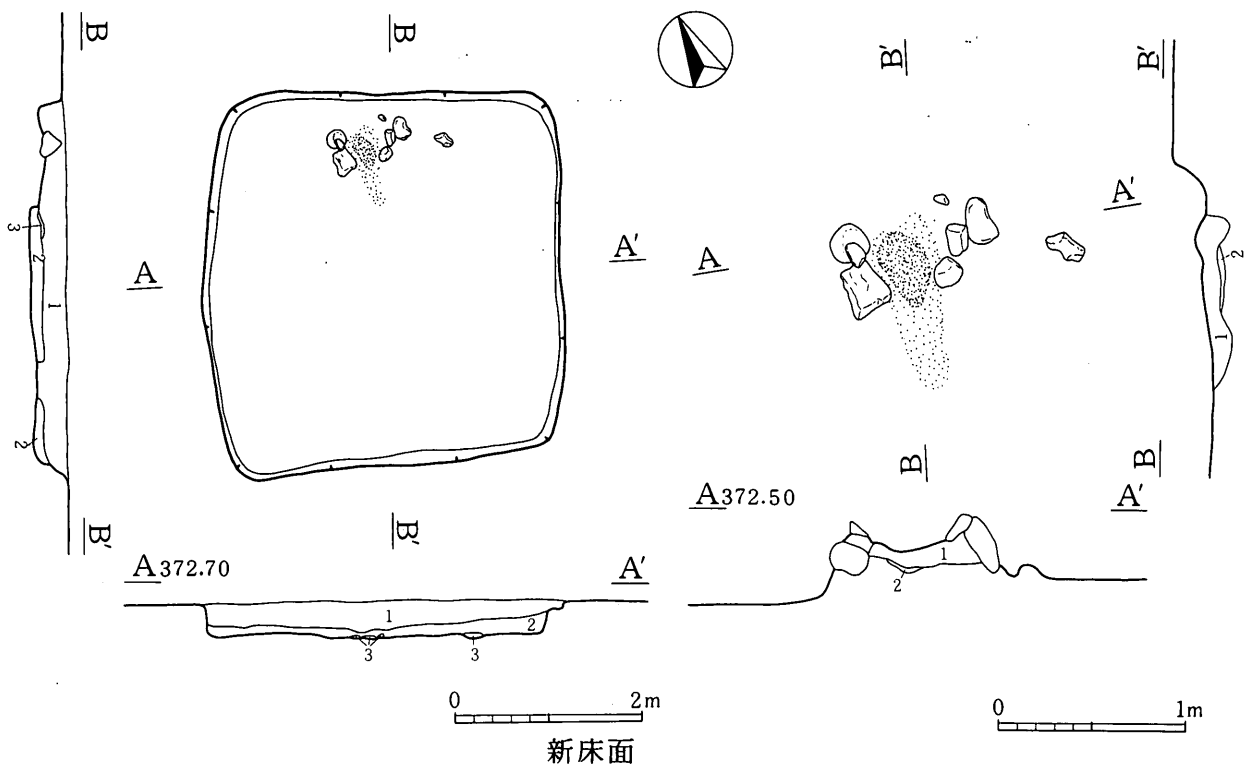


SB15

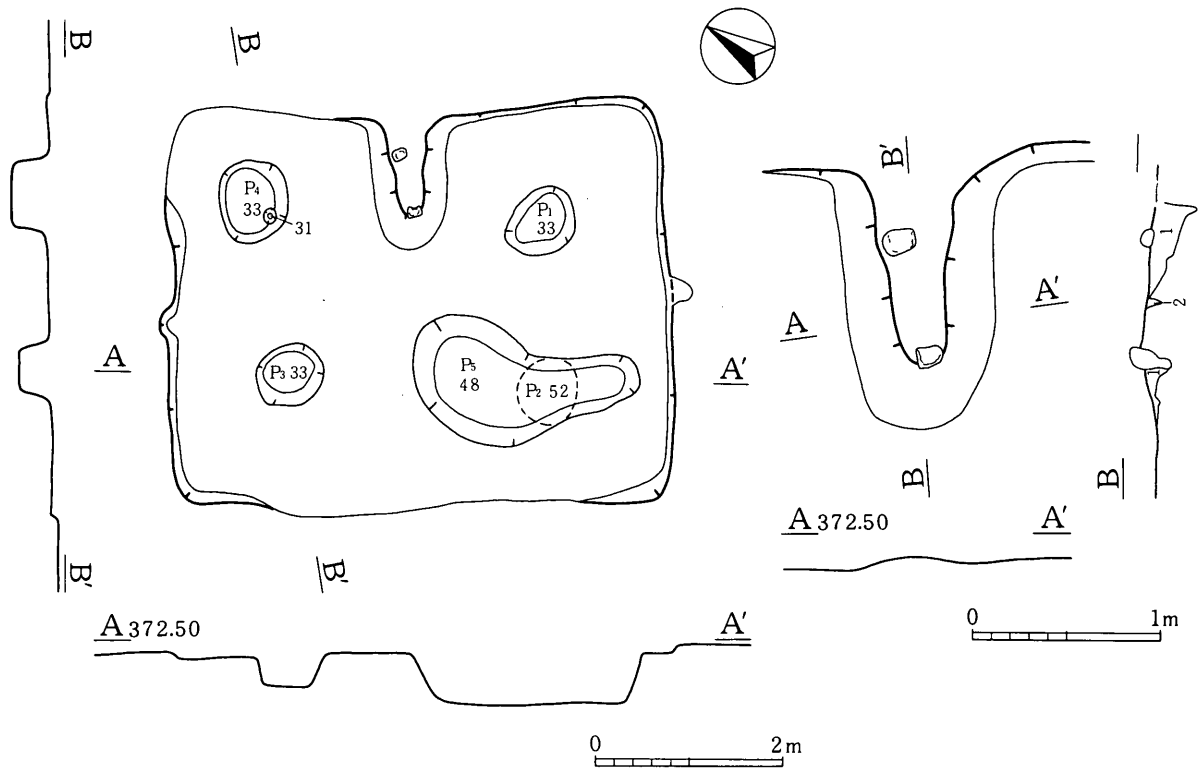


SB30

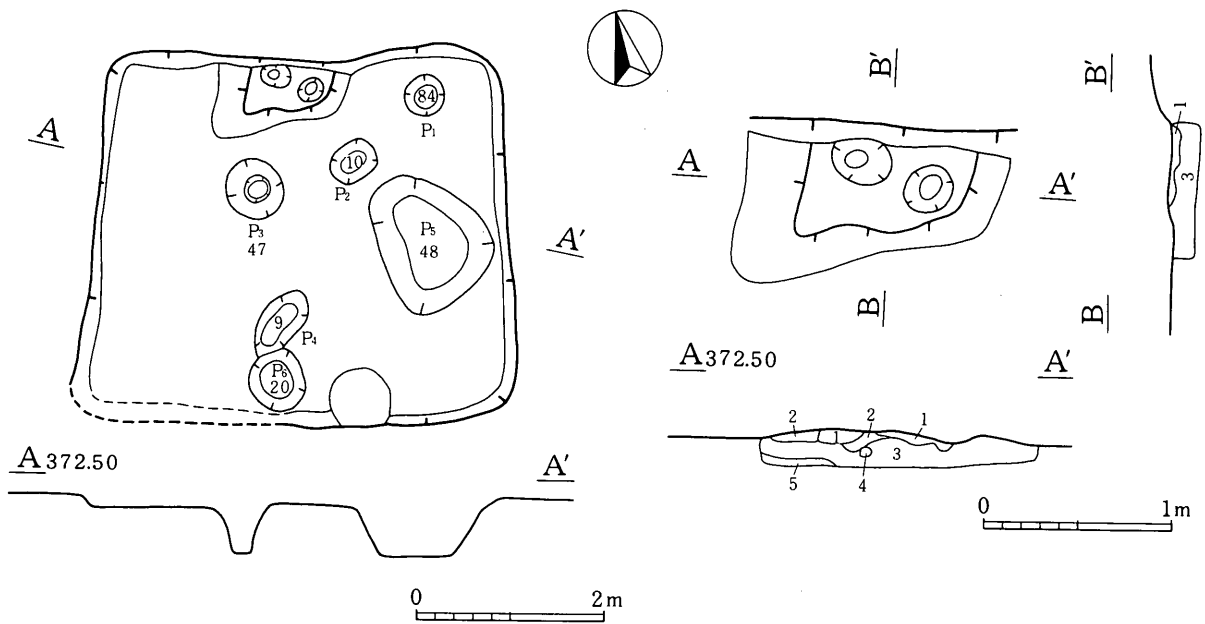
第50图 SB15·30



第51図 SB17

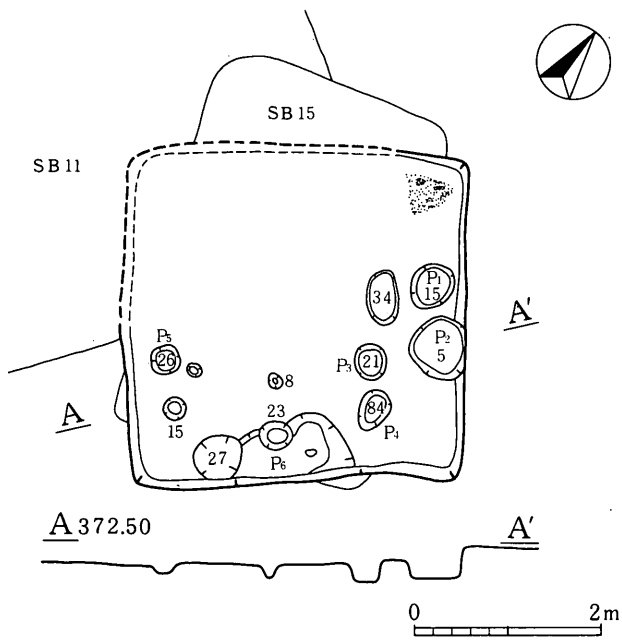


SB 31

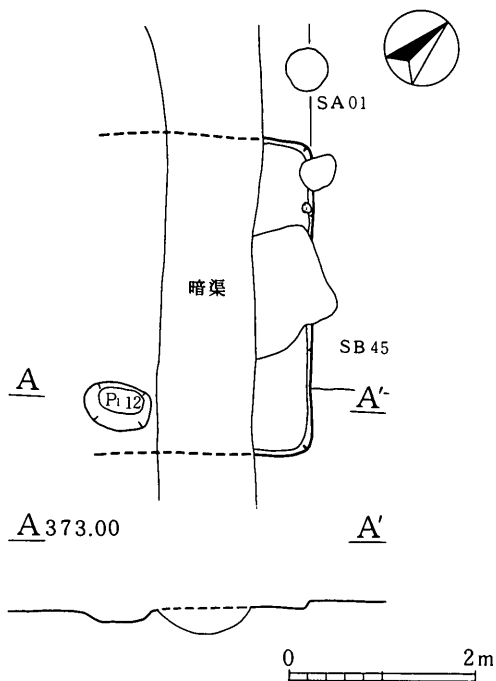


SB 35

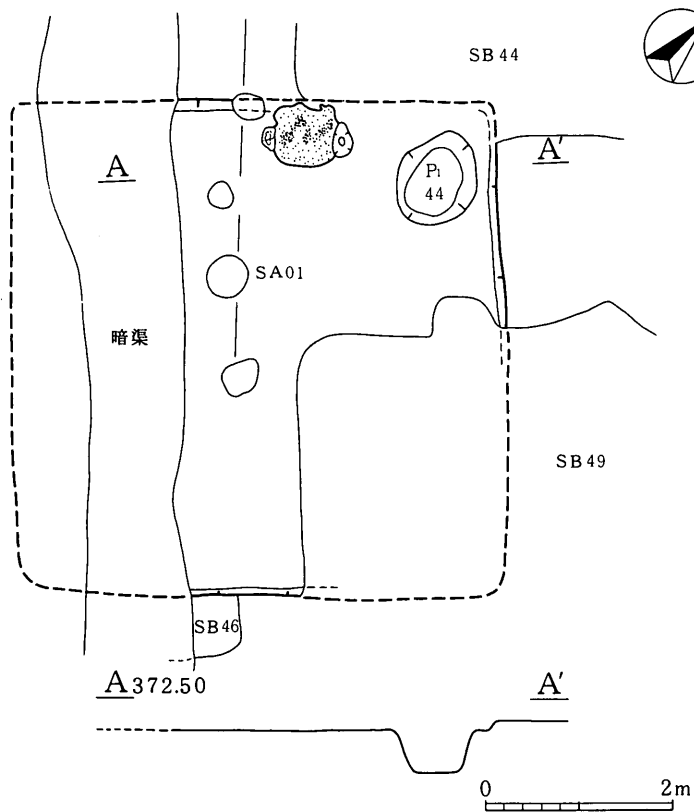
第52图 S B31 · 35



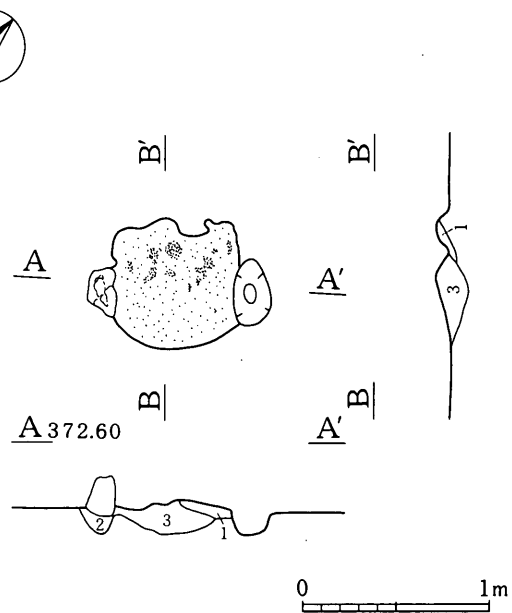
SB 36



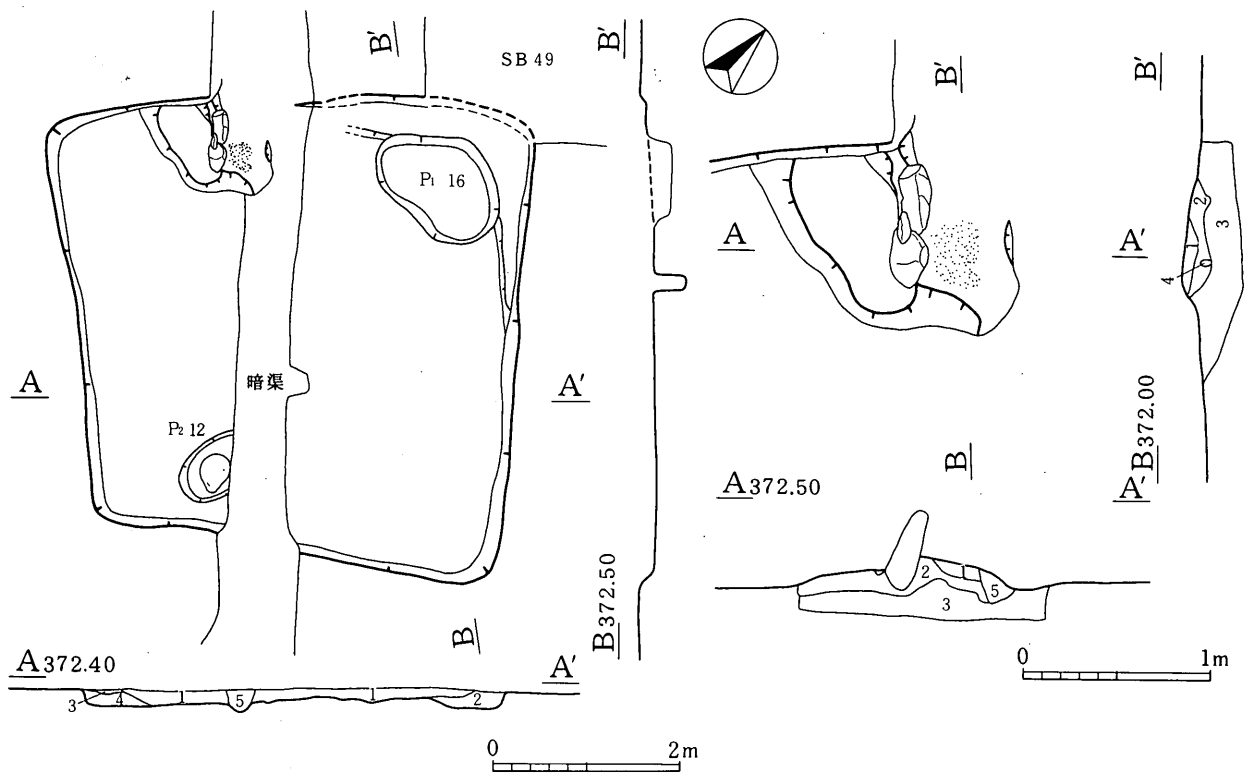
SB 46



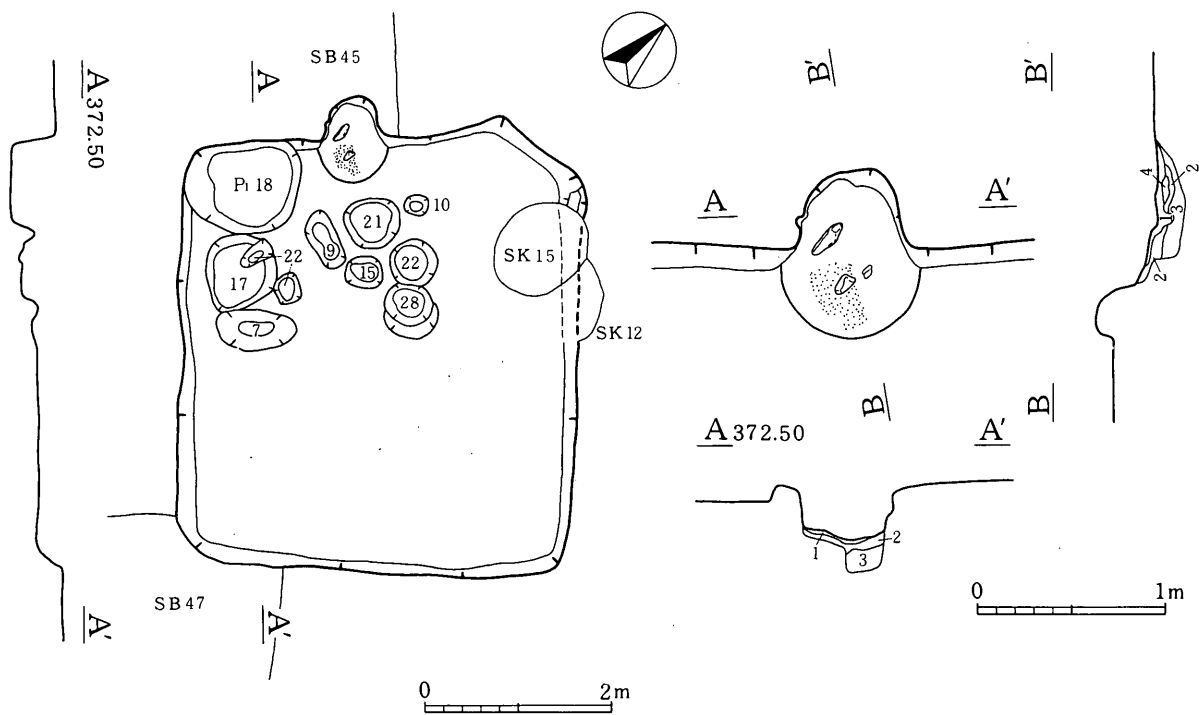
SB 45



第53図 S B36 · 45 · 46

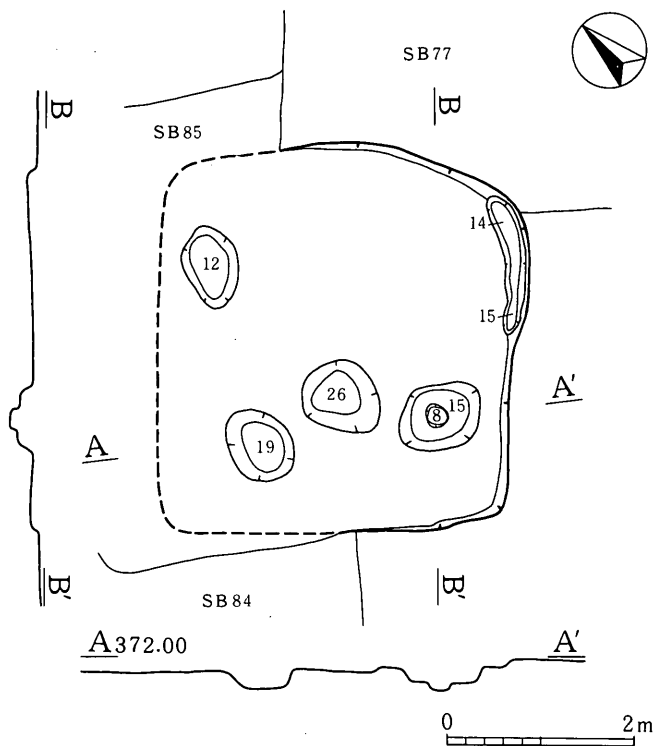


SB 47

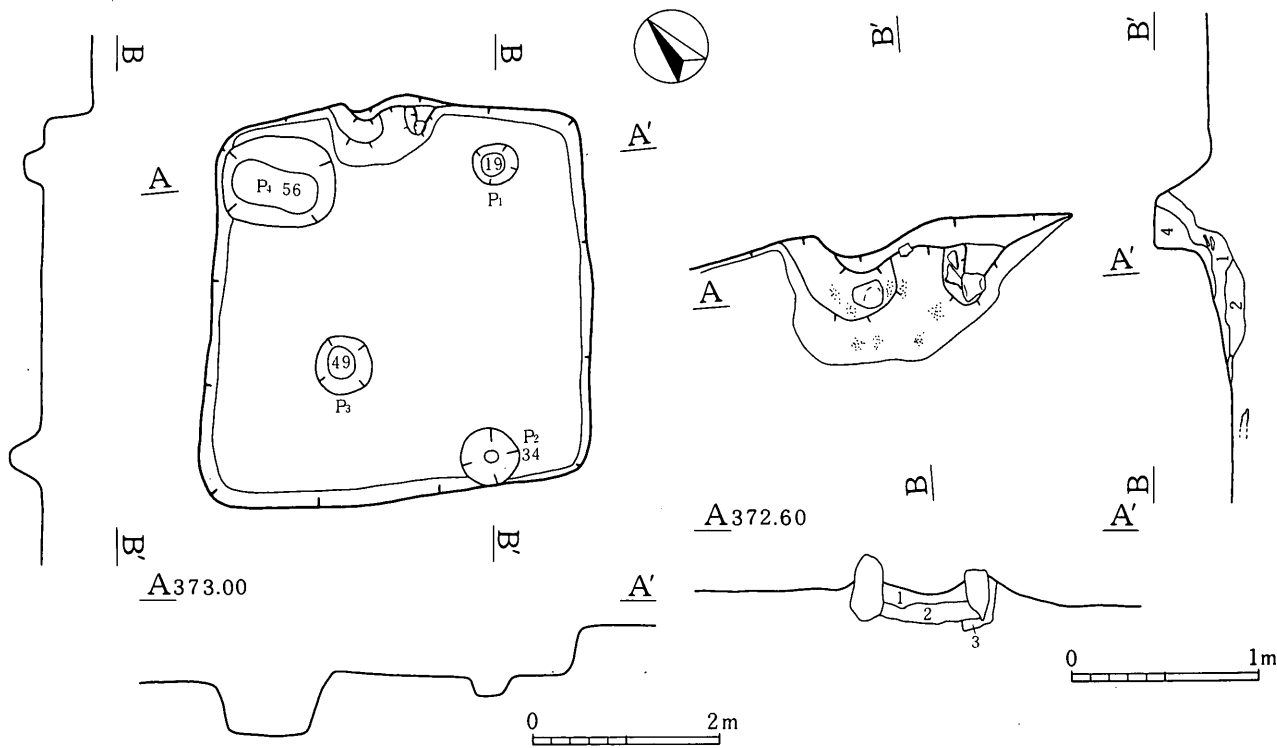


SB 49

第54图 SB 47 · 49

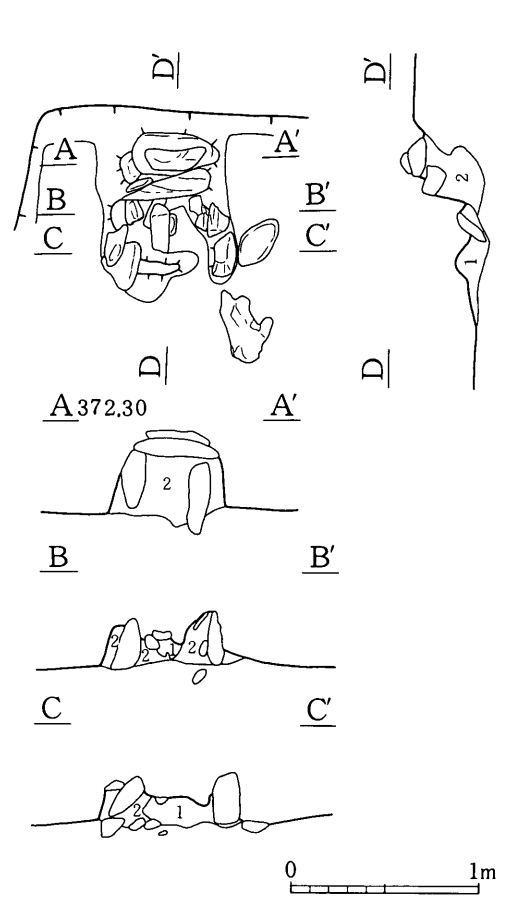
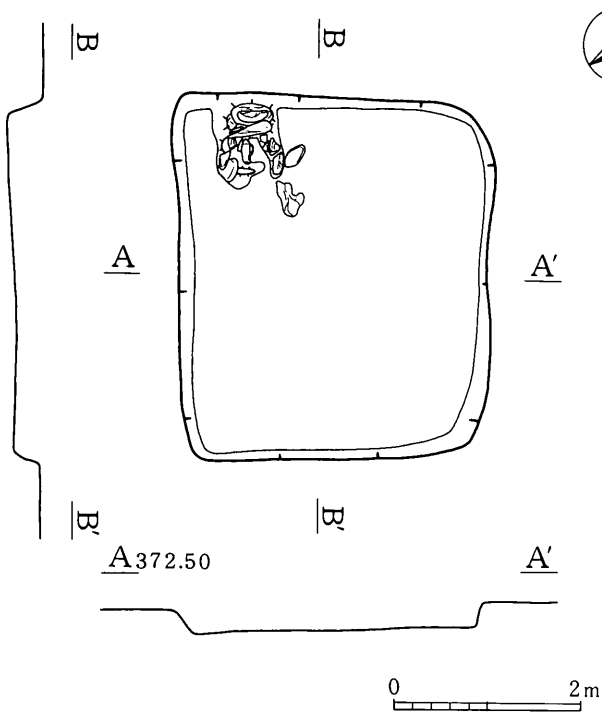


SB 59

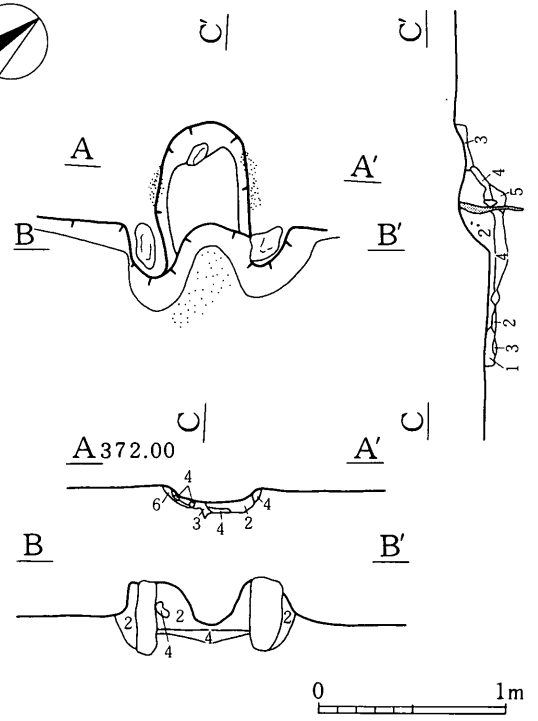
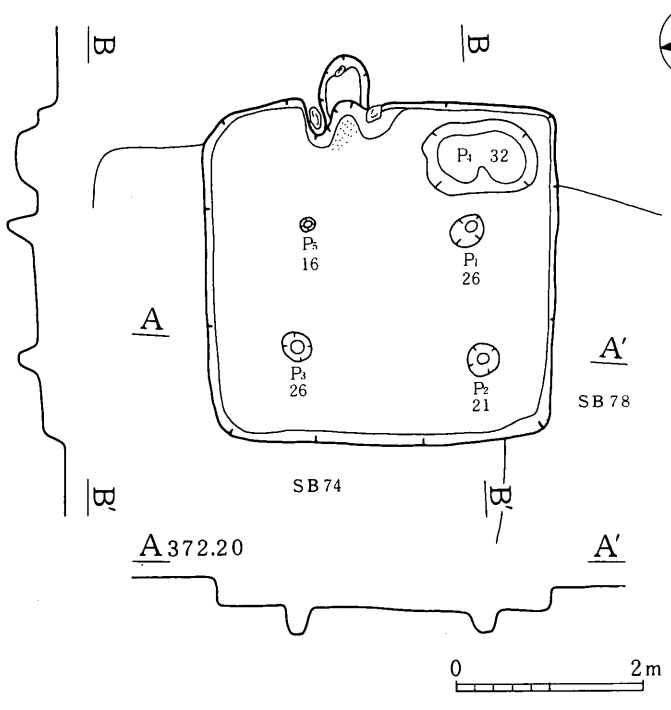


SB67

第55图 SB59·67

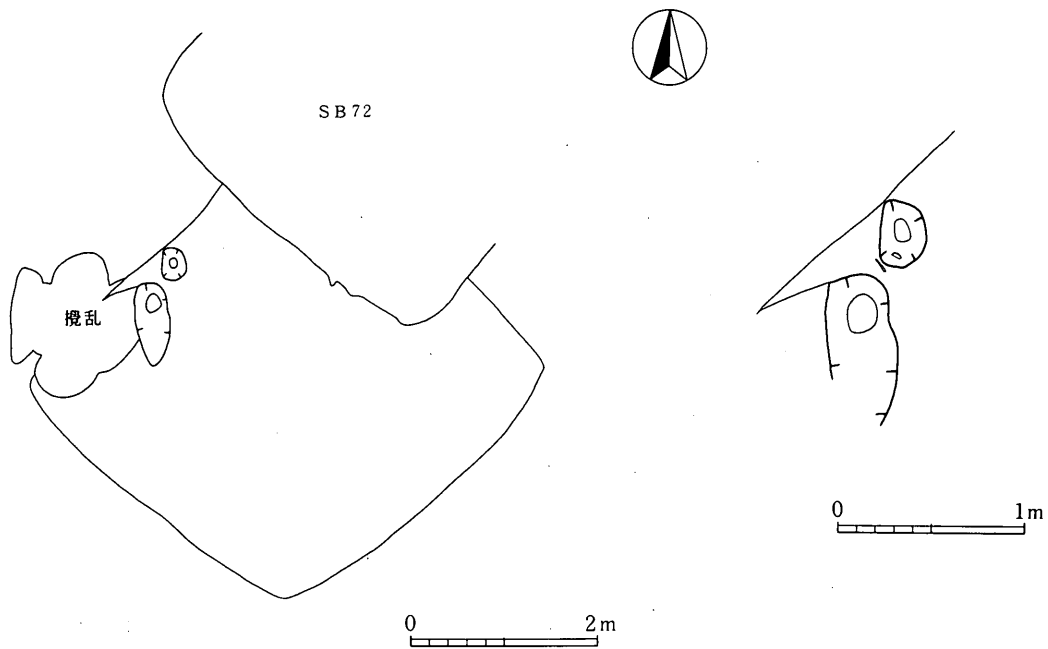


SB 68

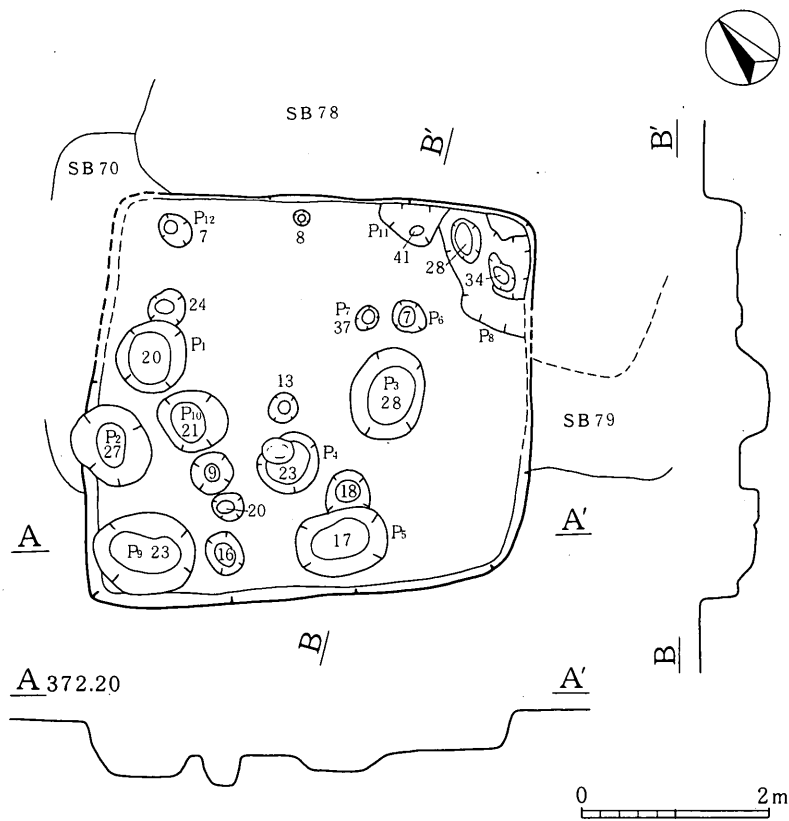


SB 70

第56图 SB 68 · 70

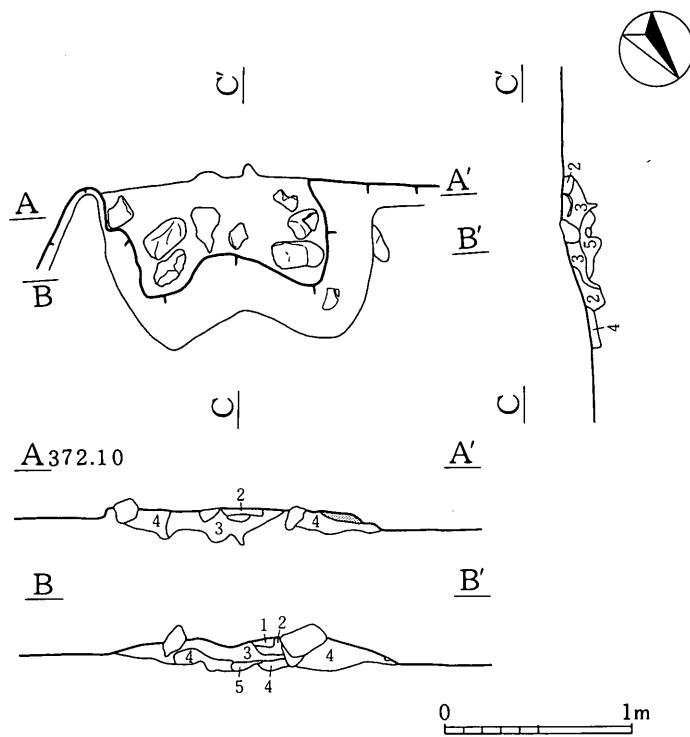
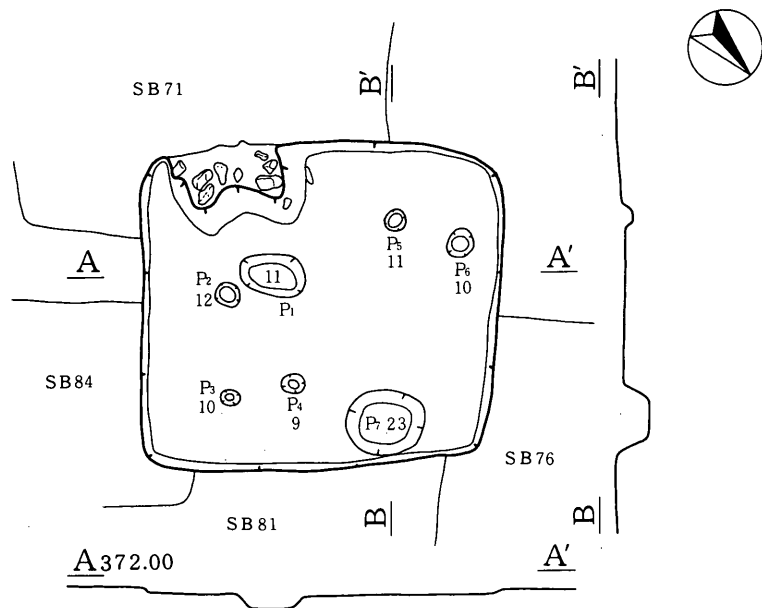


SB71

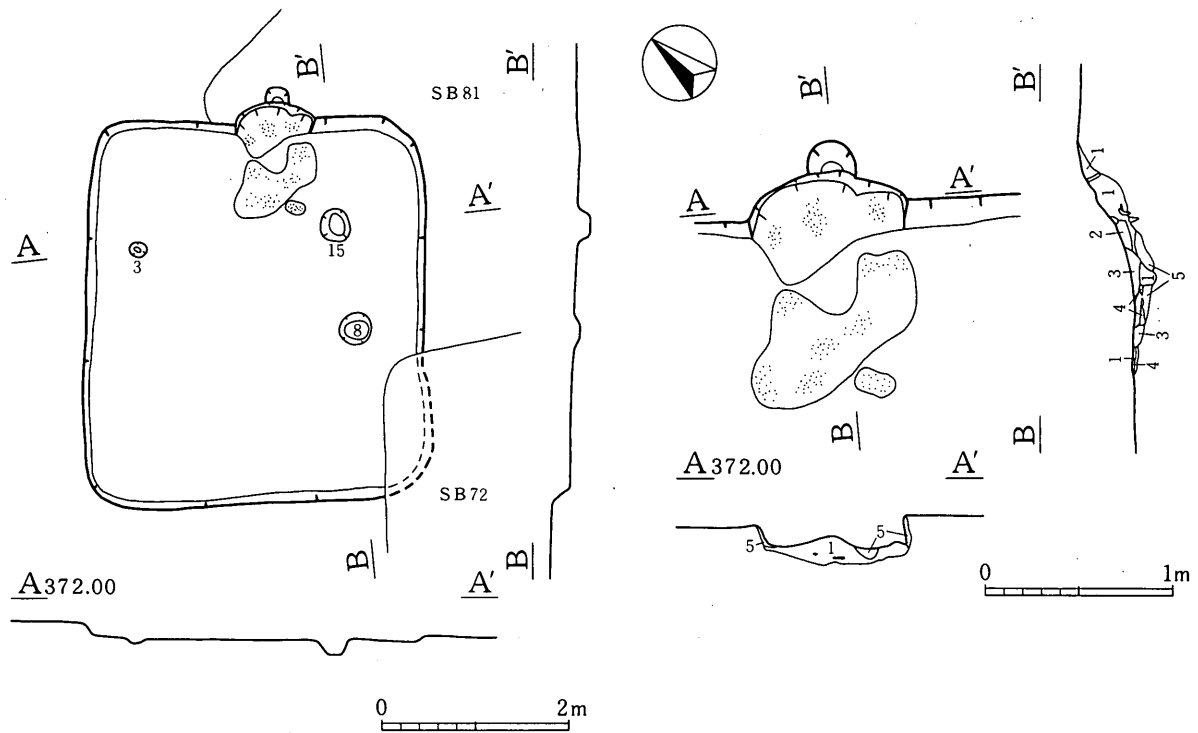


SB74

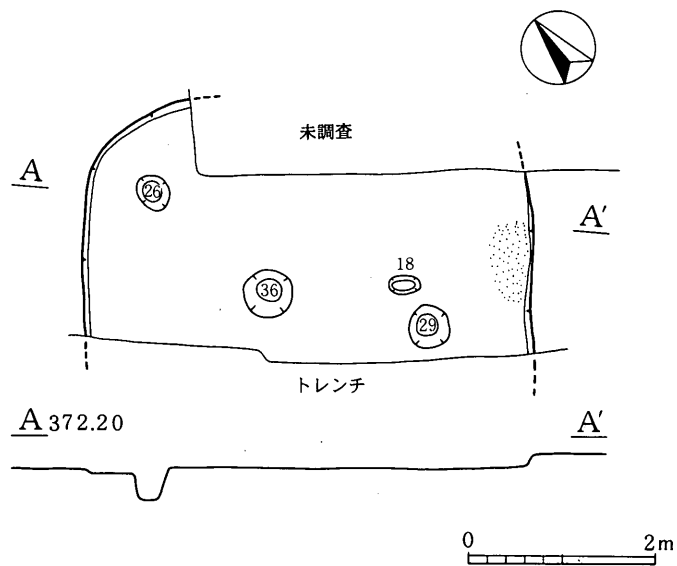
第57図 SB71・74



第58图 SB72

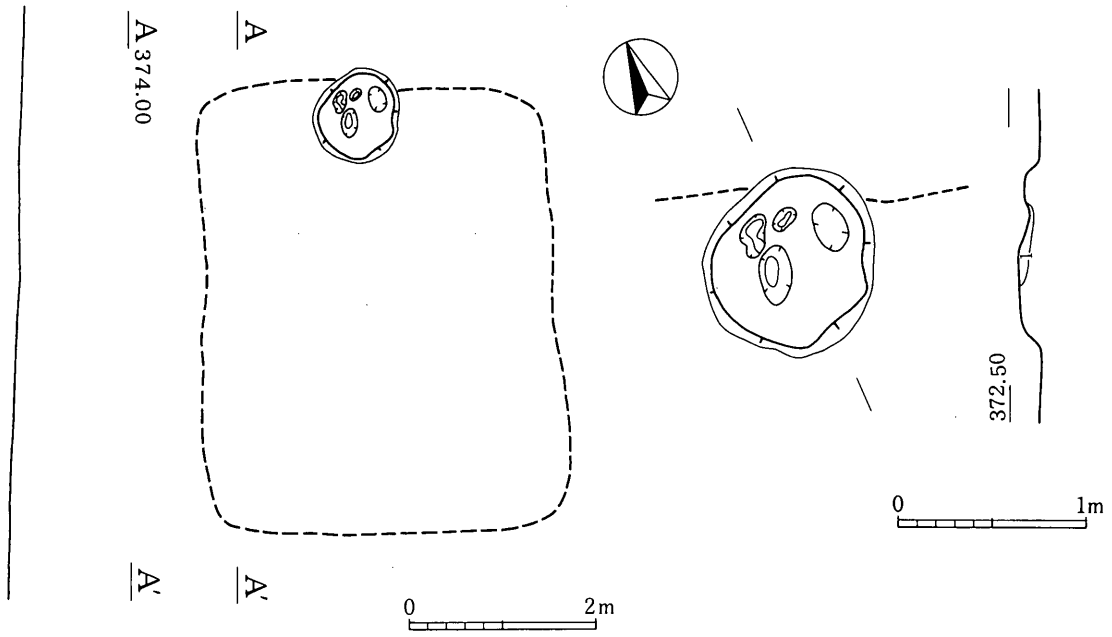


SB 76

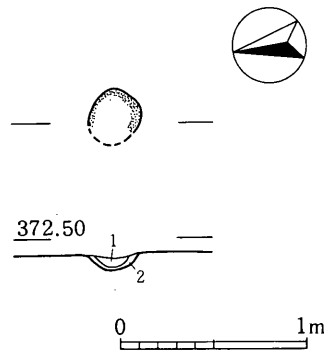


SB 87

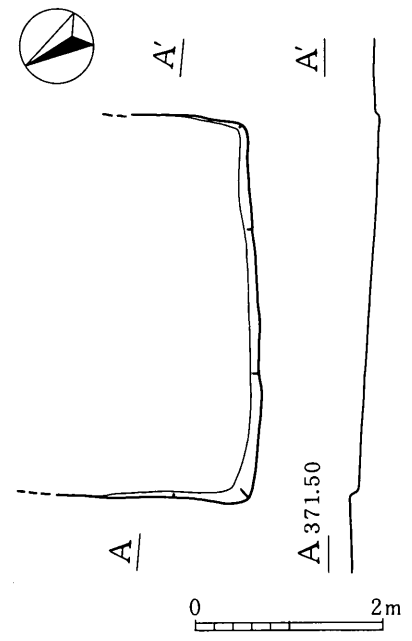
第59図 SB 76・87



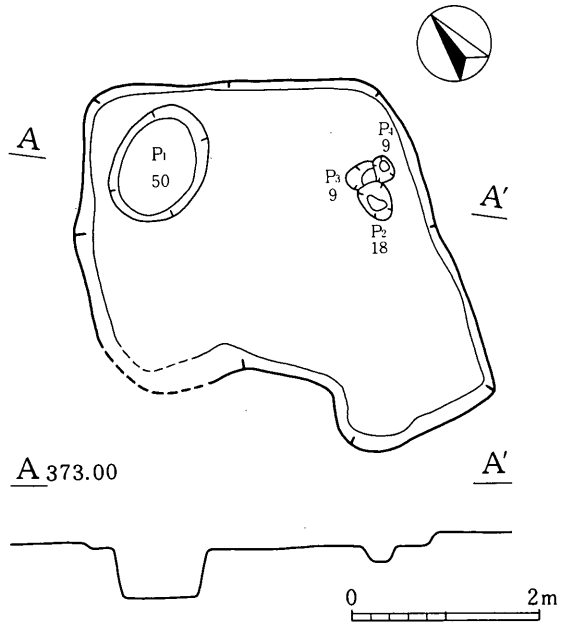
SB 03



SB 24

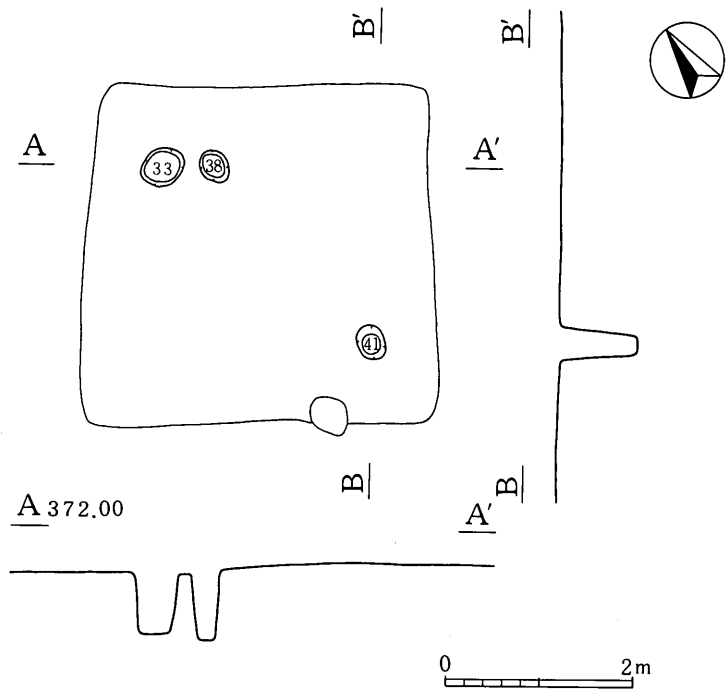


SB 34

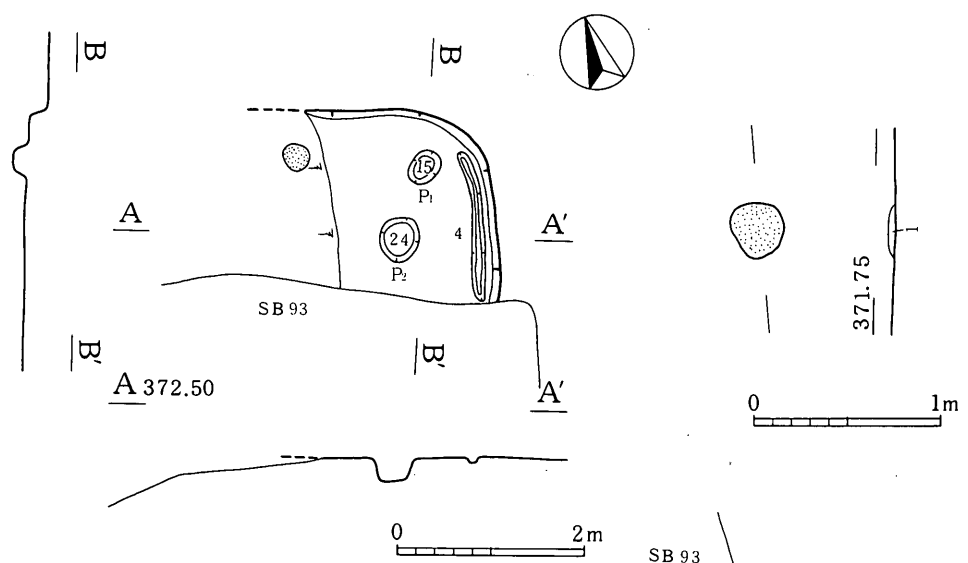


SB 38

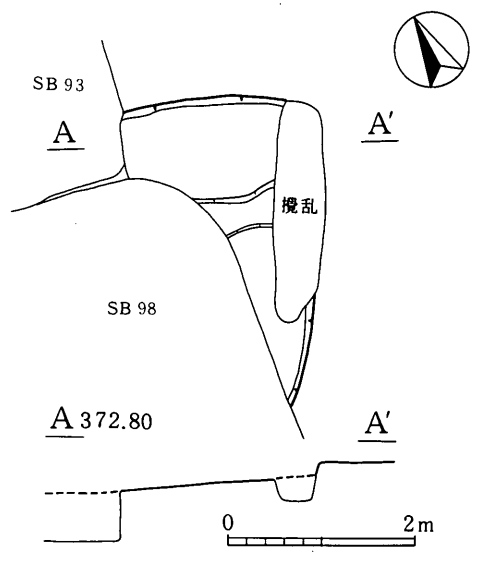
第60图 SB 03 · 24 · 34 · 38



SB57

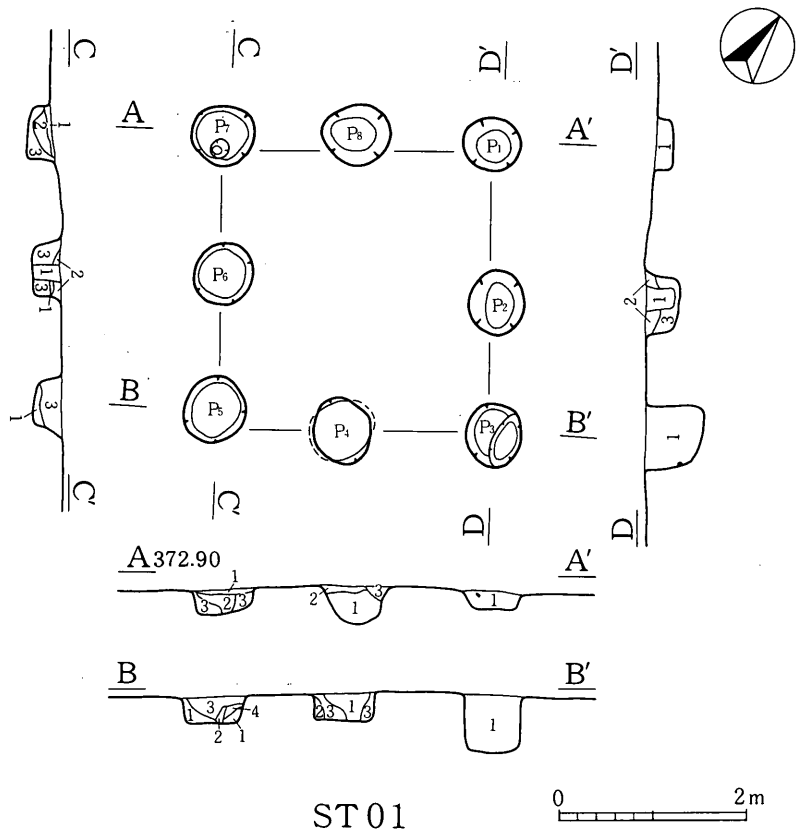


SB94

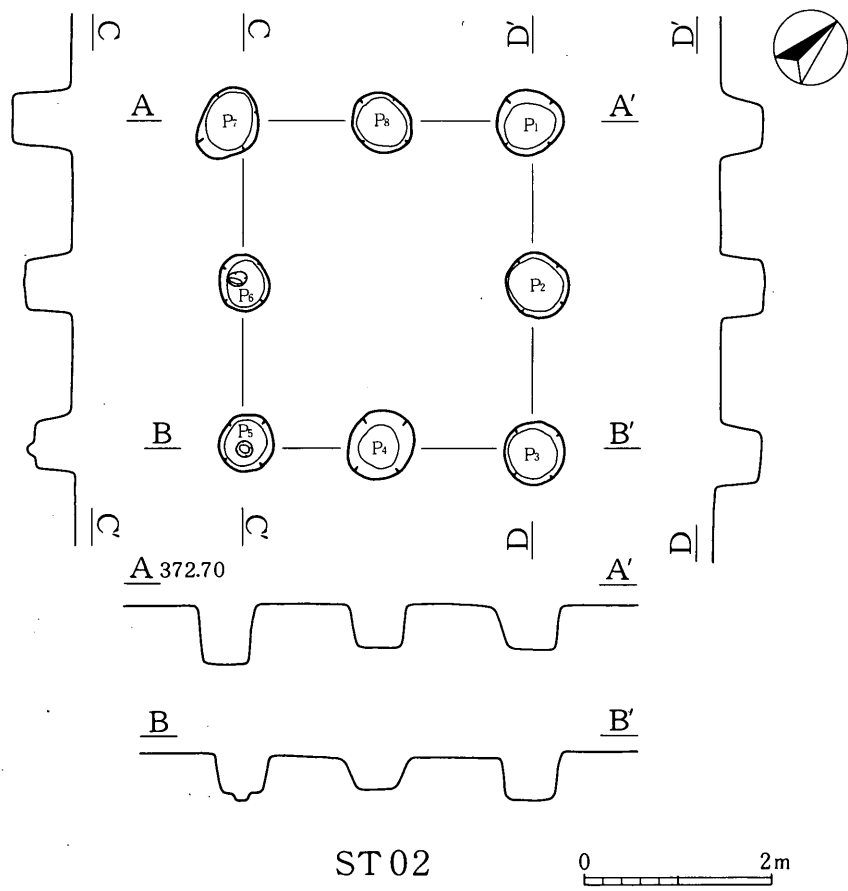


SB99

第61図 SB57・94・99

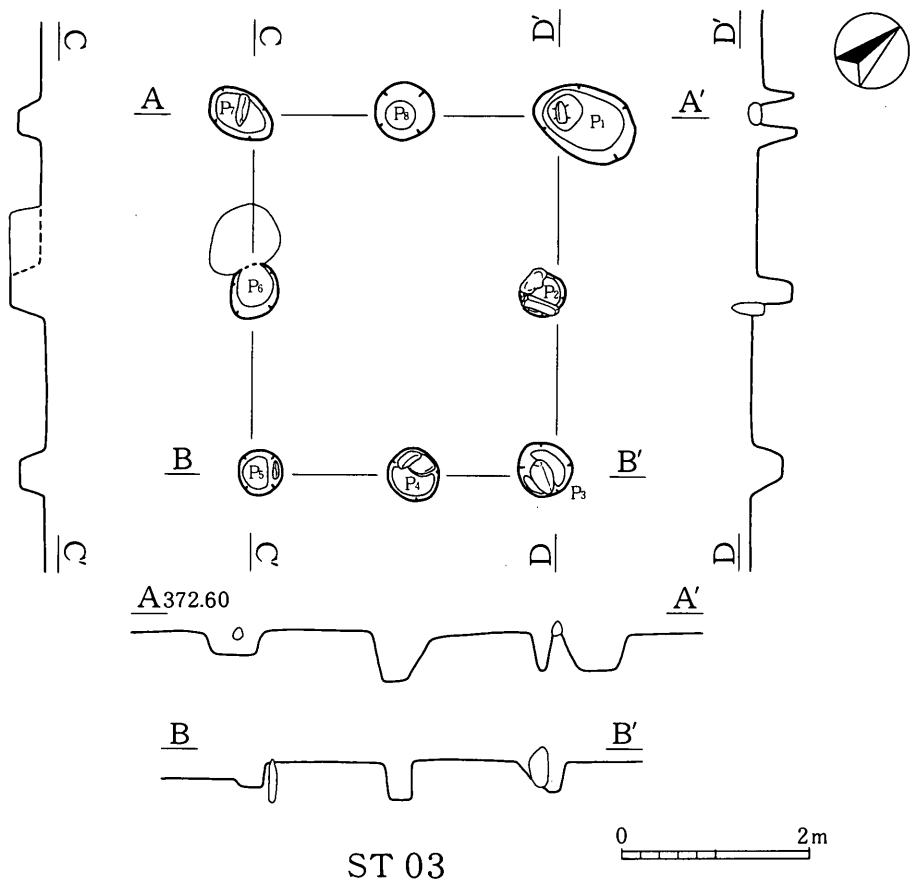


ST01

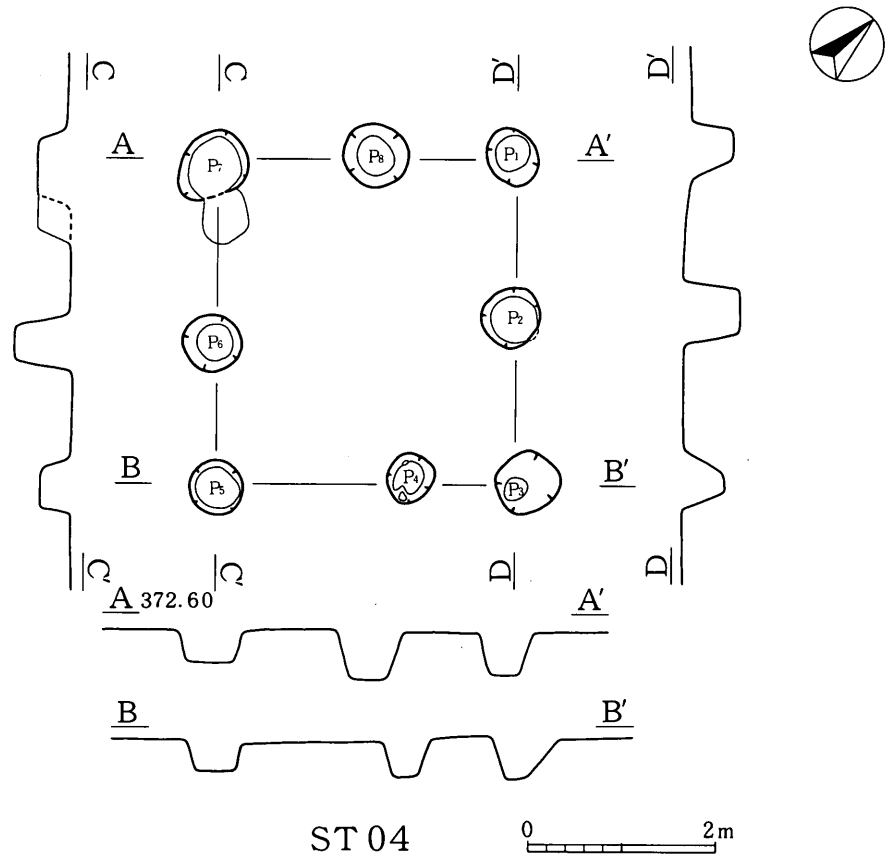


ST02

第62図 ST01・02

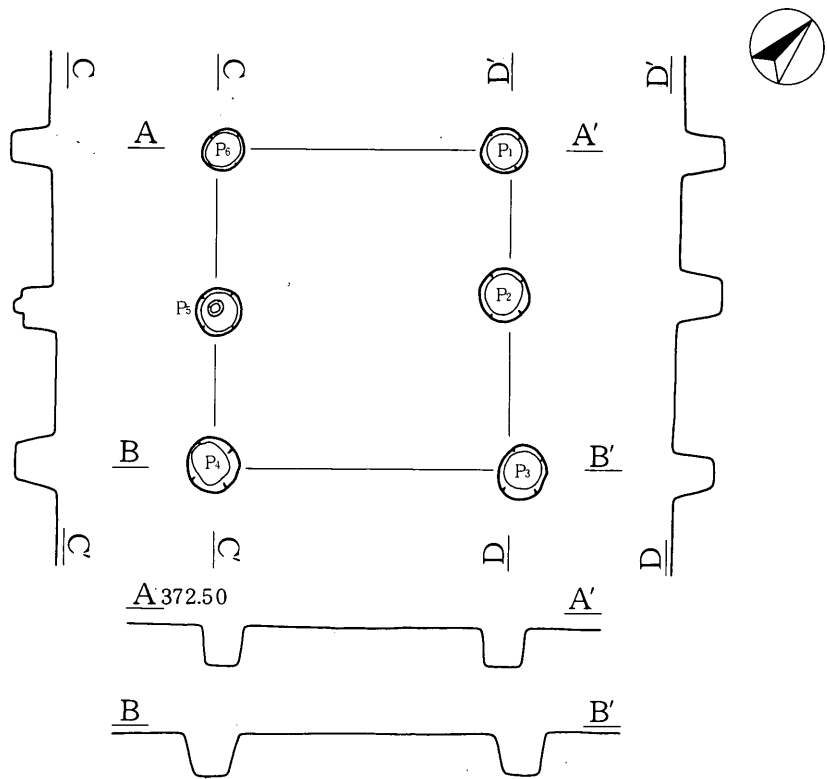


ST 03

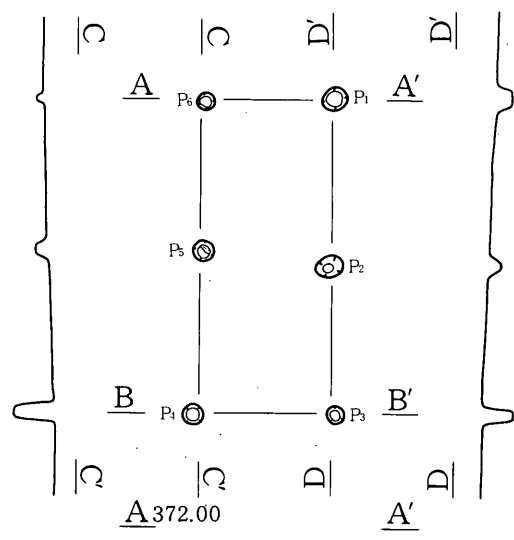
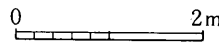


ST 04

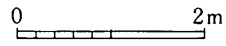
第63图 ST 03 · 04



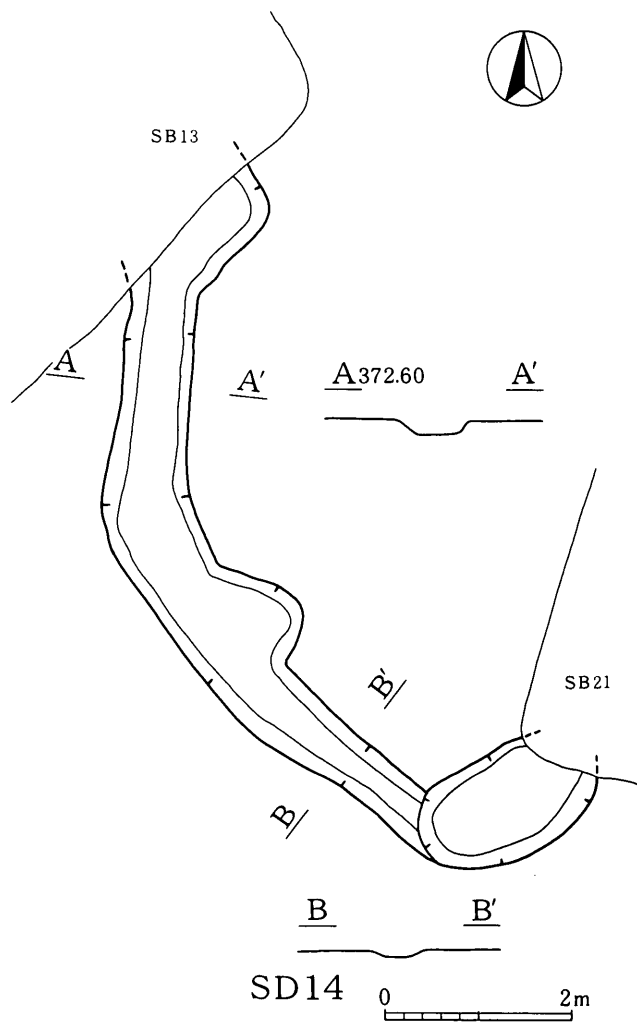
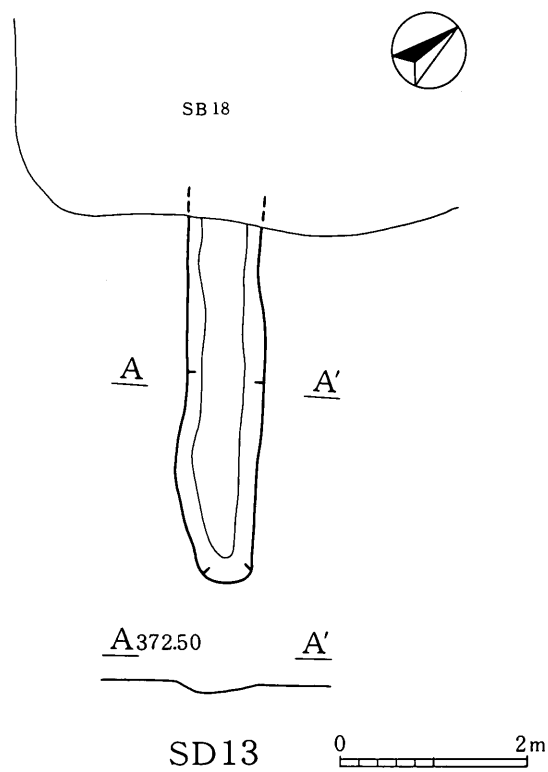
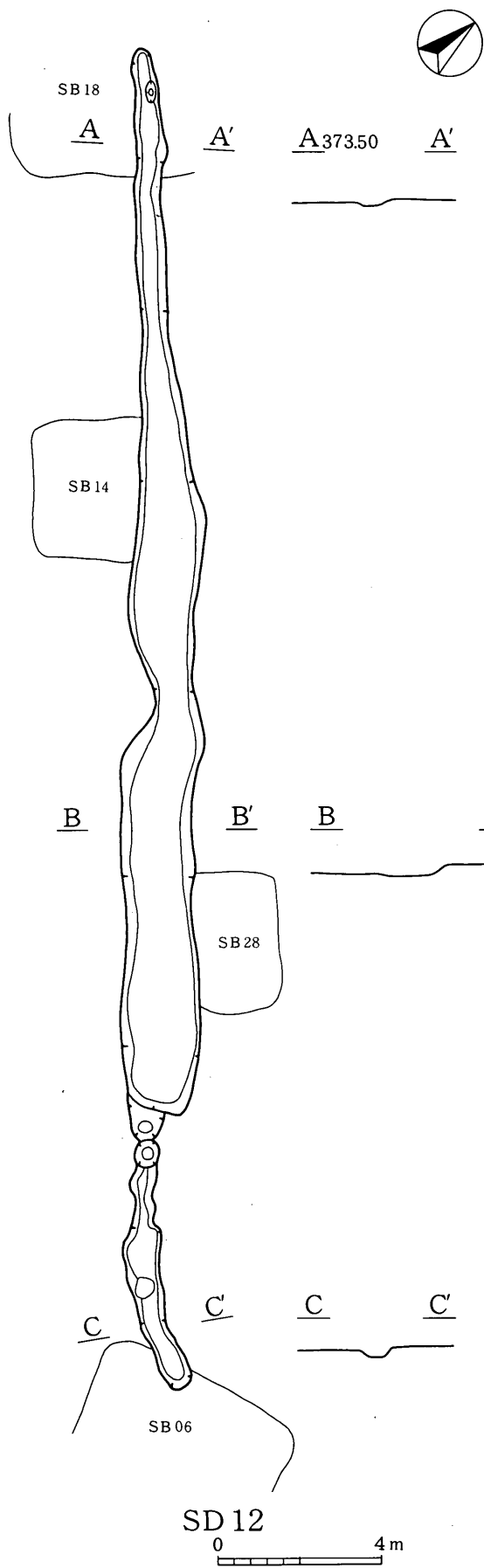
ST 05



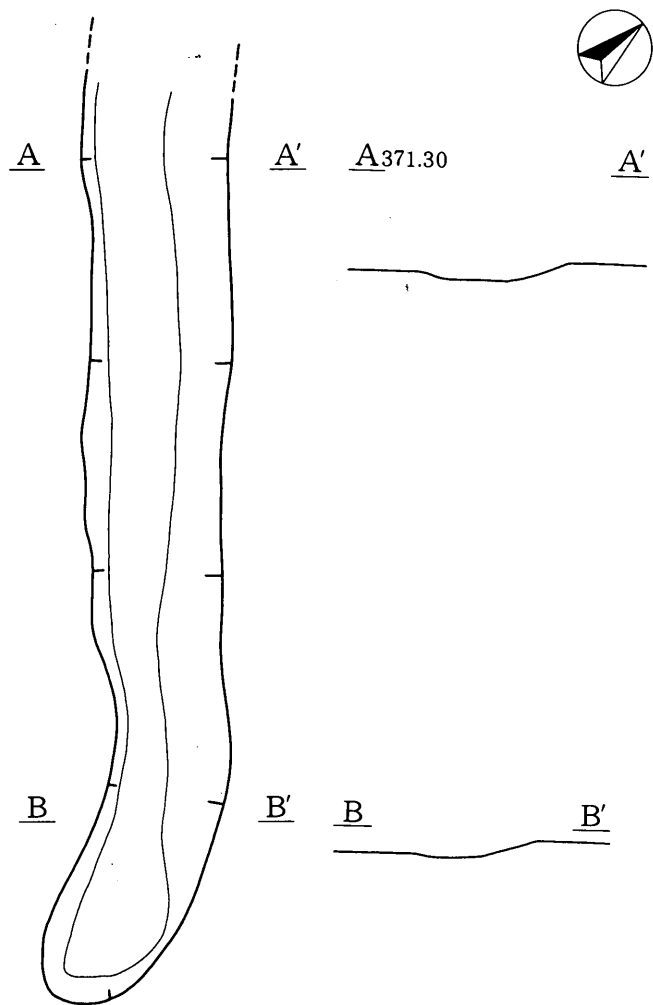
ST 06



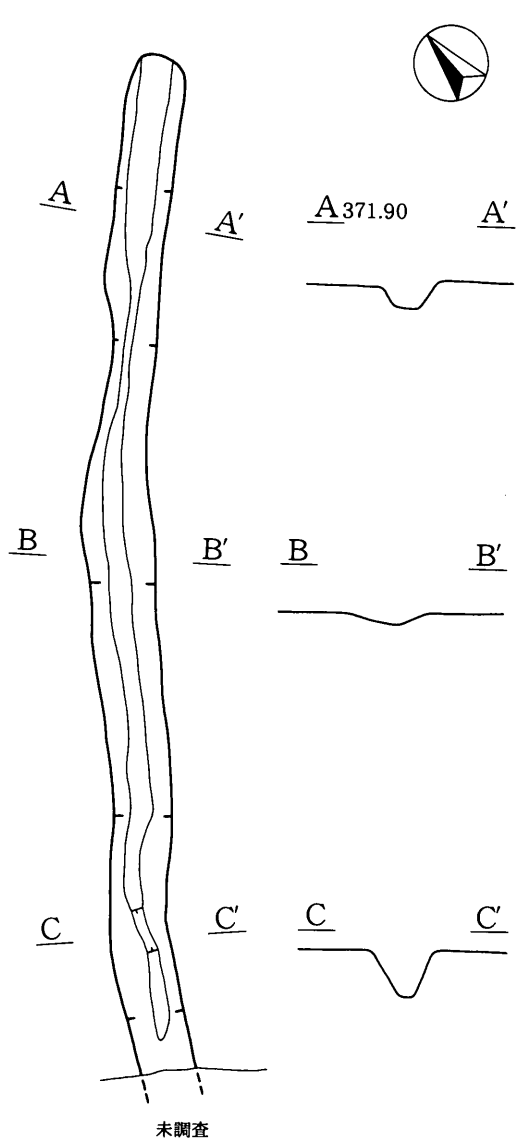
第64图 ST05·06



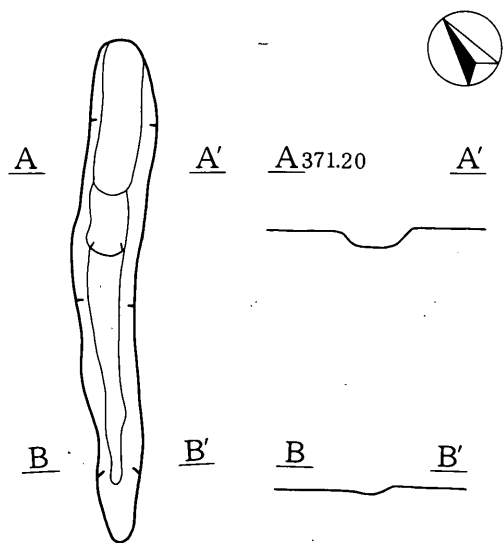
第65图 SD 12 · 13 · 14



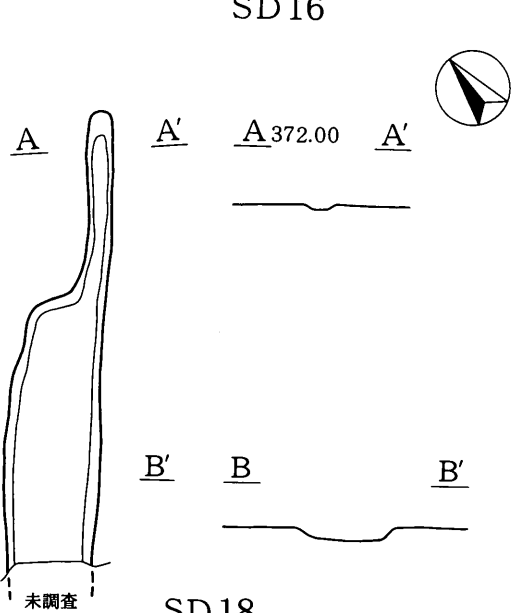
SD15



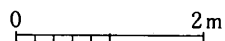
SD16



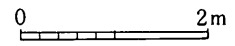
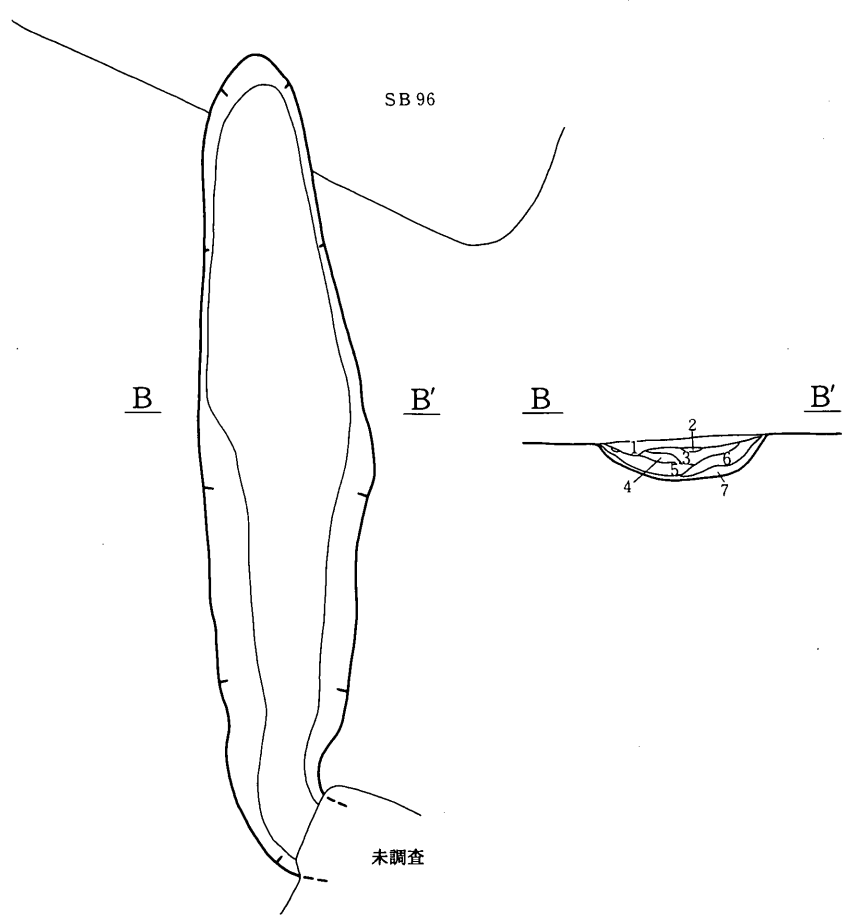
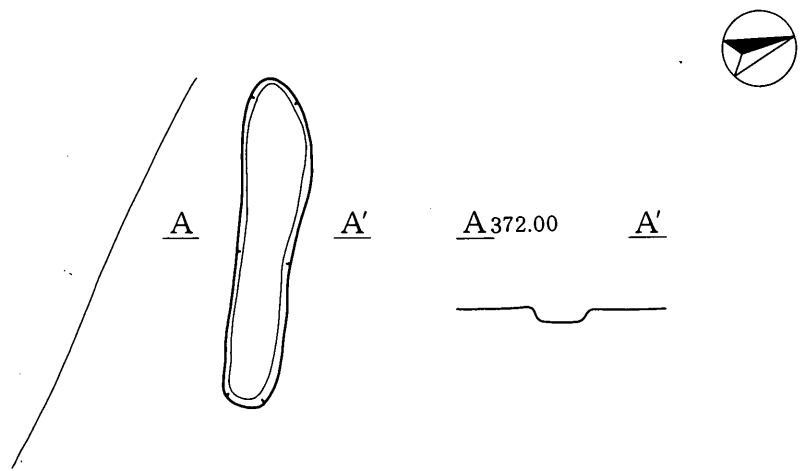
SD17



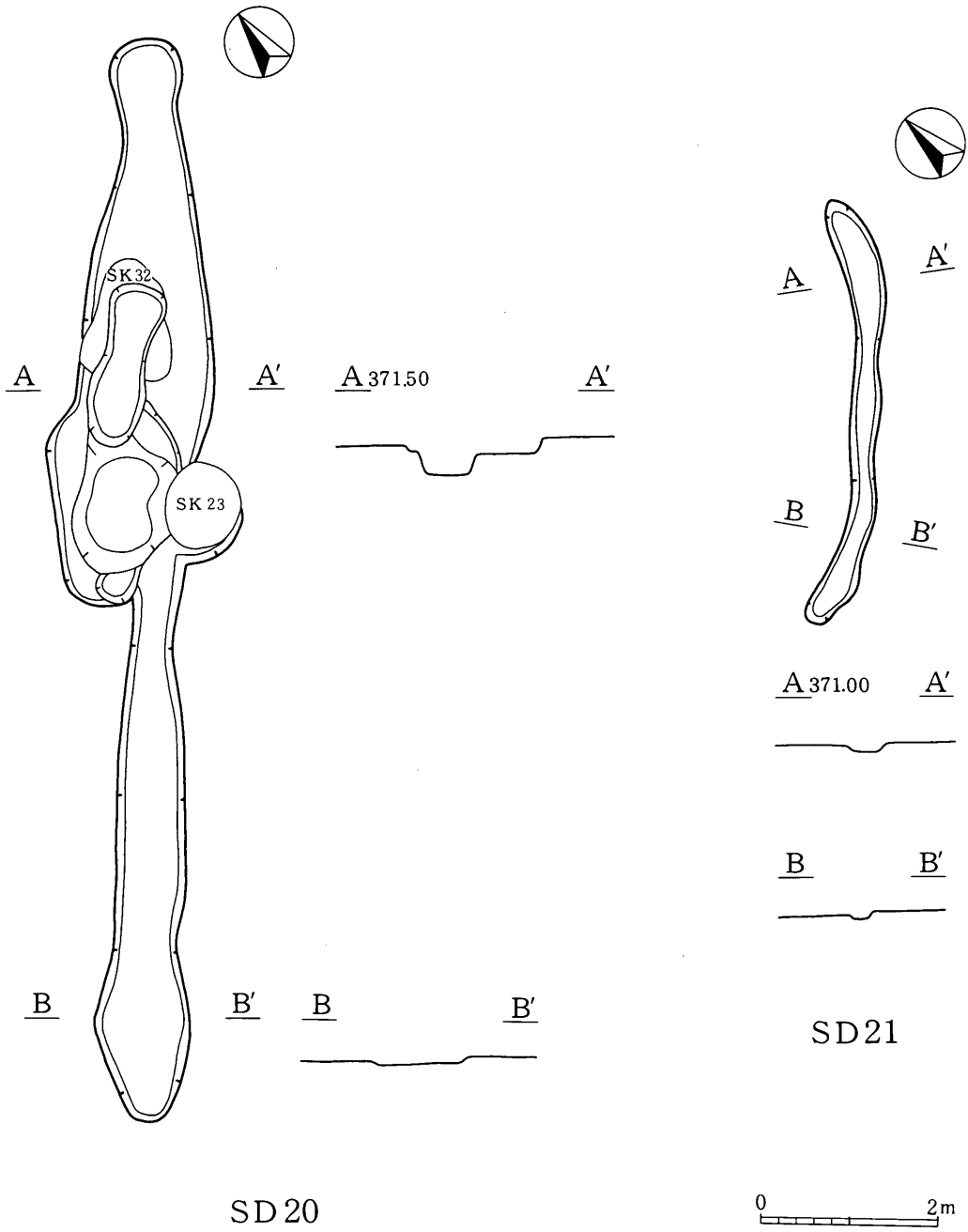
SD18



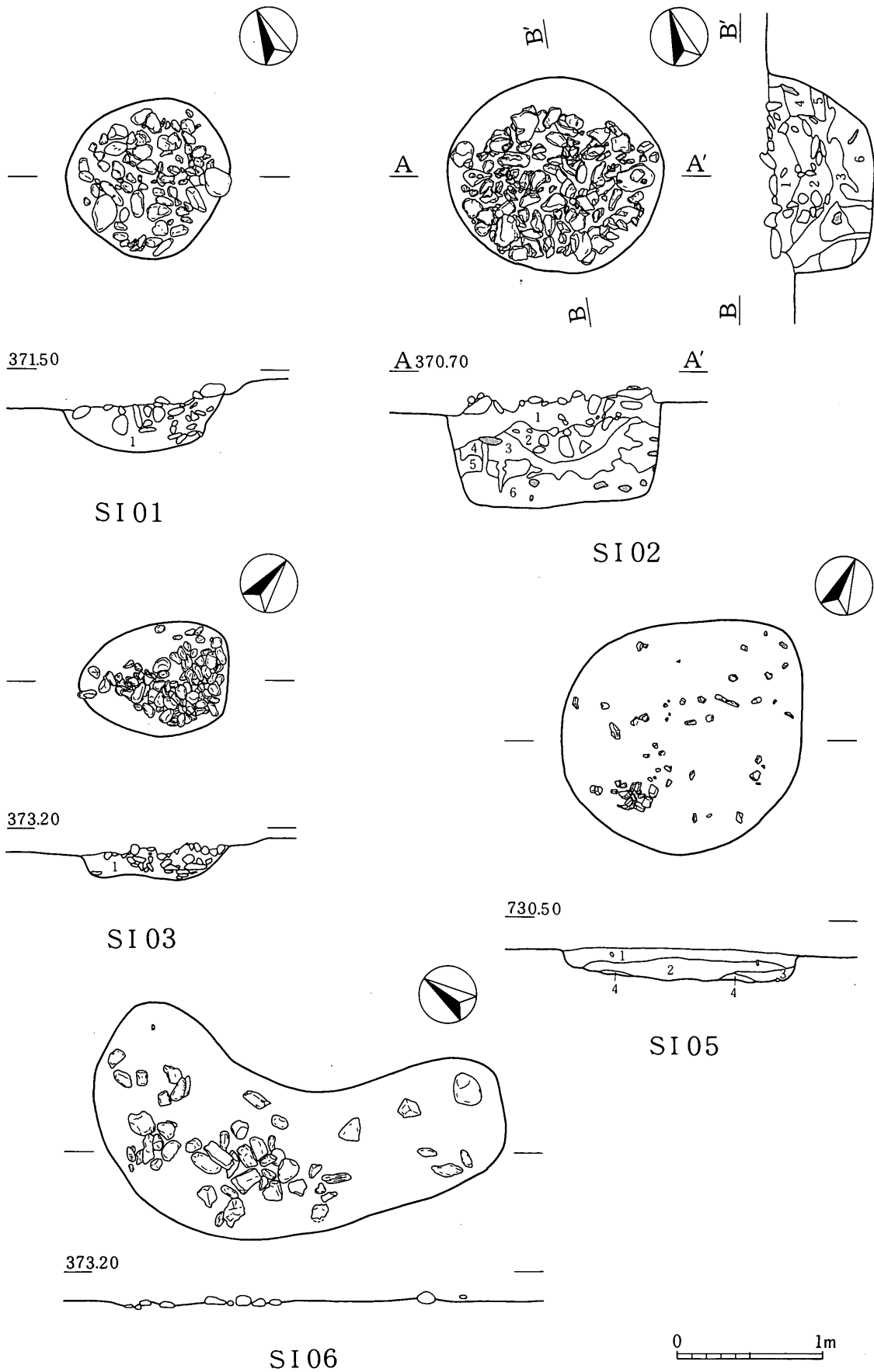
第66図 SD15・16・17・18



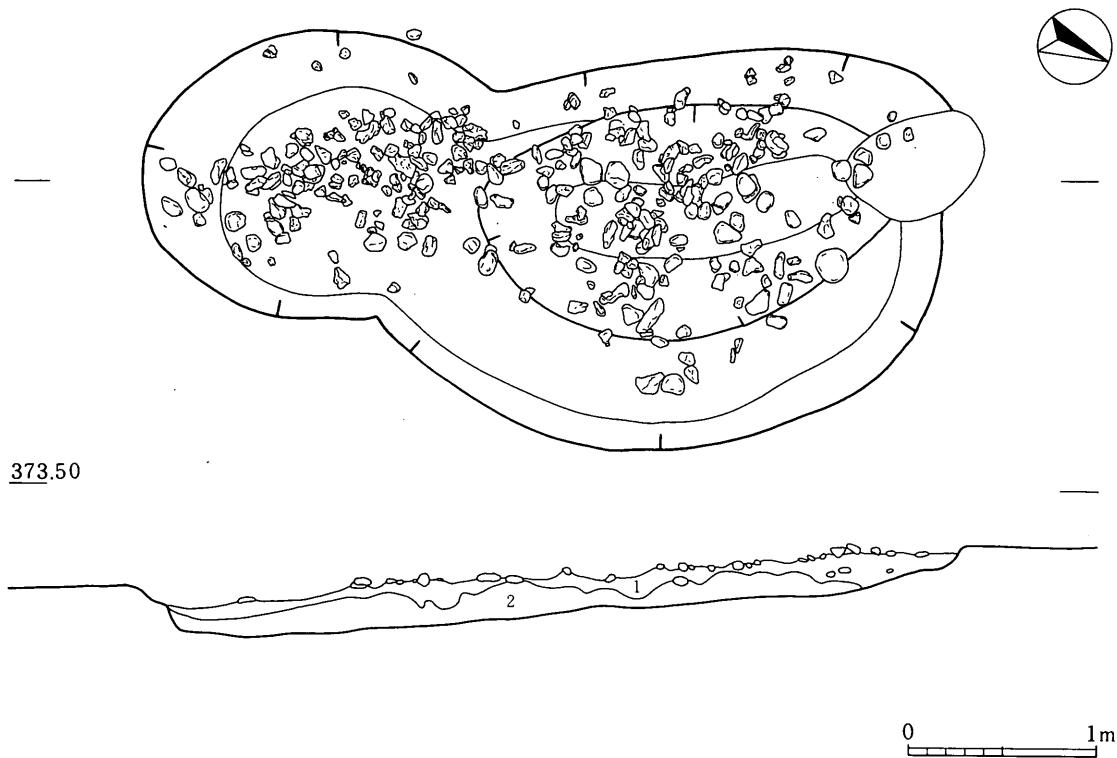
第67図 SD19



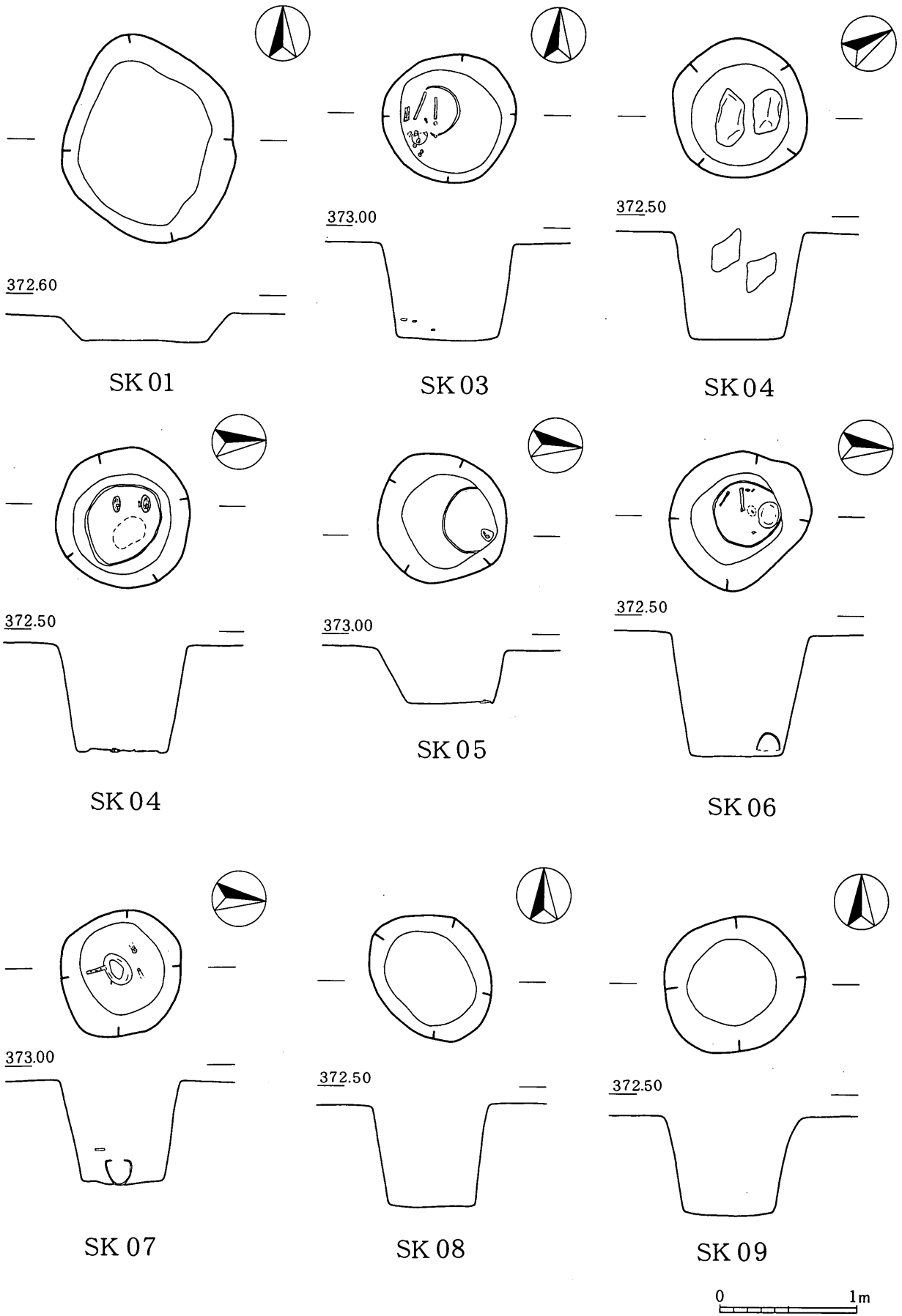
第68图 SD20·21



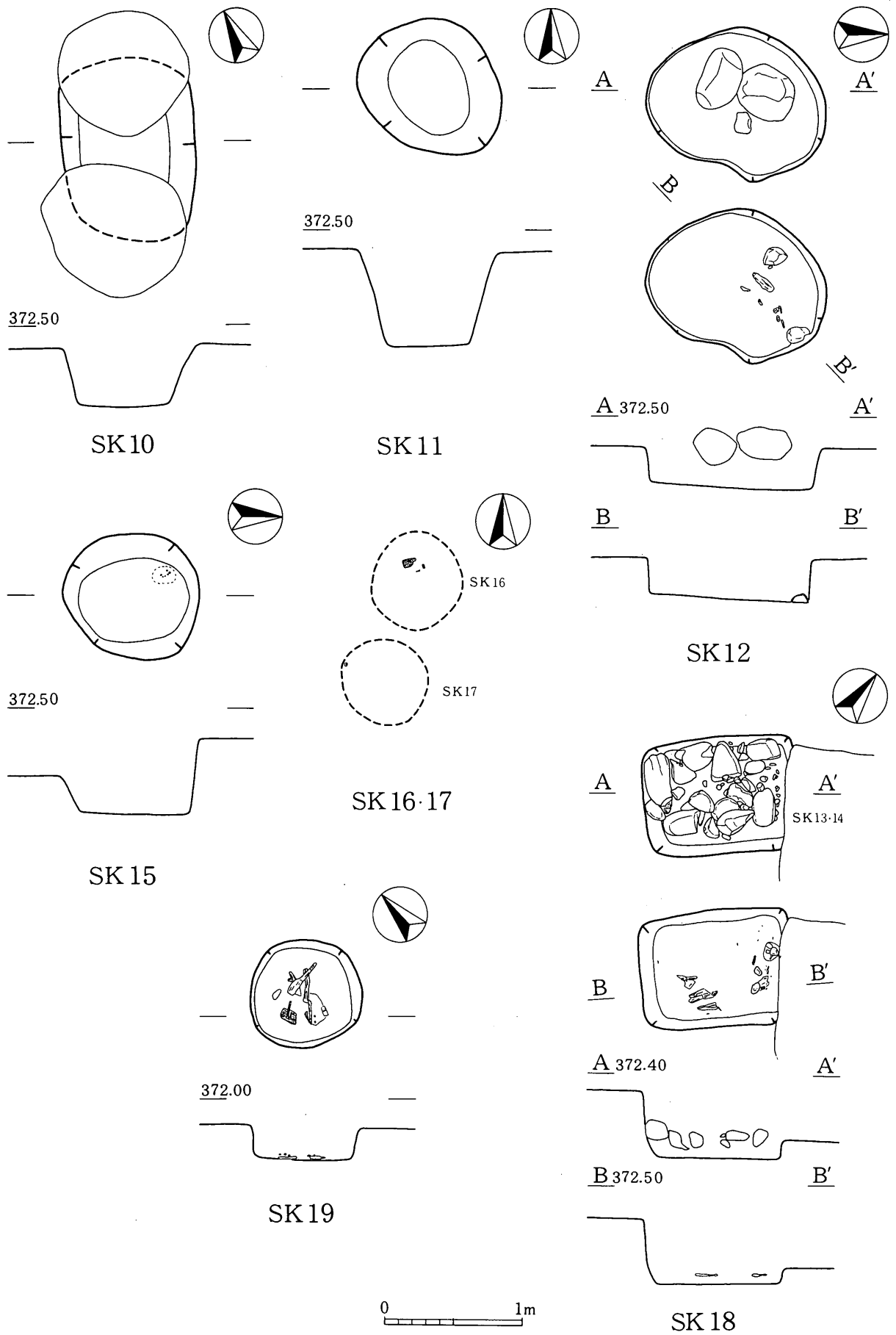
第69图 S I 01 · 02 · 03 · 05 · 06



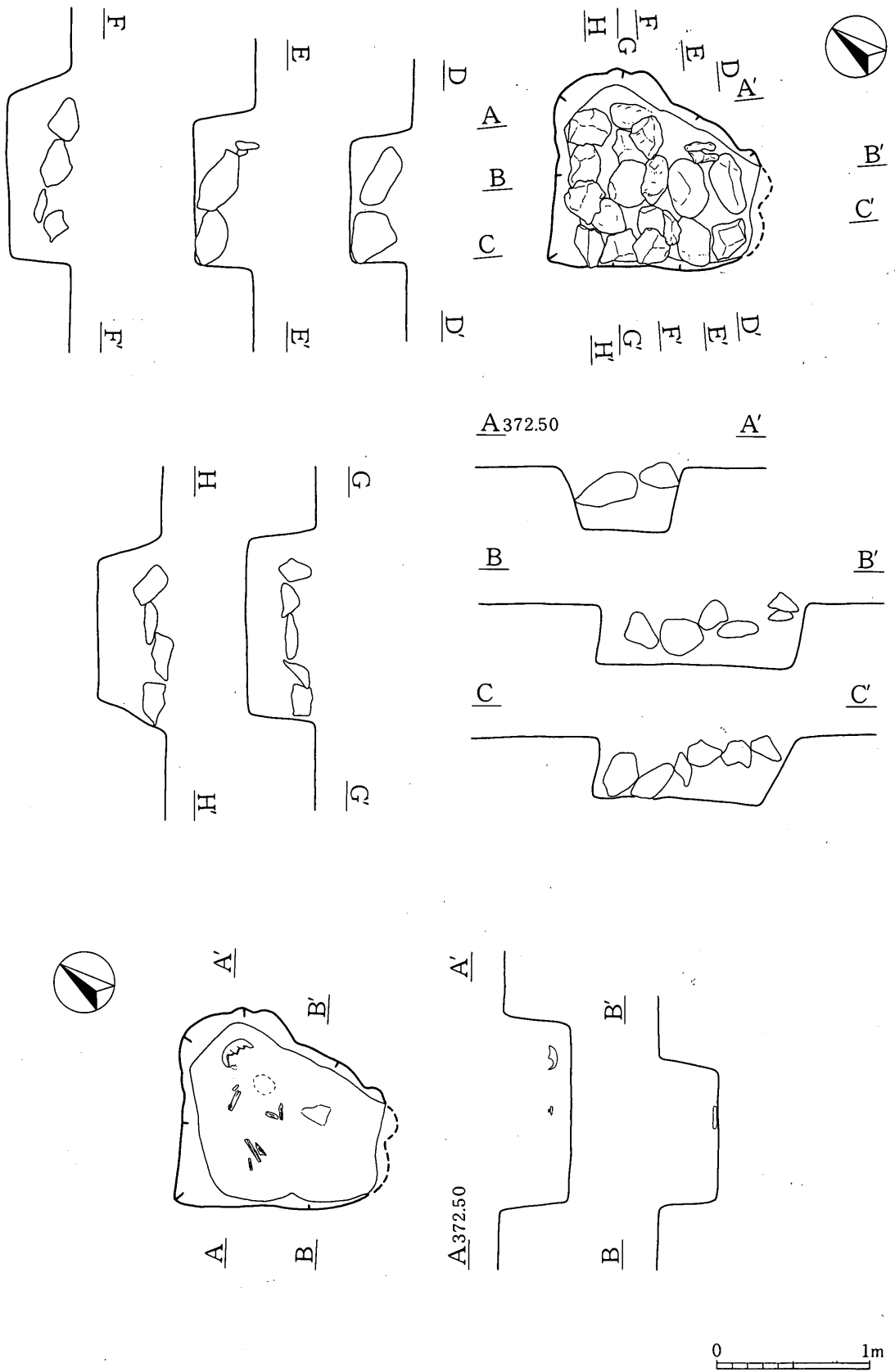
第70図 S I 04



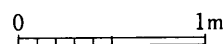
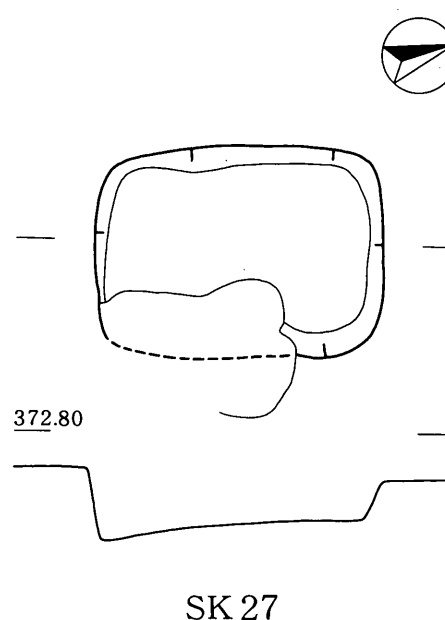
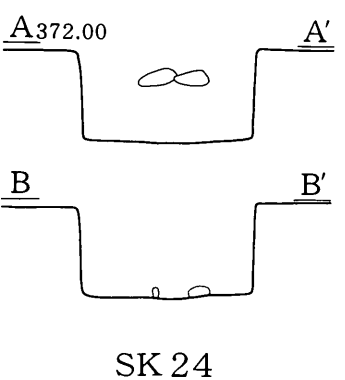
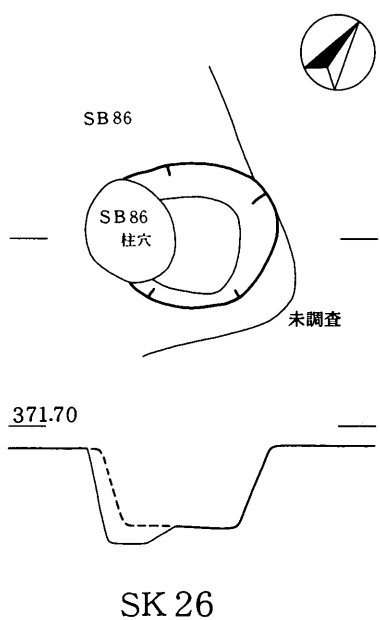
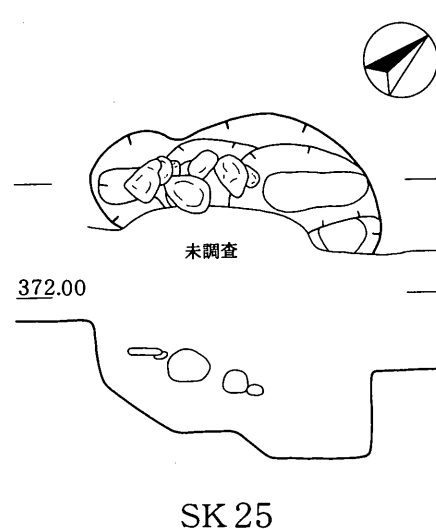
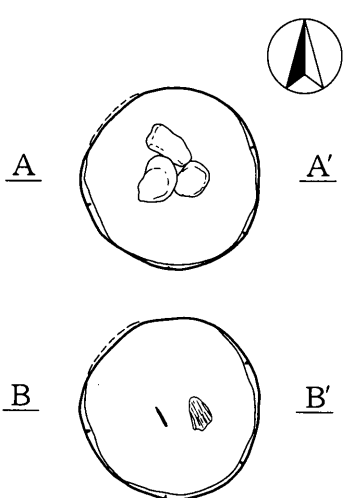
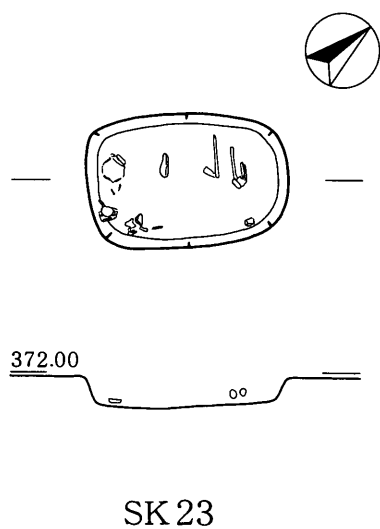
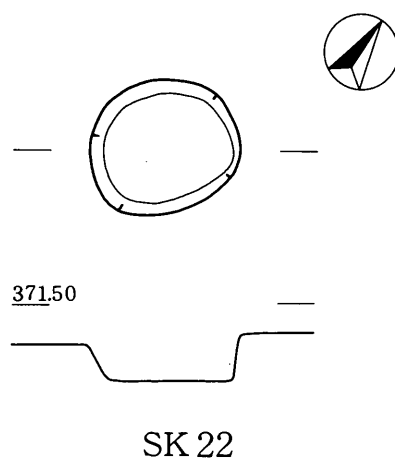
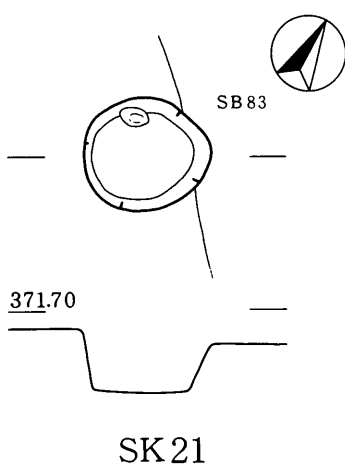
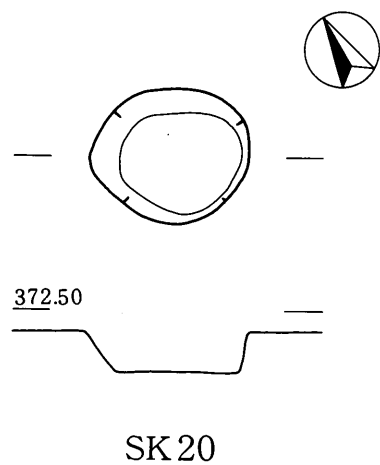
第71图 SK01·03·04·05·06·07·08·09



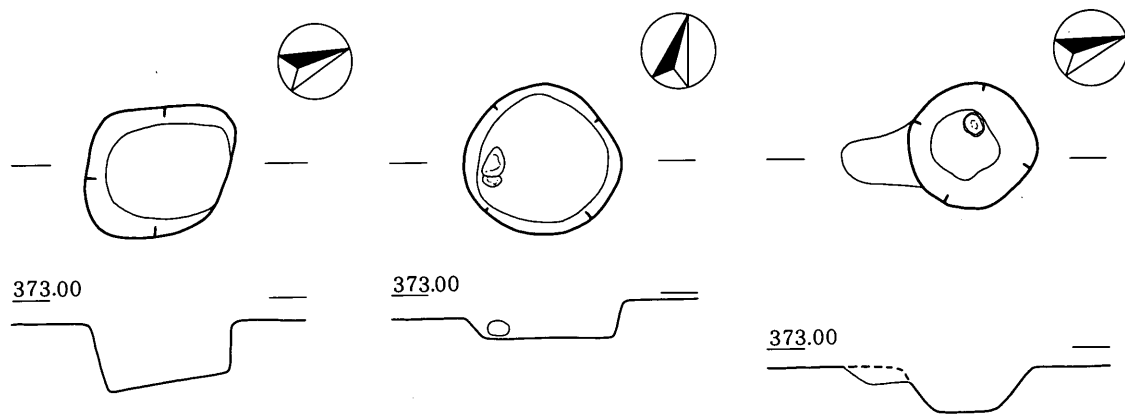
第72図 SK10・11・12・15・16・17・18・19



第73图 SK13·14



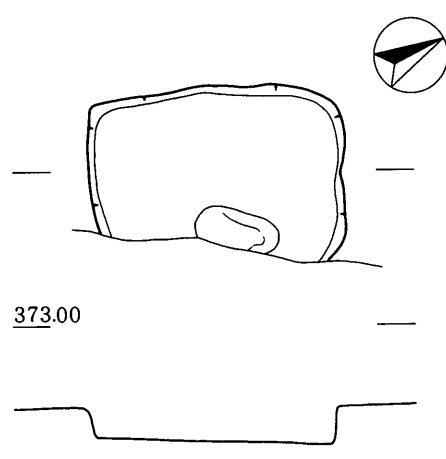
第74図 SK 20・21・22・23・24・25・26・27



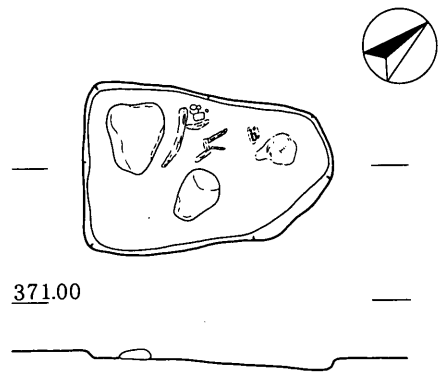
SK 28

SK 29

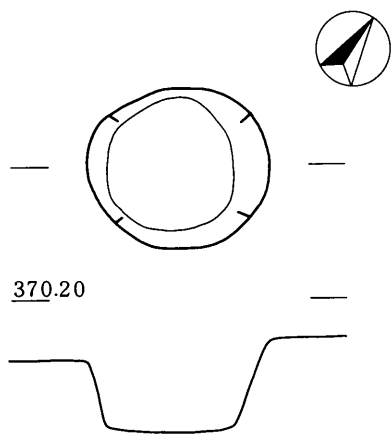
SK 30



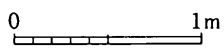
SK 31



SK 32



SK 33



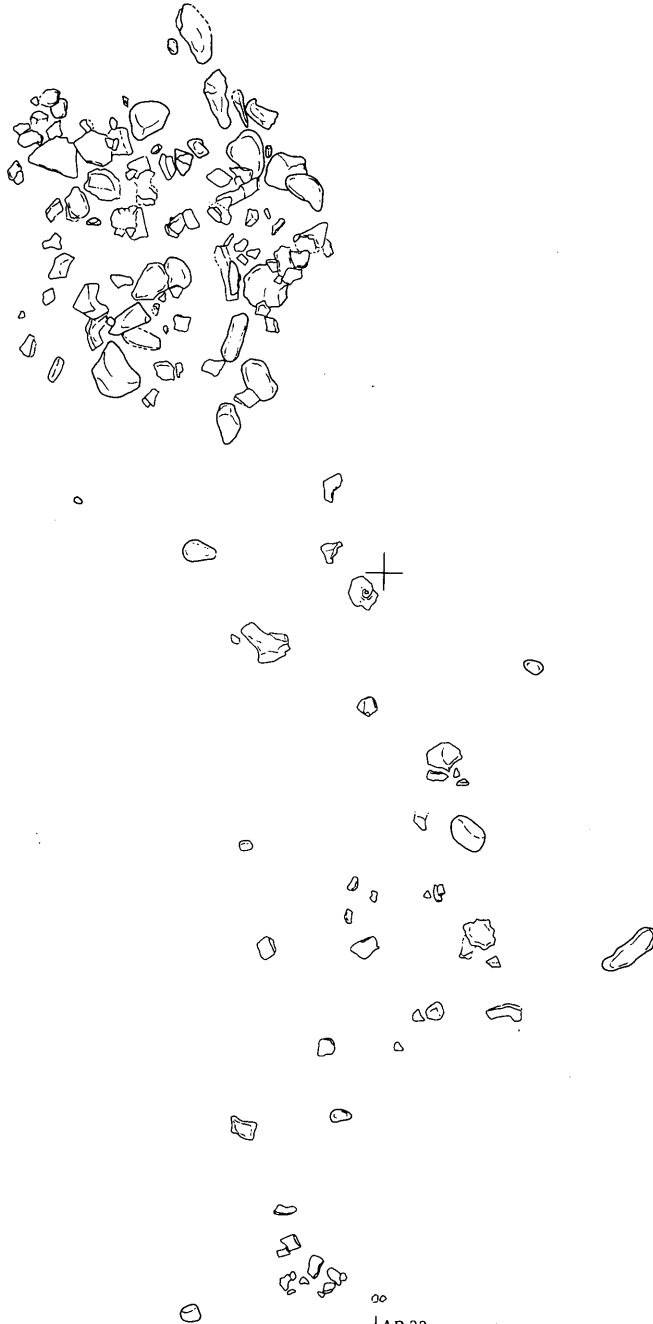
第75図 SK 28 · 29 · 30 · 31 · 32 · 33

AS 32 | AT 33



A 372.70

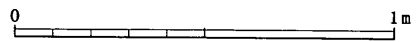
A



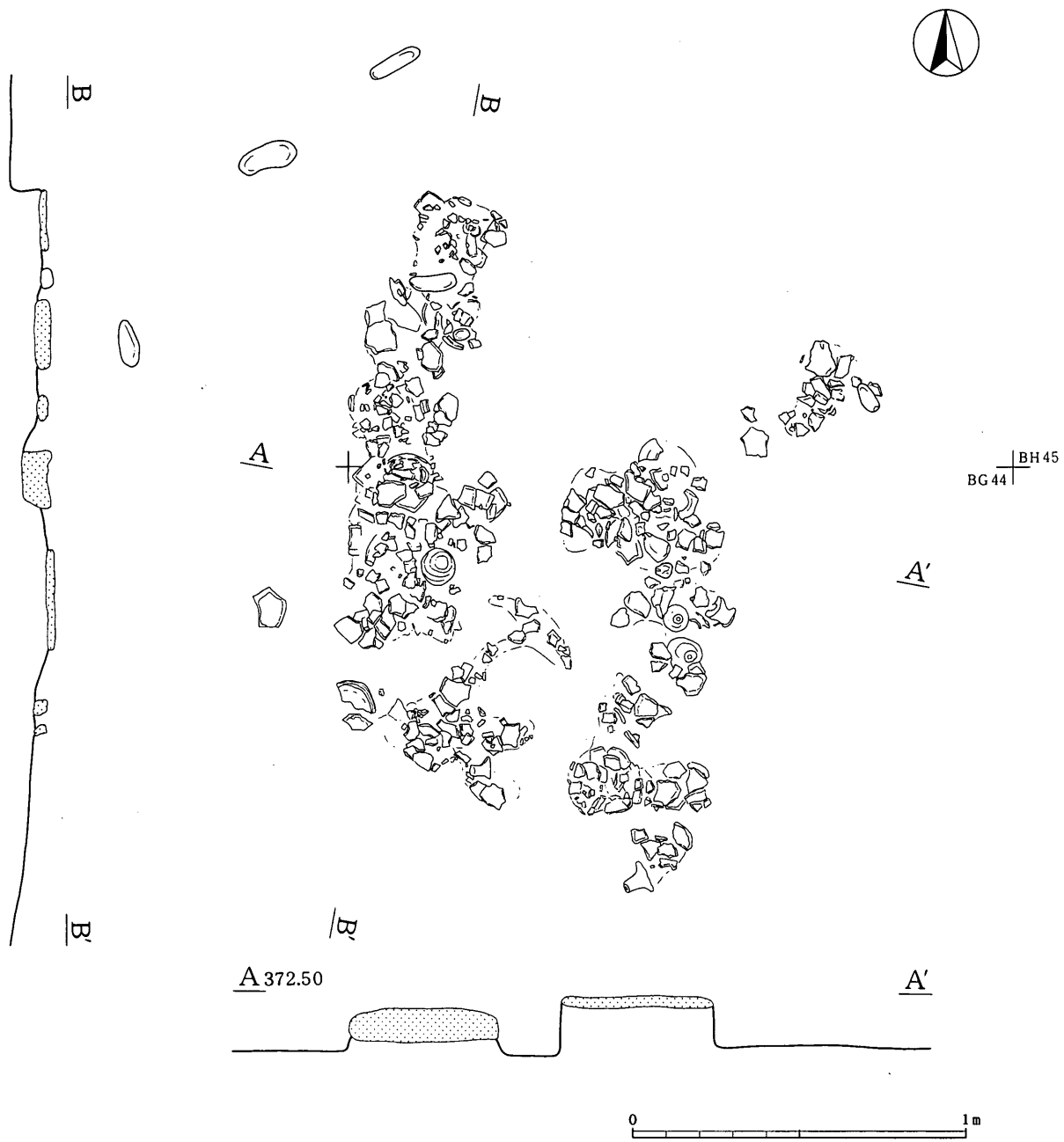
AQ 32 | AR 33

A

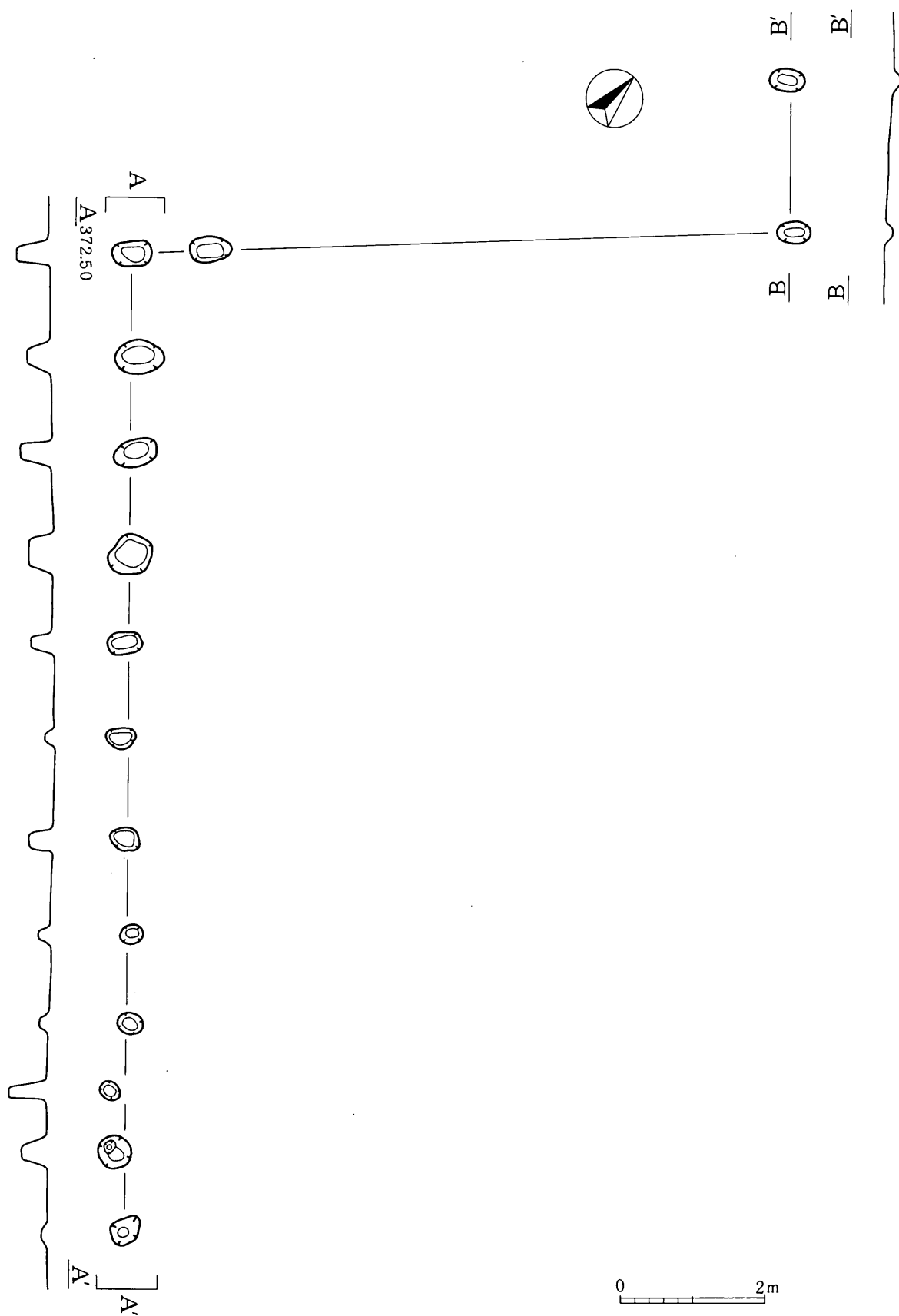
A



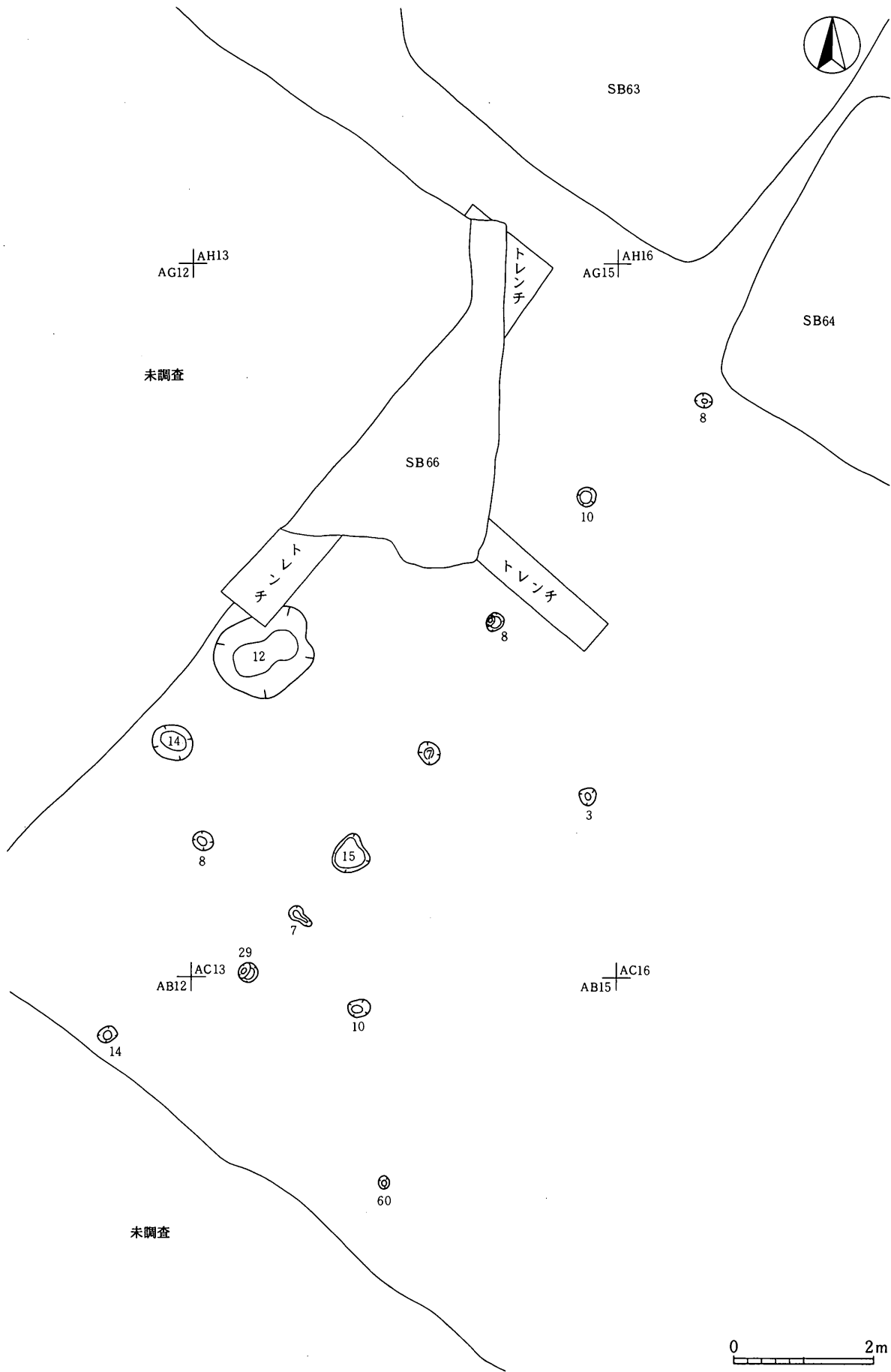
第76図 土器集中区 1



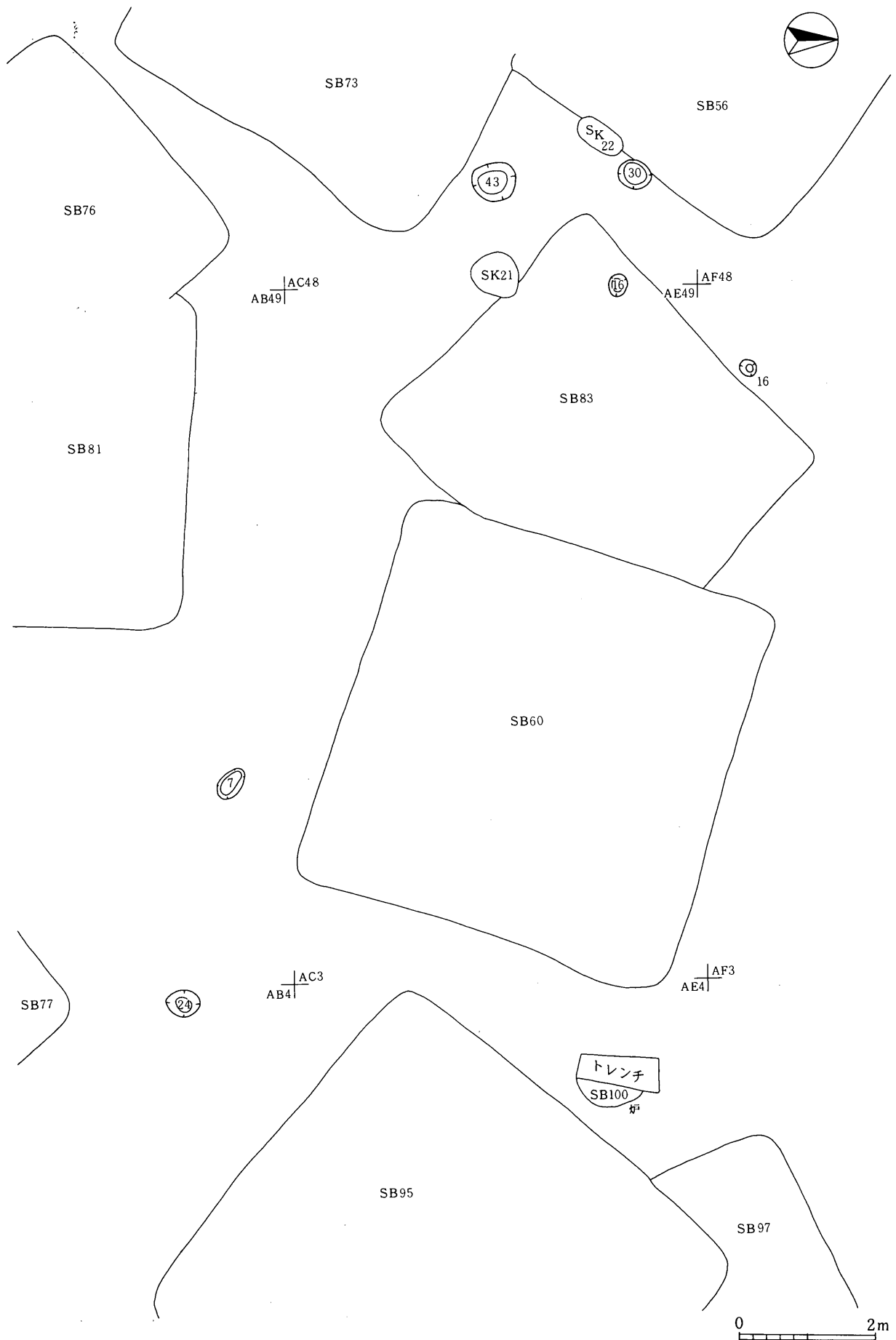
第77图 土器集中区2



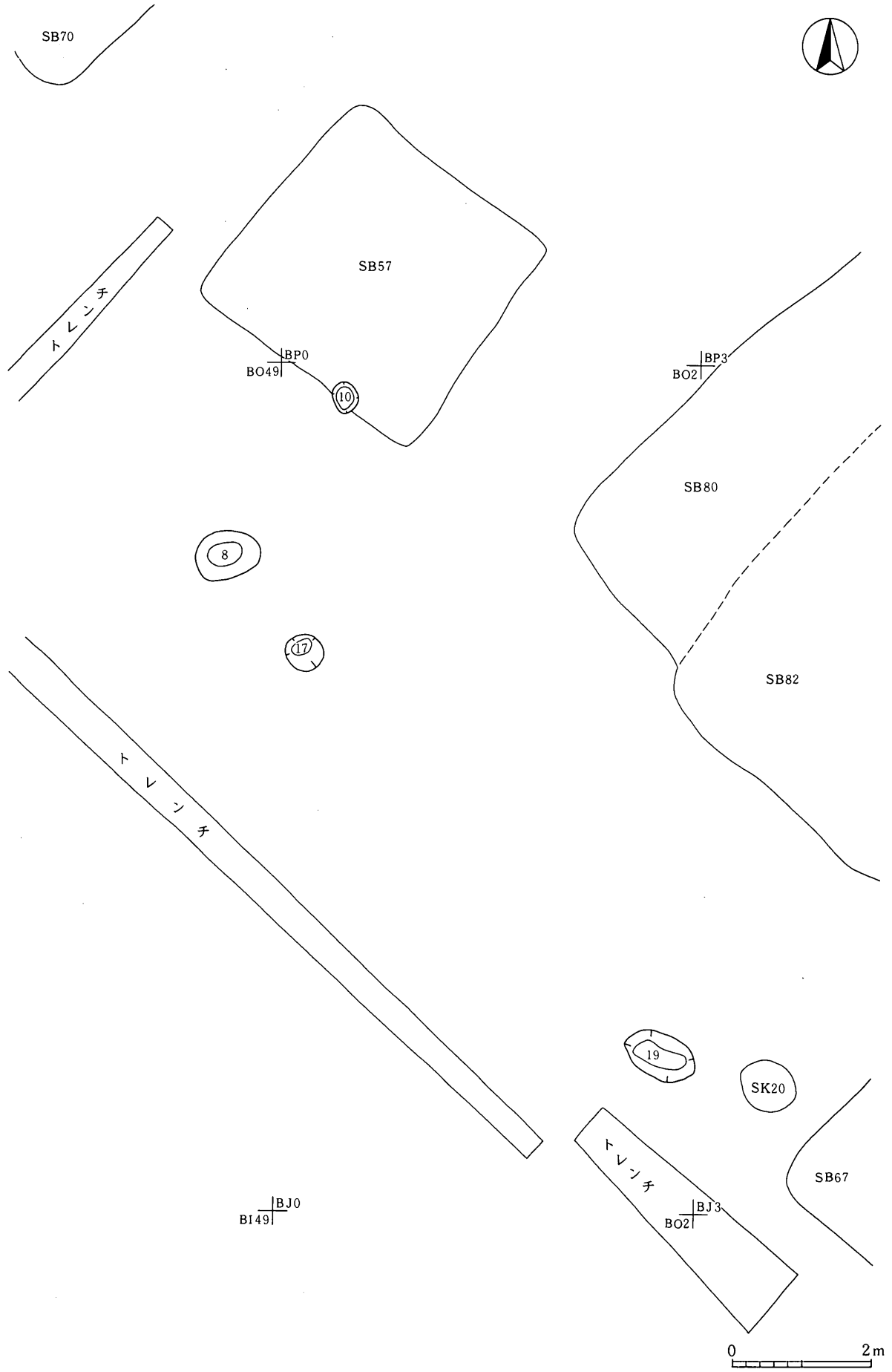
第78图 SA01



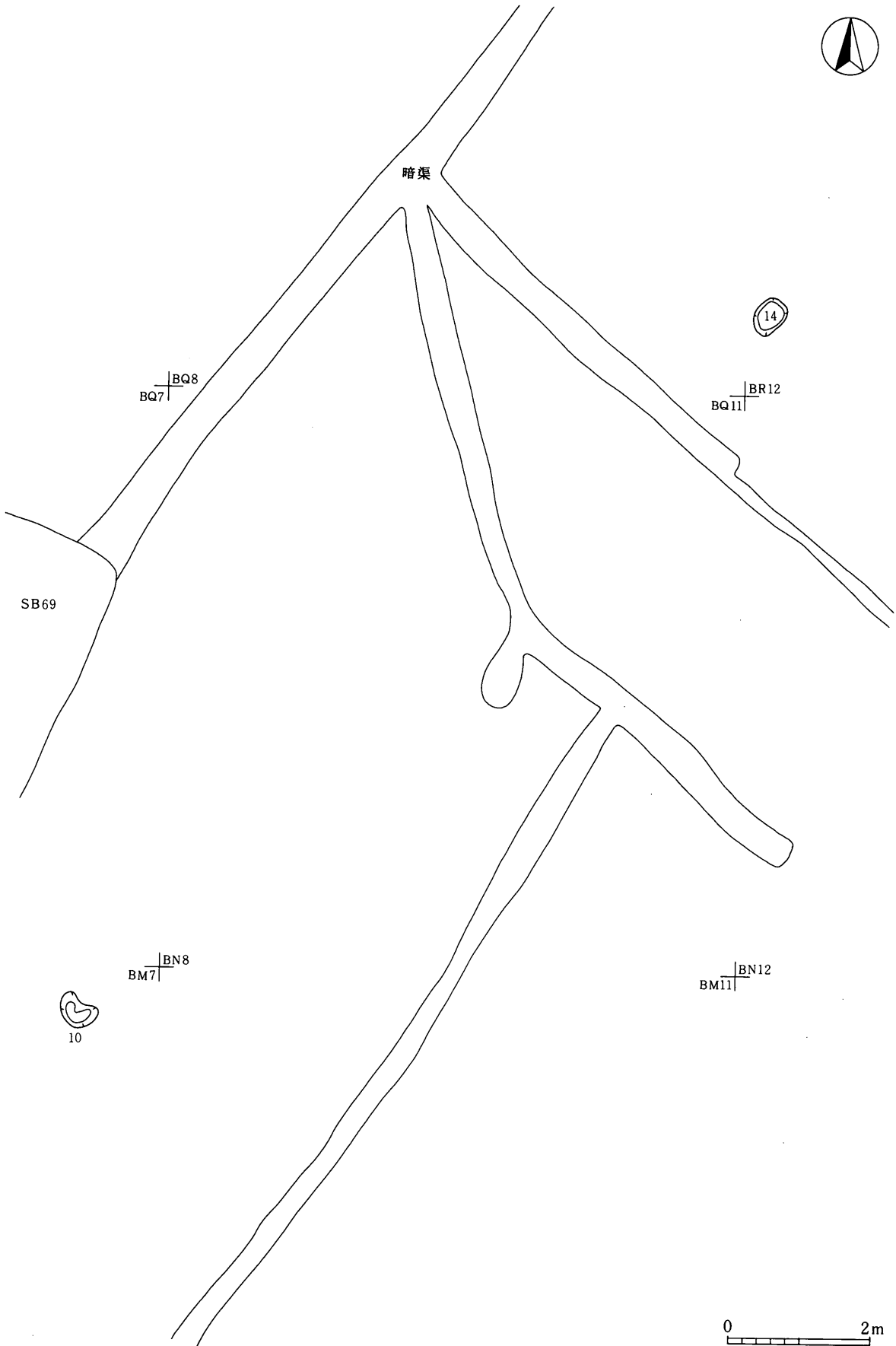
第79図 ピット(1)



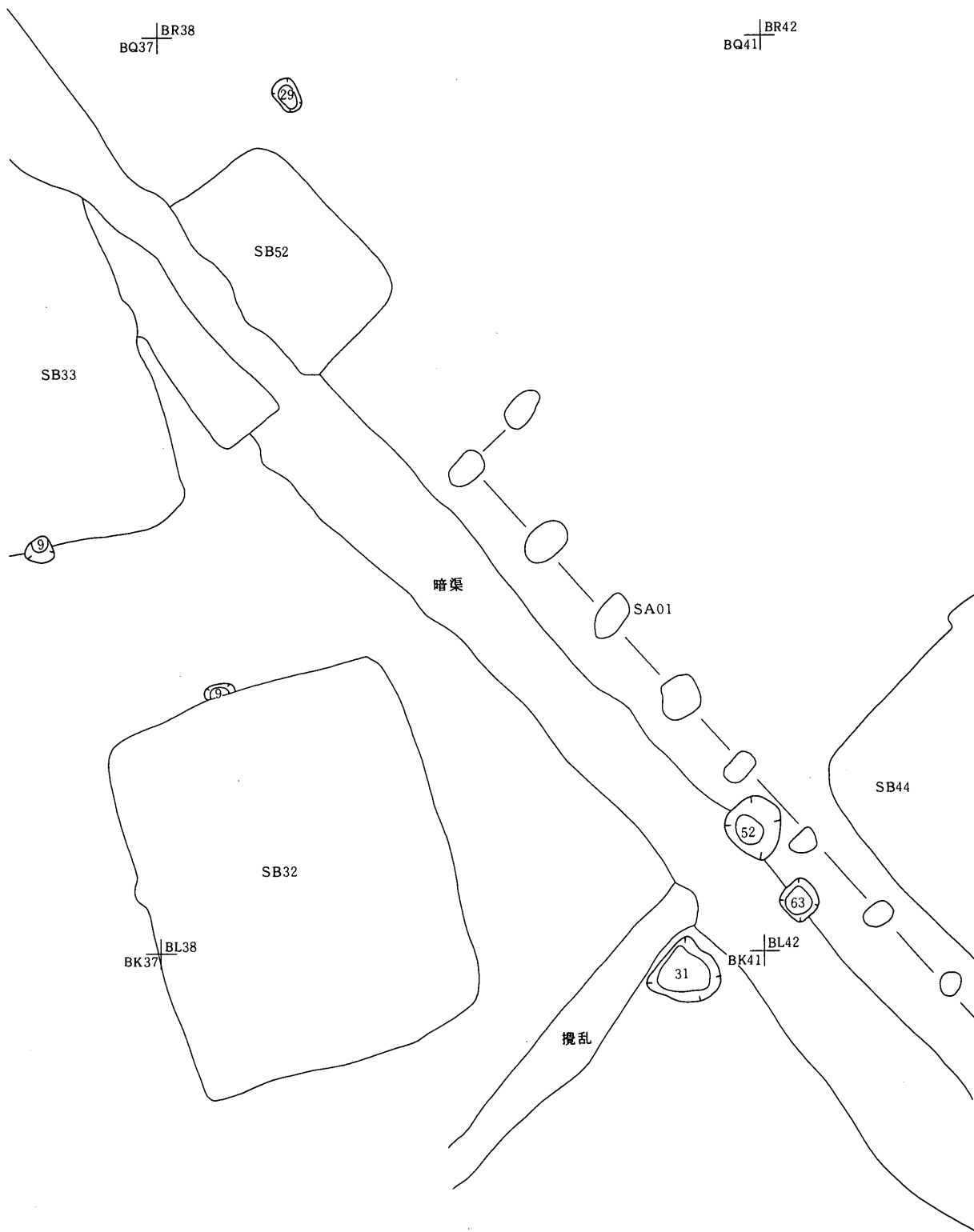
第80図 ピット(2)



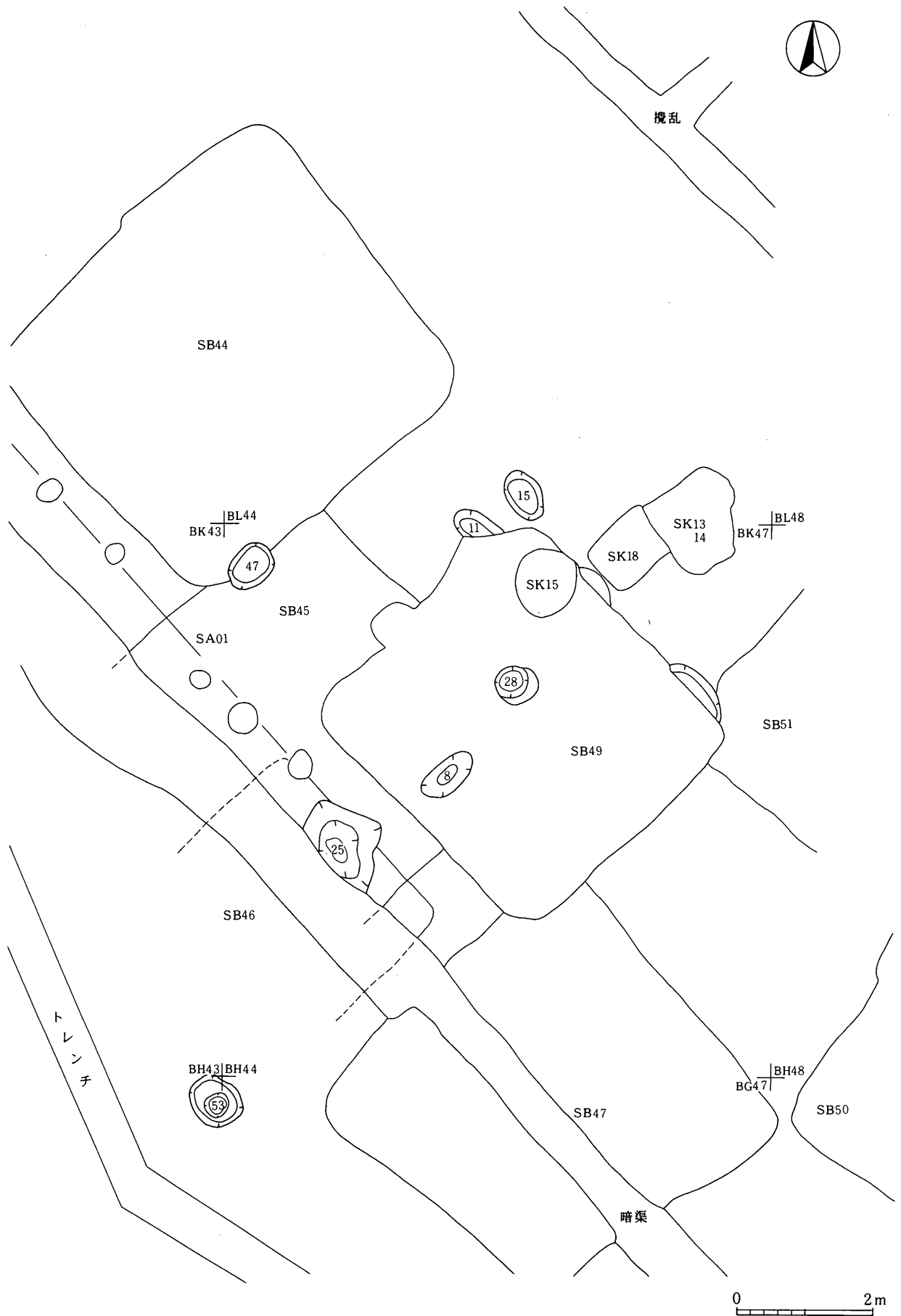
第81図 ピット(3)



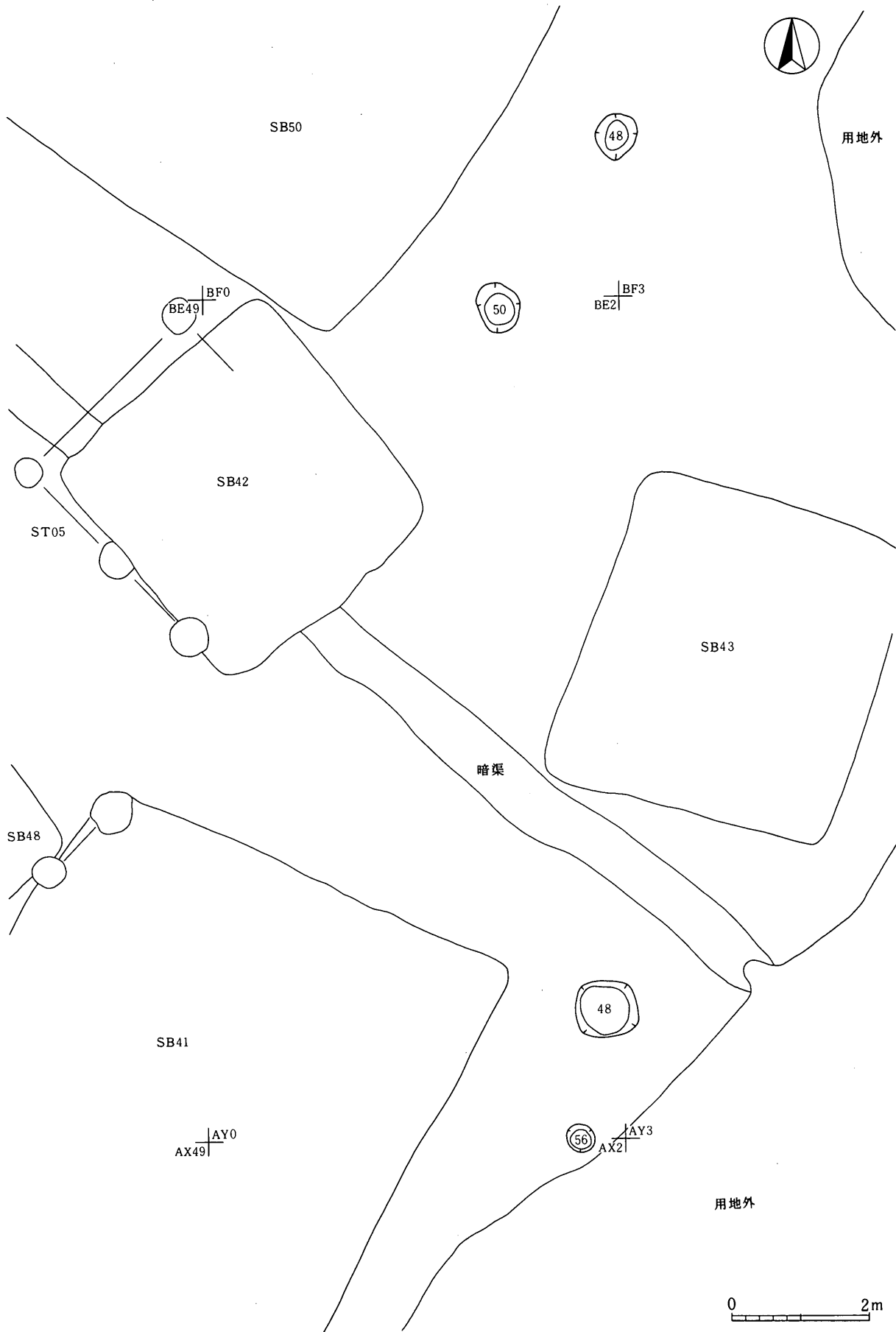
第82図 ピット(4)



第83図 ピット(5)



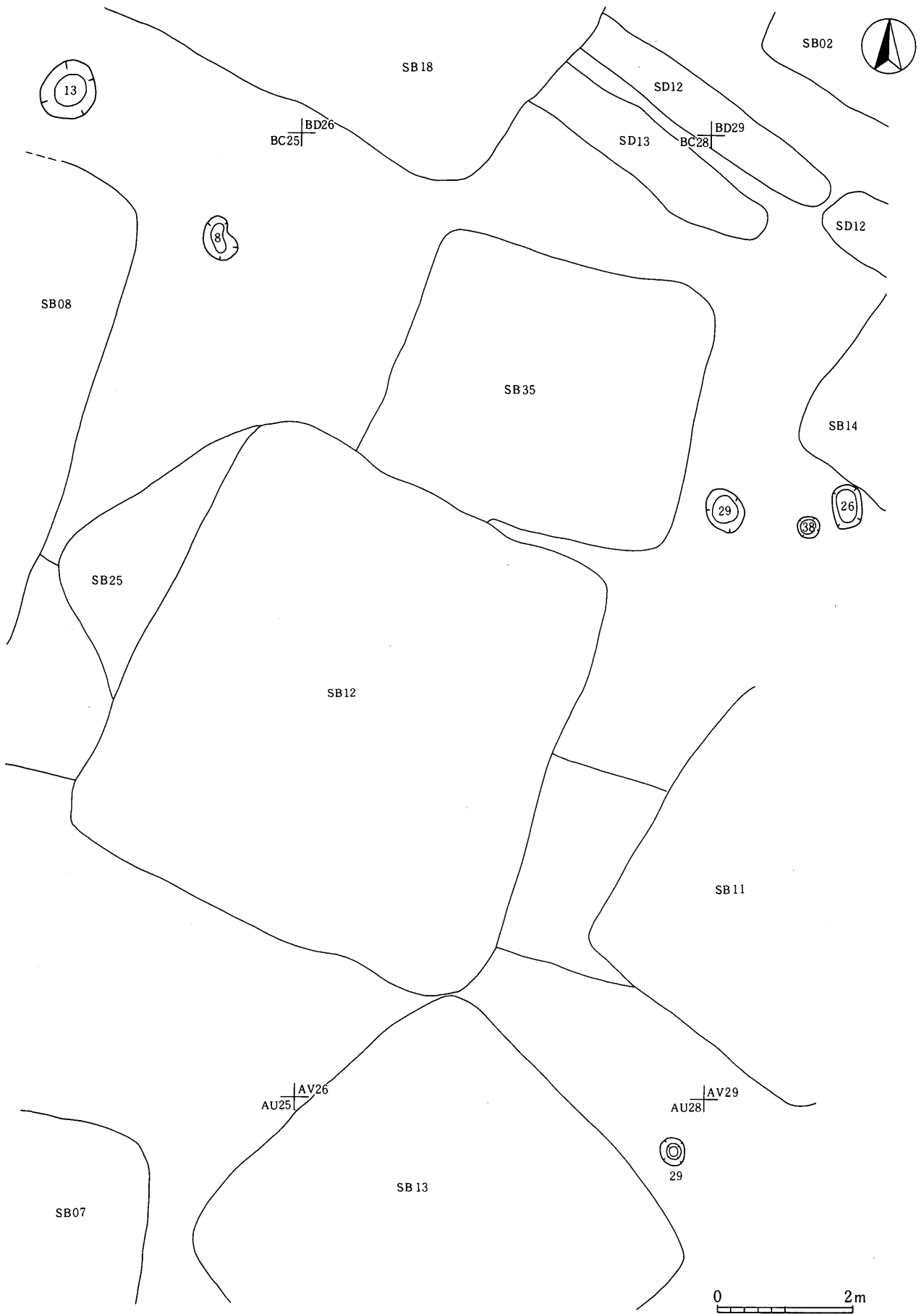
第84図 ピット(6)



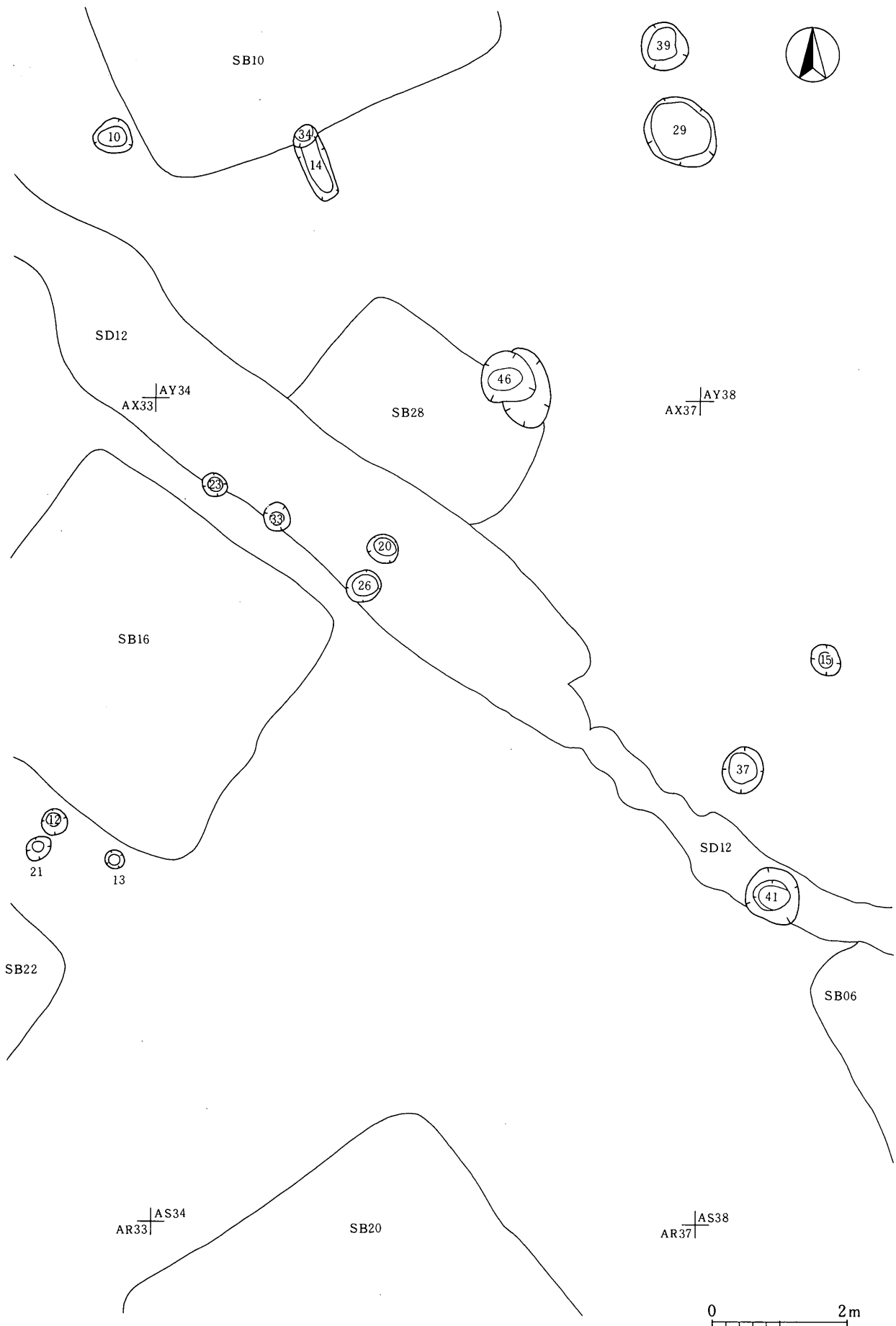
第85図 ピット(7)



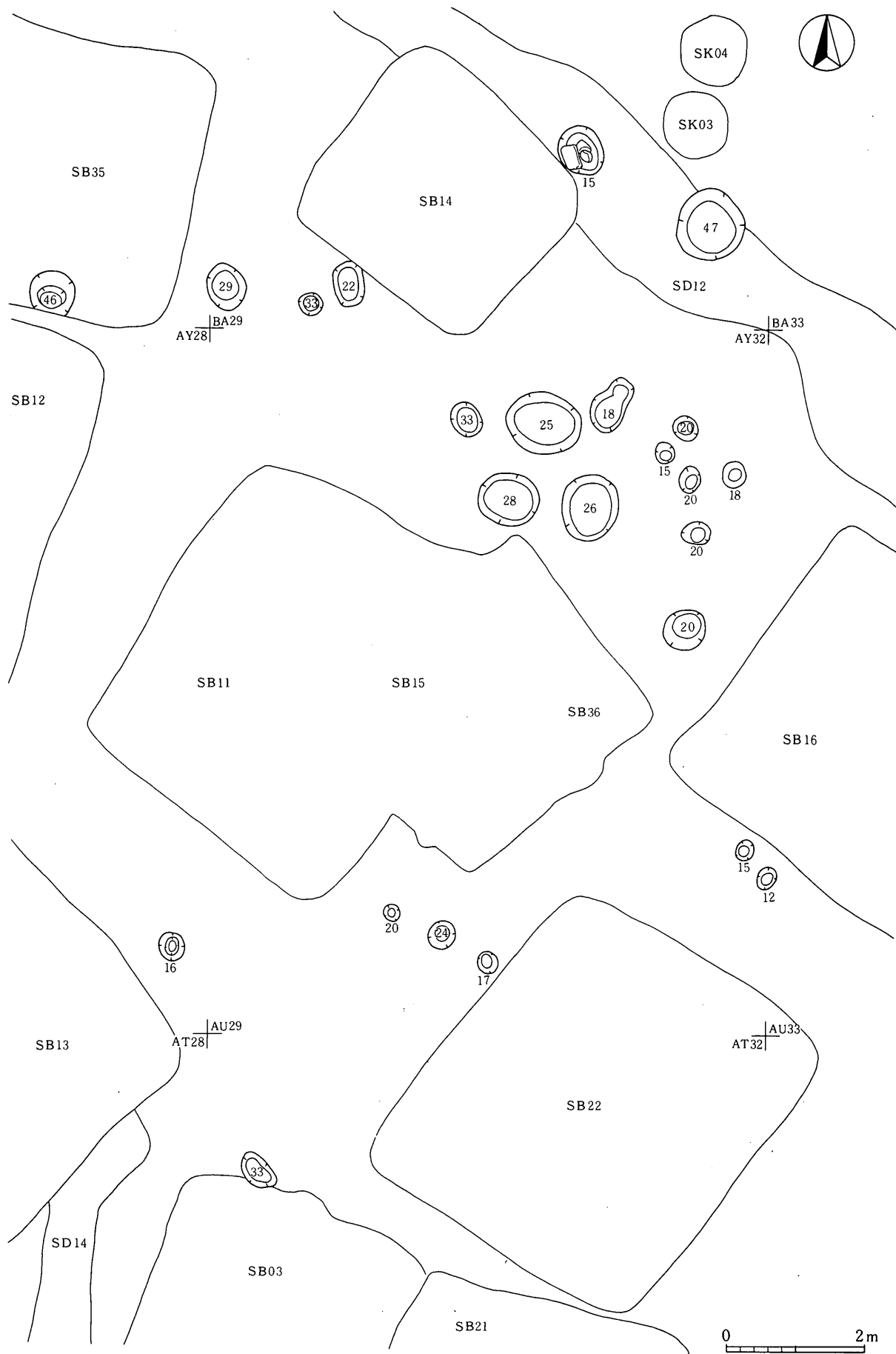
第86図 ピット(8)



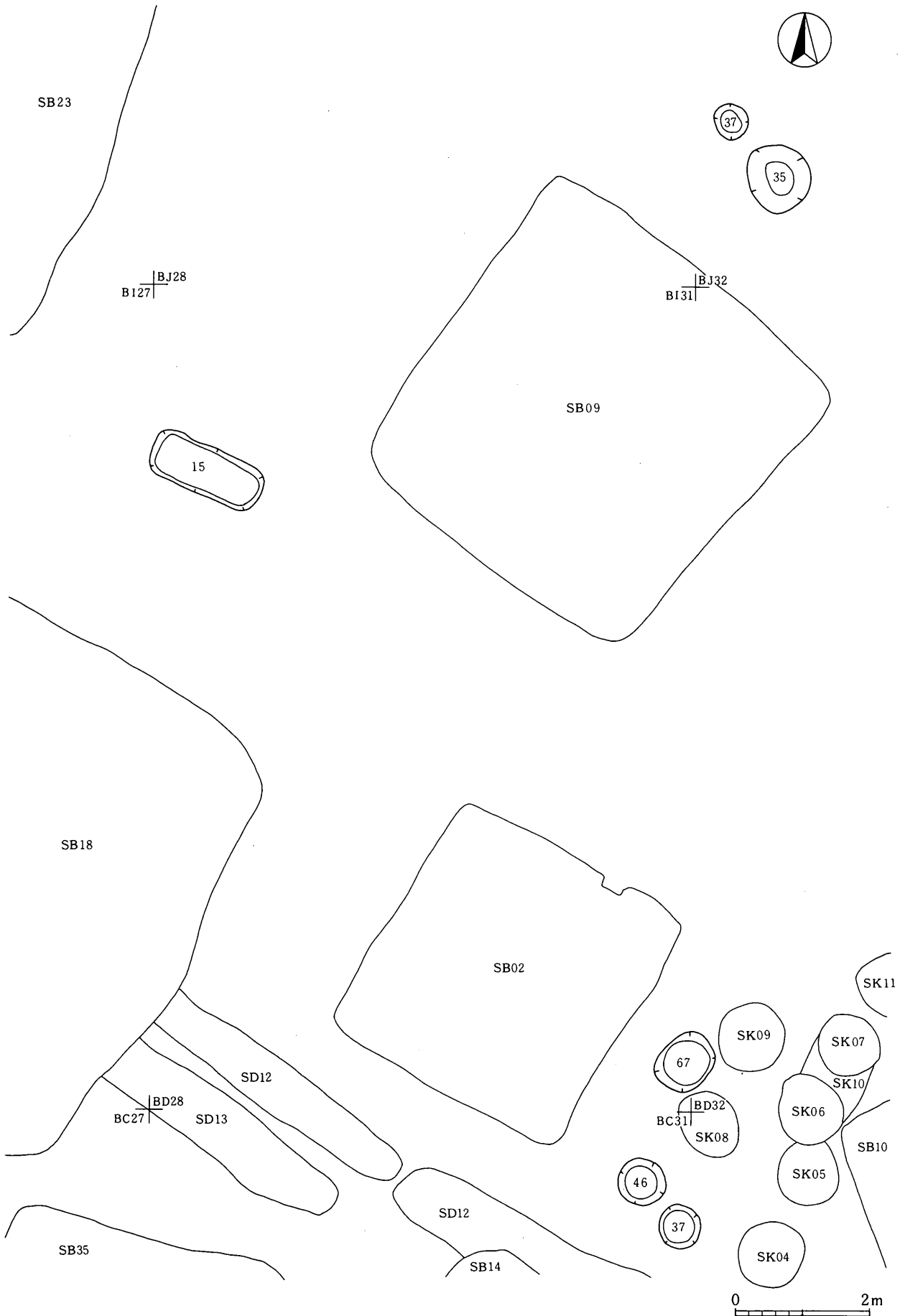
第87図. ピット(9)



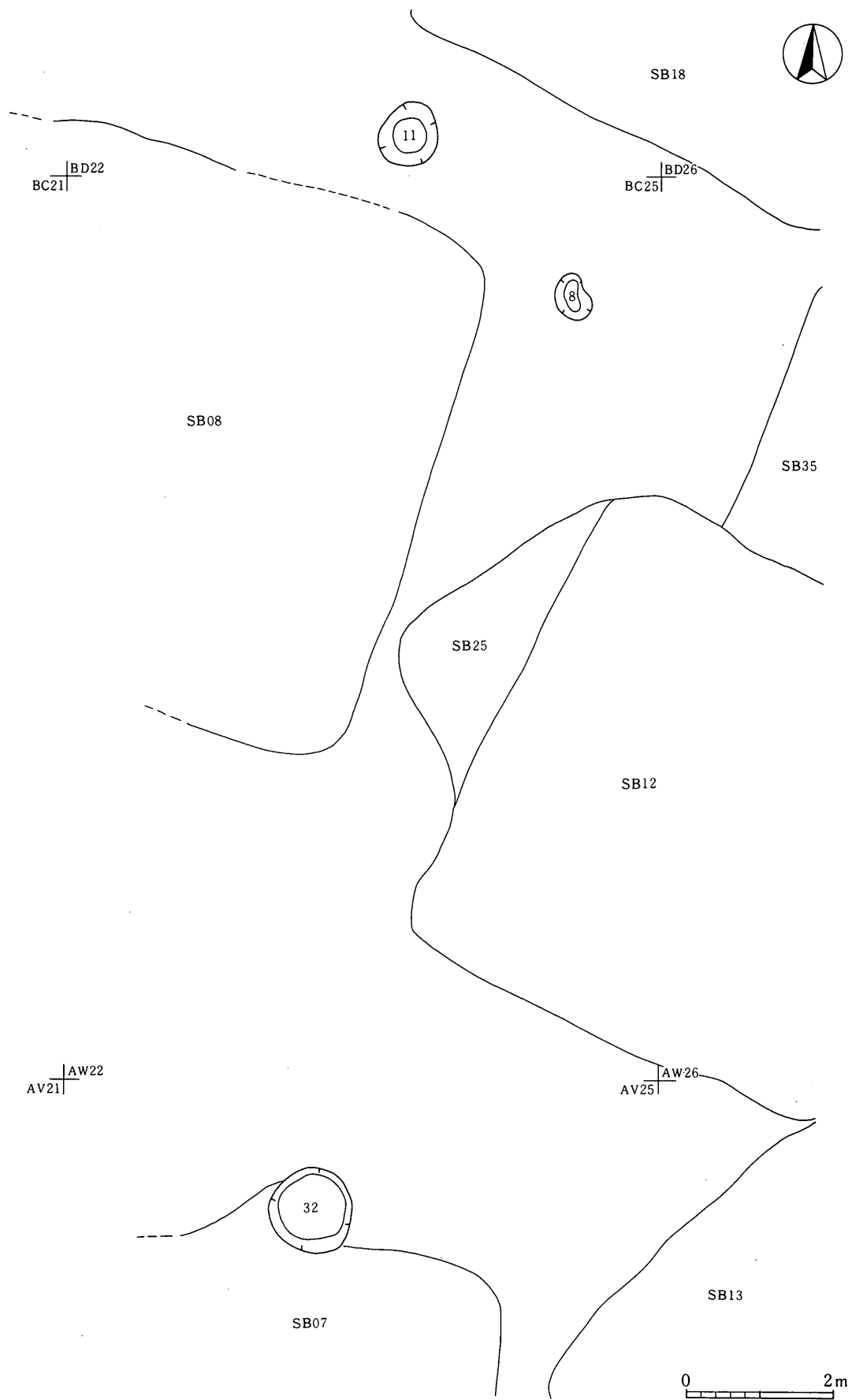
第88図 ピット(10)



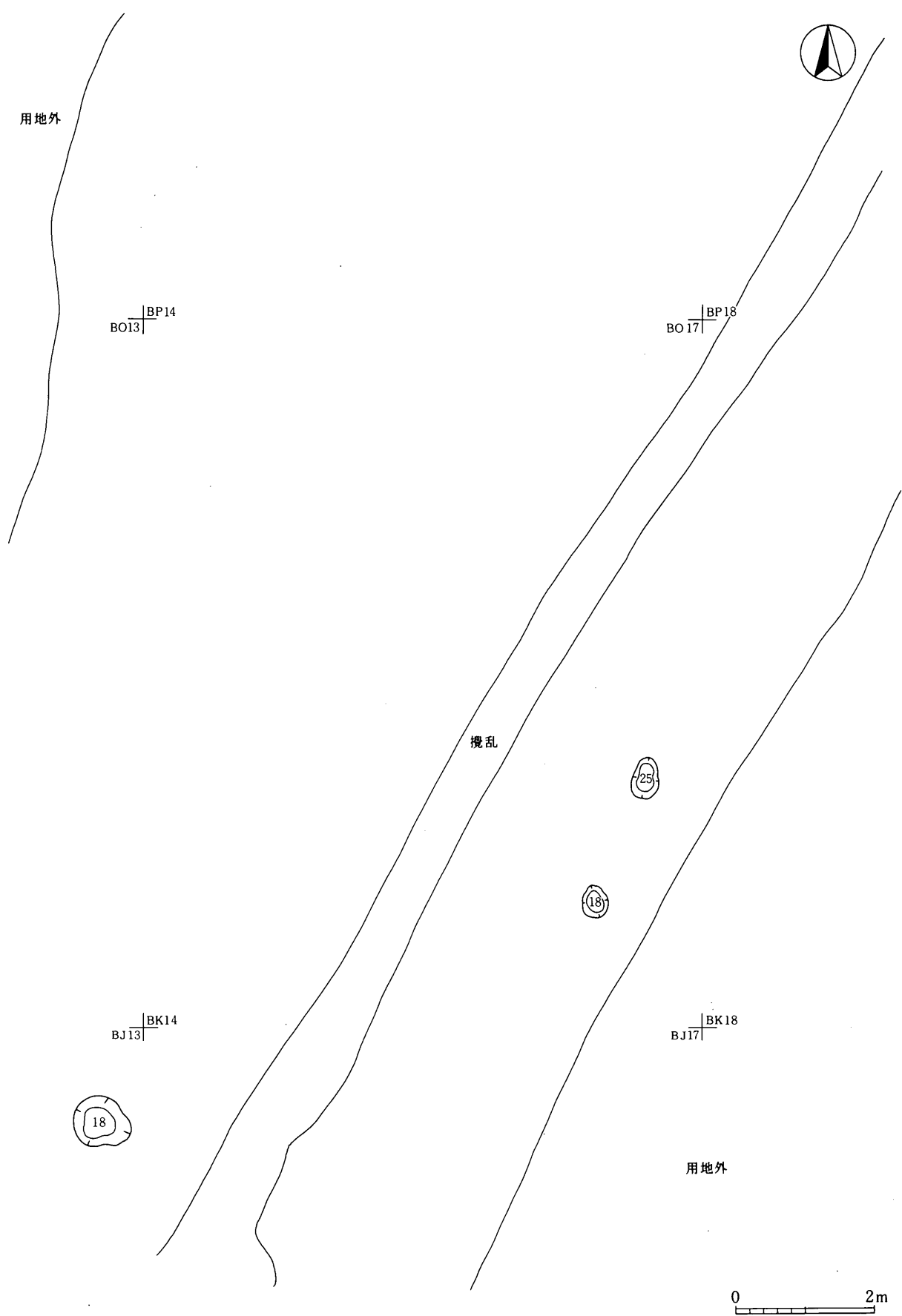
第89図 ピット(11)



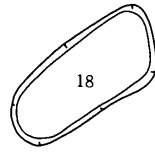
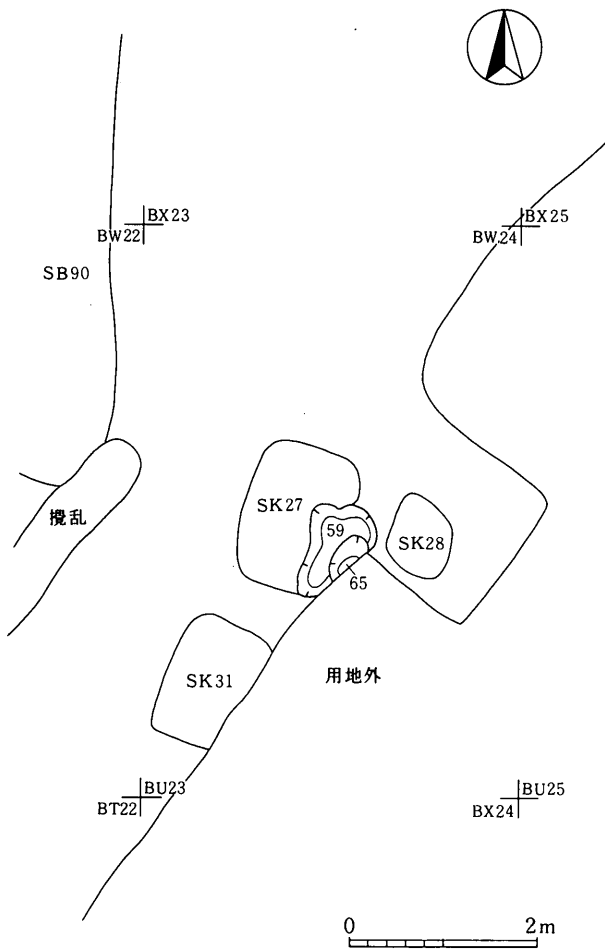
第90図 ピット(12)



第91図 ピット(13)



第92図 ピット(14)



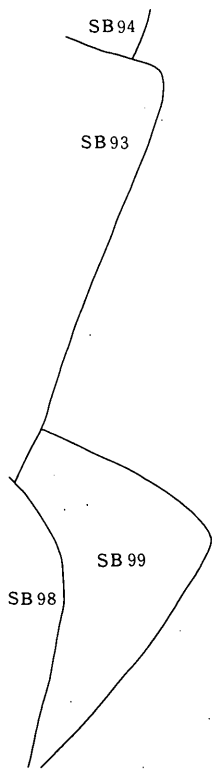
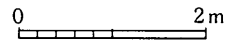
AP3 | AQ4



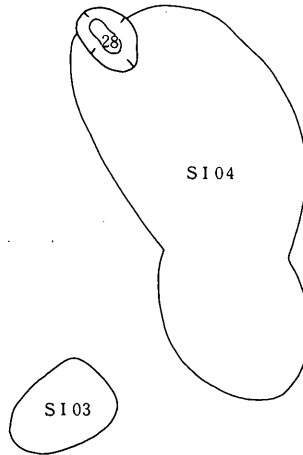
AP5 | AQ6

AL3 | AM4

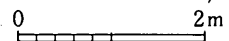
AL5 | AM6



AF27 | AG28

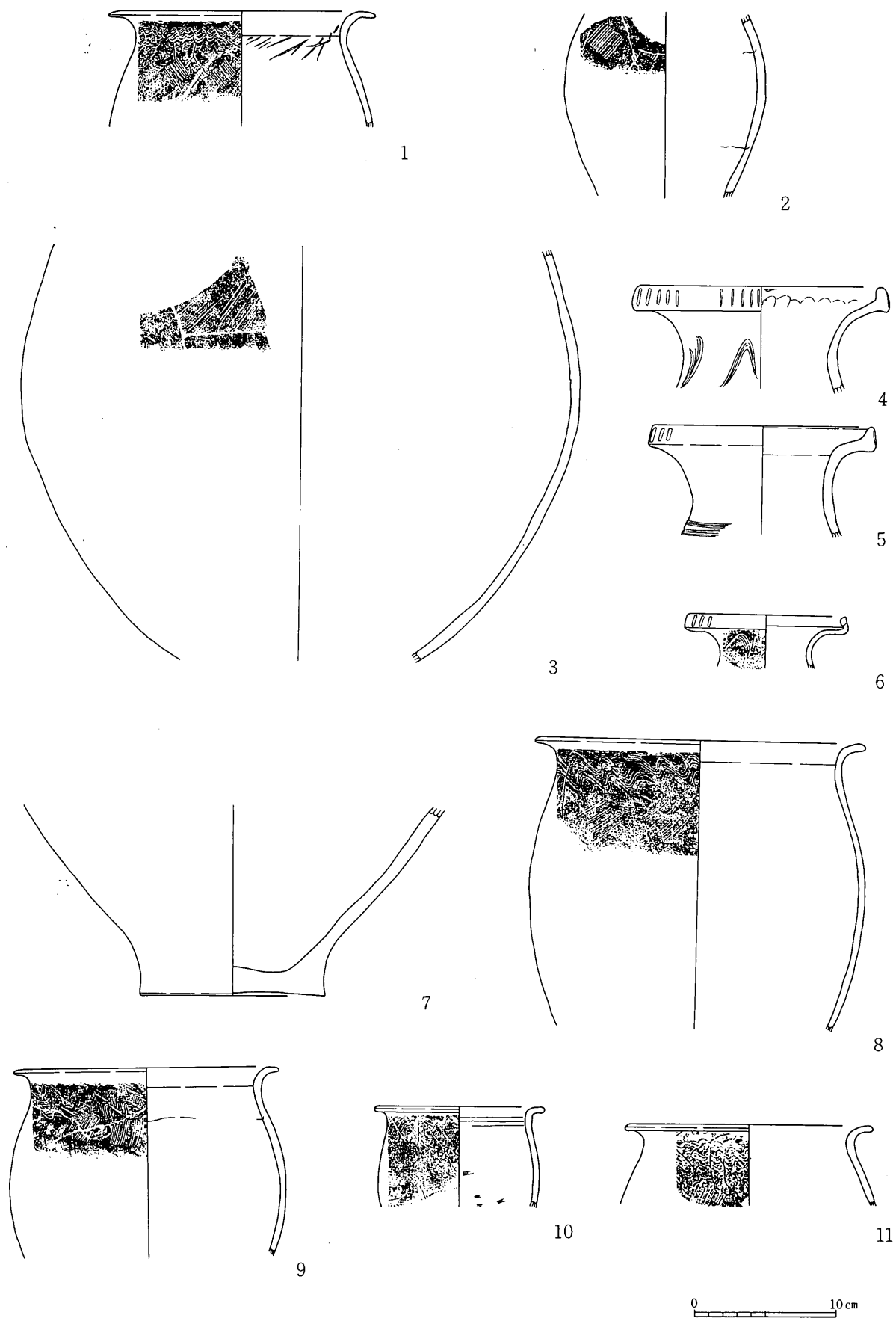


AB27 | AC28

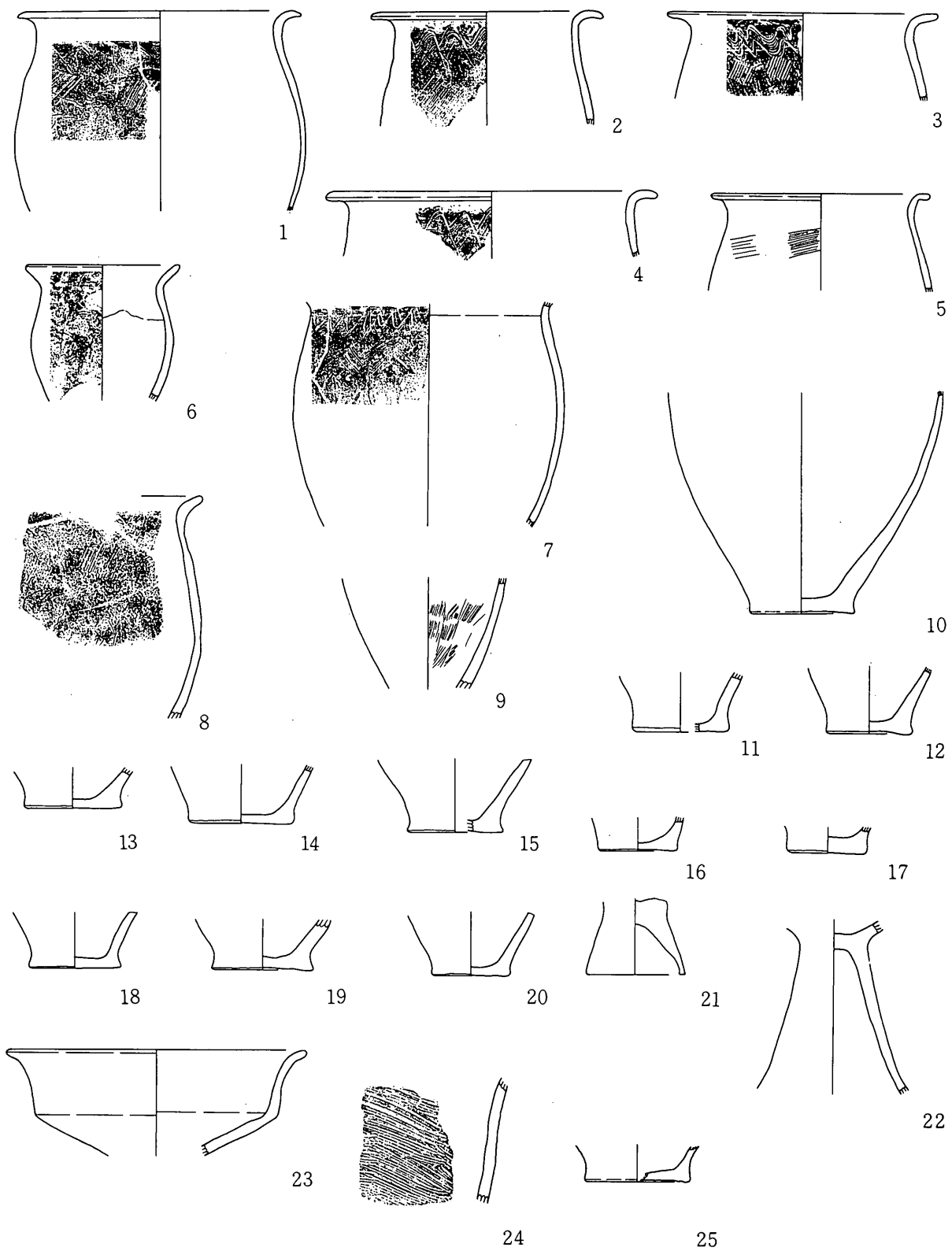


用地外

第93図 ピット(15)

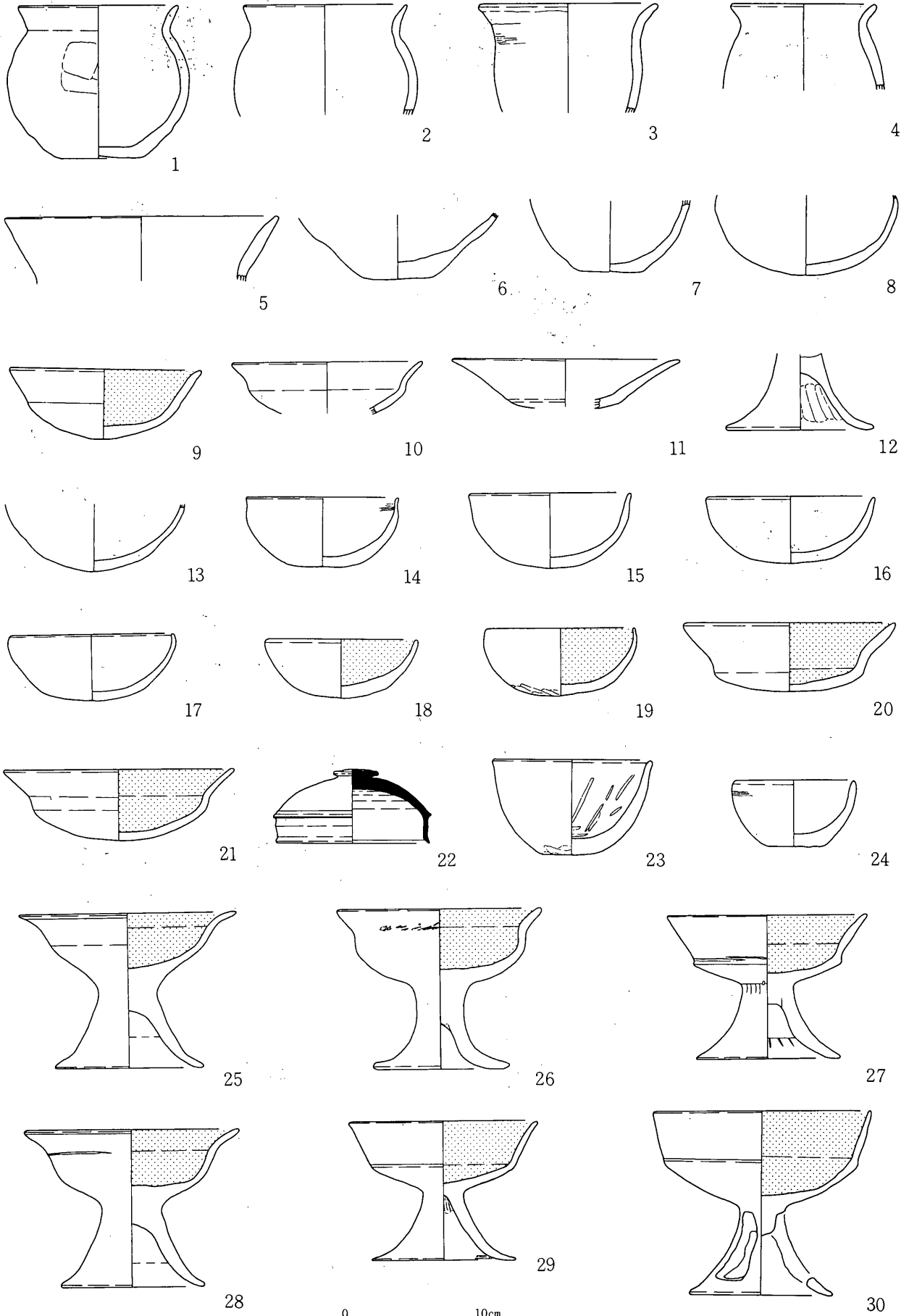


第94図 出土遺物 1~3 SB56
4~11 SB63

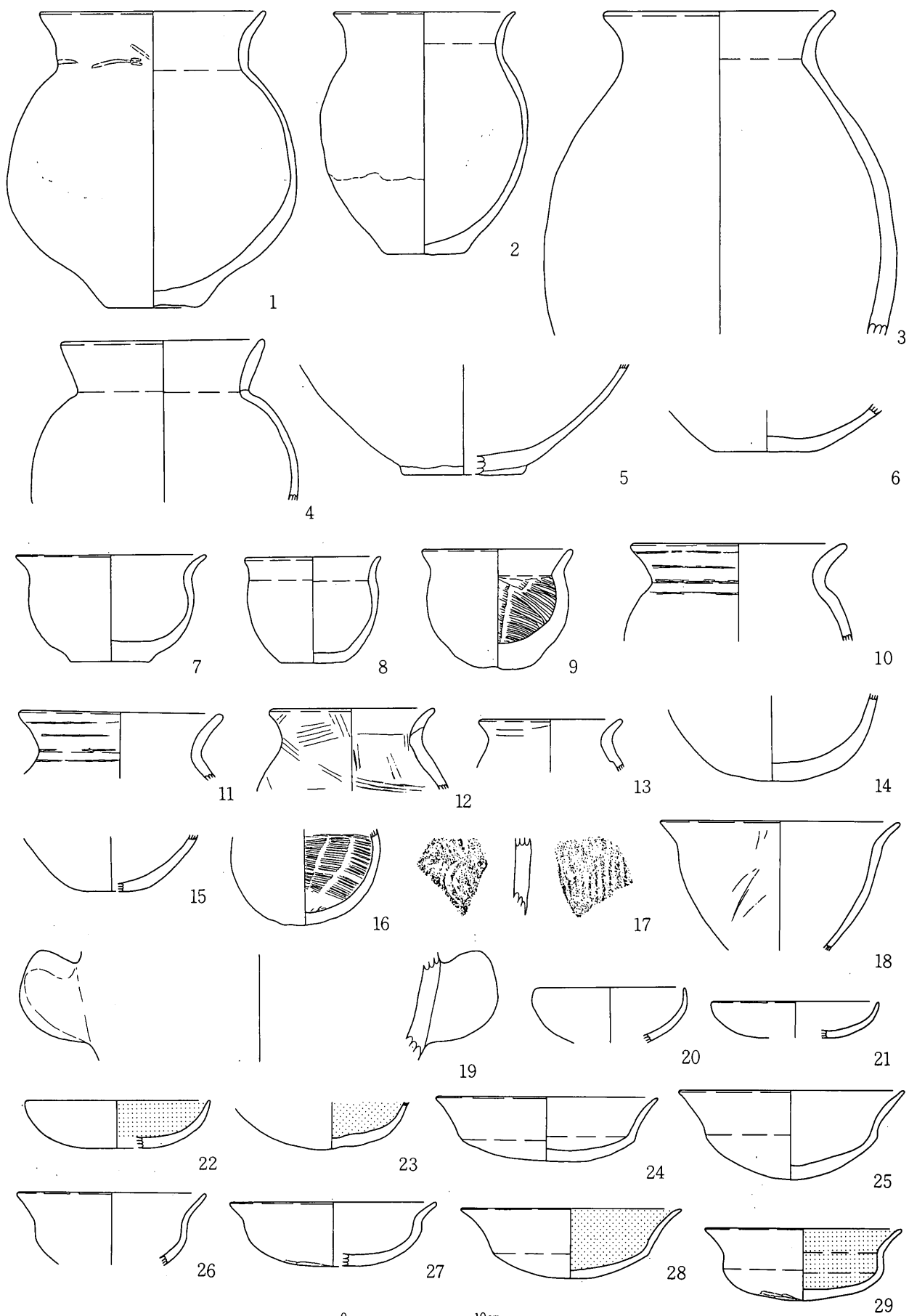


0 10cm

第95図 出土遺物 1~23 SB63
24・25 SB100

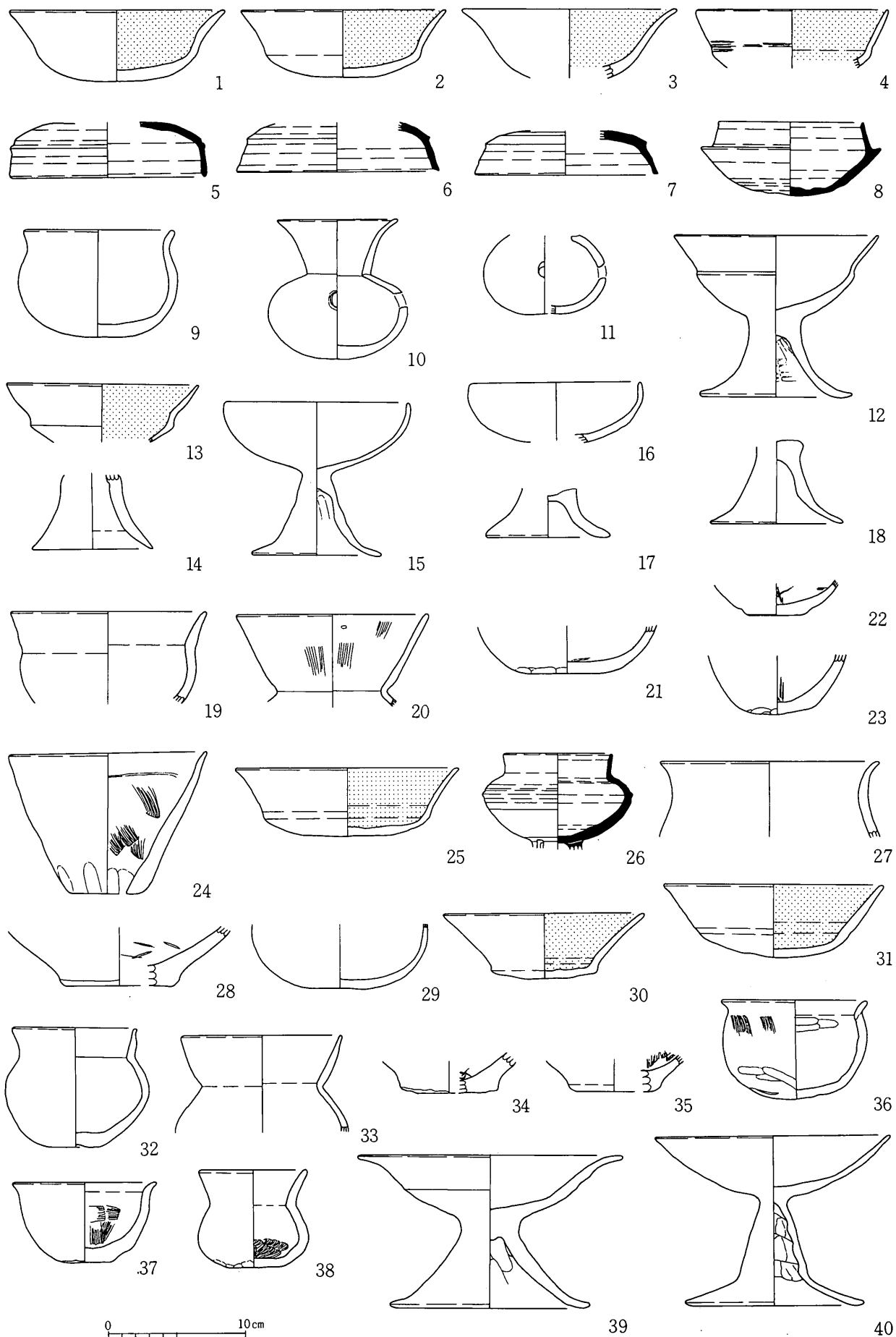


第96図 出土遺物 1~12 S B01
13~30 S B02

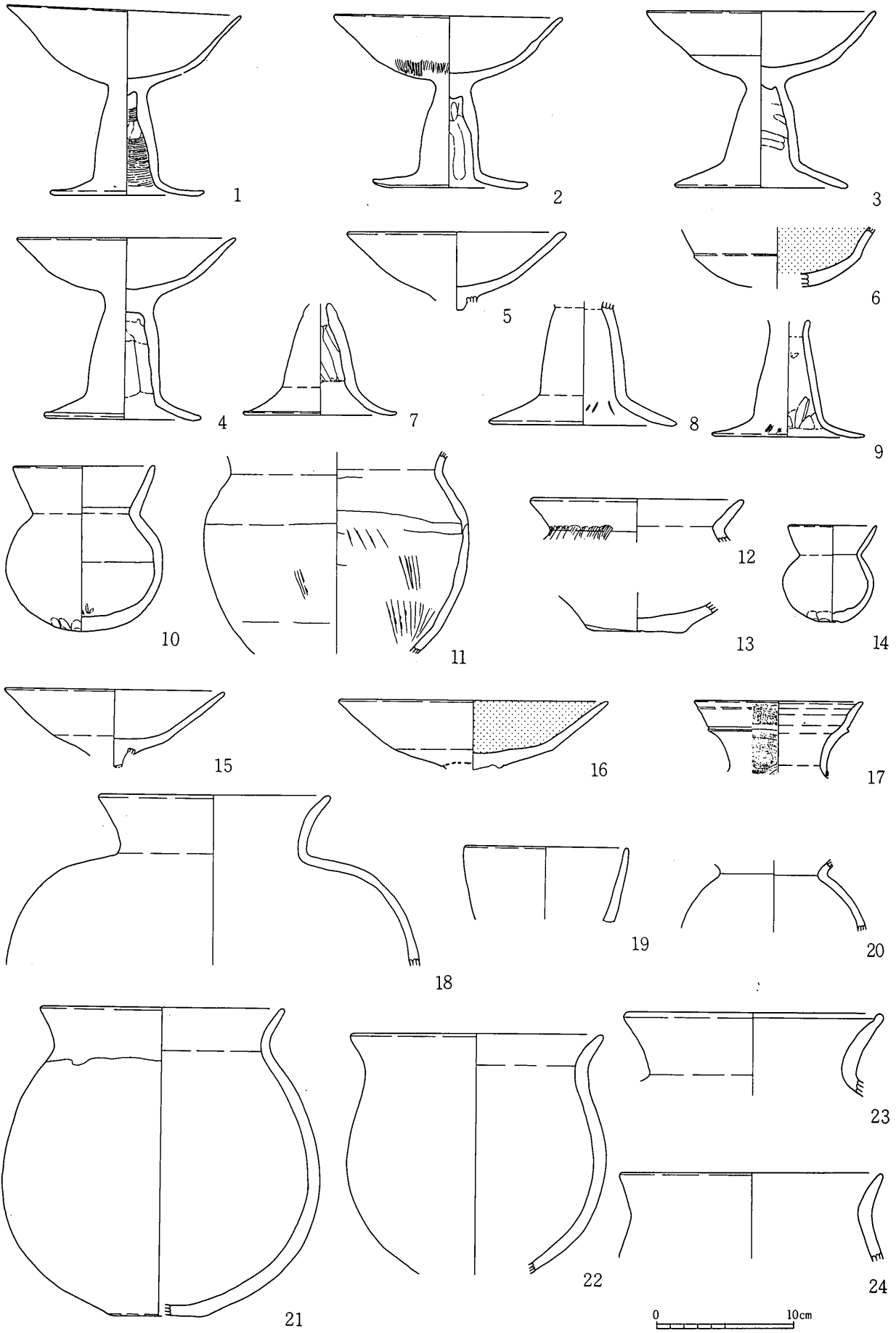


0 10cm

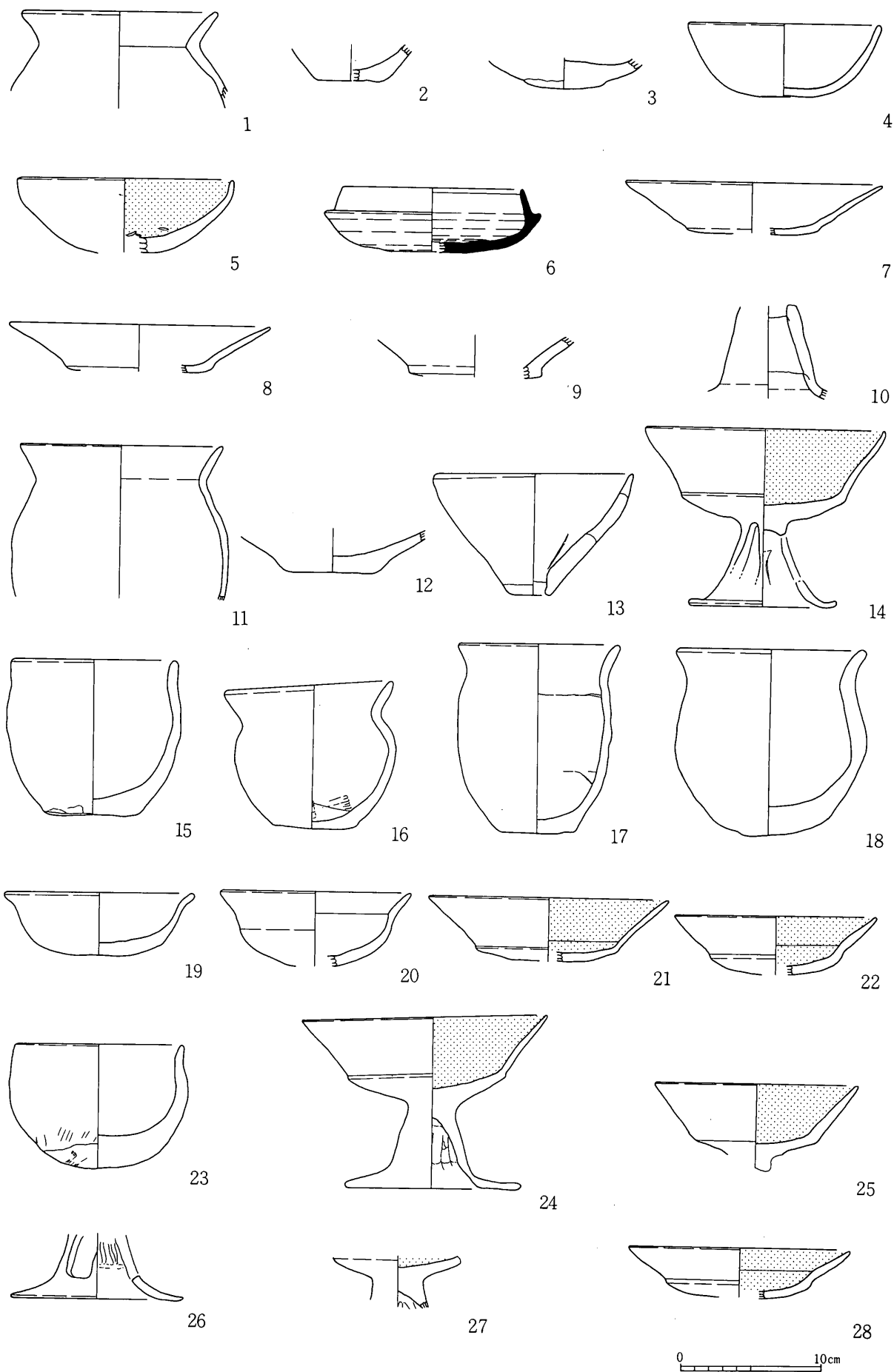
第97图 出土遺物 1~29 S B04



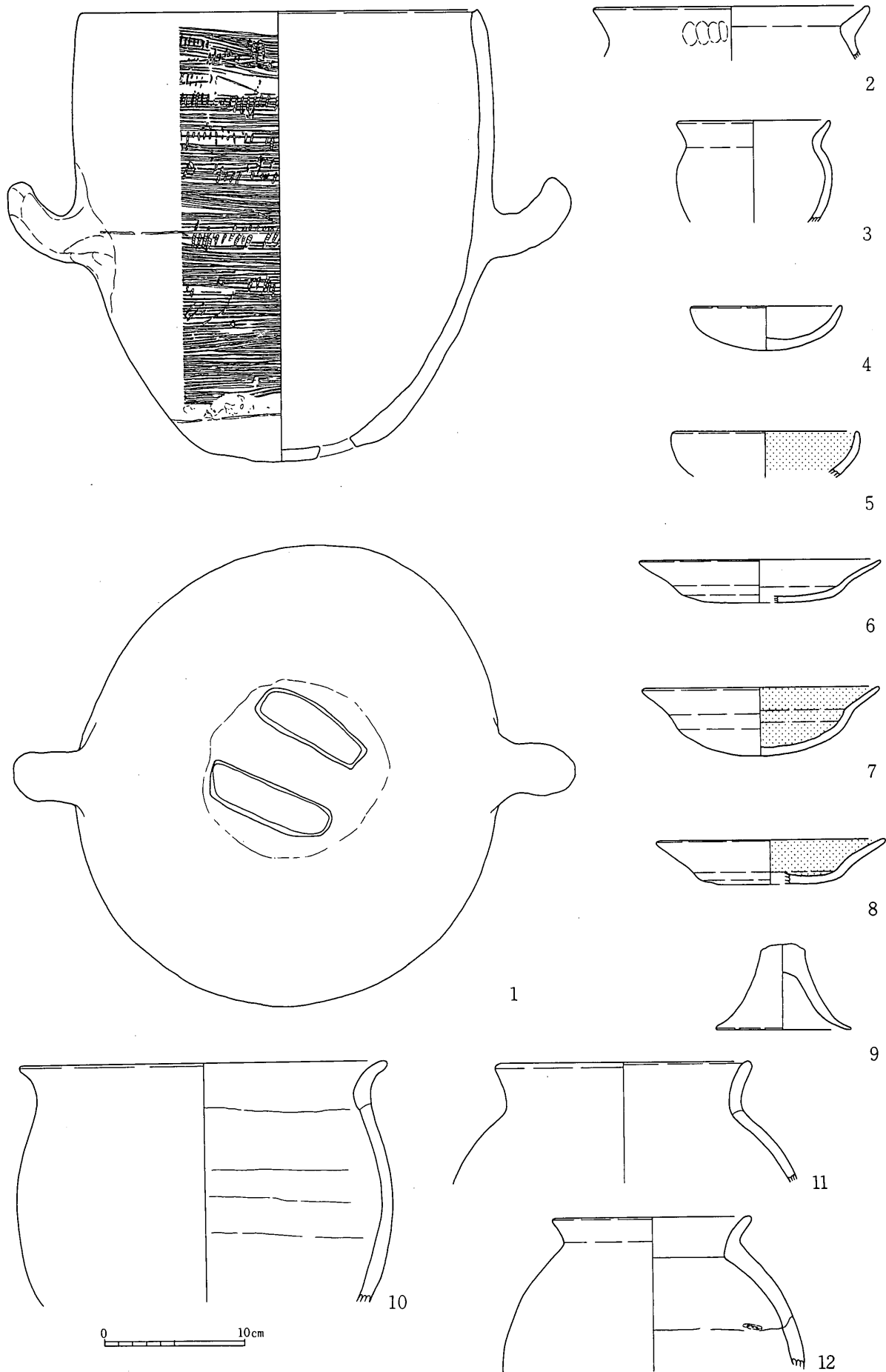
第98図 出土遺物 1~18 SB04 27~31 SB08
19~26 SB07 32~40 SB09



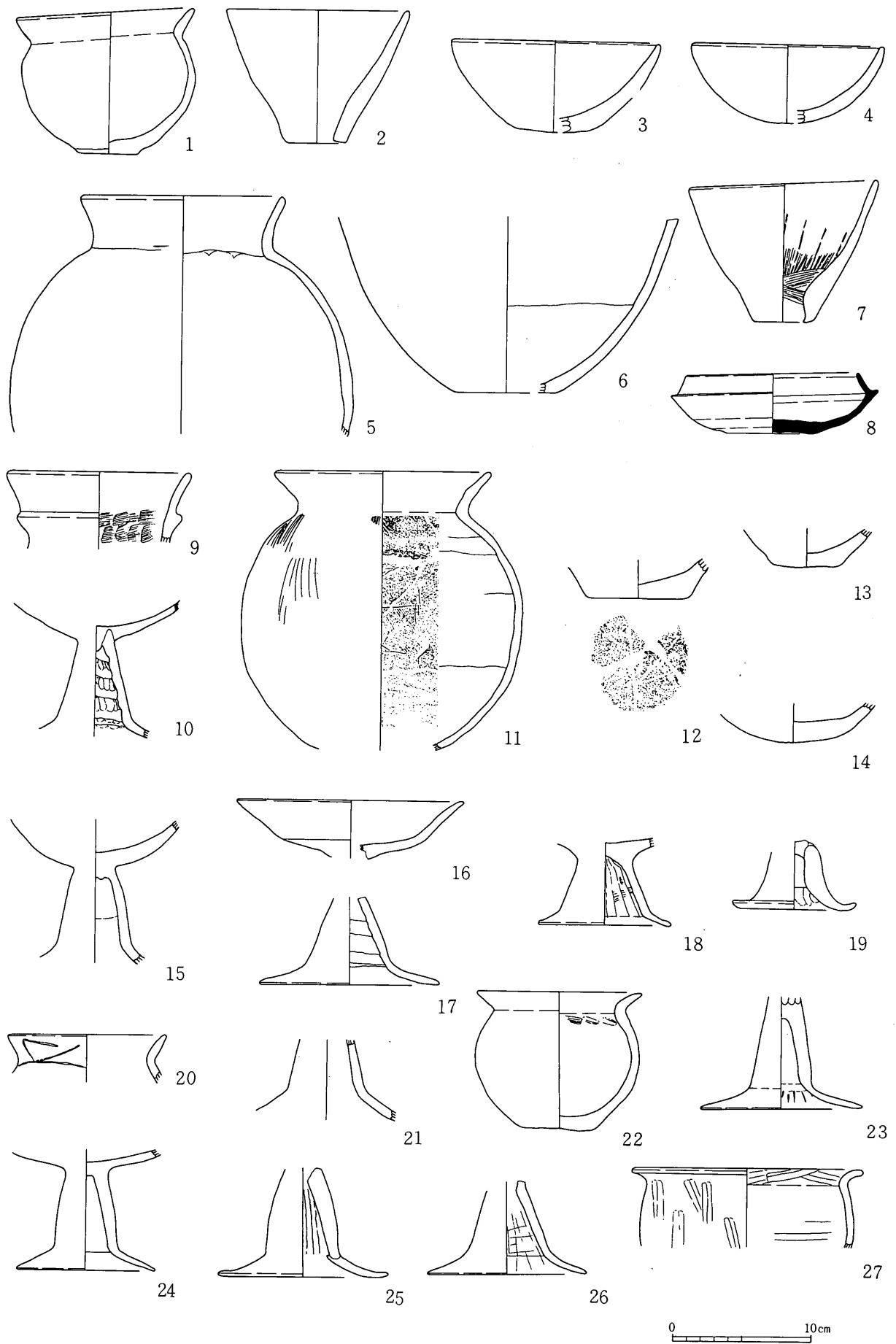
第99図 出土遺物 1~9 SB09 18~24 SB12
10~17 SB10



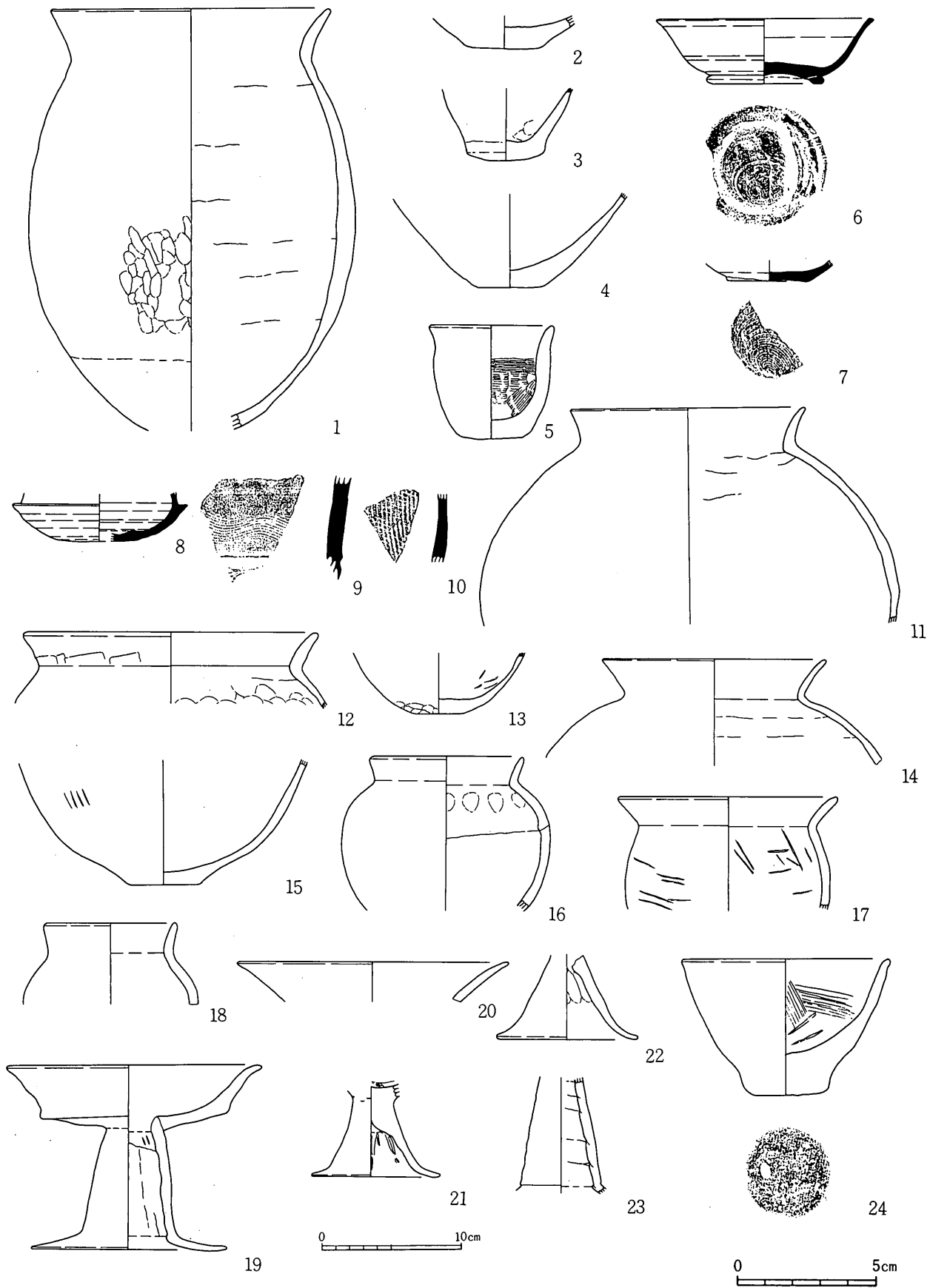
第100図 出土遺物 1~10 SB12 15~28 SB18
11~14 SB13



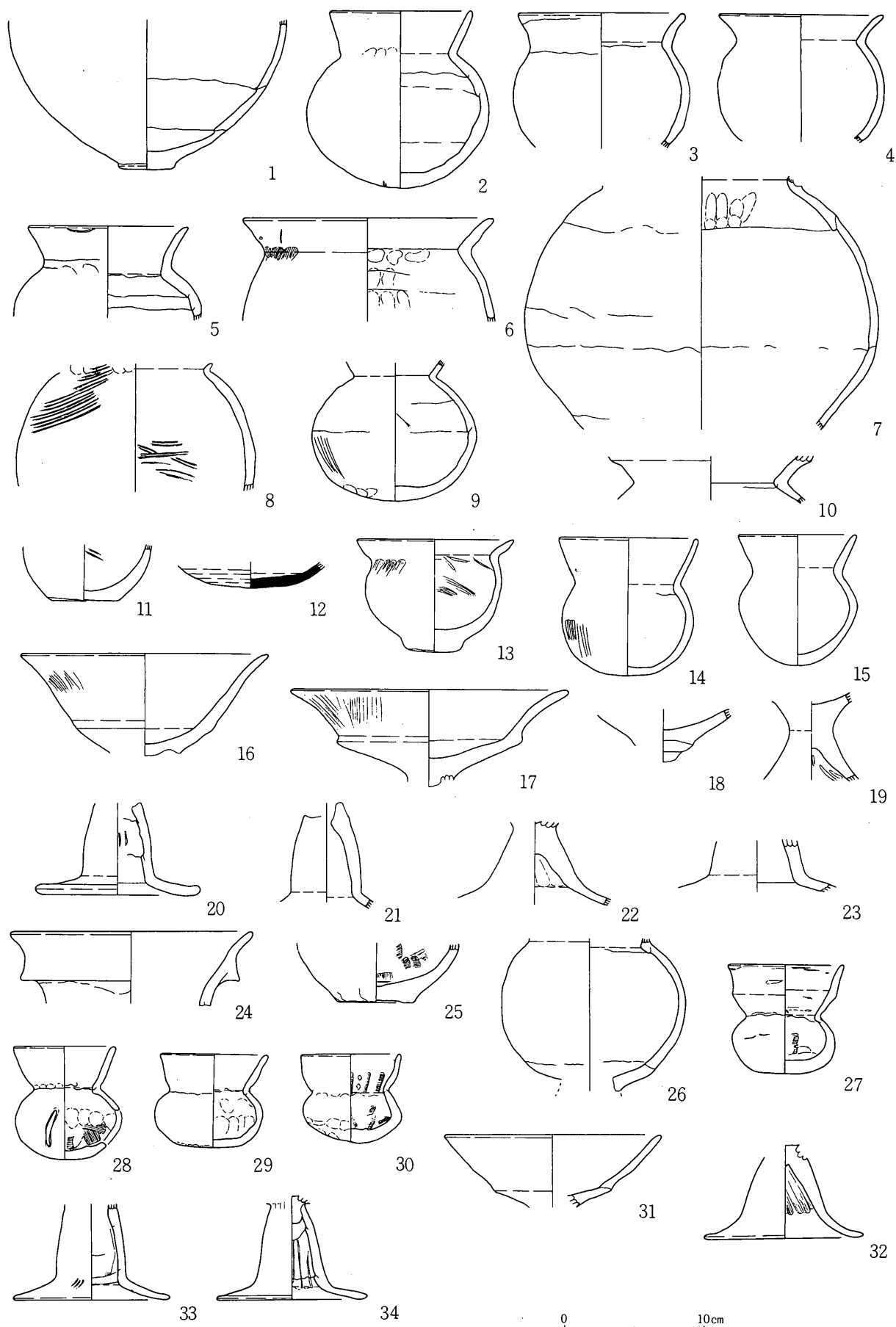
第101図 出土遺物 1 SB18 10~12 SB20
2~9 SB19



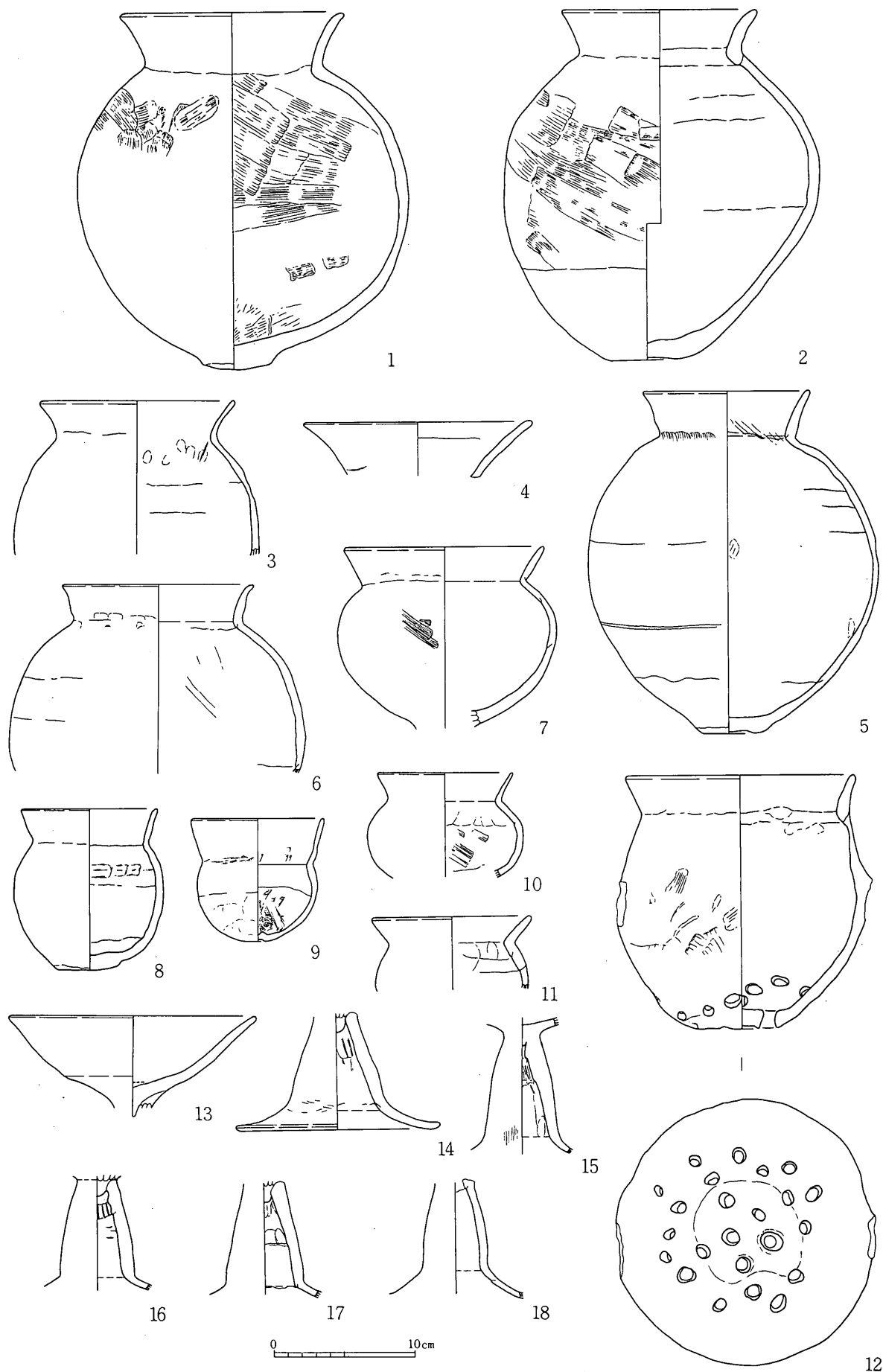
第102図 出土遺物 1~4 SB20 5~8 SB21 9~19 SB22 20~21 SB23 22~23 SB25 24~26 SB26 27 SB27



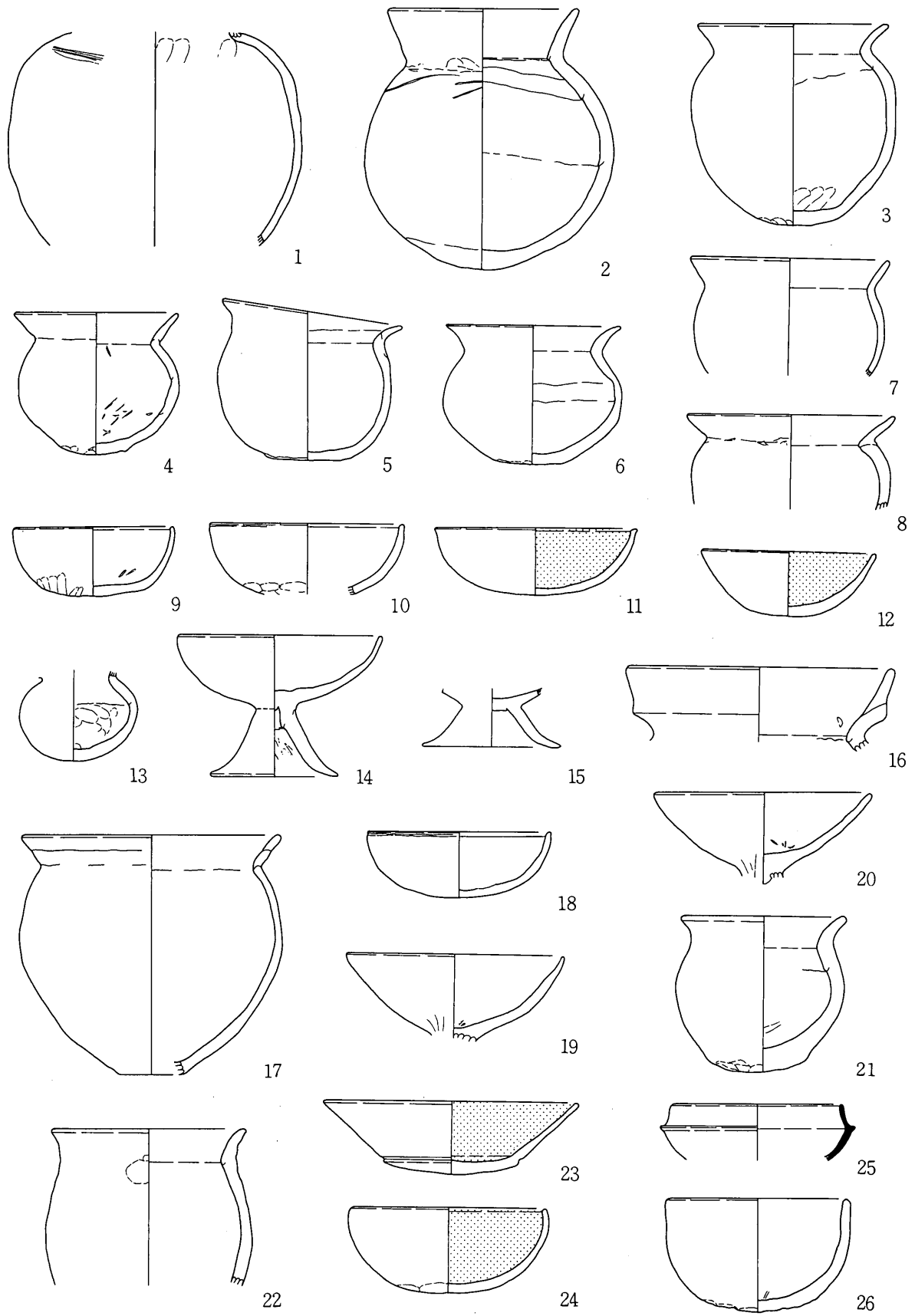
第103図 出土遺物 1~7 S B28 11~13 S B32
8~10 S B29 14~24 S B33



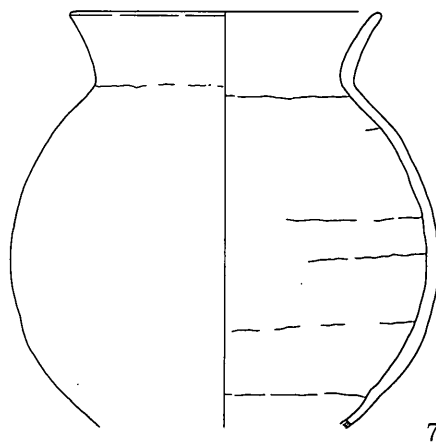
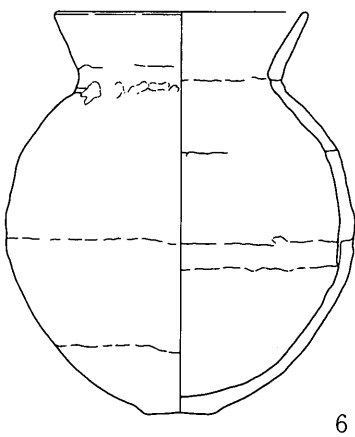
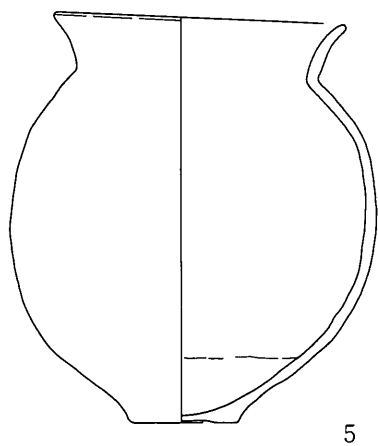
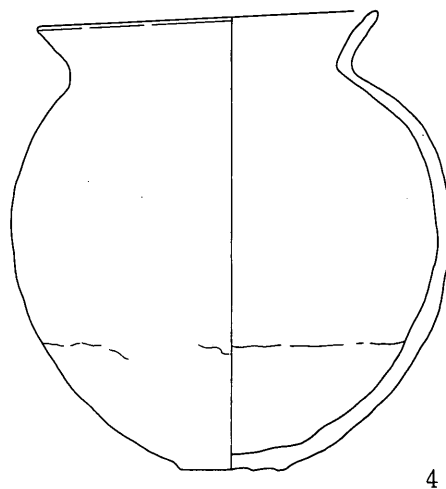
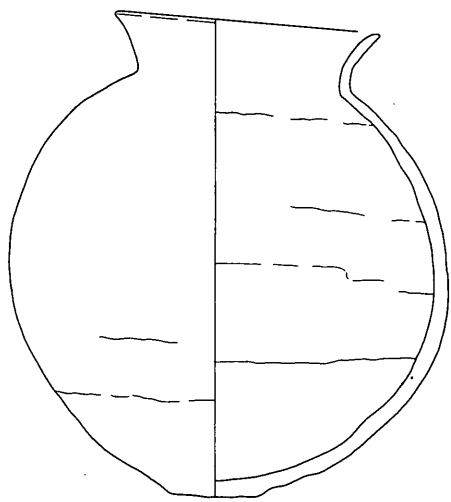
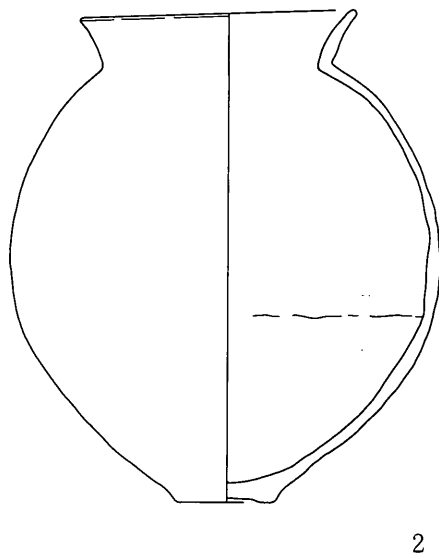
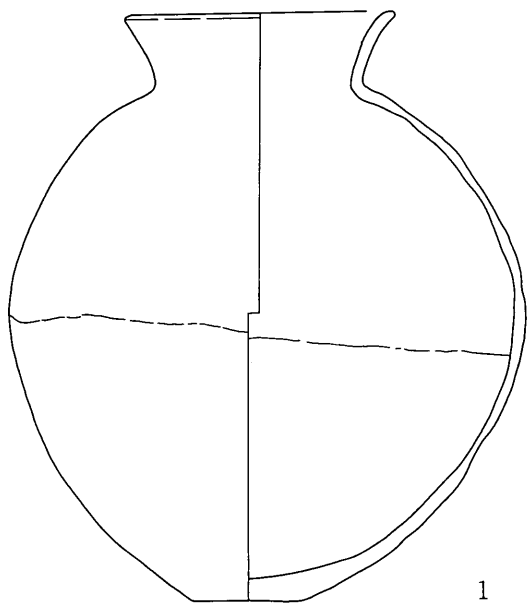
第104图 出土遺物 1~23 S B37
24~34 S B39



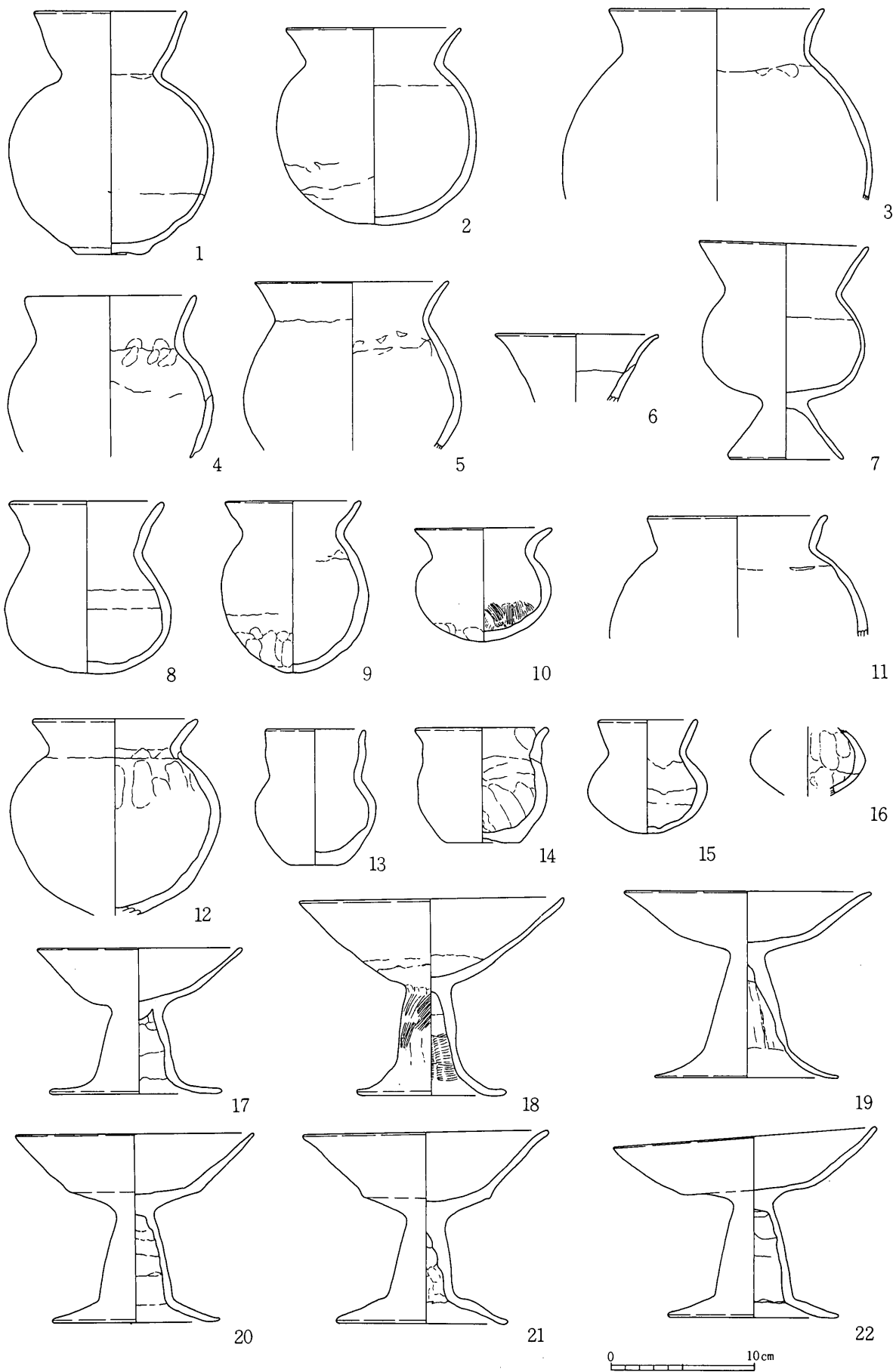
第105图 出土遺物 1~18 SB40



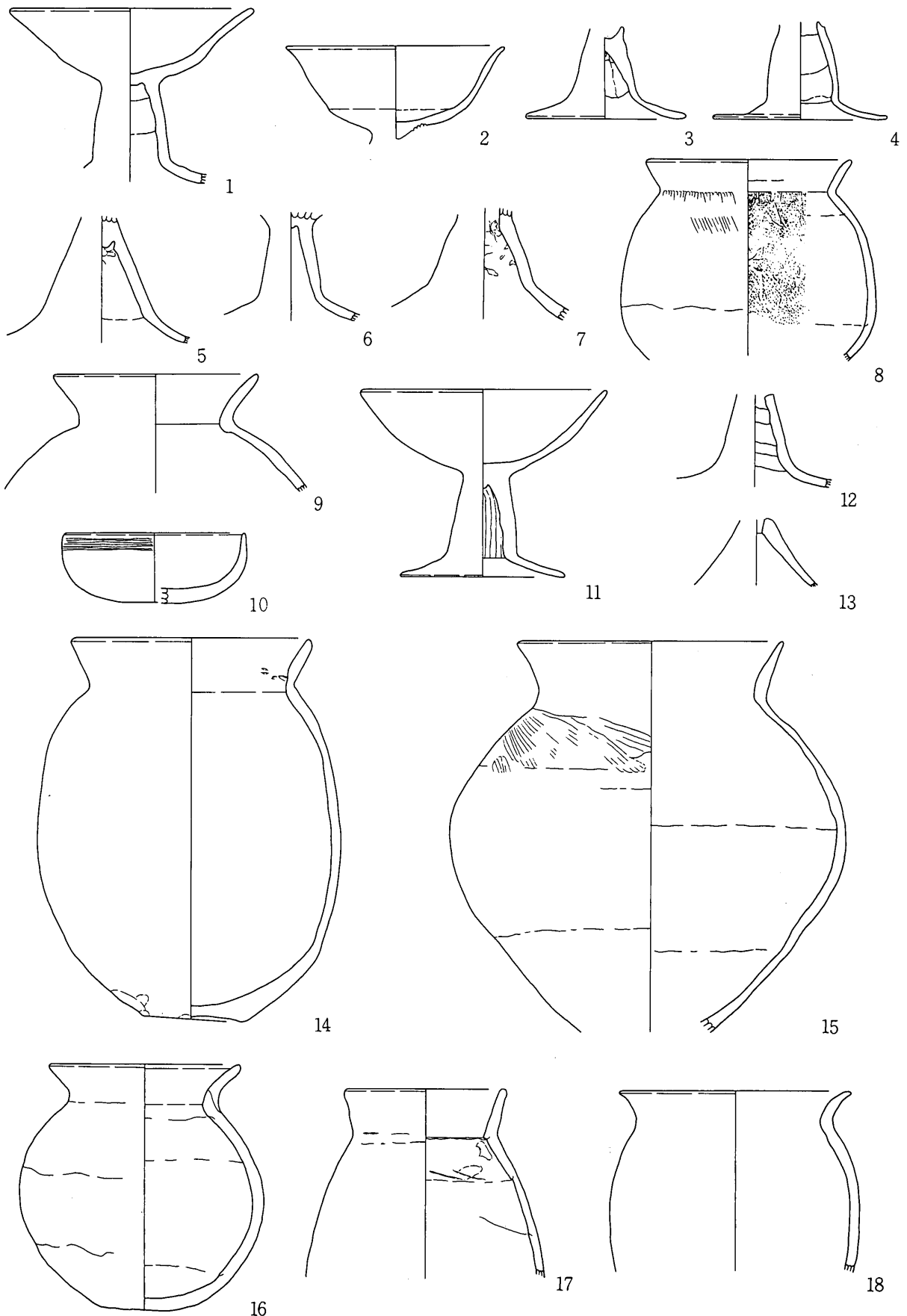
第106図 出土遺物 1~15 SB41 21~26 SB43
11~20 SB42



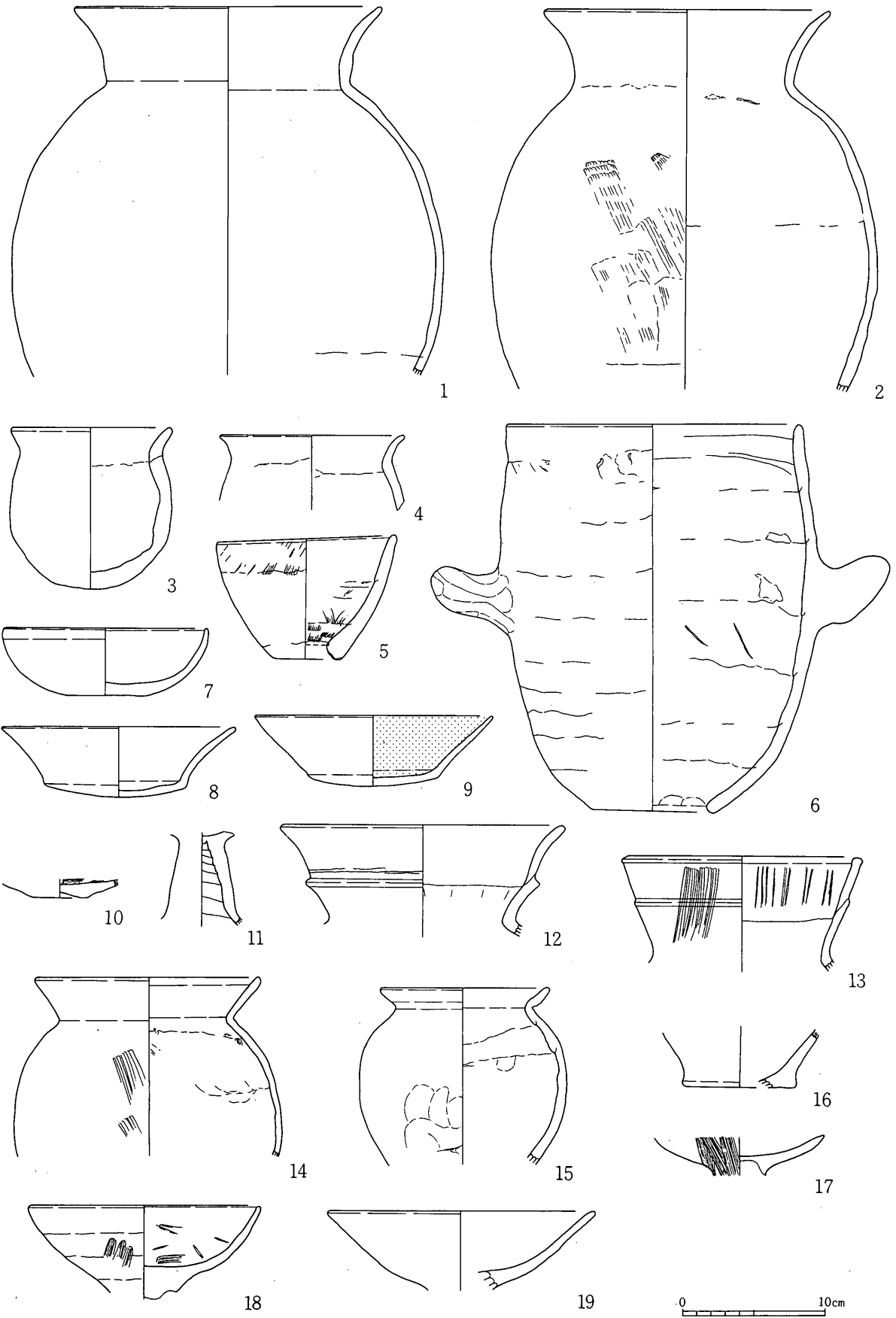
第107図 出土遺物 1~7 SB44



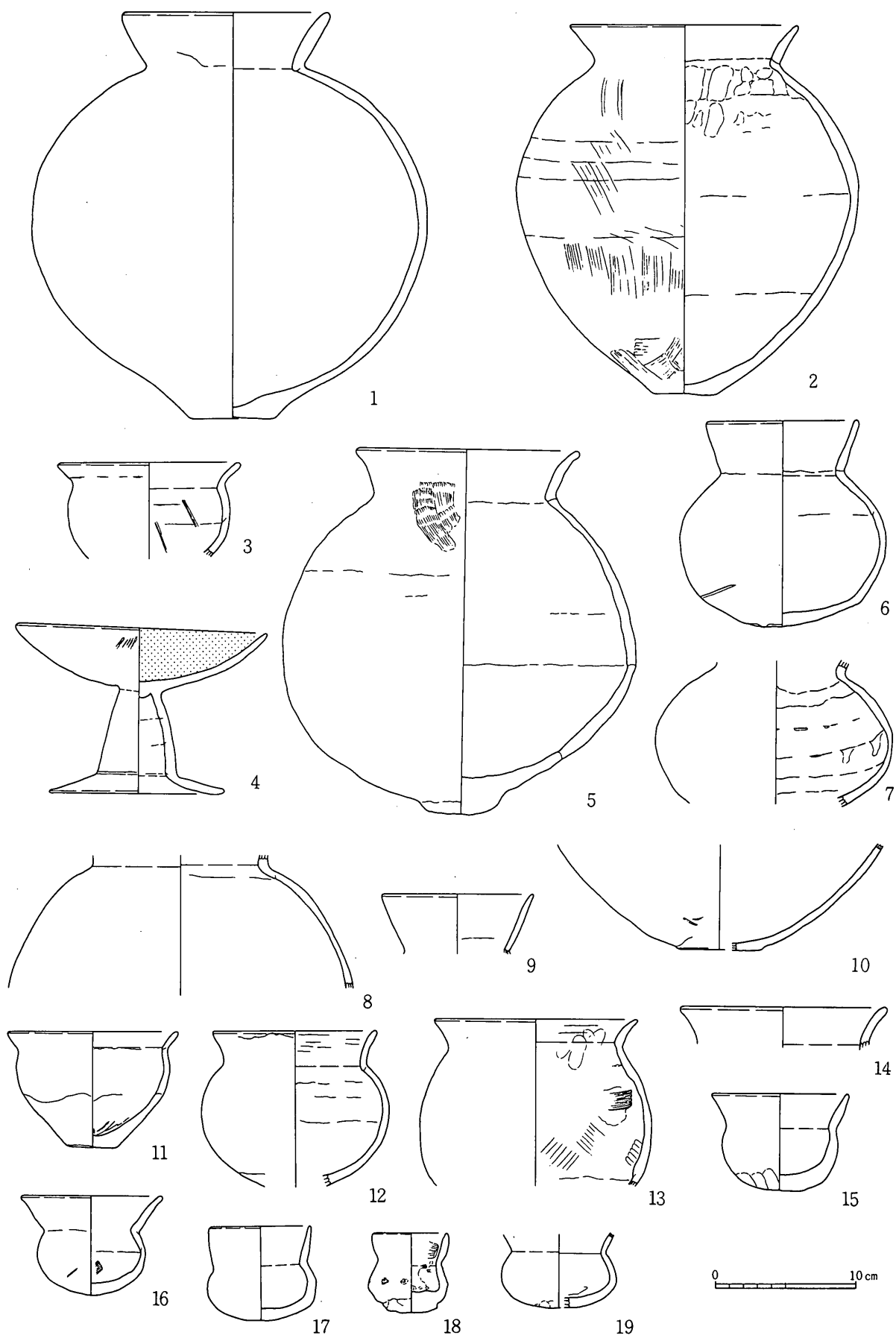
第108図 出土遺物 1~22 S B44



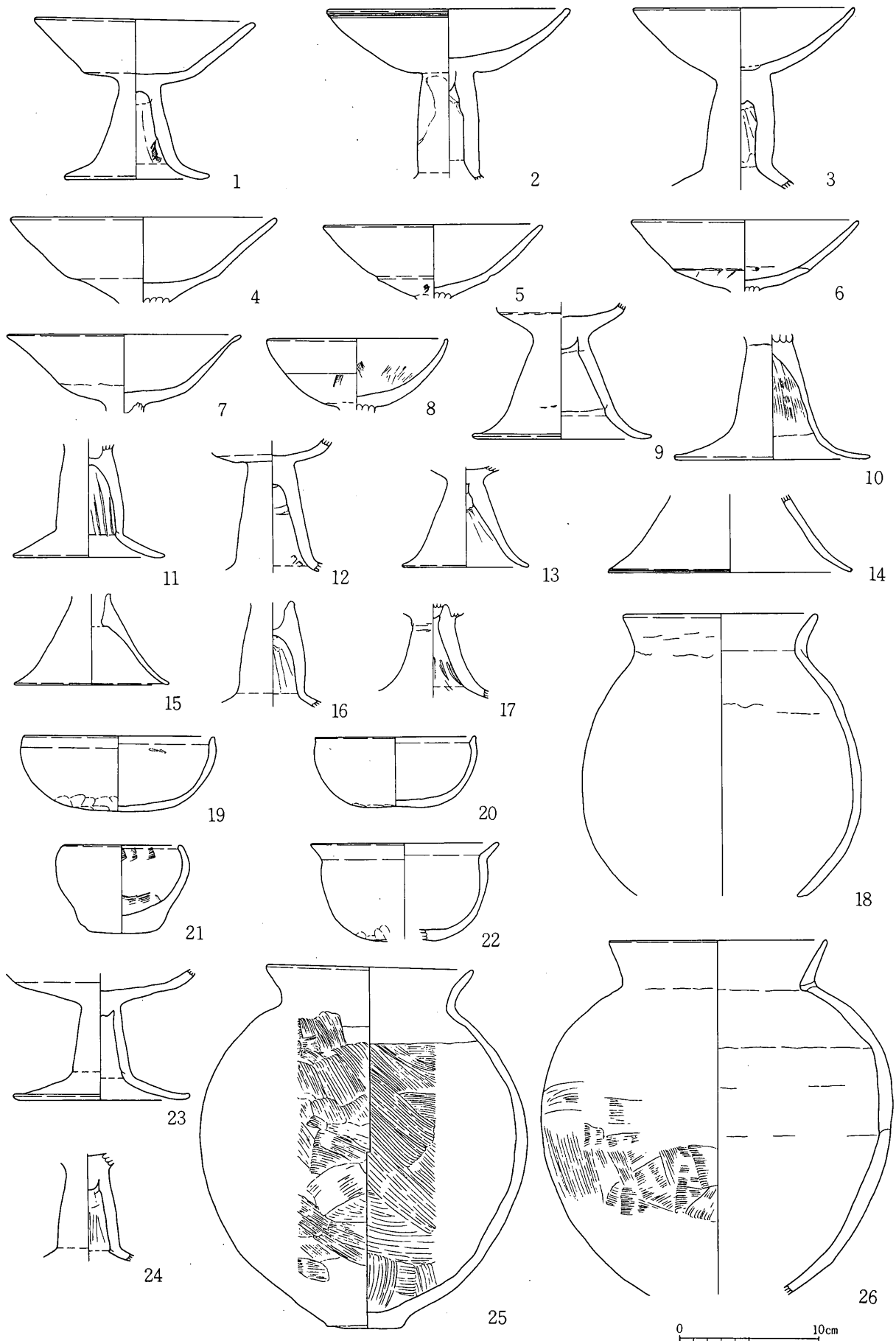
第109図 出土遺物 1~7 SB44 14~18 SB50
8~13 SB48



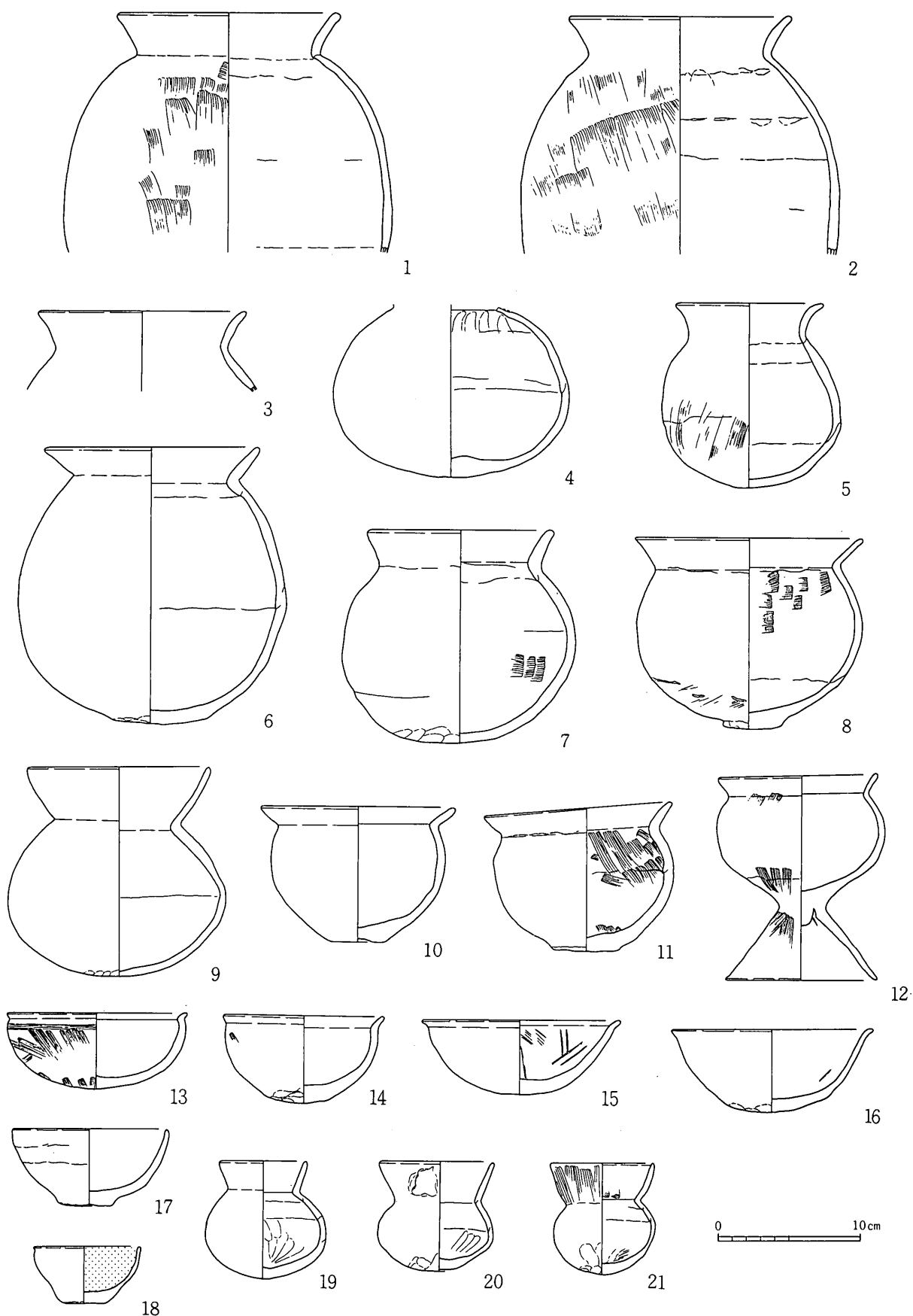
第110図 出土遺物 1~9 S B50 12~19 S B52
10・11 S B51



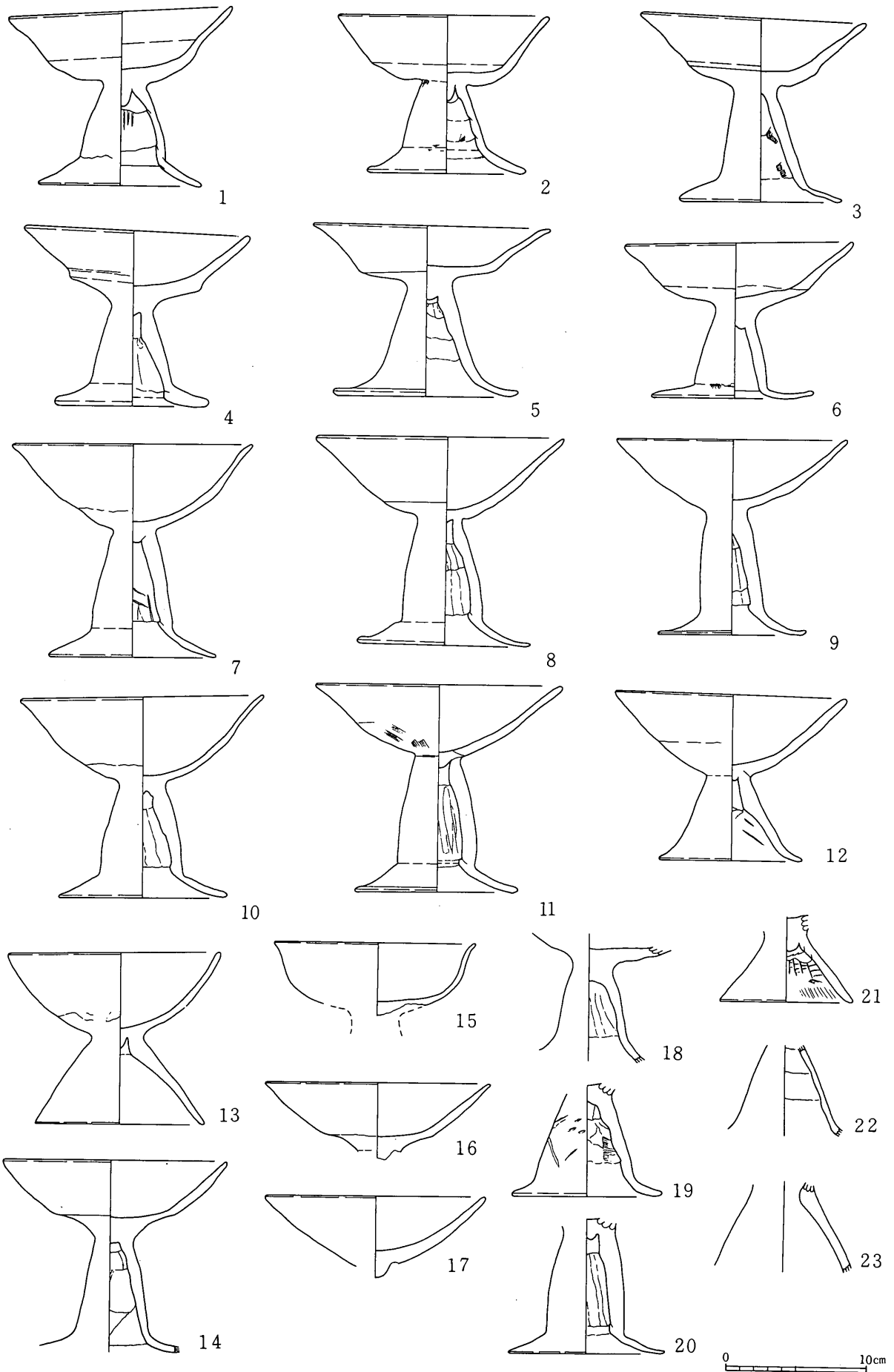
第111图 出土遗物 1~4 SB53
5~19 SB54



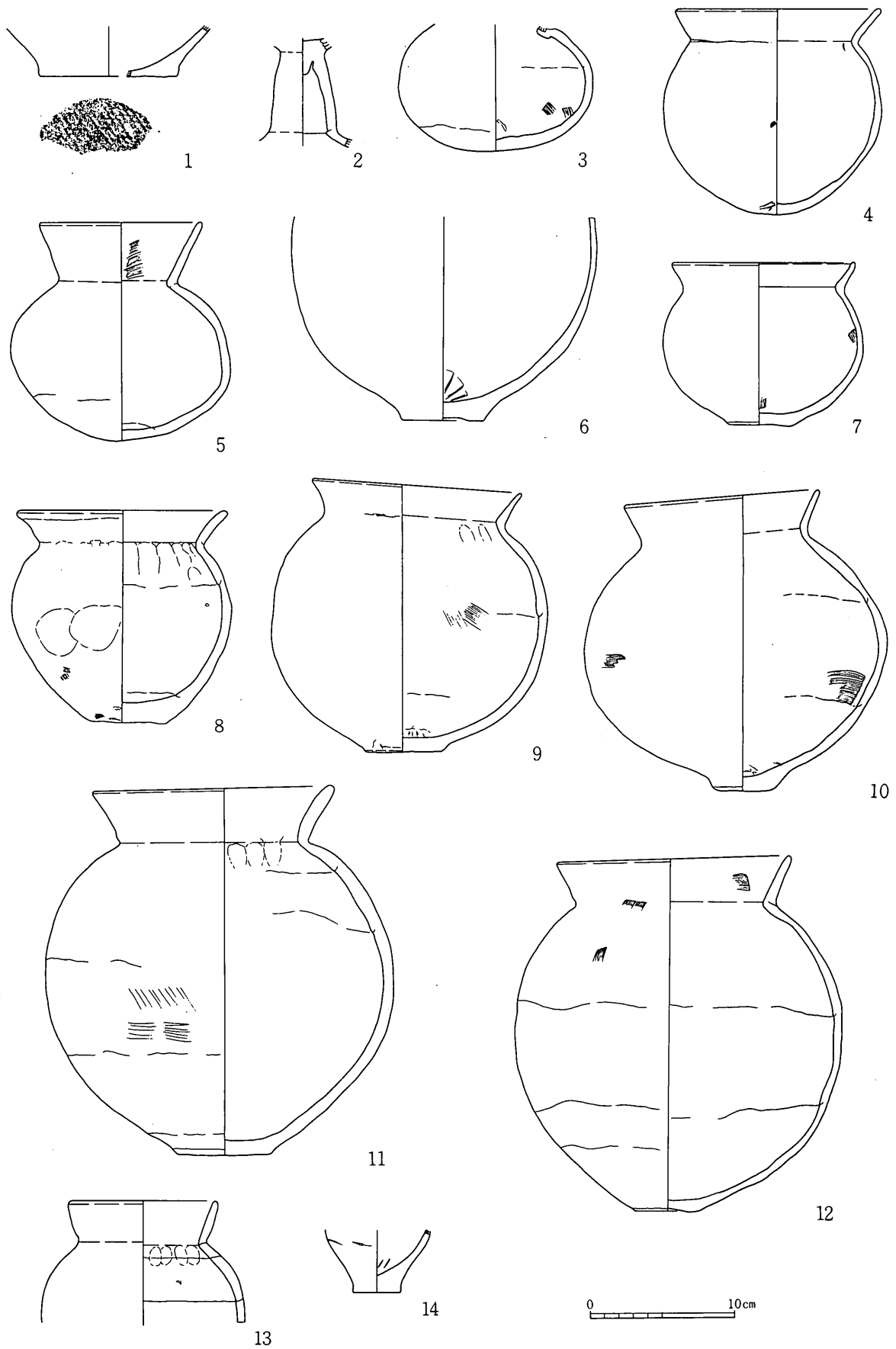
第112図 出土遺物 1~17 S B54 25·26 S B60
18~24 S B58



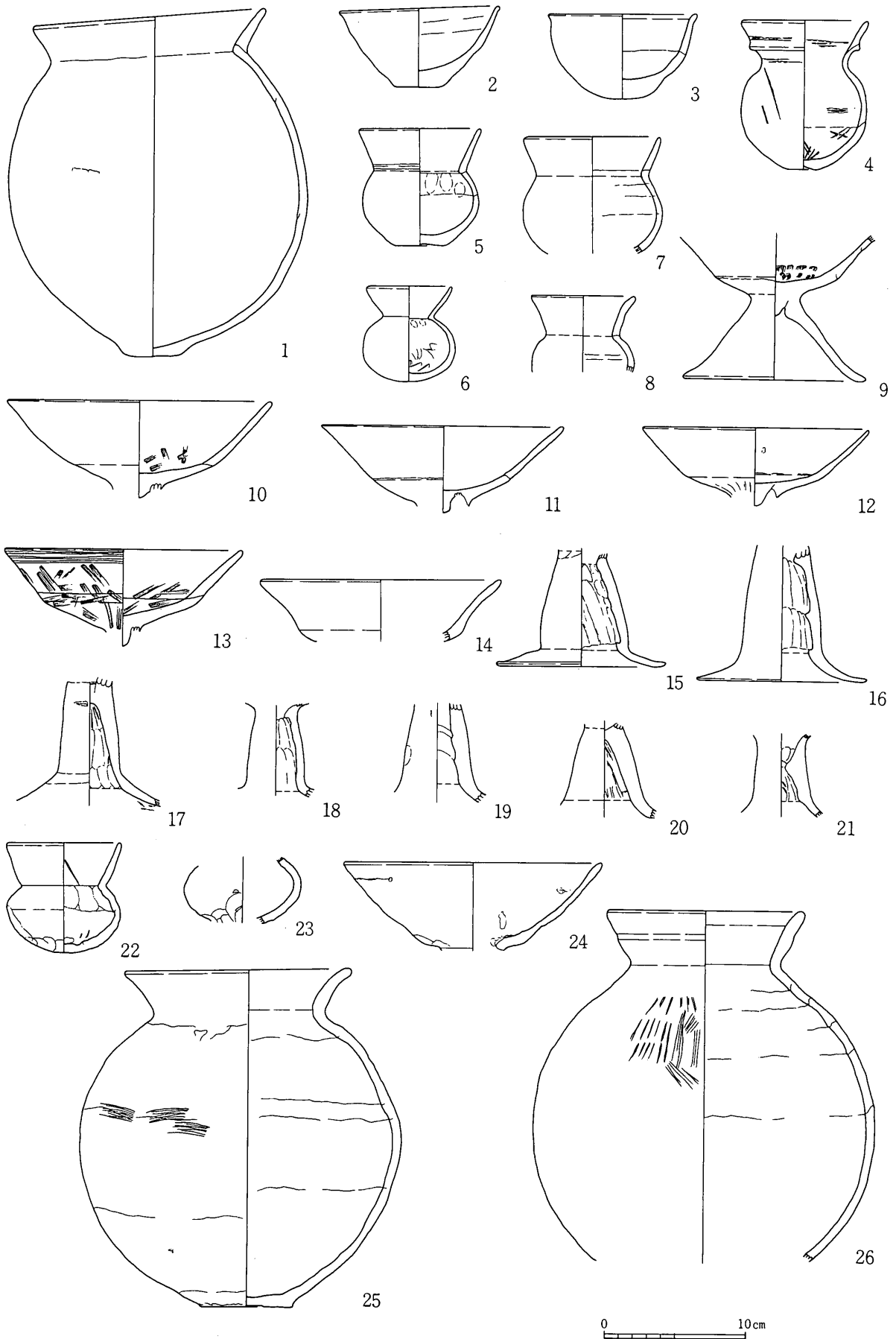
第113図 出土遺物 1~21 S B60



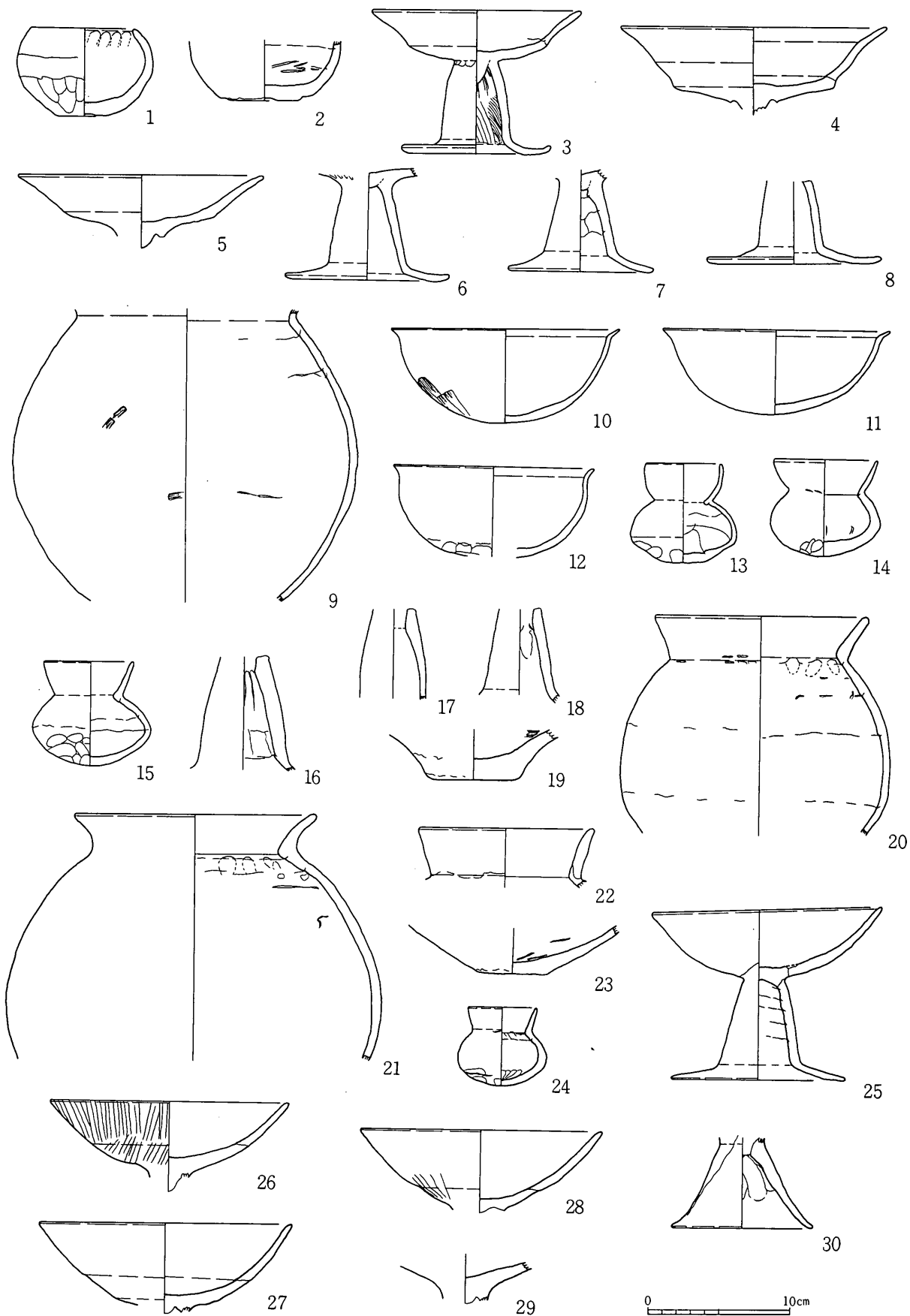
第114图 出土遺物 1~23 S B60



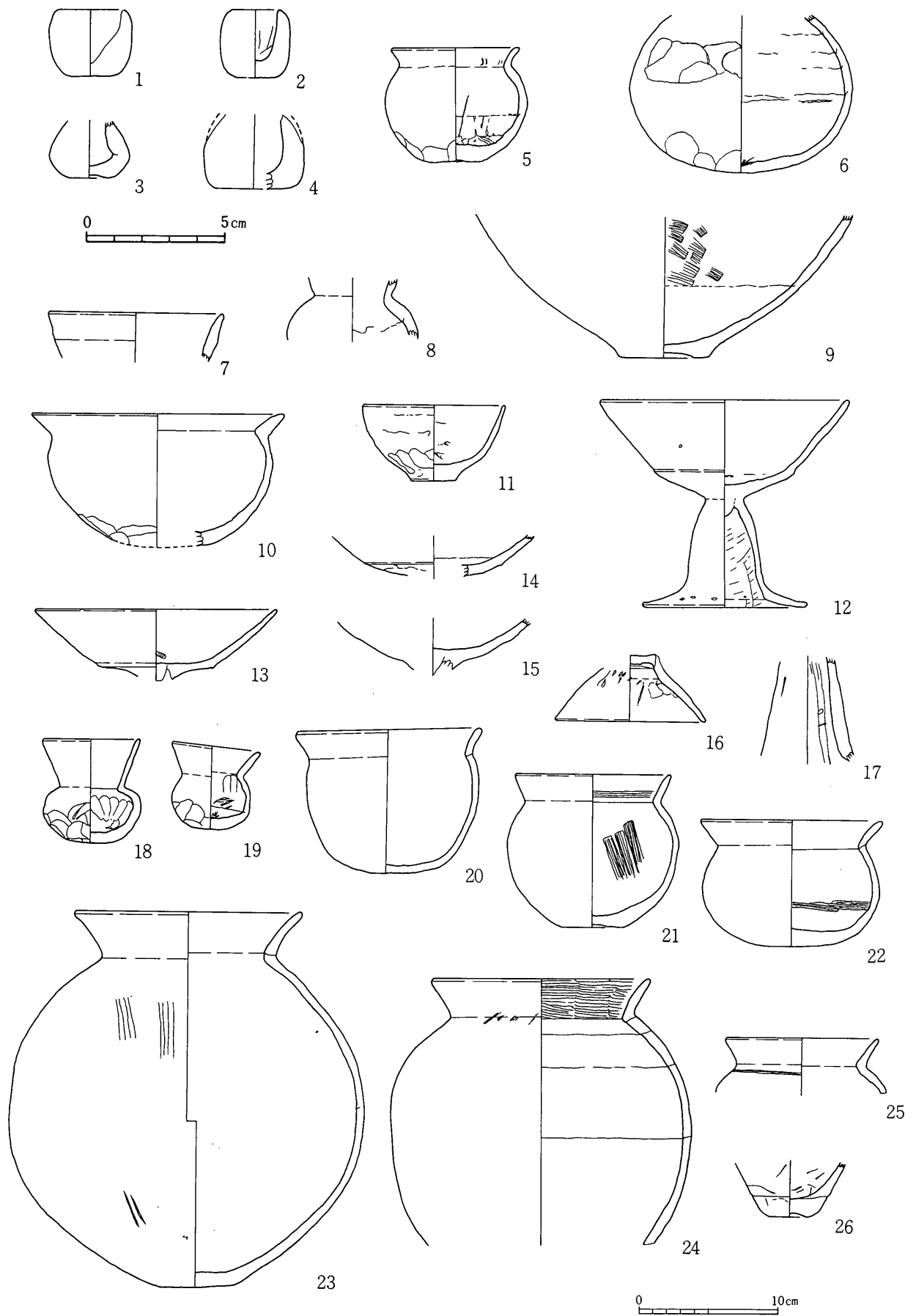
第115図 出土遺物 1・2 SB61 4~14 SB64
3 SB62



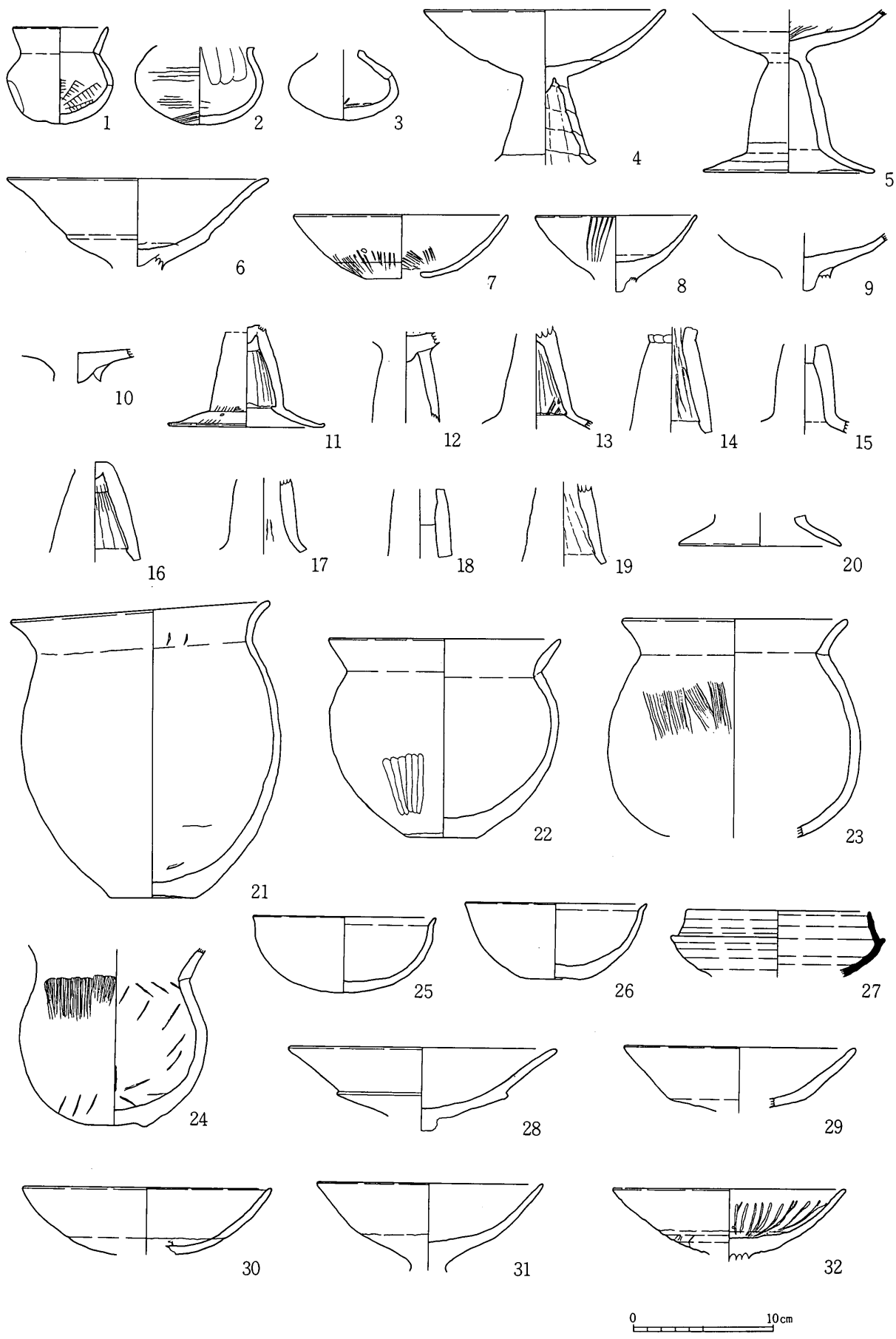
第116图 出土遺物 1~21 S B64 25·26 S B66
22~24 S B65



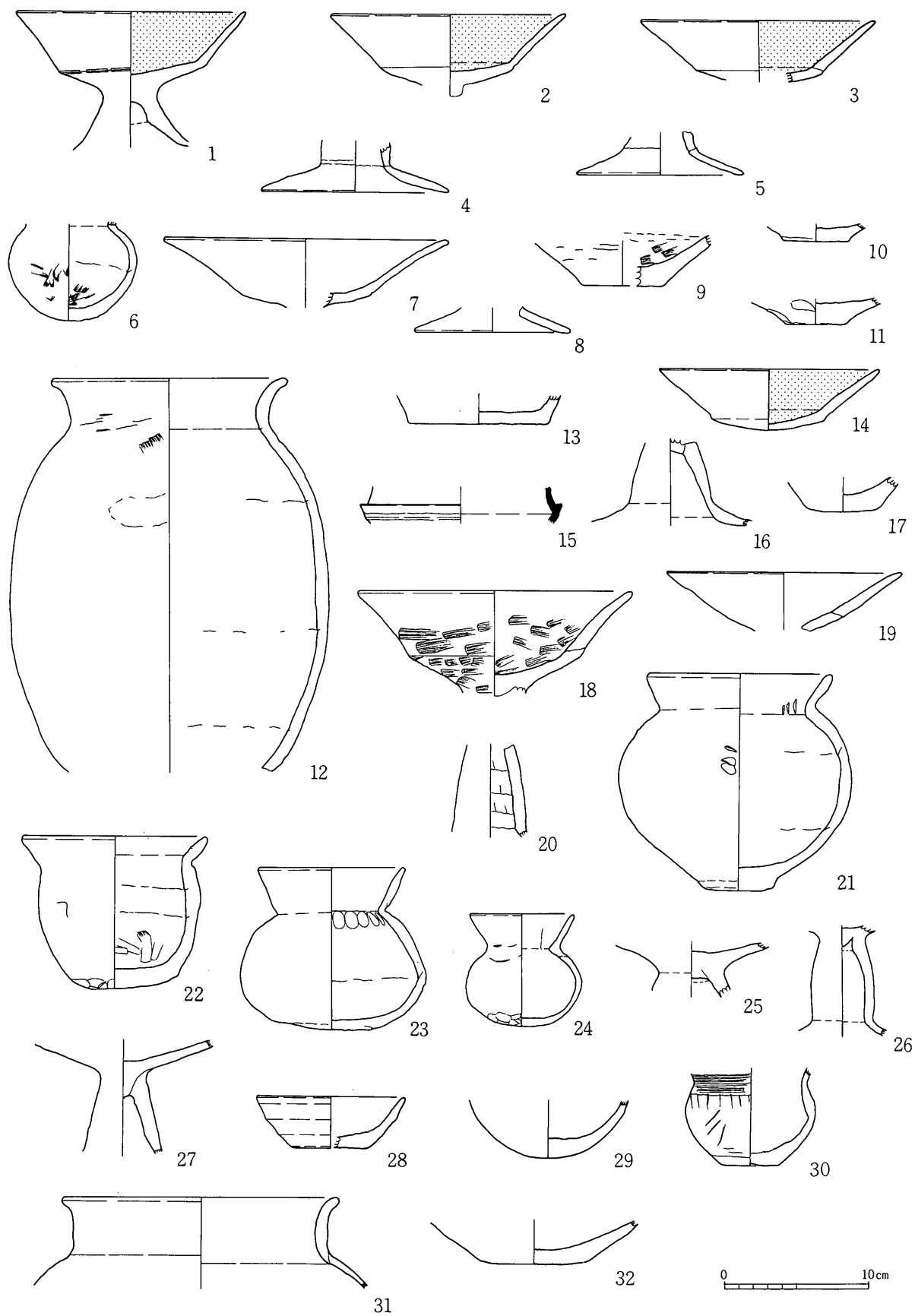
第117图 出土遺物 1~4 SB66 9~18 SB73
5~8 SB69 19~30 SB75



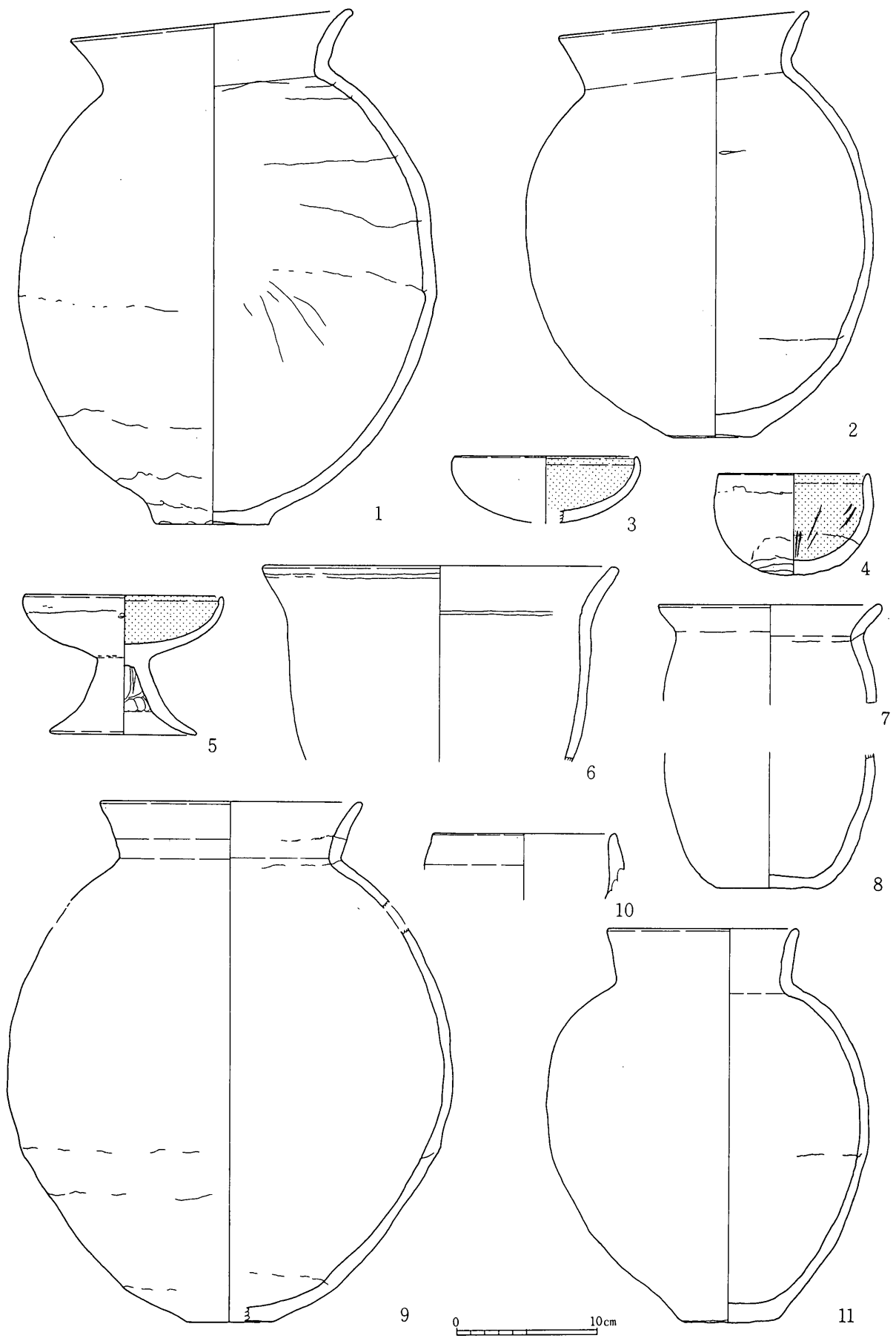
第118图 出土遺物 1~4 SB75 20~26 SB78
5~19 SB77



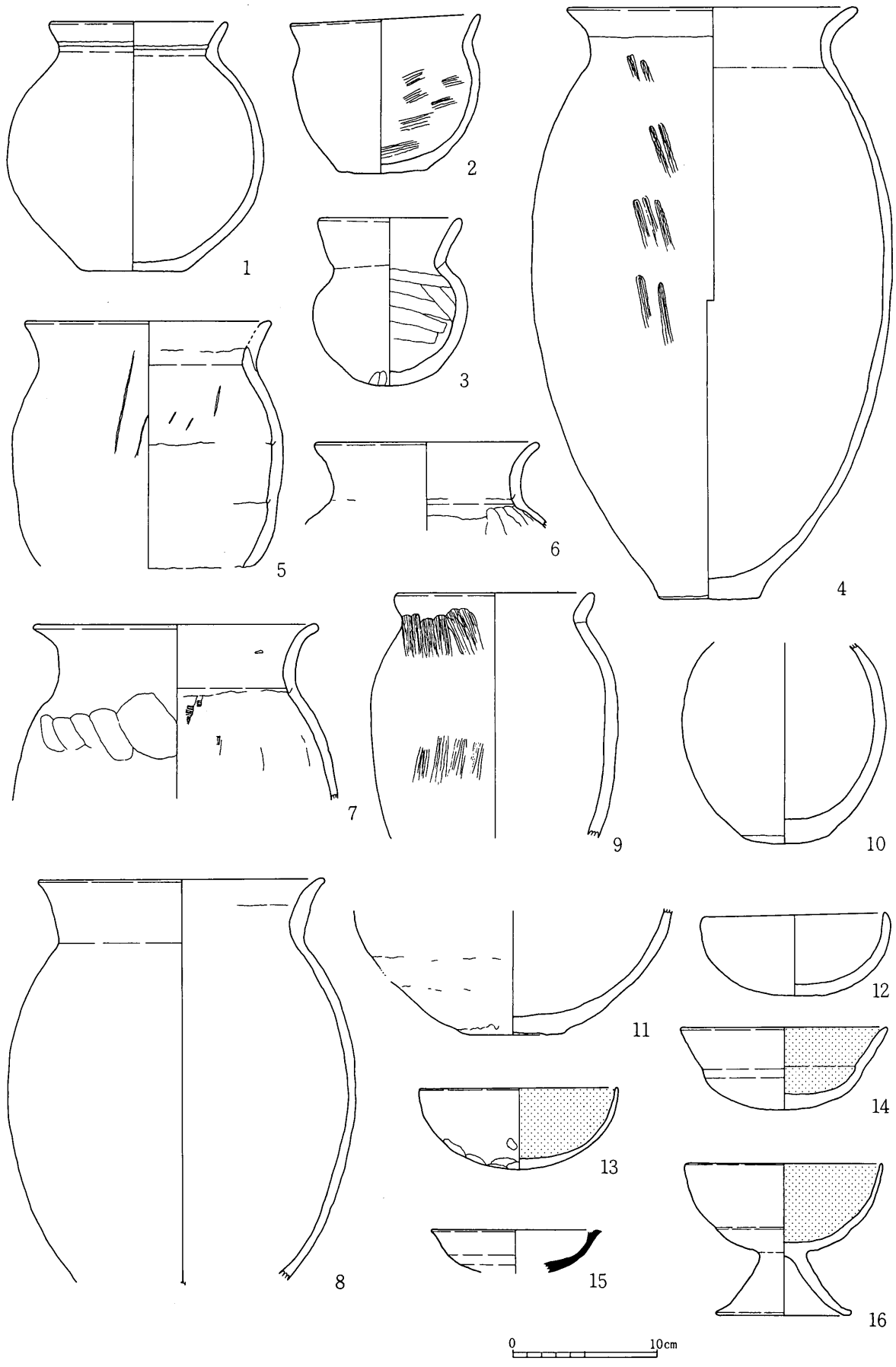
第119图 出土遺物 1~20 S B78
21~32 S B80



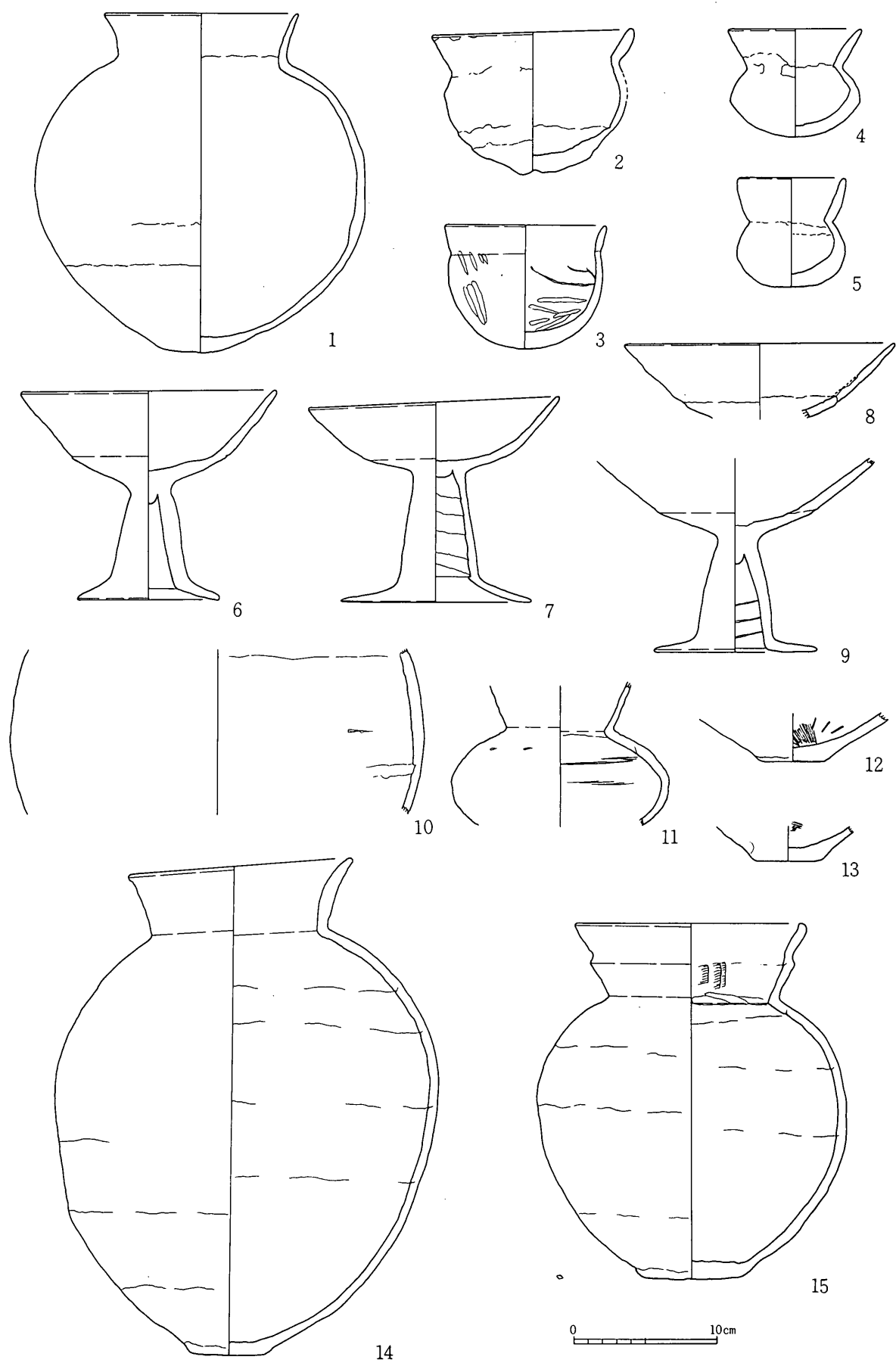
第120図 出土遺物 1~5 SB80 9~16 SB82 21~26 SB85 28~30 SB88
 6~8 SB81 17~20 SB83 27 SB86 31·32 SB89



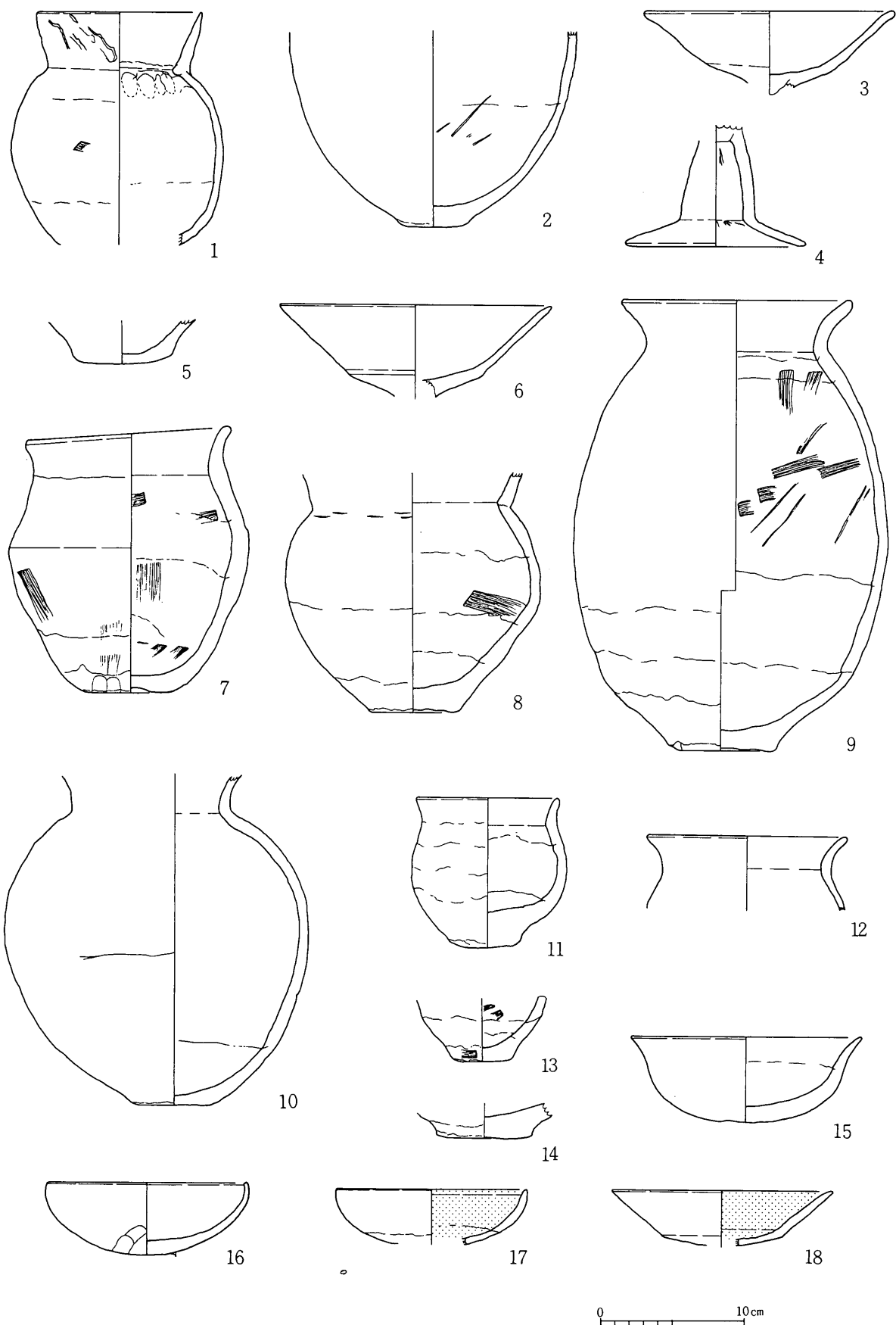
第121図 出土遺物 1~5 SB90 9 SB92
6~8 SB91 10・11 SB93



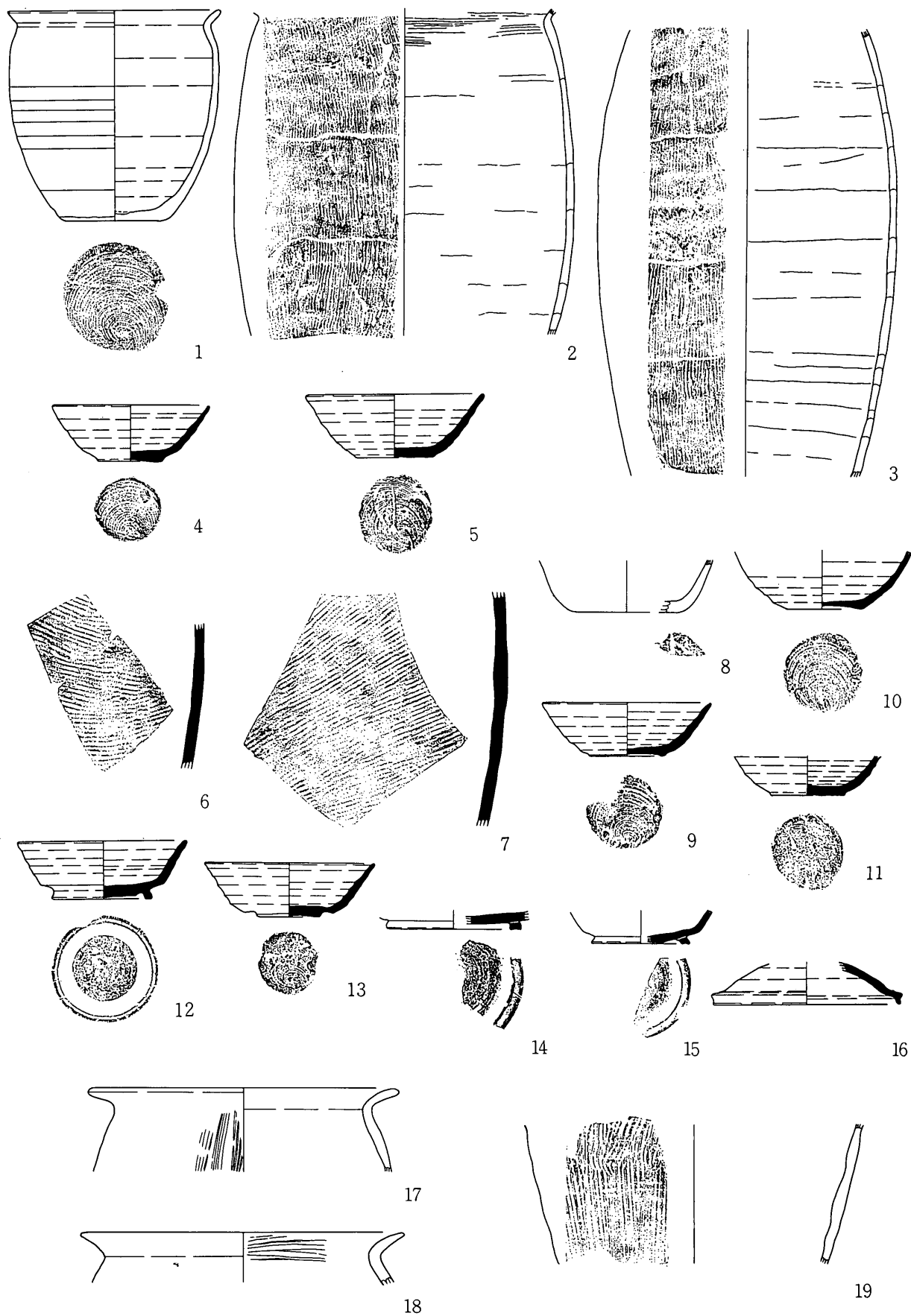
第122図 出土遺物 1~16 S B93



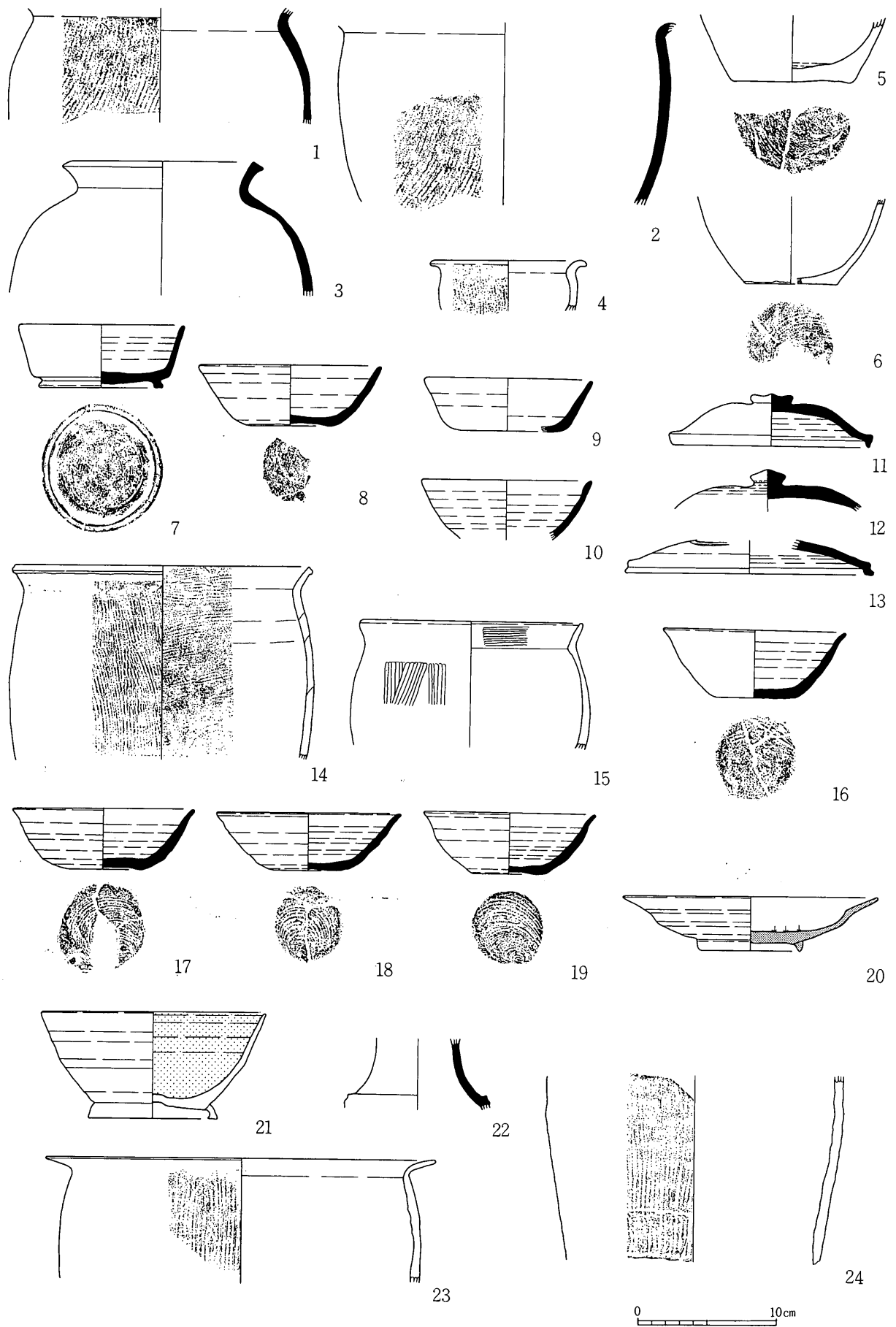
第123図 出土遺物 1~9 S B95
10~15 S B96



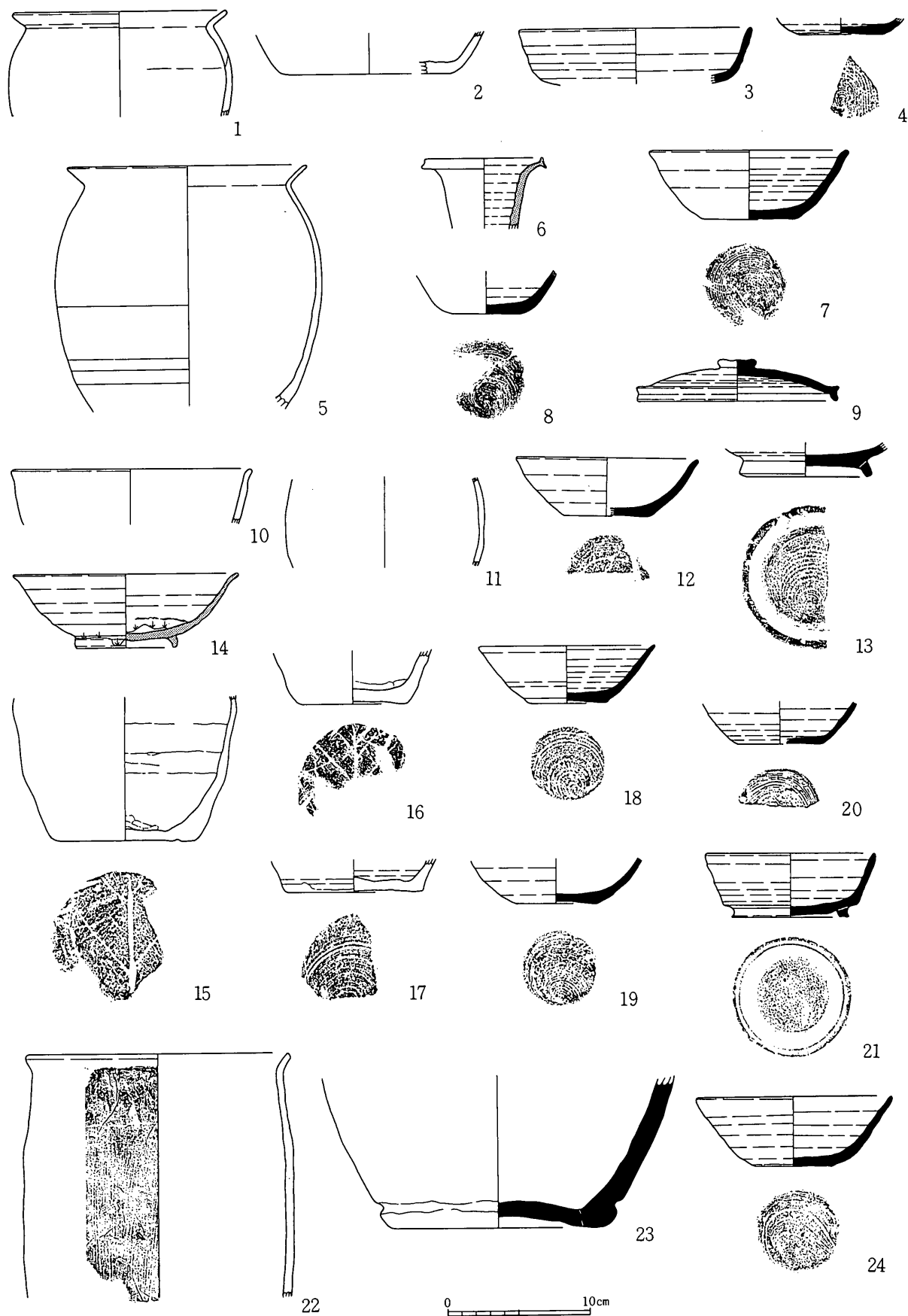
第124図 出土遺物 1~4 S B96 7~18 S B98
5・6 S B97



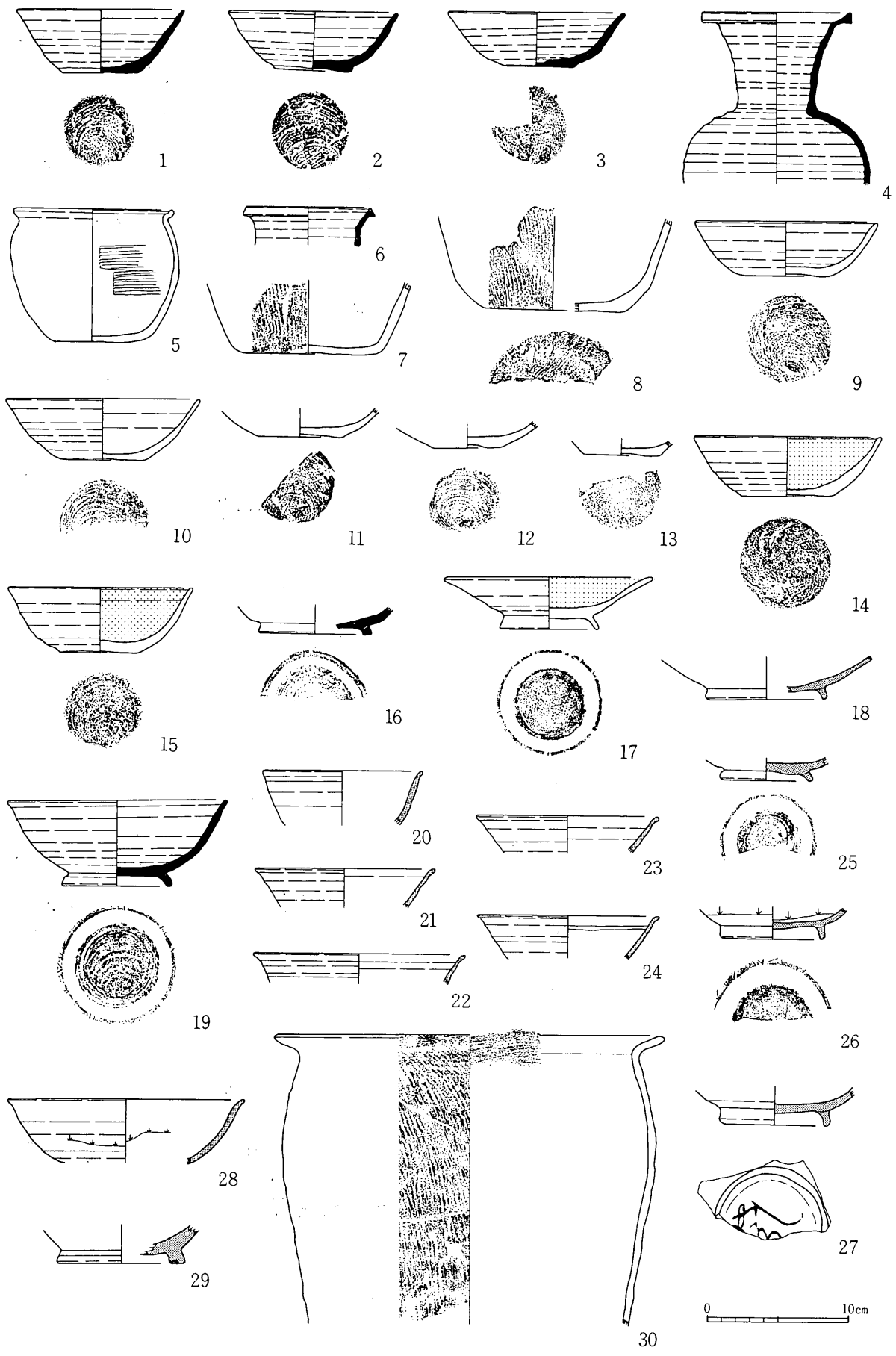
第125図 出土遺物 1~5 S B05 17~18 S B17
 6~16 S B06



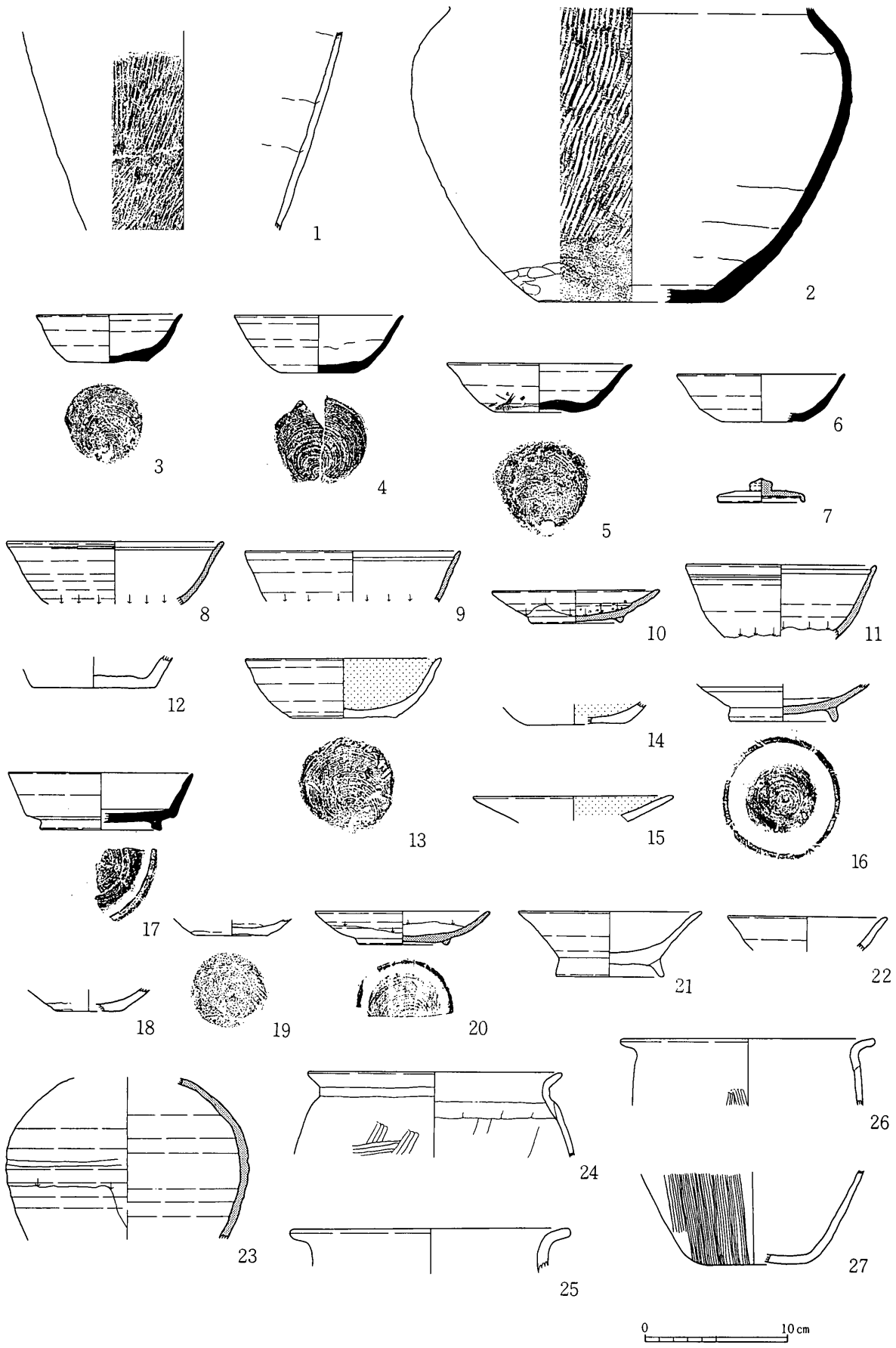
第126图 出土遺物 1~13 SB17 23·24 SB31
14~22 SB30



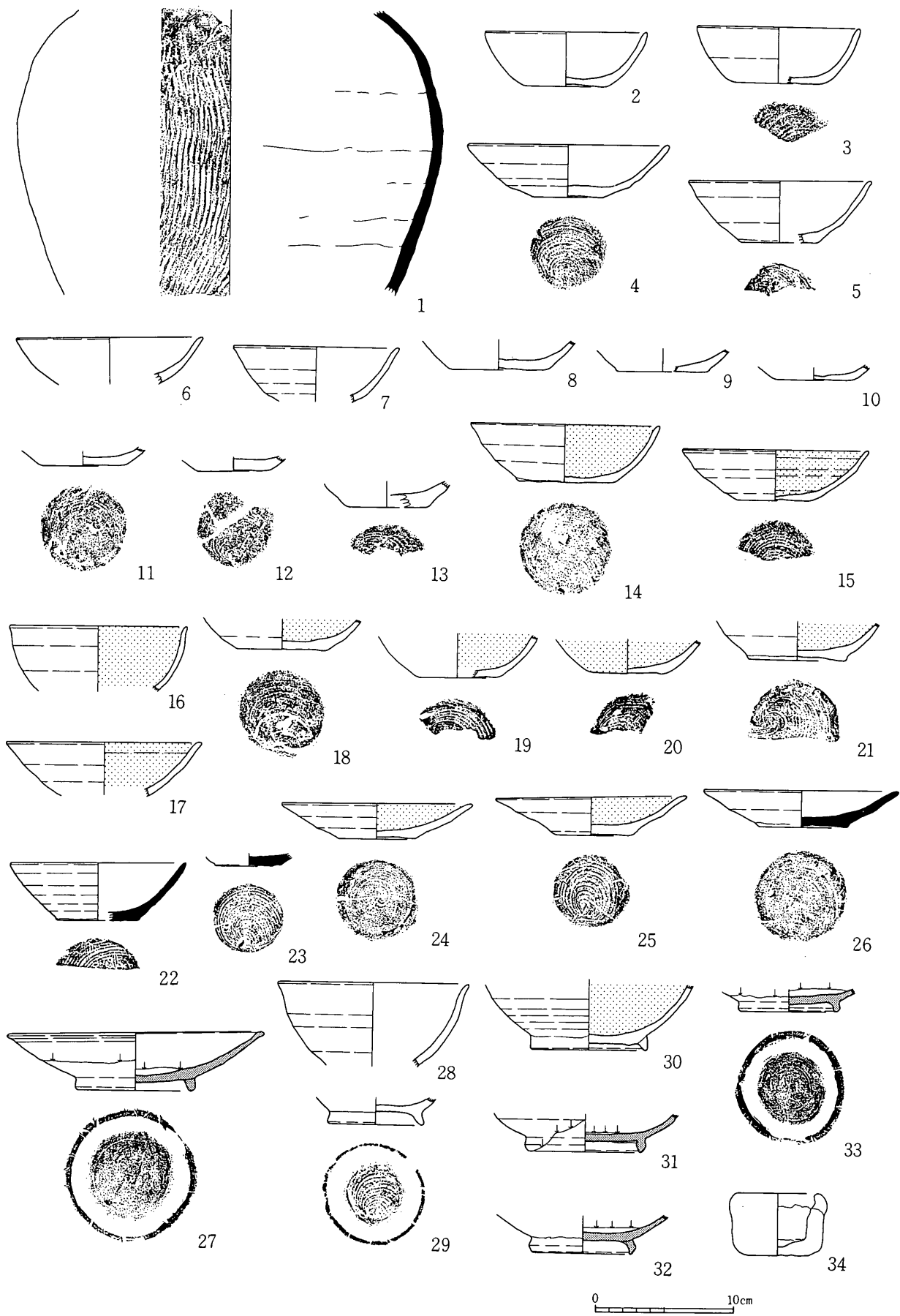
第127図 出土遺物 1~4 SB31 10~14 SB36 21 SB46
5~9 SB35 15~20 SB45 22~24 SB47



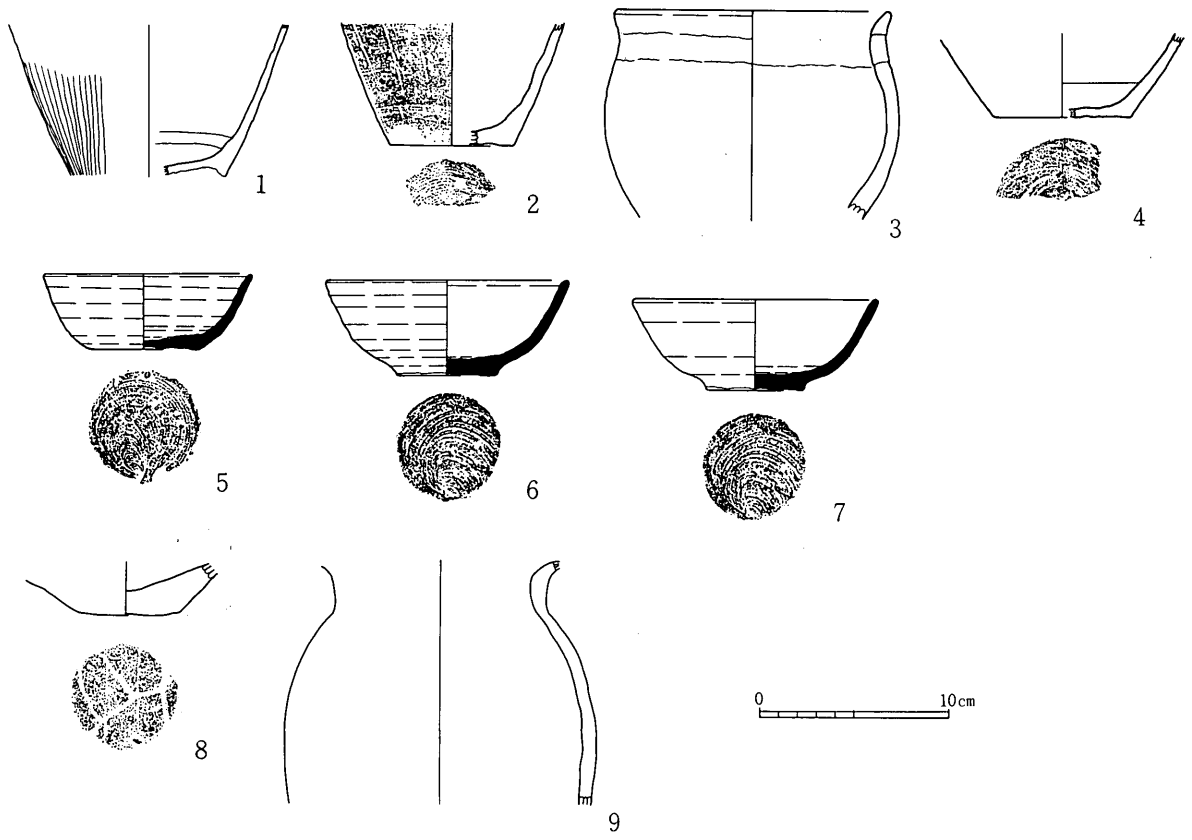
第128図 出土遺物 1~3 SB47 28 SB59
4~27 SB49 29・30 SB67



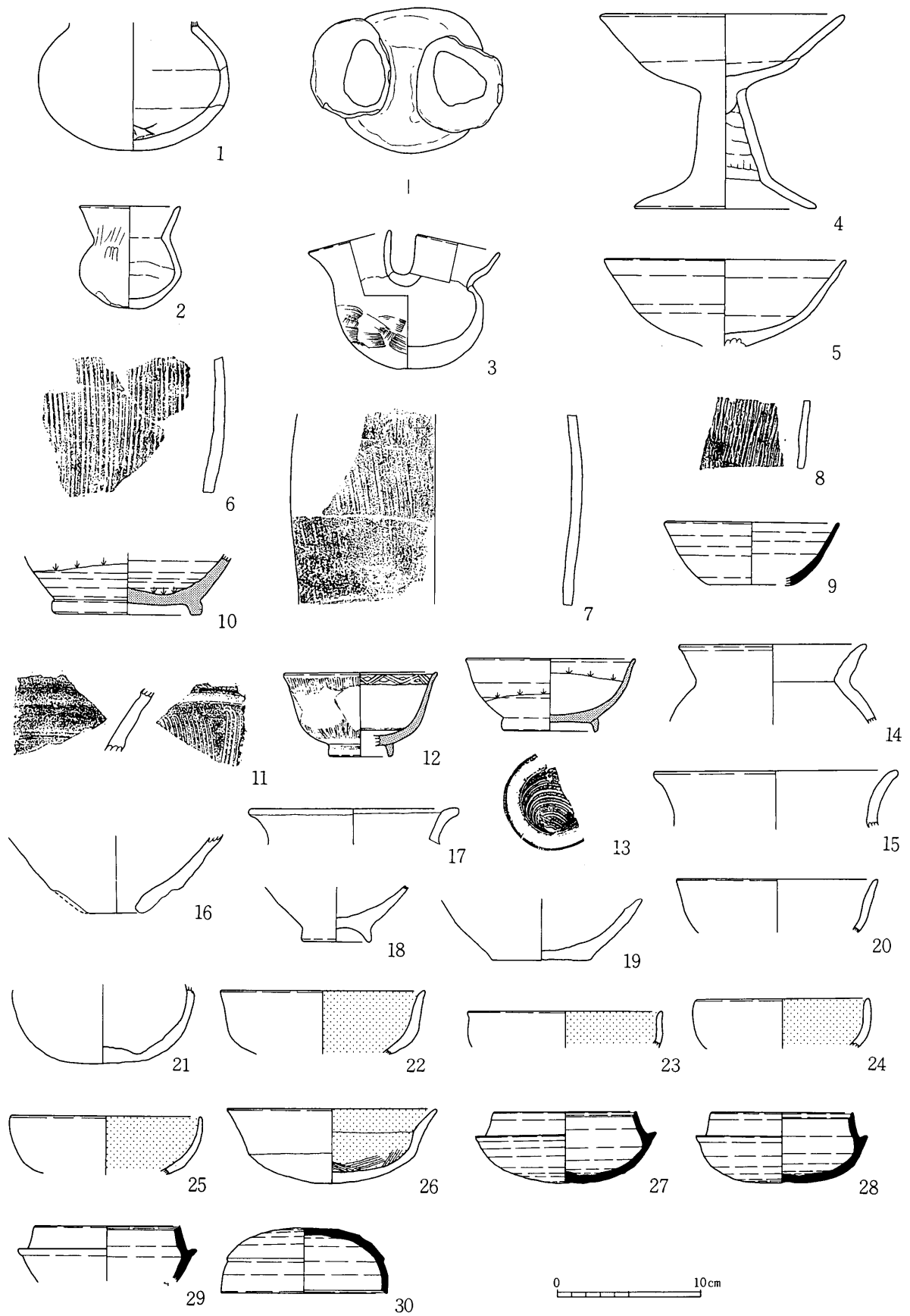
第129図 出土遺物 1~9 SB67 12~16 SB70 18~22 SB72
10・11 SB68 17 SB71 23~27 SB74



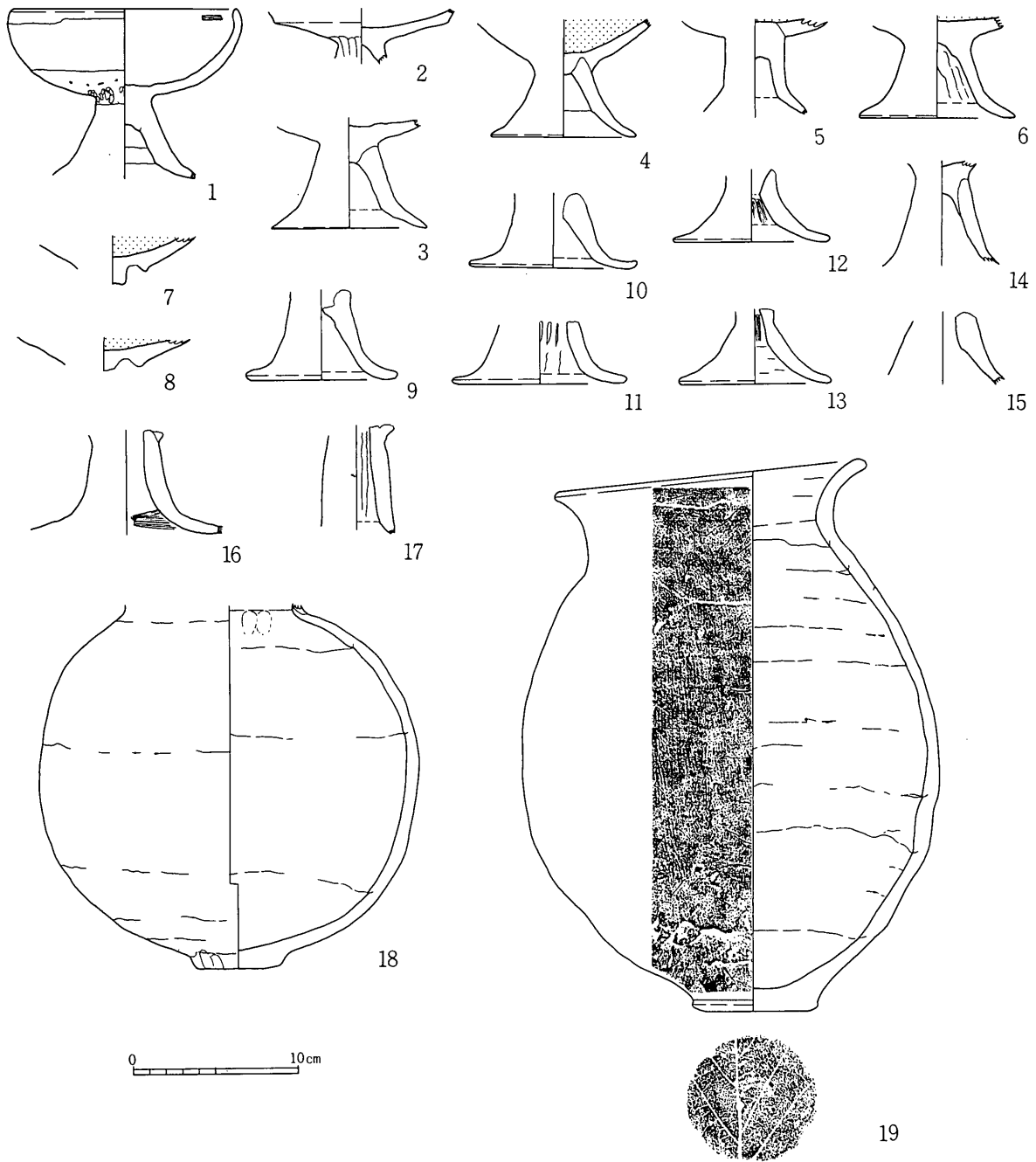
第130図 出土遺物 1~34 S B74



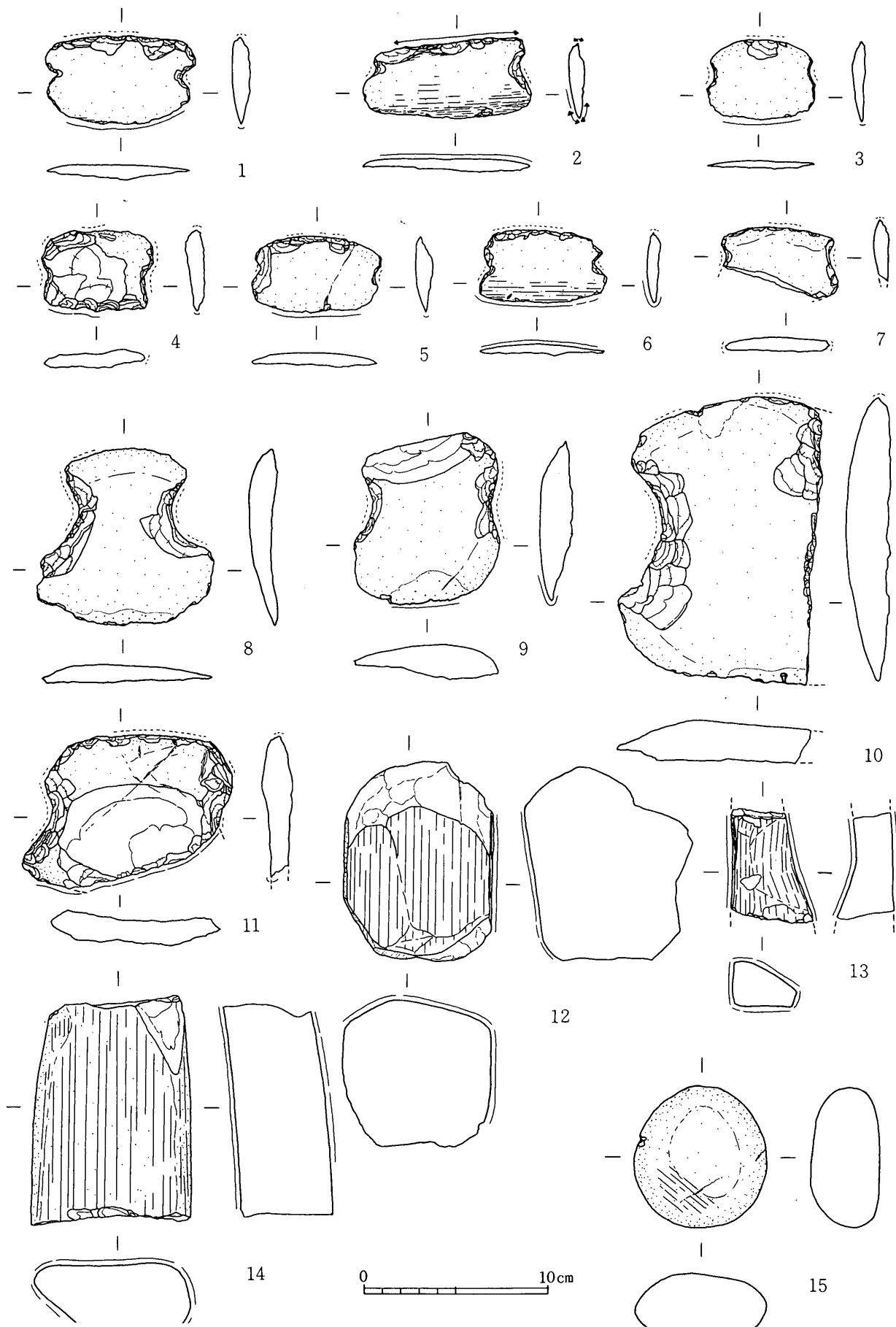
第131図 出土遺物 1・2 SB76 8 SB34
3~7 SB87 9 SB38



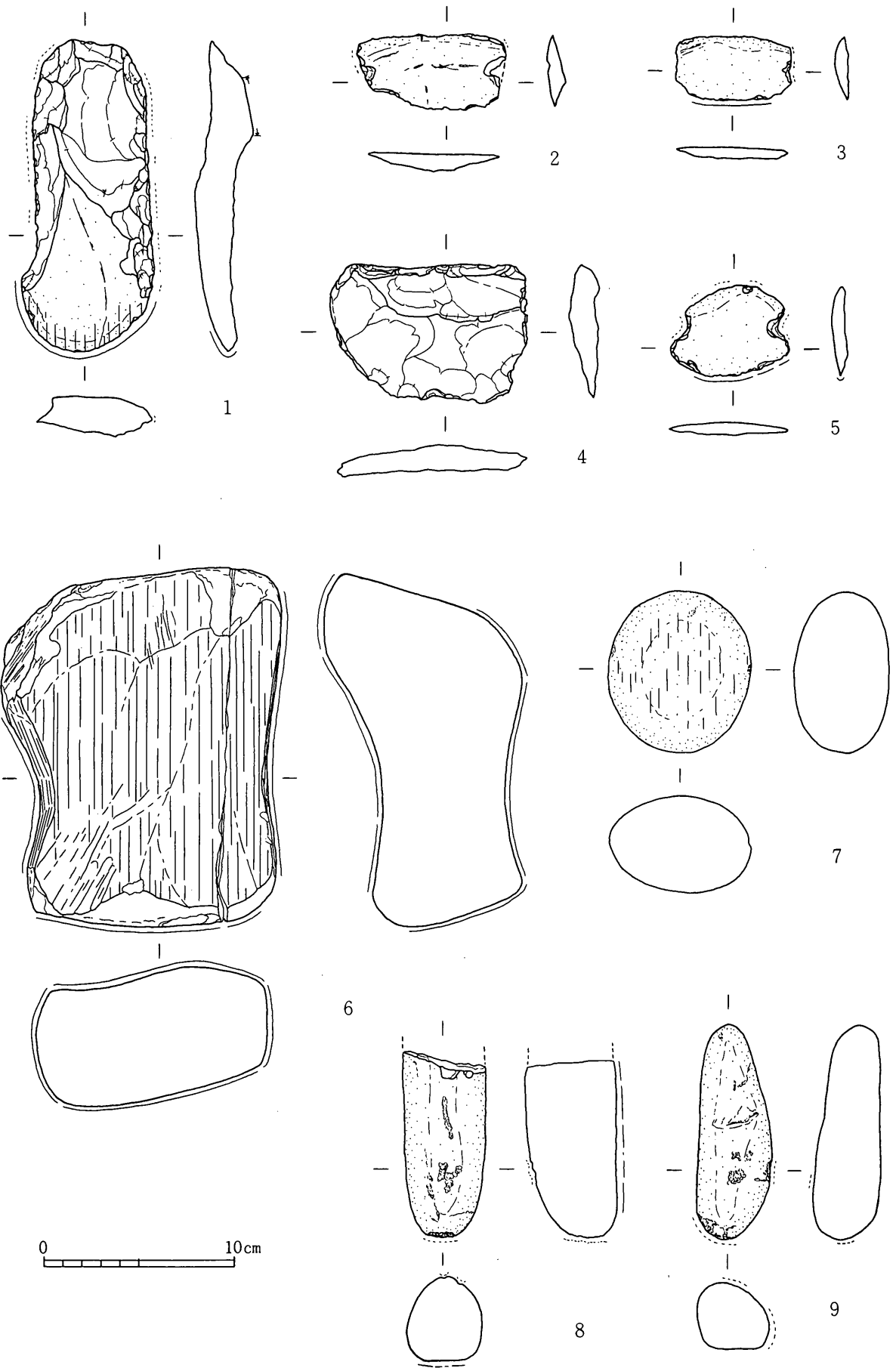
第132図 出土遺物 1~5 SK20 7~9 SK22 13 SK26 17~30 土器集中II
6 SK21 10~12 SK25 14~16 土器集中I



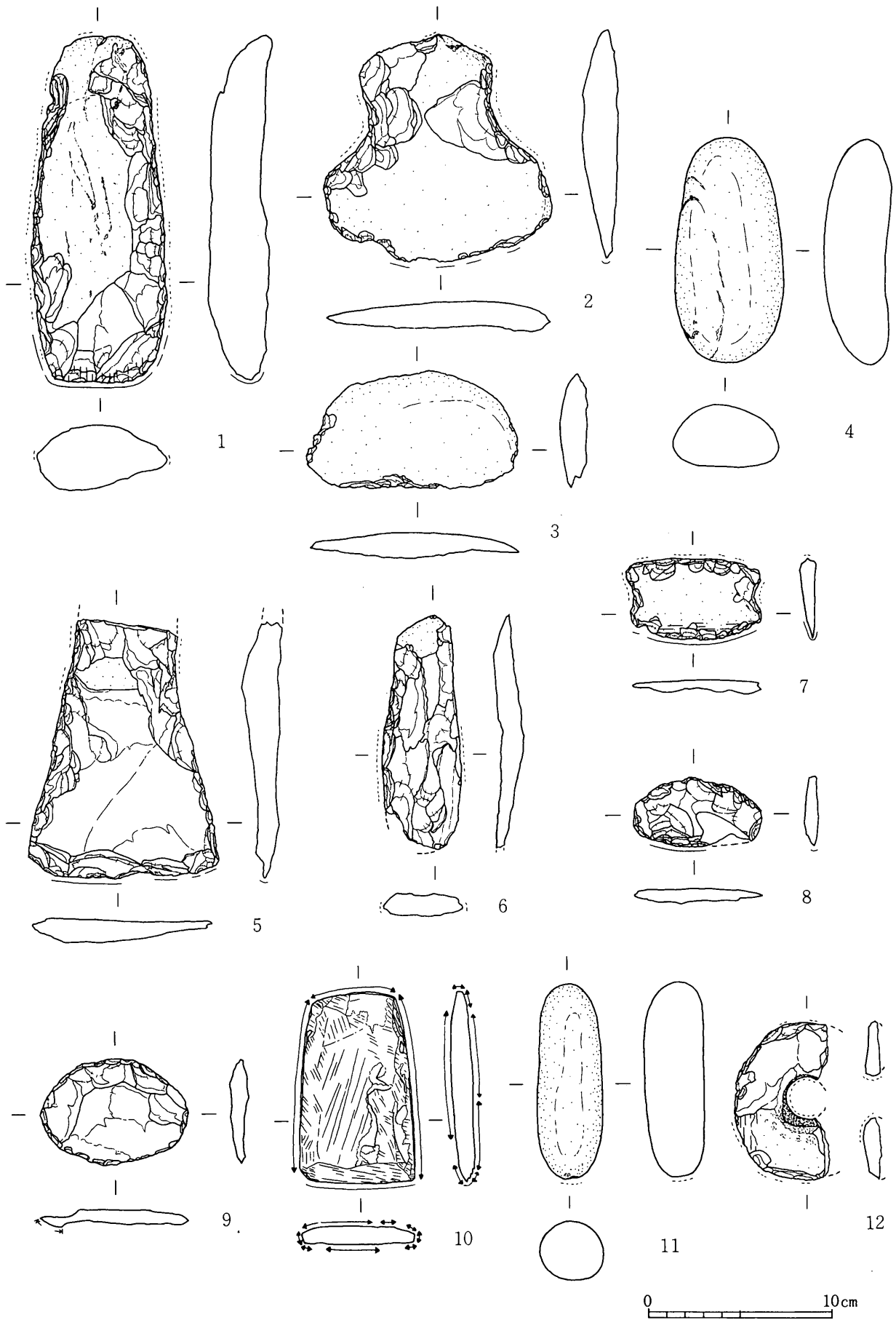
第133图 出土遺物 1~17 土器集中
18·19 Z Z Z



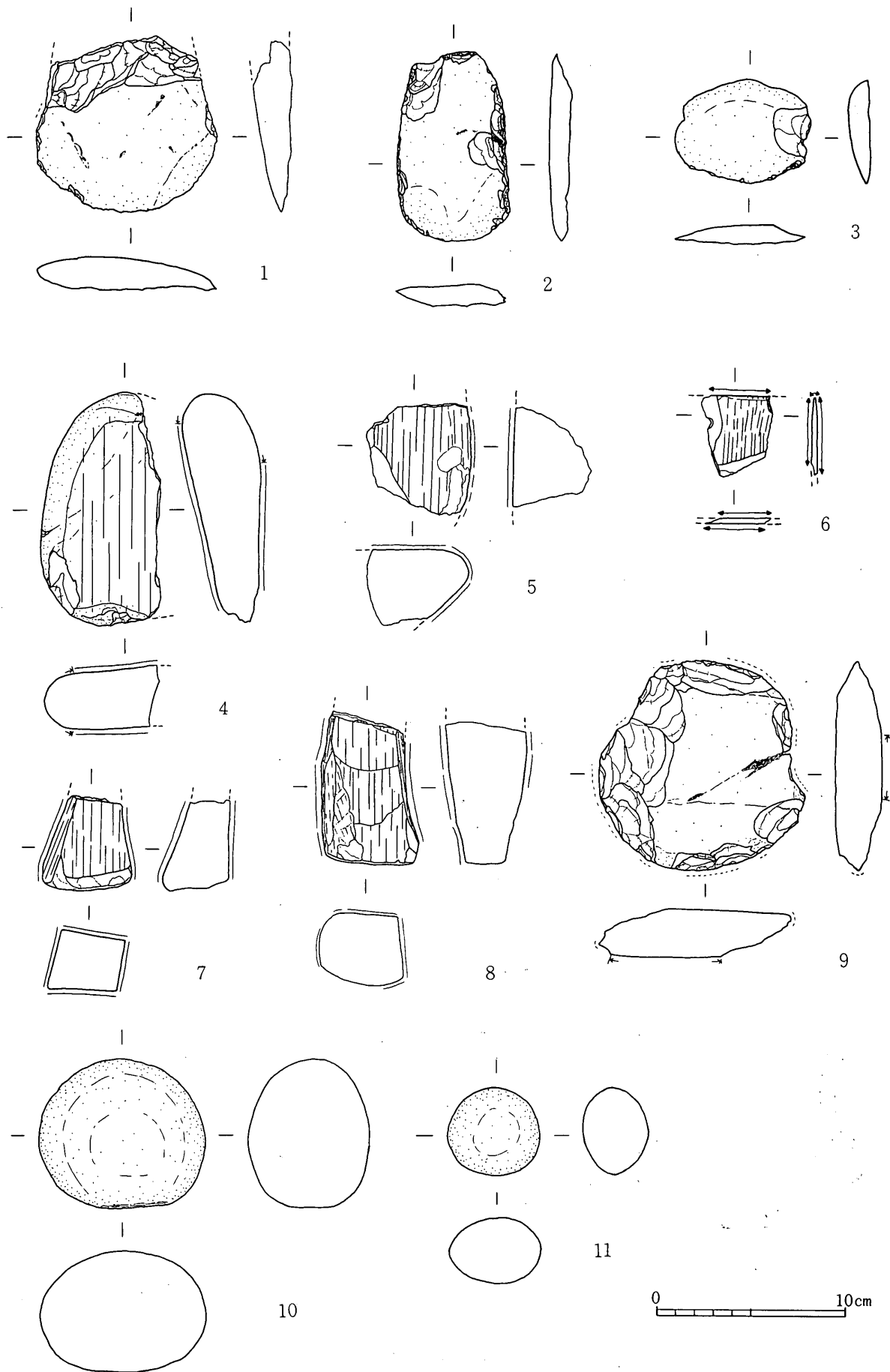
第134图 出土遺物 1~11 S B63 14·15 S B04
12·13 S B02



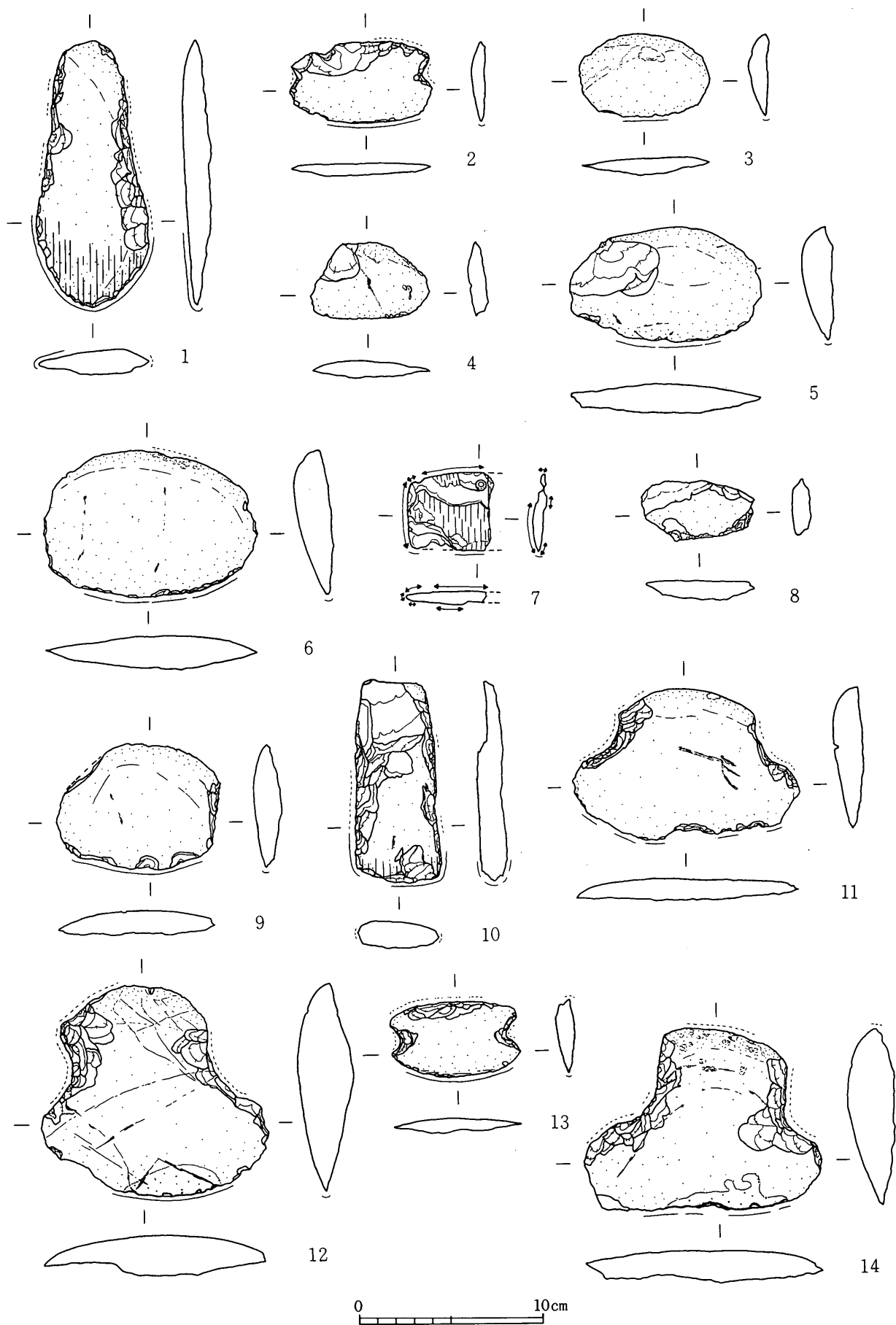
第135图 出土遺物 1~4 SB09 6·7 SB13
5 SB10 8·9 SB14



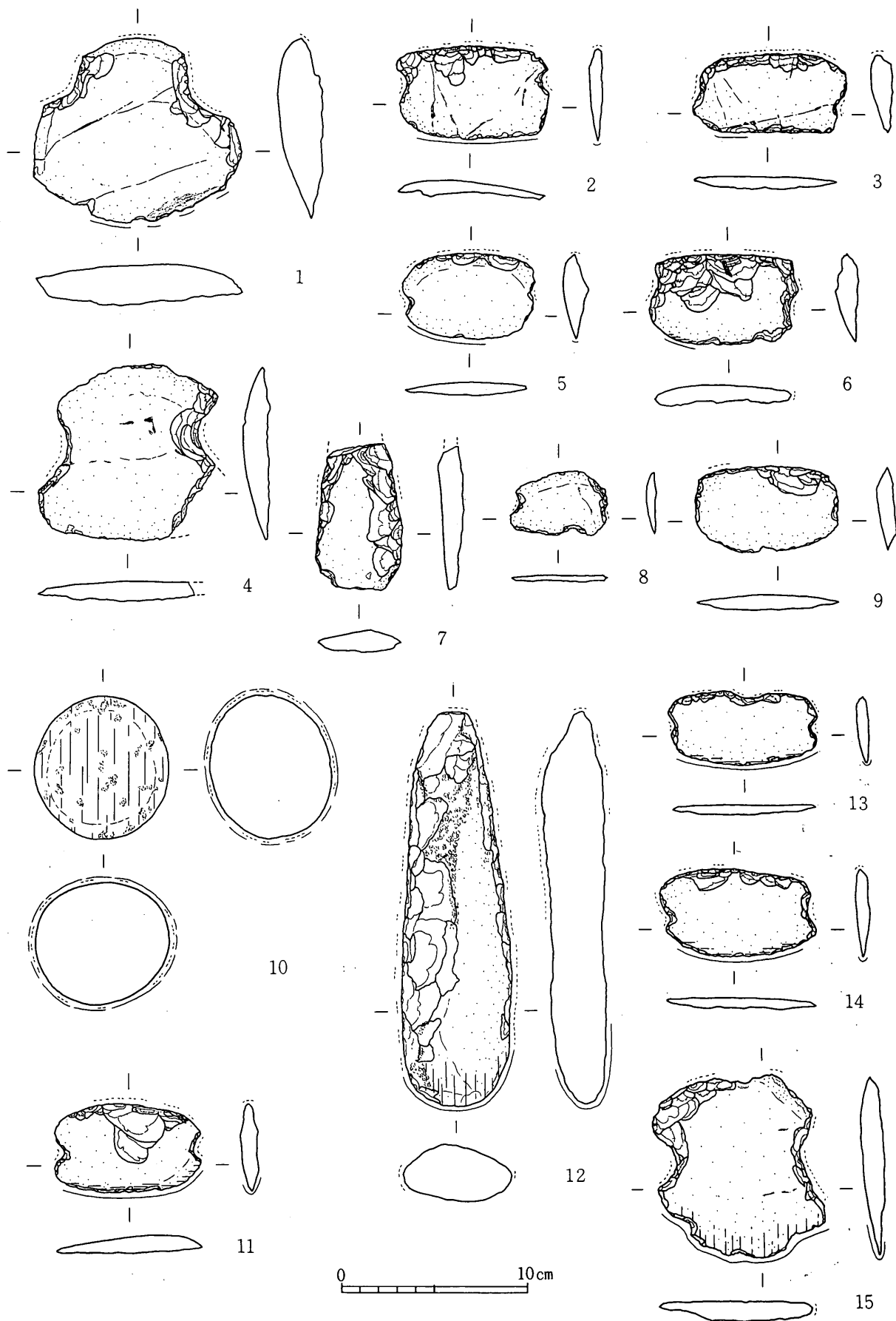
第136図 出土遺物 1~3 SB16 5~11 SB20
4 SB19 12 SB21



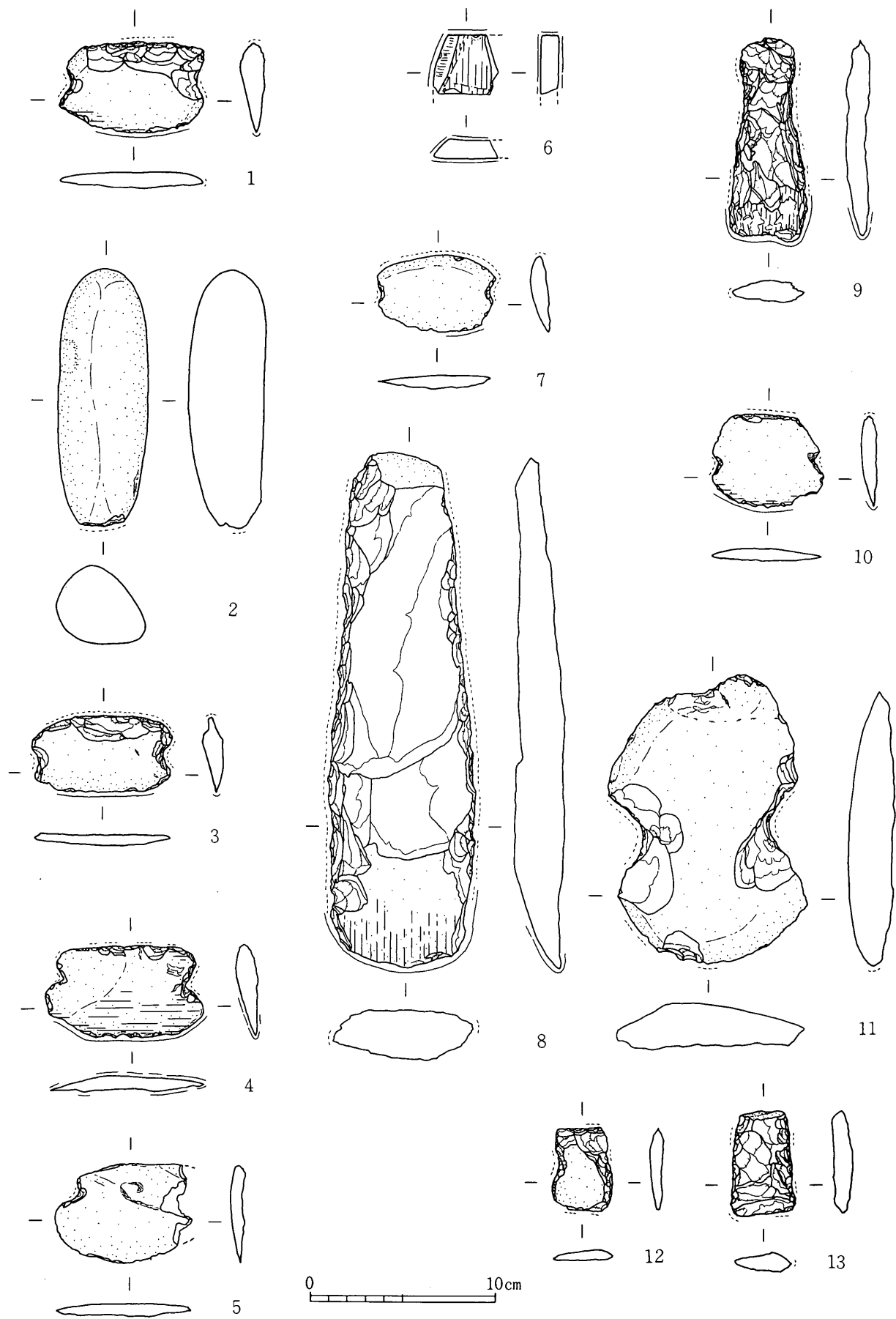
第137图 出土遺物 1~6 SB22 9 SB33
7·8 SB32 10·11 SB37



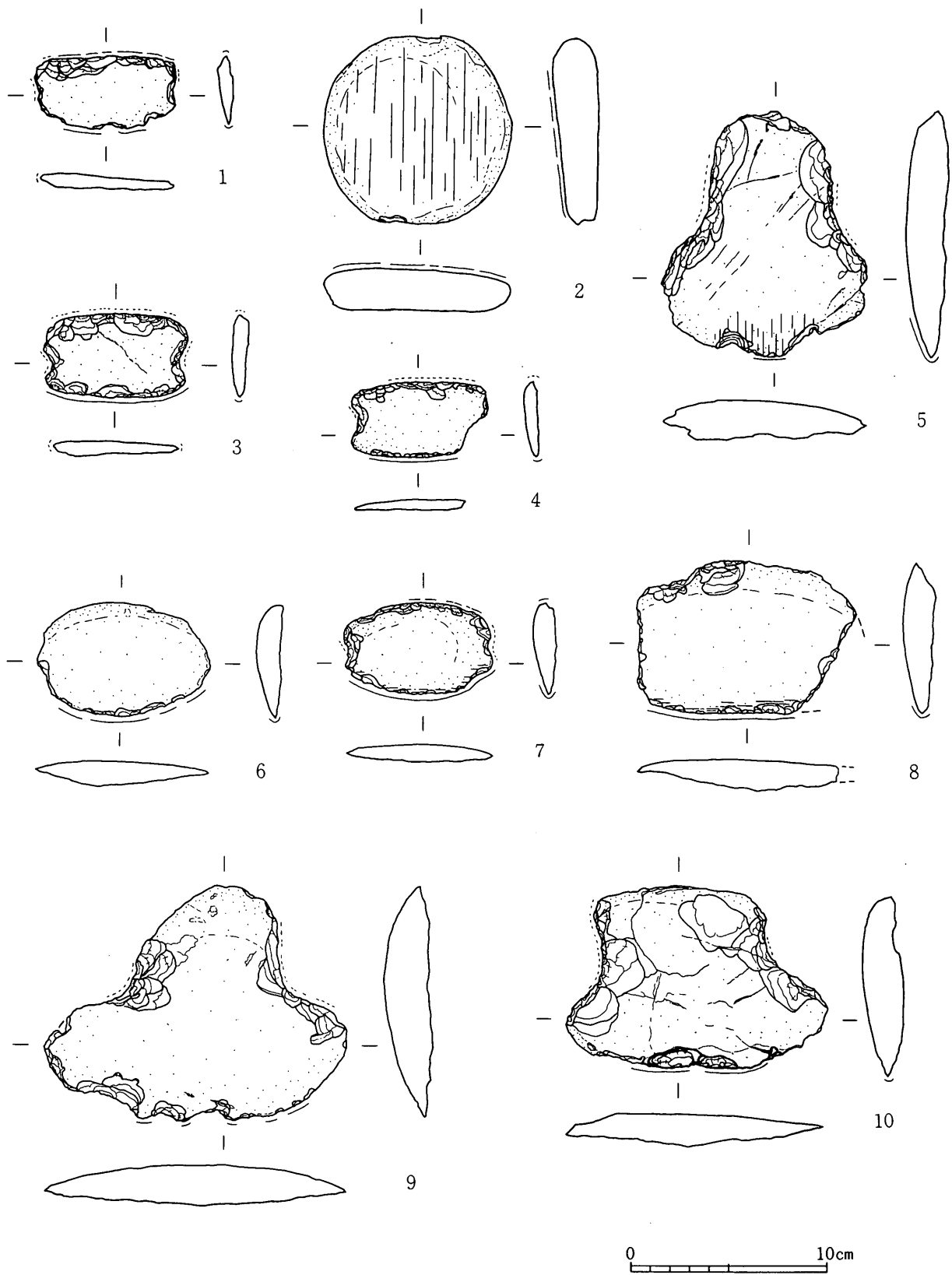
第138图 出土遺物 1~6 SB40 10 SB43 12 SB52
7~9 SB41 11 SB48 13·14 SB53



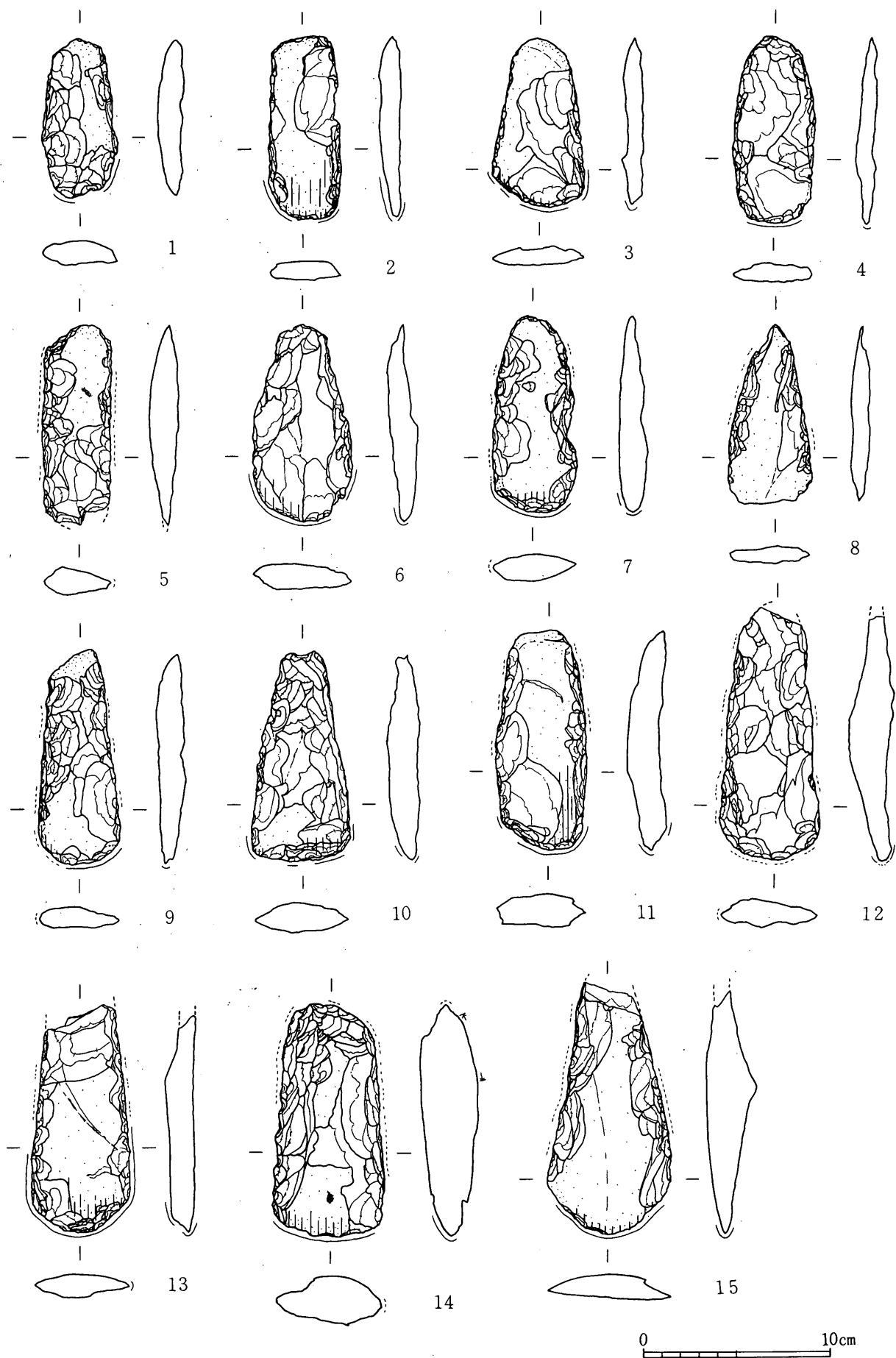
第139图 出土遺物 1 SB54 3·4 SB60 7 SB62 11 SB66 15 SB77
 2 SB58 5·6 SB61 8~10 SB64 12~14 SB75



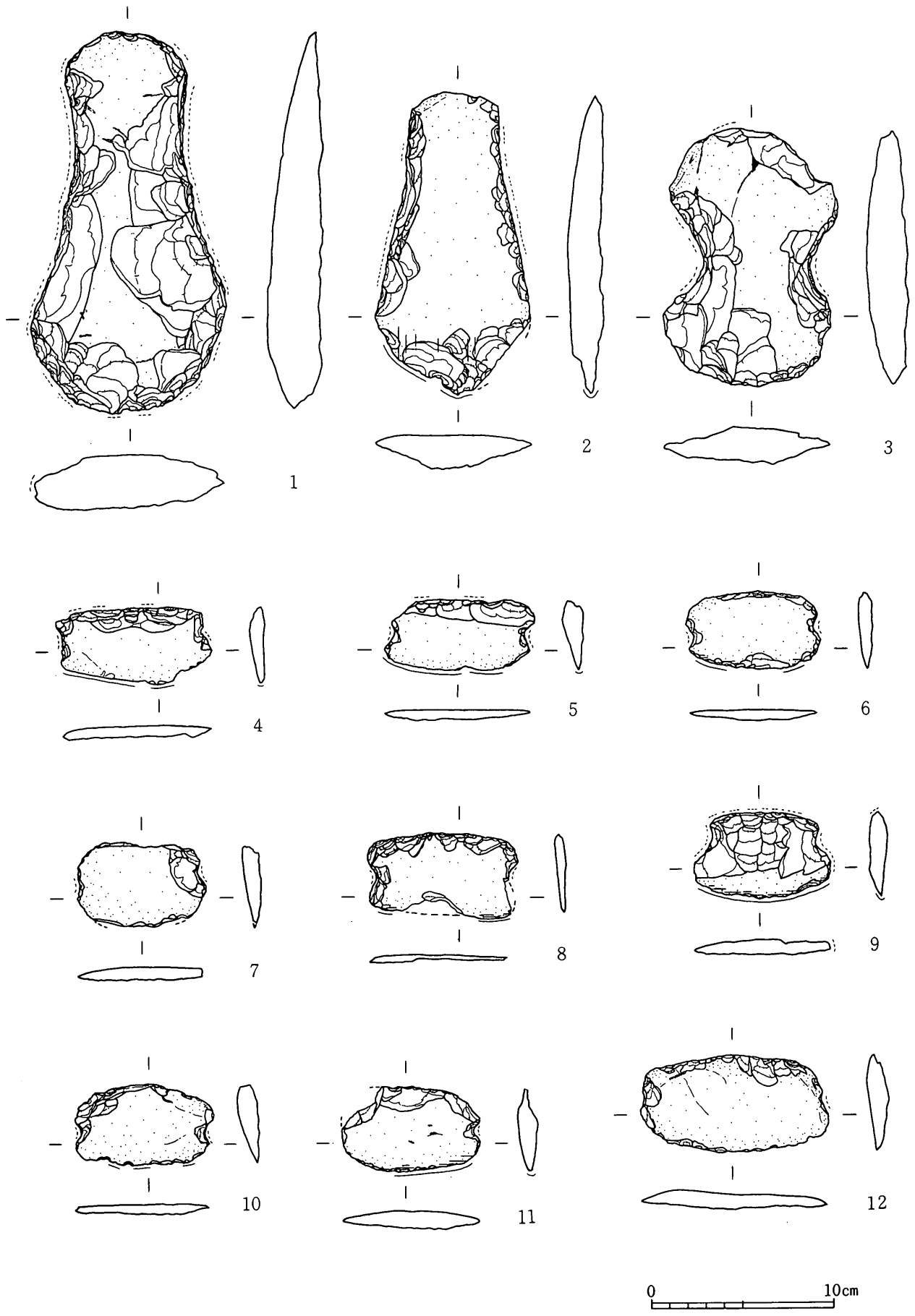
第140图 出土遺物 1·2 SB80 4·5 SB83 7·8 SB88 10 SB95
3 SB81 6 SB85 9 SB90 11~13 SB97



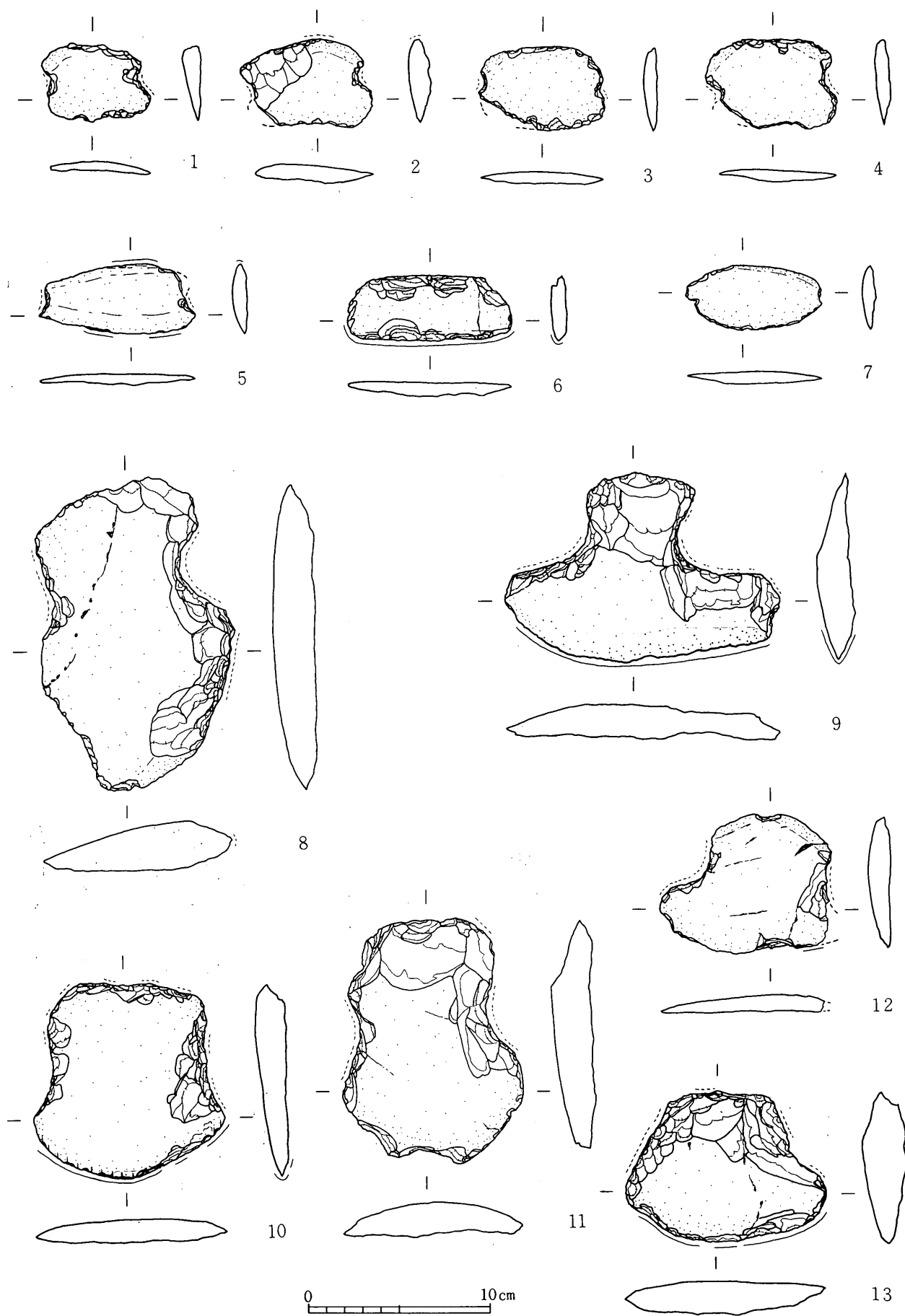
第141図 出土遺物 1・2 SB17 4・5 SB67 7 SK25 10 土器集中II
 3 SB45 6 SK08 8・9 土器集中I



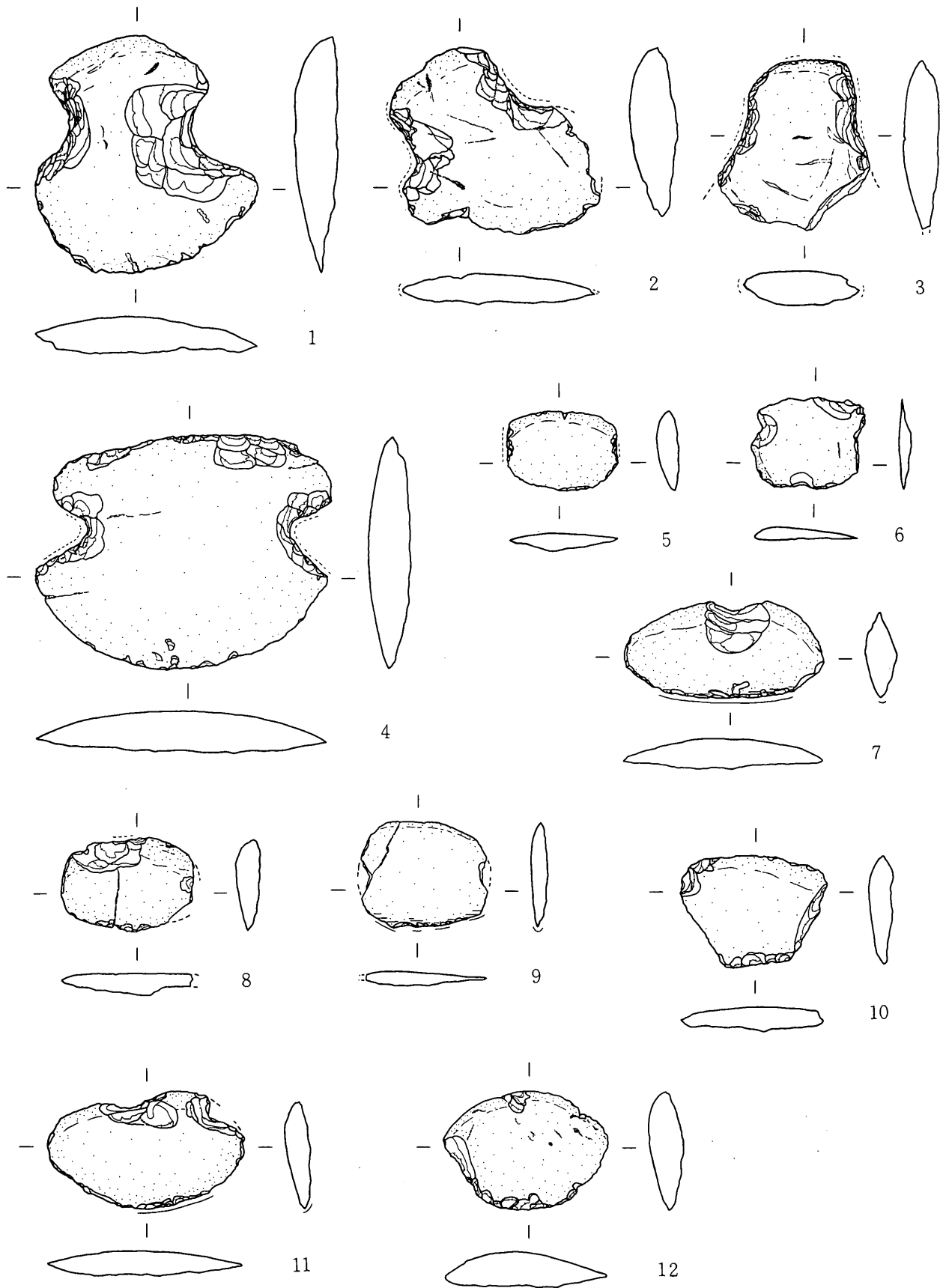
第142図 出土遺物 遺構外



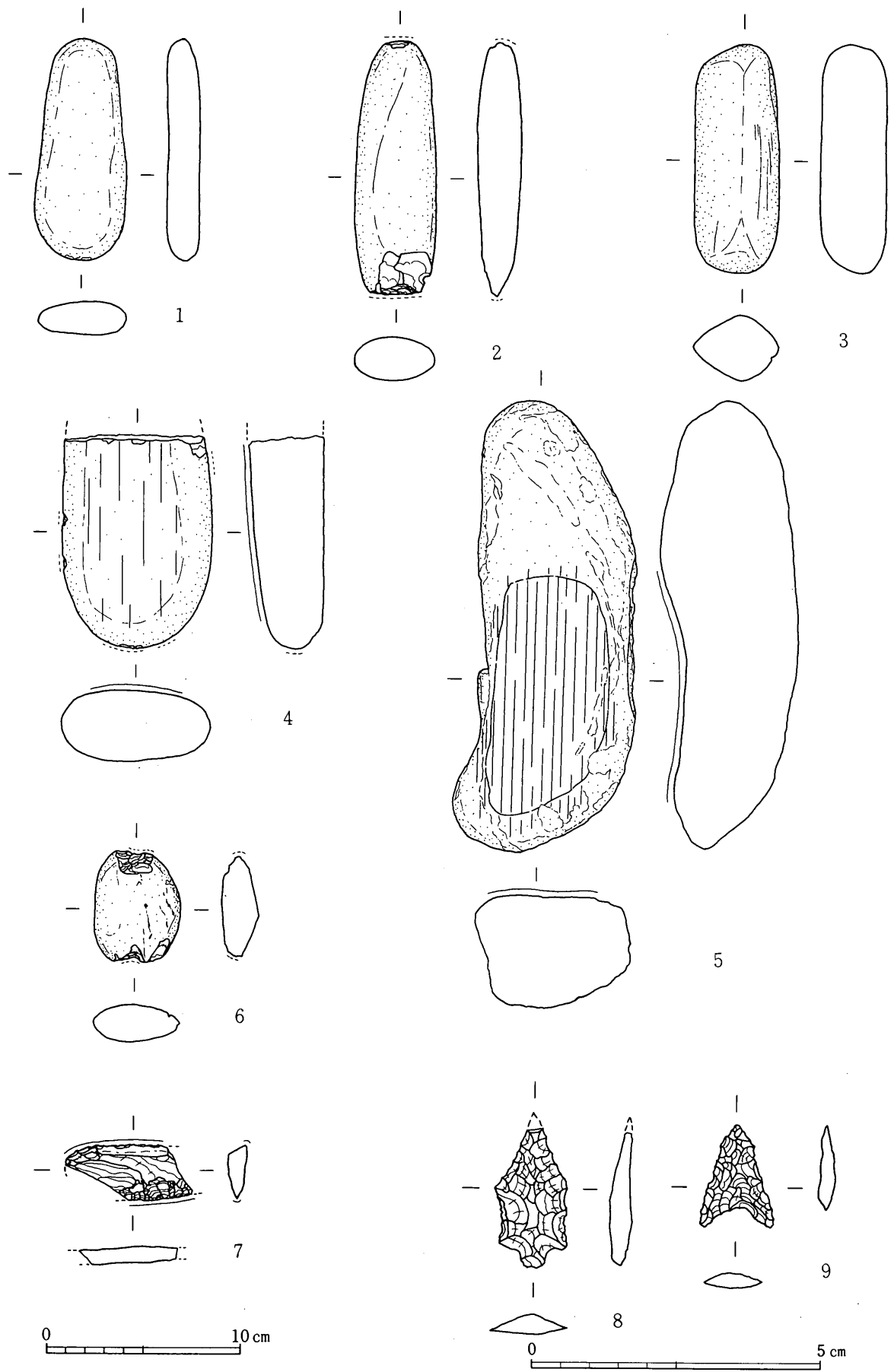
第143図 出土遺物 遺構外



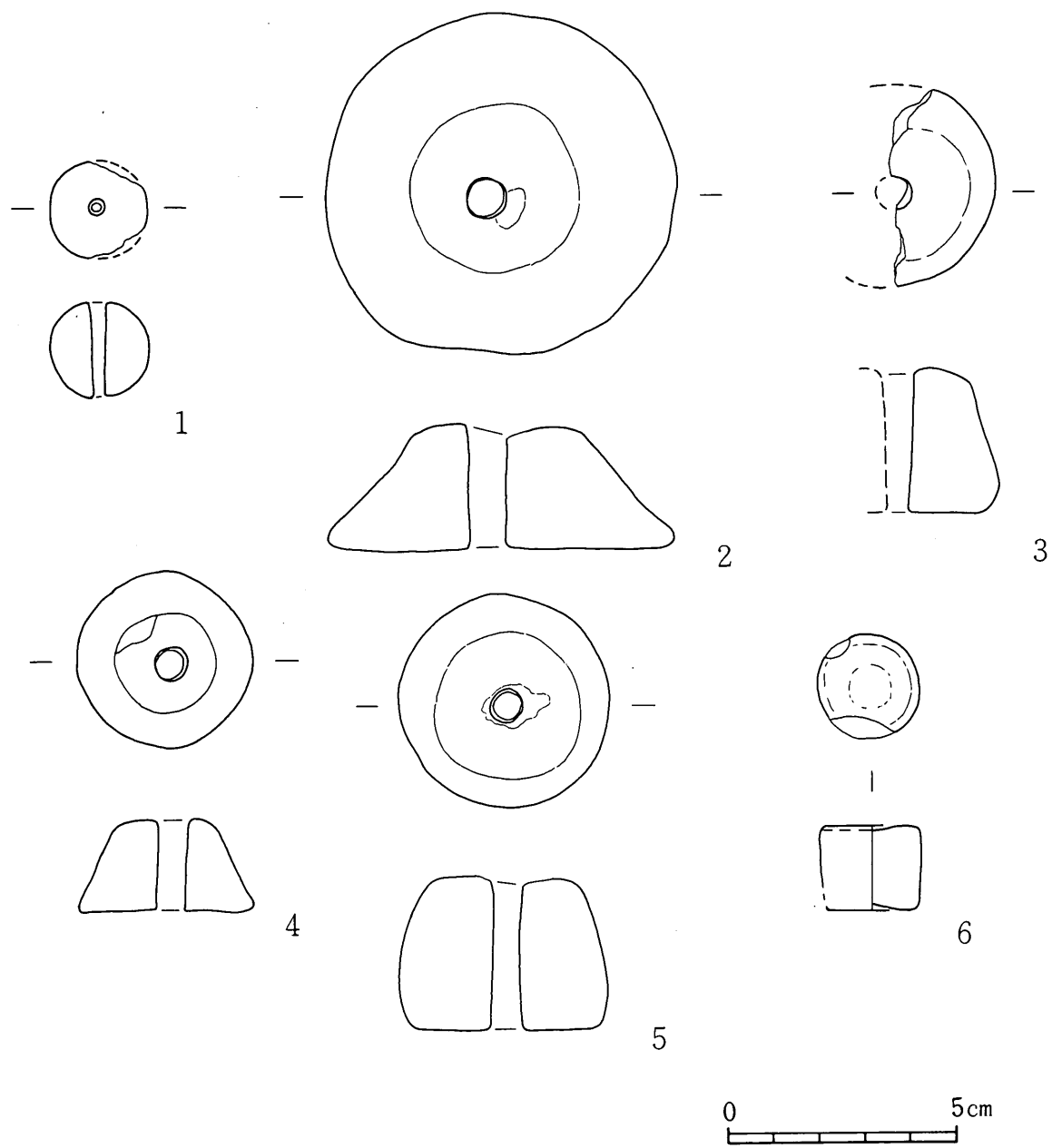
第144图 出土遺物 遺構外



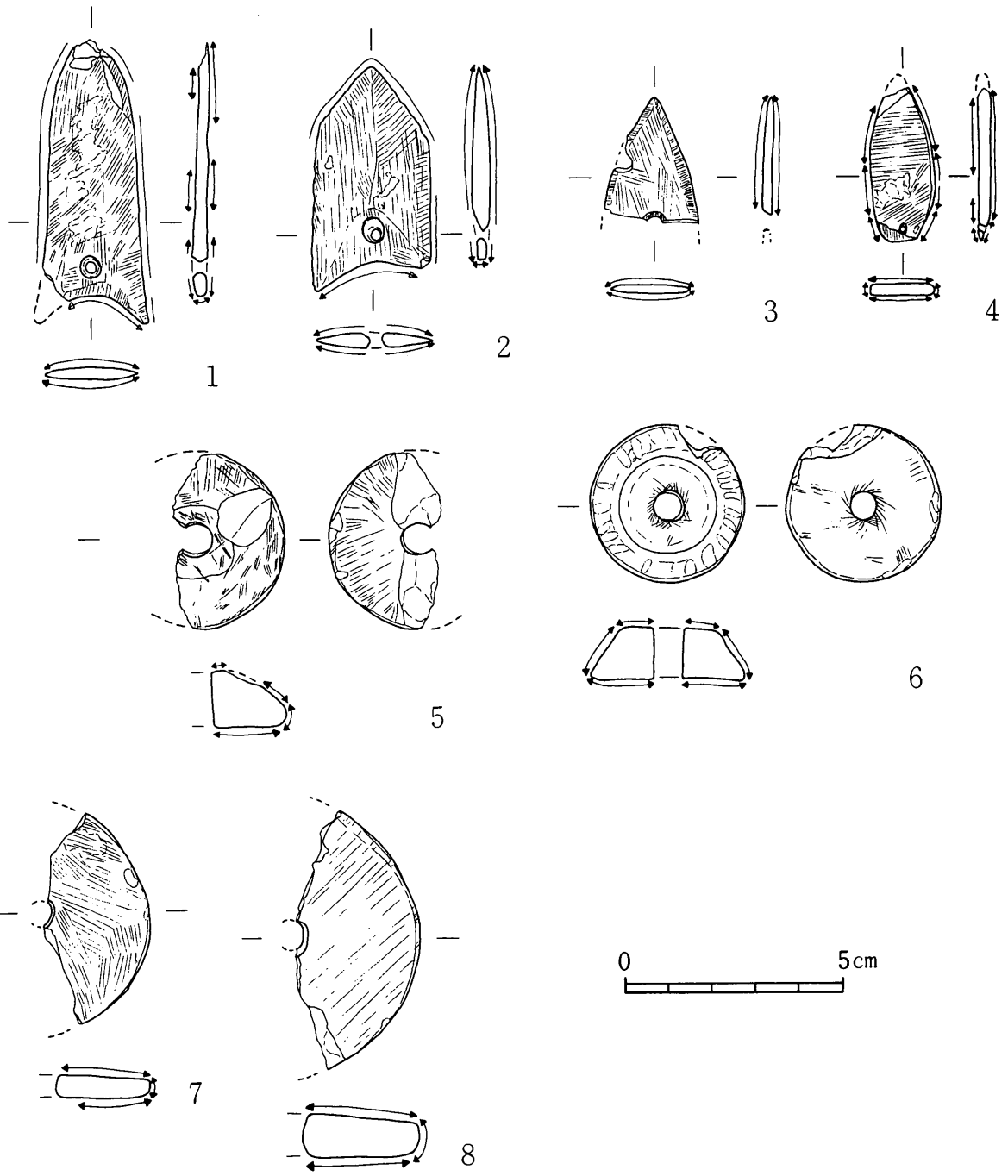
第145図 出土遺物 遺構外



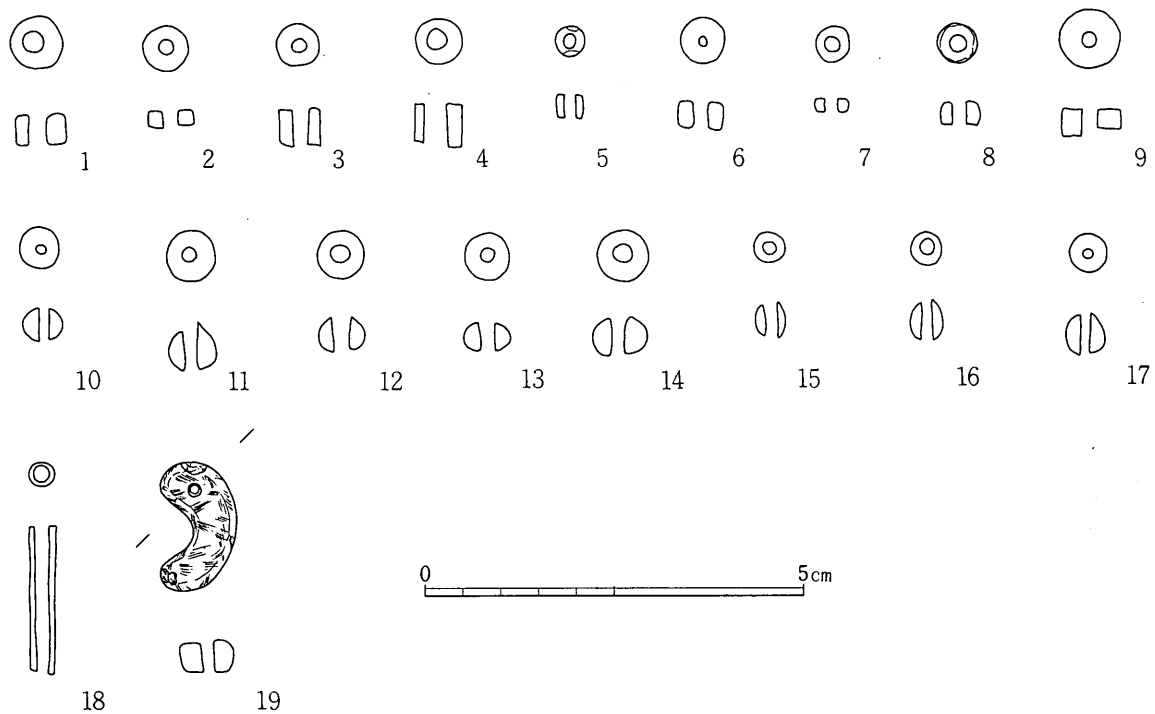
第146図 出土遺物 遺構外



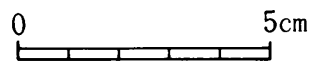
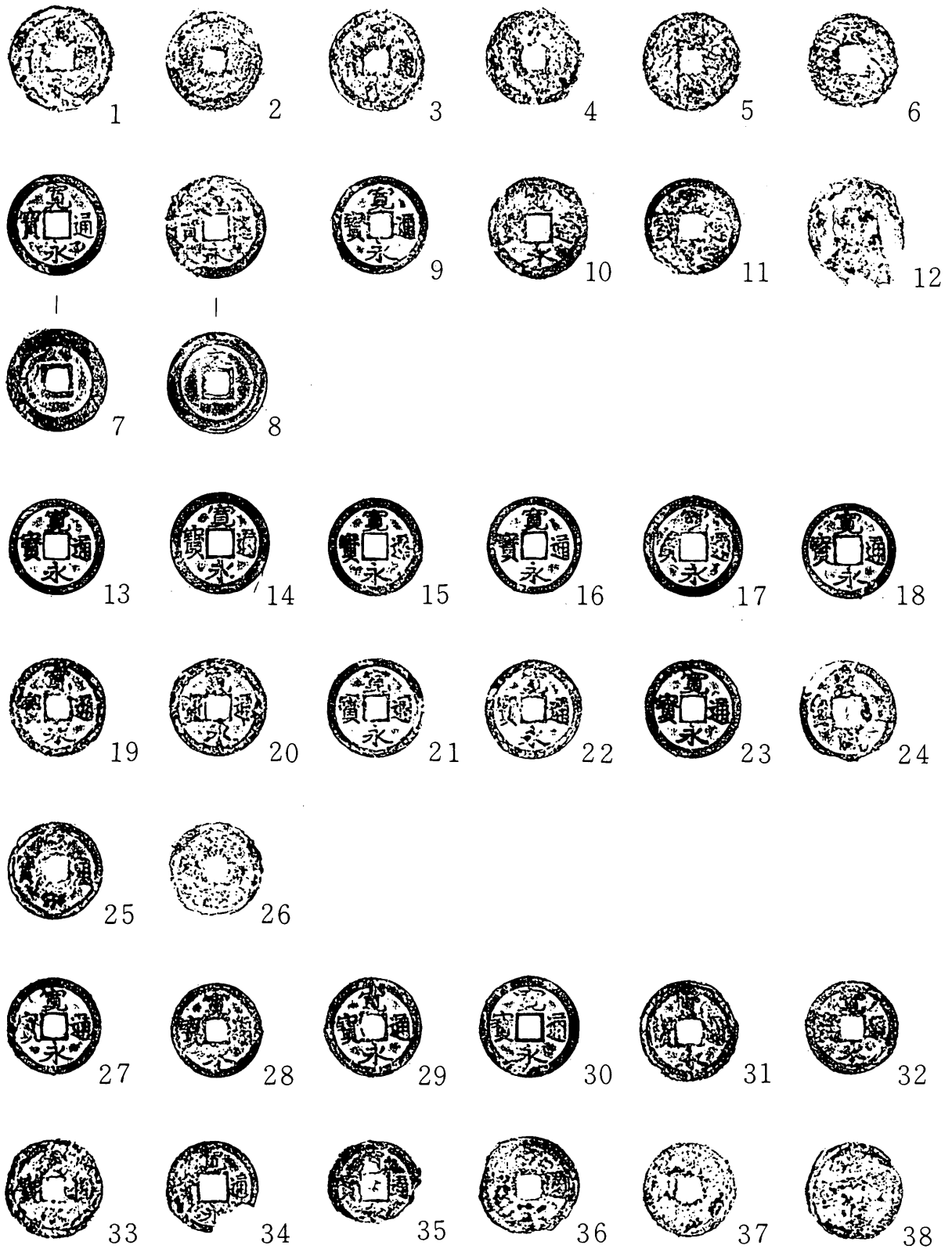
第147図 出土遺物 1 SB18 3 SB19 5 土器集中I
2 SB16 4 SB21 6 SB04



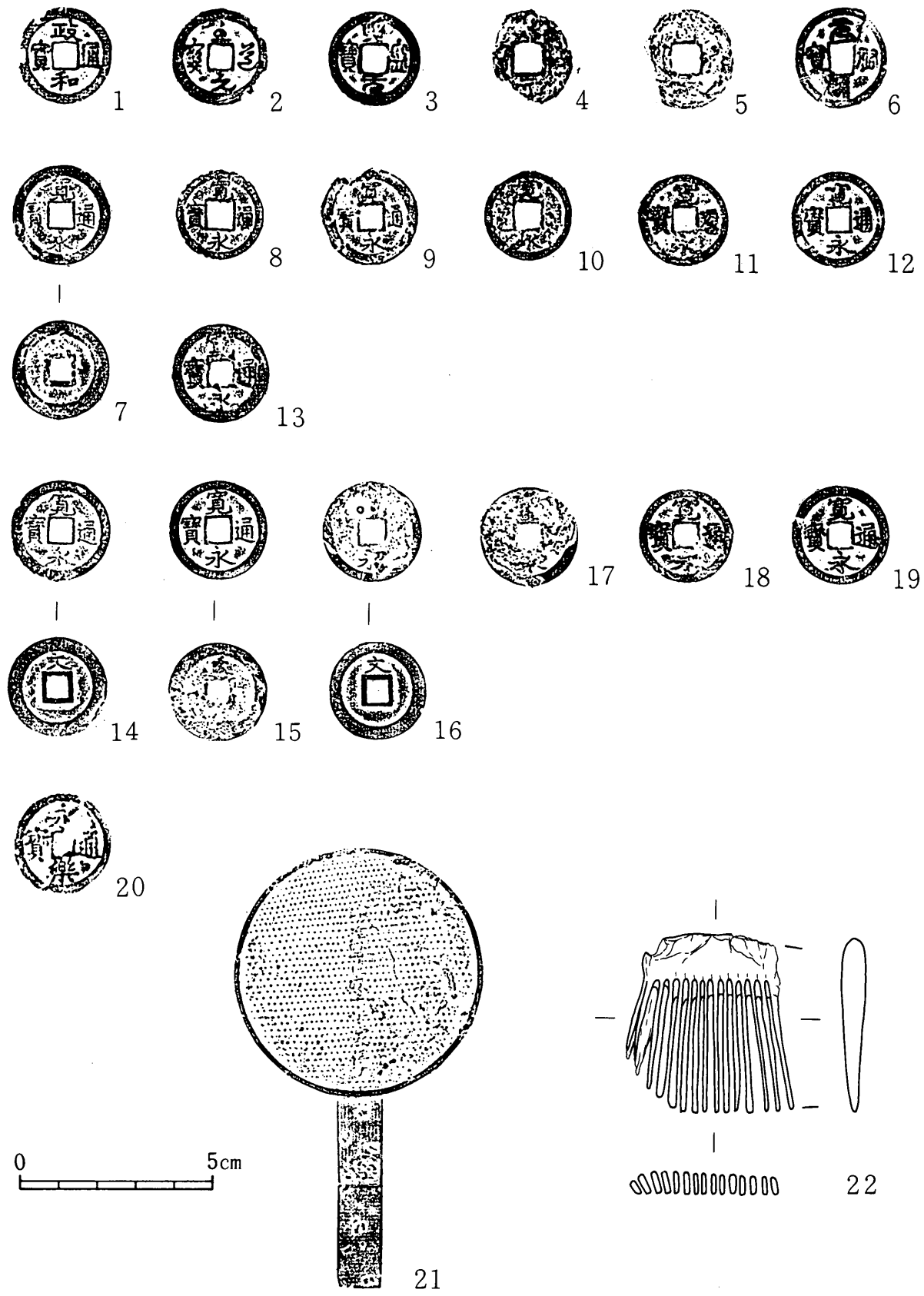
第148図 出土遺物 1・2 SB63 4 SB73 6 SB25 8 SB68
3 SB22 5 SB07 7 SB64



第149図 出土遺物 1 SB04 3 SB13 5 SB42 7 SB51 9 SB98 11~17 SK33 19 グリット
 2 SB11 4 SB18 6 SB50 8 SB75 10 SK12 18 SB30



第150圖 出土遺物 1~6 SK04 13~18 SK13 25~26 SK16 33~38 SK19
 7~12 SK12 19~24 SK14 27~32 SK18



第151图 出土遺物 1~6 SK28 7~13 SK29 14~19 SK32 20 遺構外 21 SK28 22 SK05



細新遺跡遺構分布図
S = 1/400

写真図版



THA調査前



同上



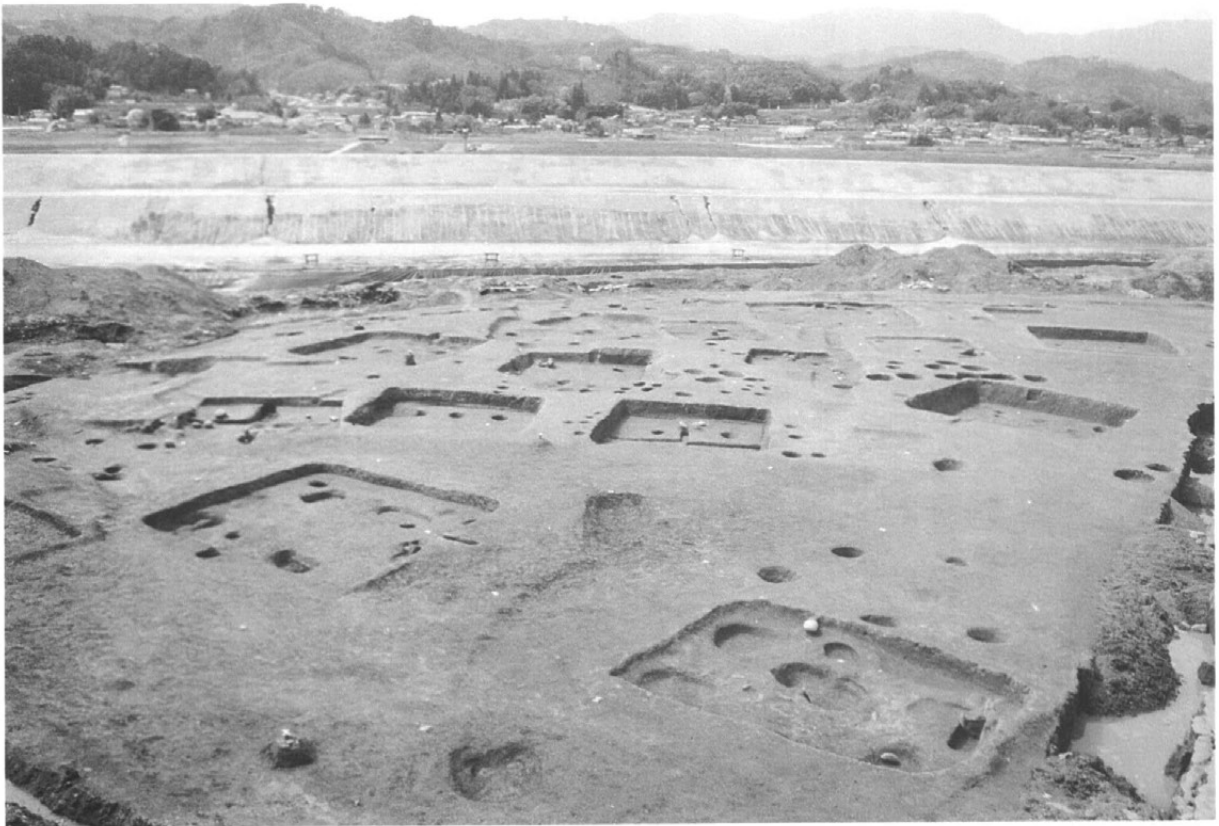
T HA全景



同上



T HA全景 (部分)



同上



THAbトレンチ全景



THAcトレンチ全景



THA d トレンチ全景



THA e トレンチ全景



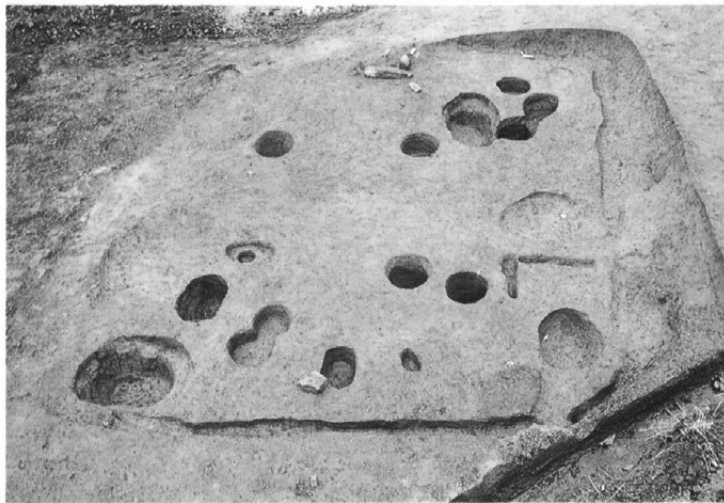
THA f トレンチ全景



THA h・i・j トレンチ全景



S B56



S B01



S B01カマド



S B01ピット 遺物出土状況



S B02



S B02カマド



S B02遺物分布状況



S B02遺物出土状況



同 左



同 左



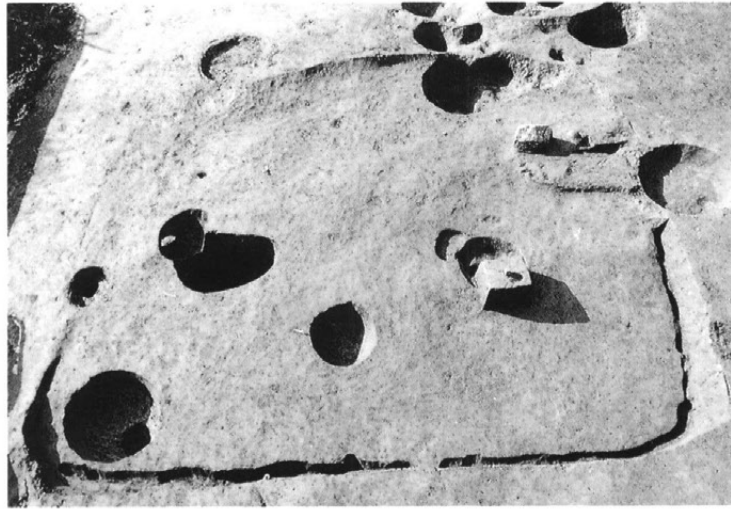
S B04



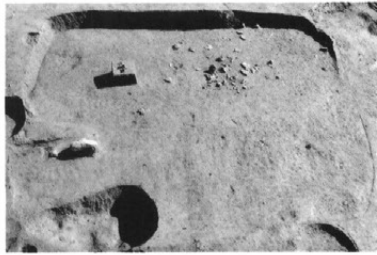
S B04遺物出土状況



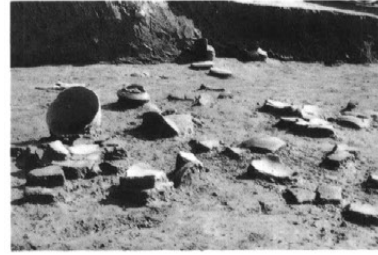
S B04遺物出土状況



S B07



S B07遺物分布状況



S B07遺物出土状況



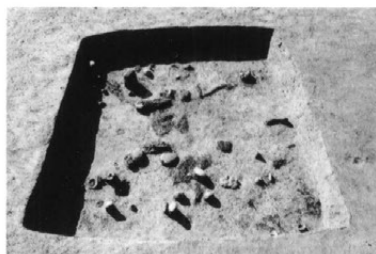
S B08



S B09



S B09 炉址



S B09 遺物分布状況



S B09 遺物出土状況



同 左



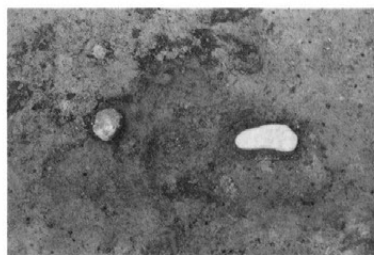
同 左



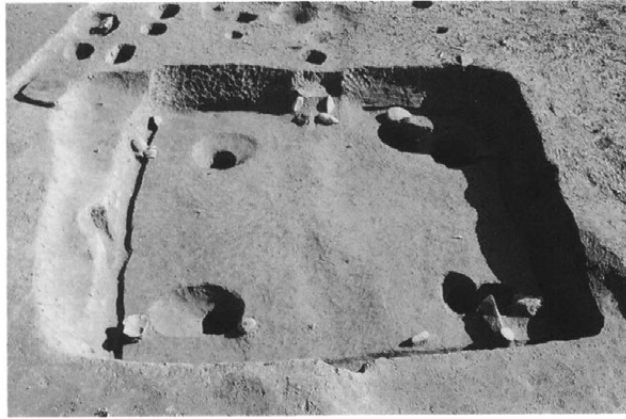
S B10



S B10 新炉



S B10 旧炉



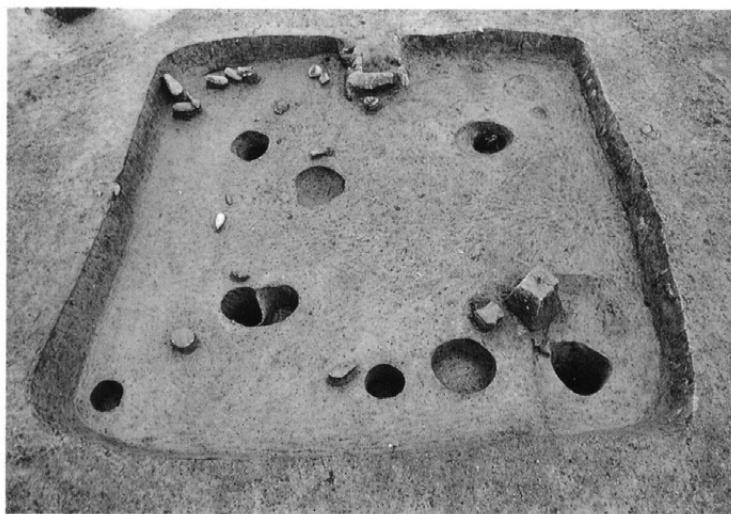
S B11



S B11カマド



S B12



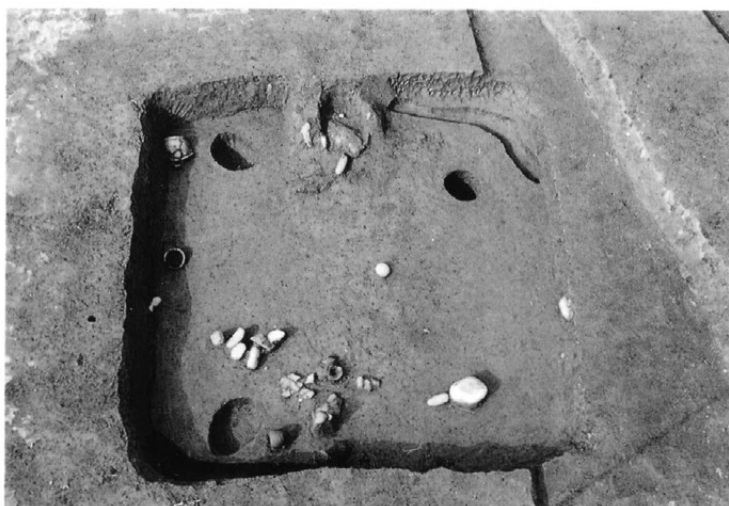
S B13



S B13炭化材出土状況



S B13遺物出土状況



S B14



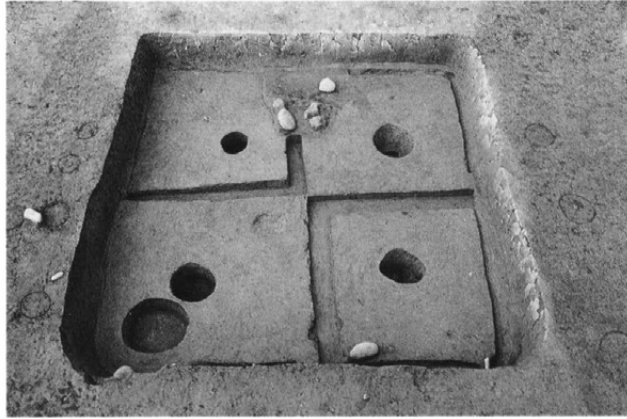
S B14カマド



S B14遺物出土状況



S B14遺物出土状況



S B16



S B16カマド



S B18



S B18カマド



S B18炭化材分布状況



S B18遺物出土状況



S B19



S B19カマド



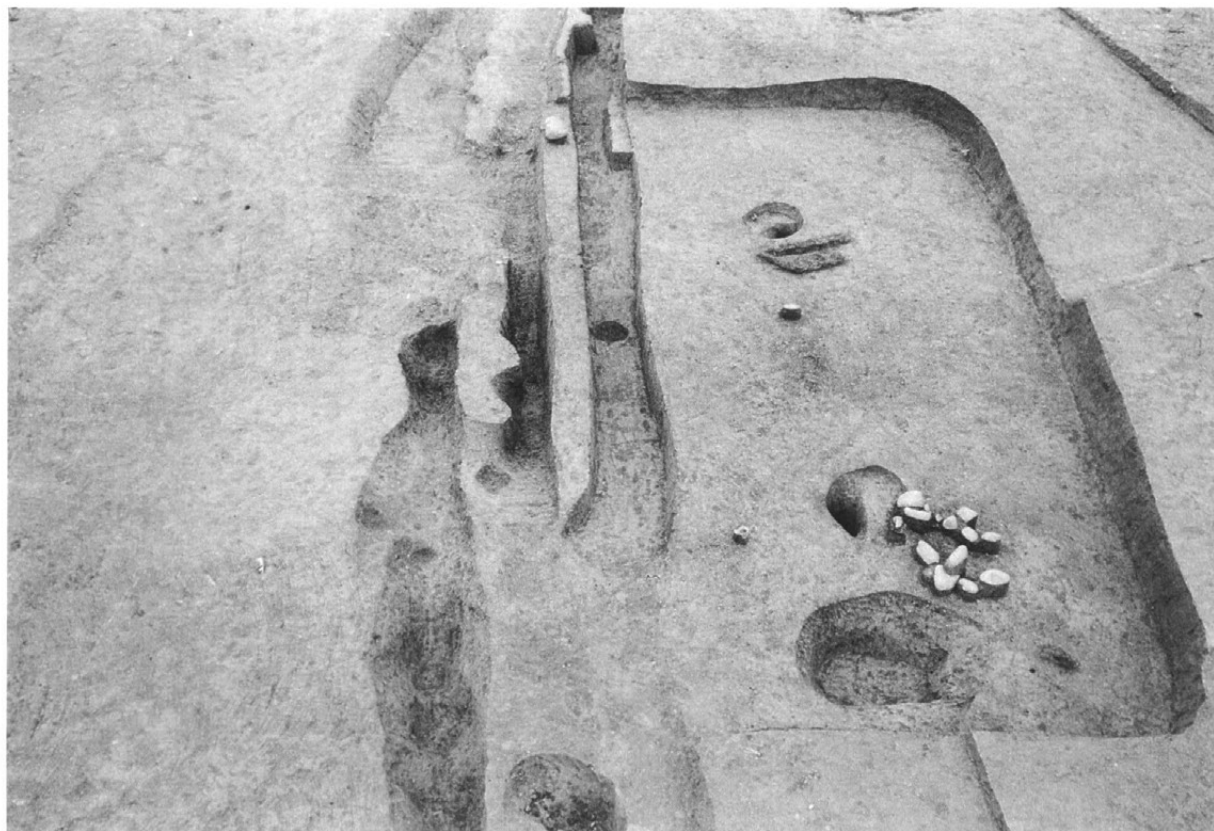
S B21



S B22



S B22炭化材分布状况



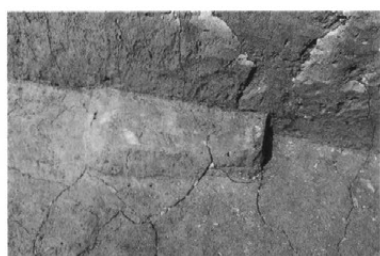
S B23



S B25



S B26



S B26 炉址



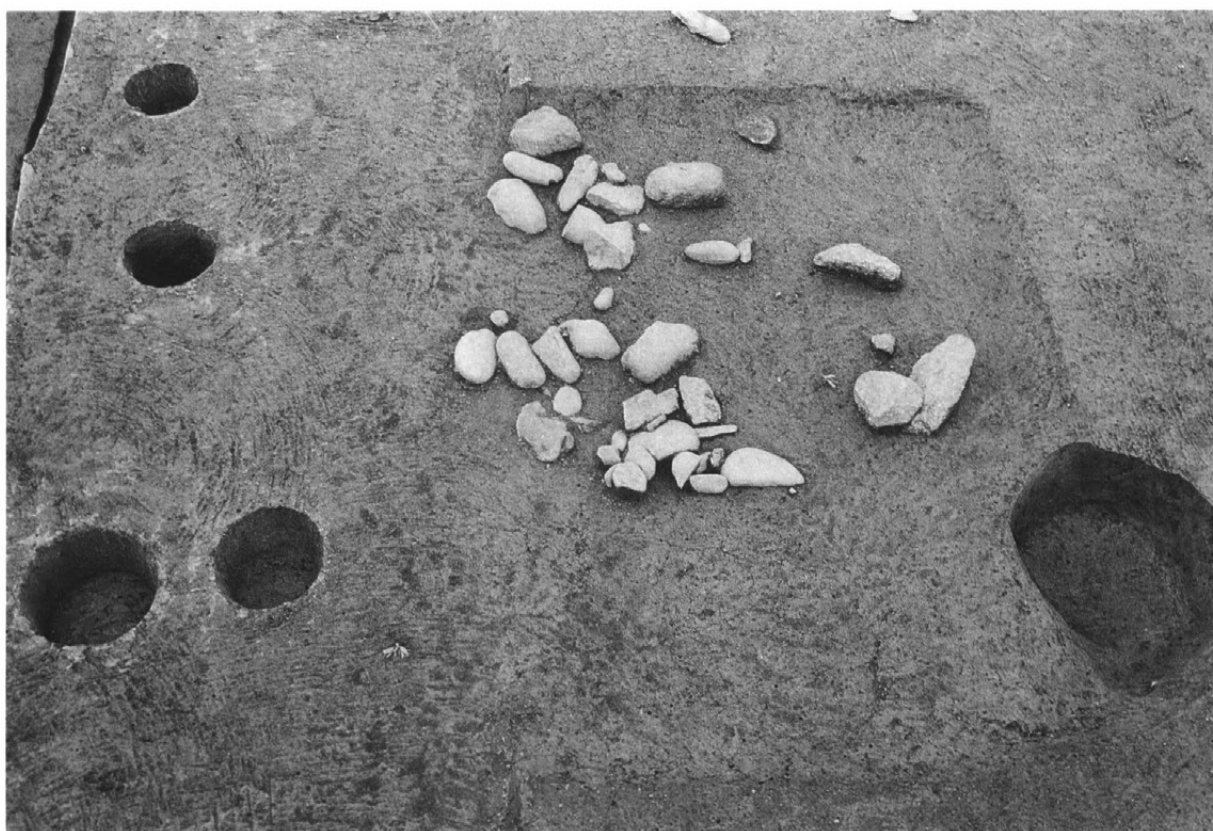
S B26ピット遺物出土状況



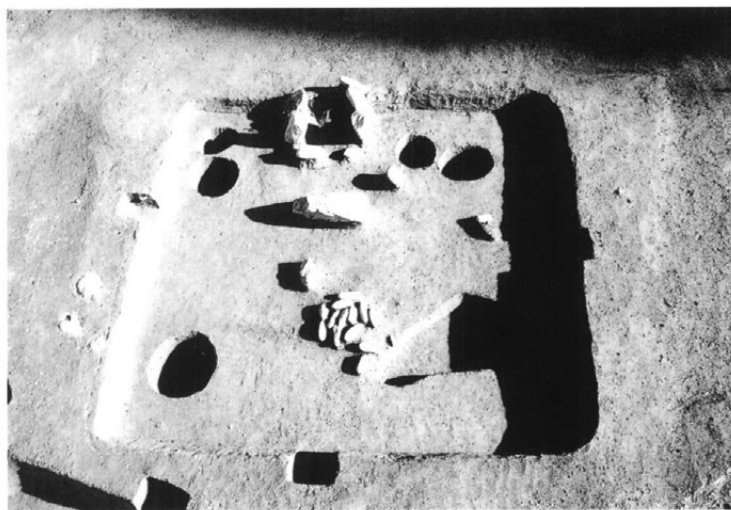
S B27



S B27炭化材分布状况



S B28



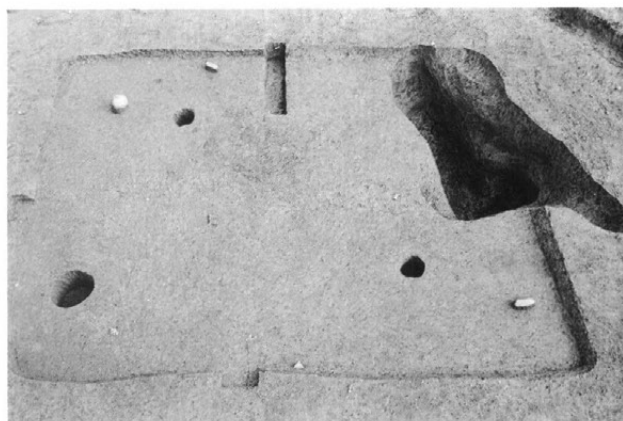
S B29



S B29カマド



S B29遺物出土状況



S B32



S B32炉址



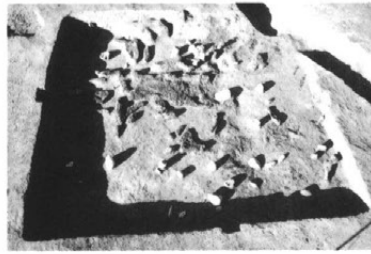
S B33



S B33新炉



S B33旧炉



S B33炭化材分布状况



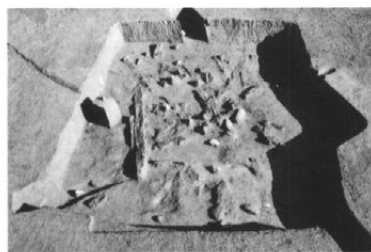
同 左



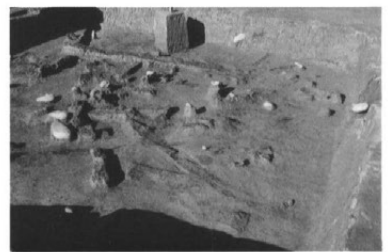
S B37



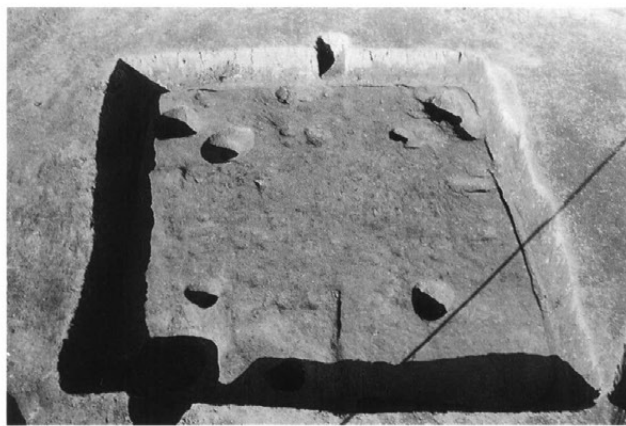
S B37炉址



S B37炭化材分布状况



同 左



S B39



S B39 炉址



S B40



S B40 カマド



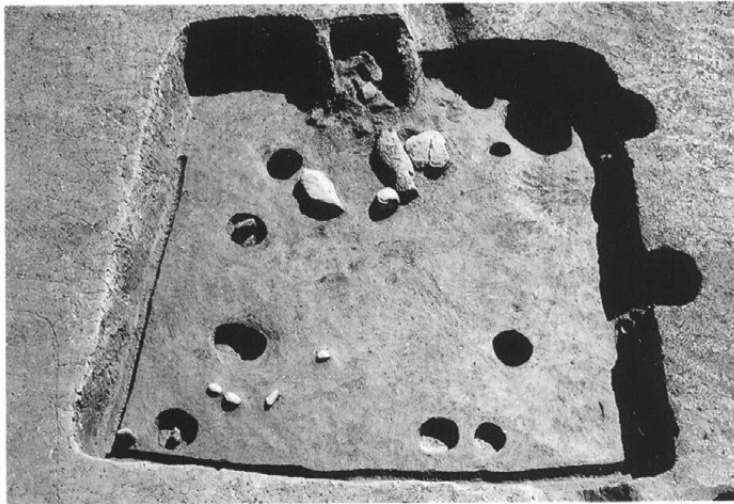
S B40 遺物出土状況



S B41



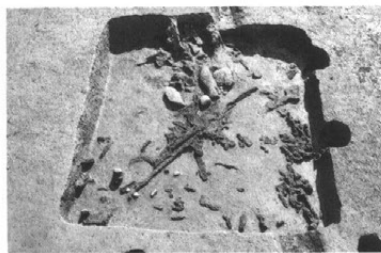
S B41カマド



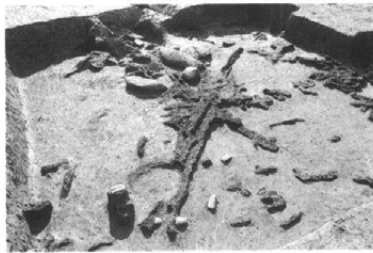
S B42



S B42カマド



S B42炭化材分布状況



S B42遺物出土状況



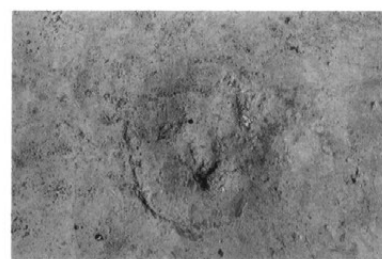
同 左



S B 43



S B 44



S B 44 炉址



S B 44 遺物分布狀況



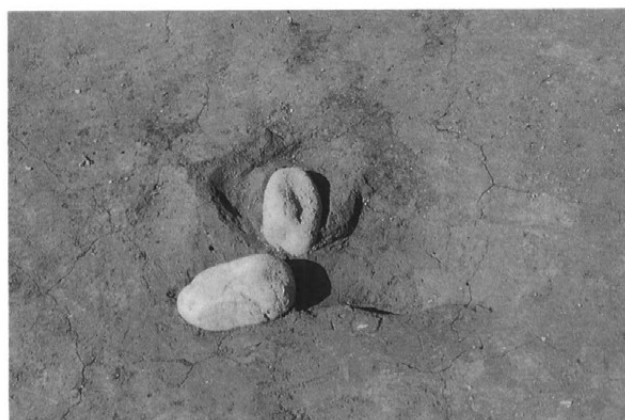
S B 44 遺物出土狀況



S B 44 遺物出土狀況



S B 48



S B 48 炉址



S B 50



S B 50 カマド



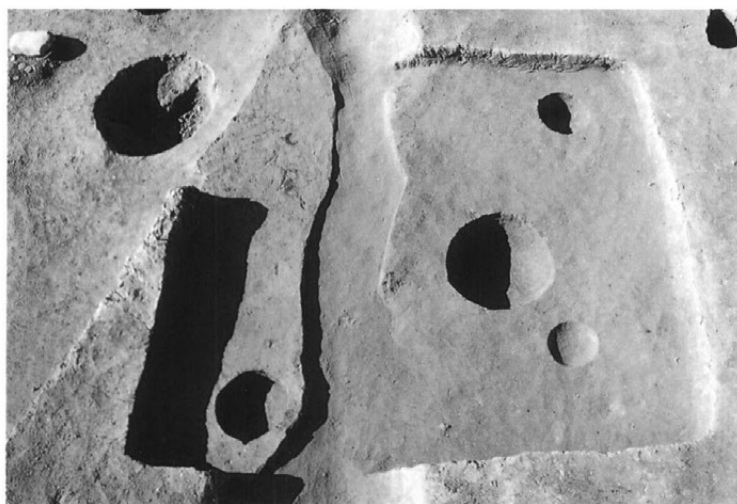
S B 50 遺物出土状況



S B51



S B51炉址



S B52



S B52炉址



S B52遺物分布狀況



S B52遺物出土狀況



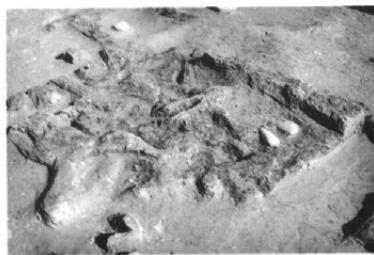
S B52遺物出土狀況



S B53



S B53炭化材分布状況



S B53炭化材出土状況



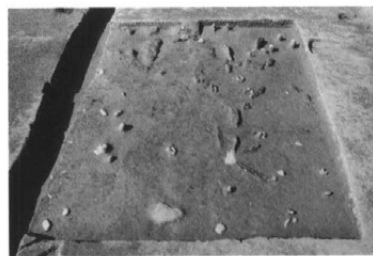
S B53遺物分布状況



S B54



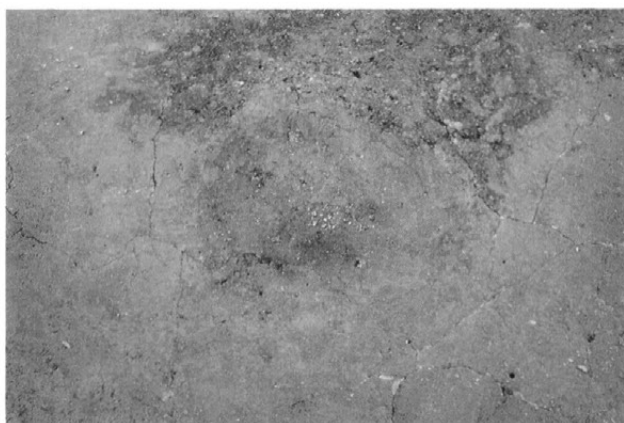
S B54カマド



S B54遺物分布状況



S B58



S B58炉址



S B60



S B60炉址



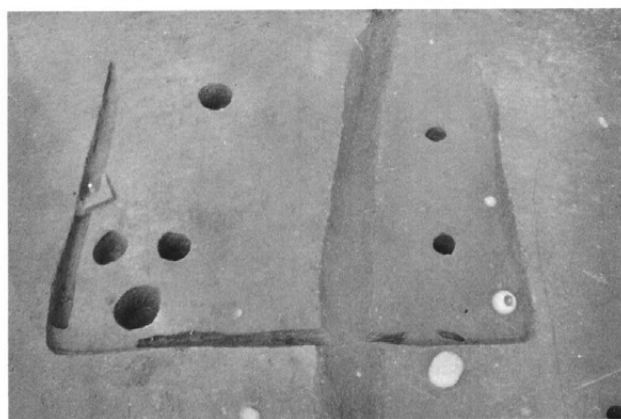
S B60炭化材分布状況



S B60遺物出土状況



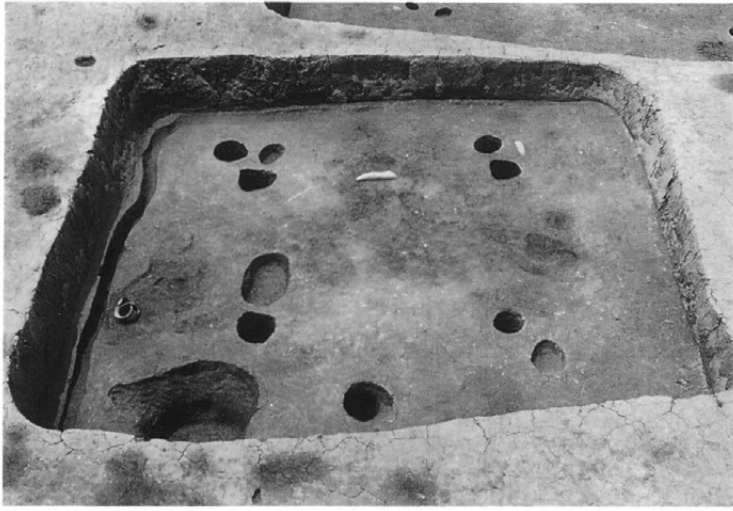
S B61



S B62



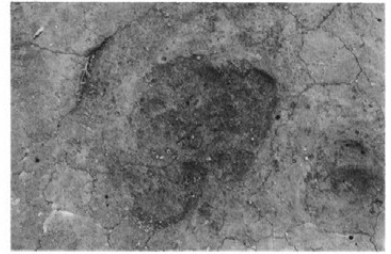
S B62遺物出土状況



S B64



S B64新炉



S B64旧炉



S B64遺物分布状況



S B64遺物出土状況



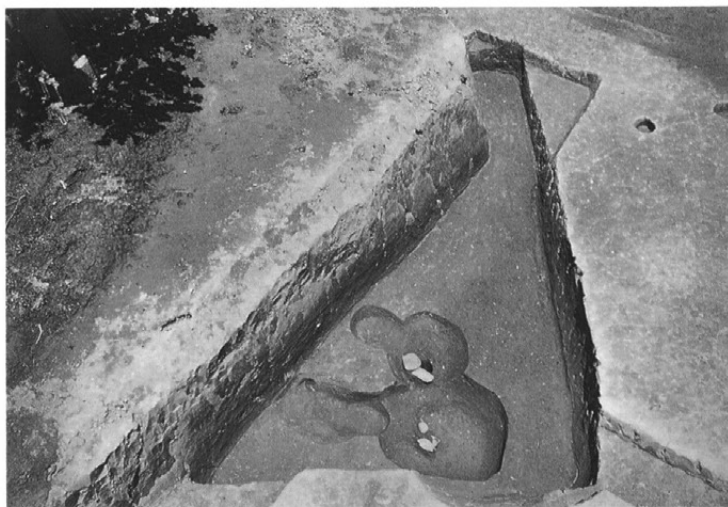
同 左



S B65



S B65炭化材分布状況



S B66



S B66遺物分布状況



S B66遺物出土状況



同 左



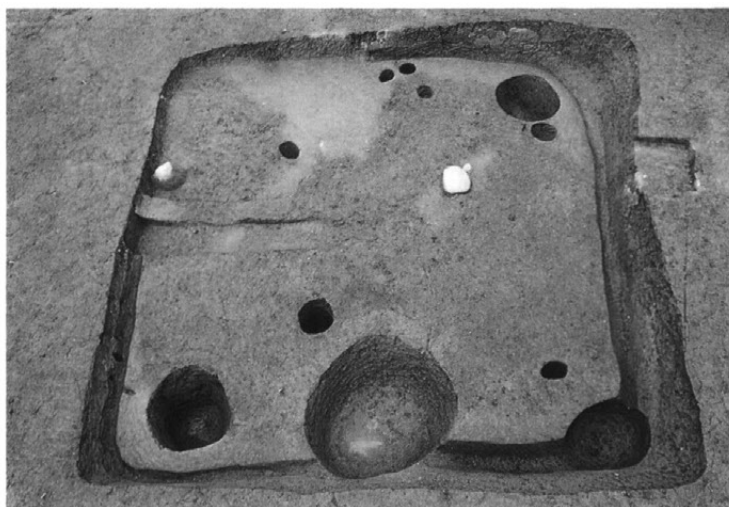
S B69



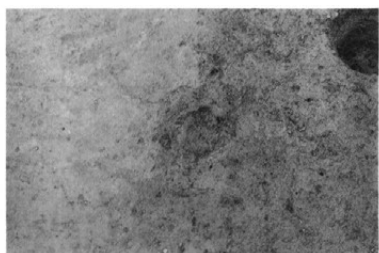
S B69炭化材分布状況



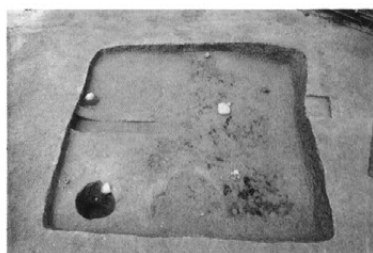
S B69炭化材出土状況



S B73



S B73炉址



S B73遺物分布状況



S B75



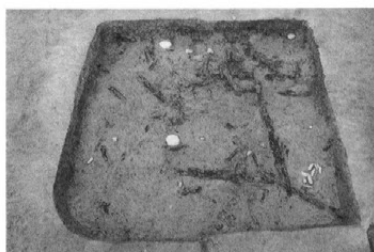
S B75遺物出土状況



S B77



S B77 炉址



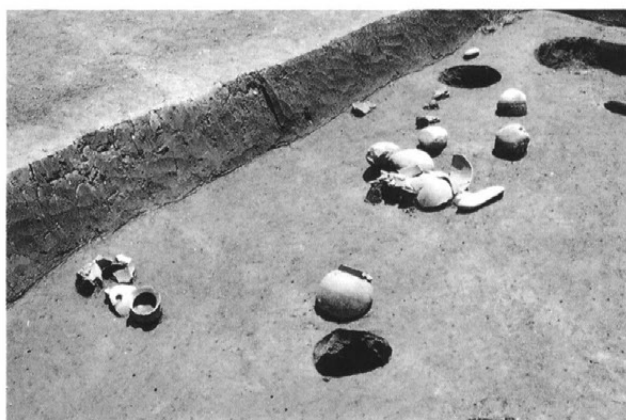
S B77 炭化材分布状況



S B77 炭化材出土状況



S B78



S B78 遺物出土状況



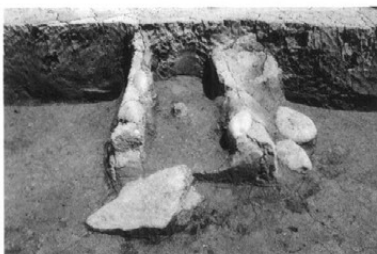
S B 79



S B 79炭化材出土状況



S B 80



S B 80カマド



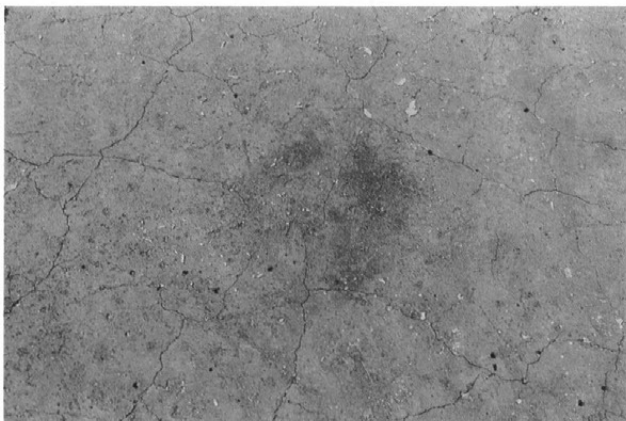
S B 80遺物分布状況



S B 80遺物出土状況



S B81



S B81 炉址



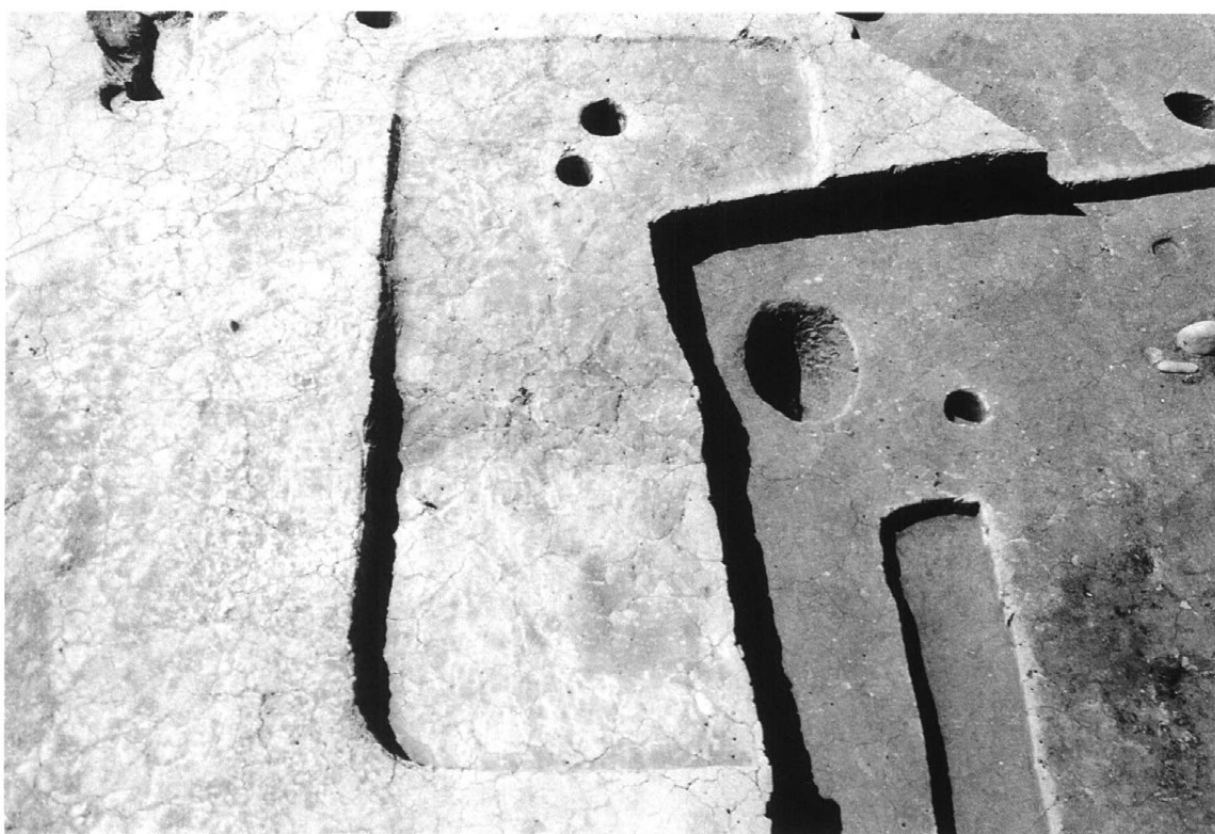
S B82 カマド



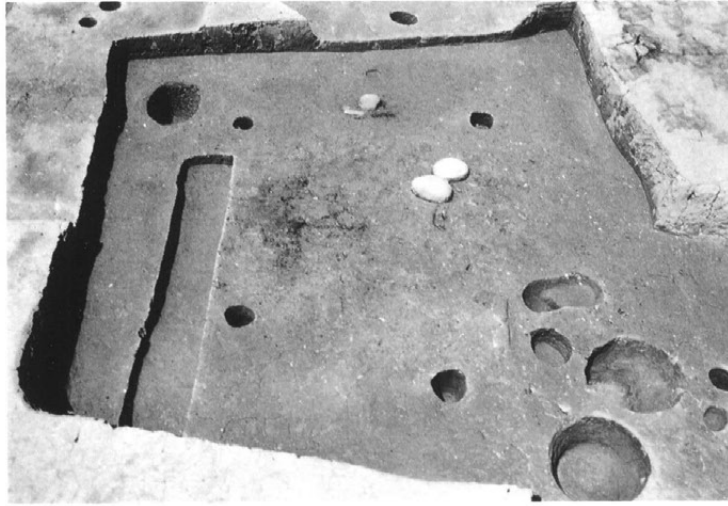
S B83



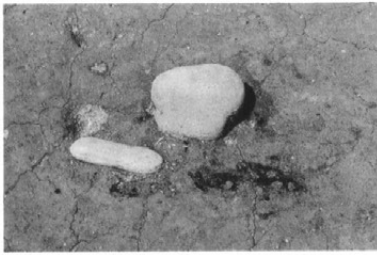
S B83炭化材分布状況



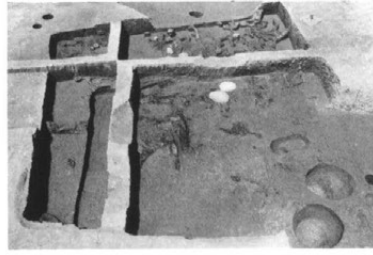
S B84



S B85



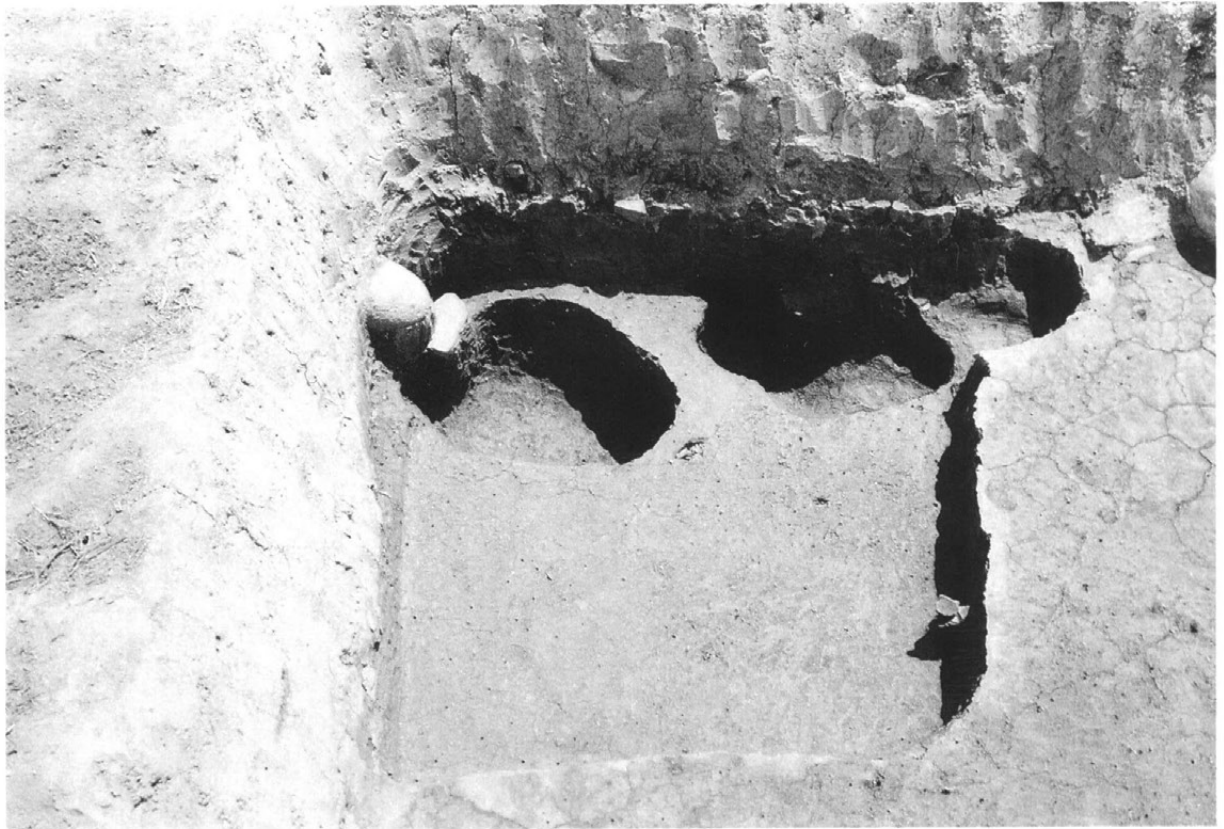
S B85炉址



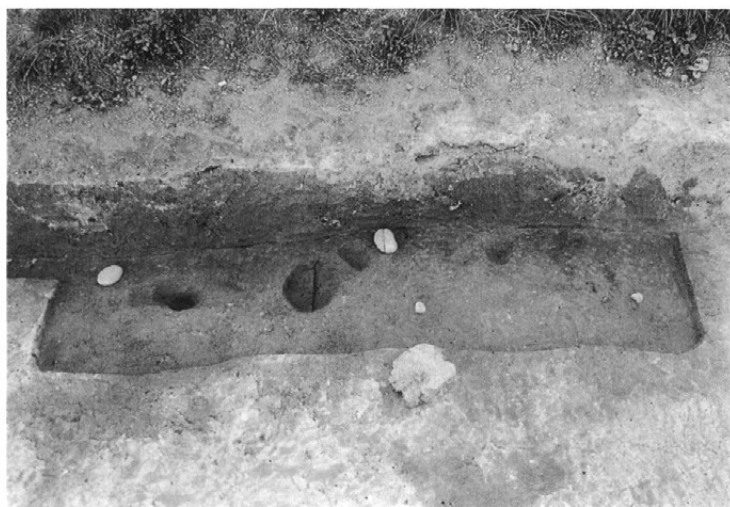
S B85炭化材分布状況



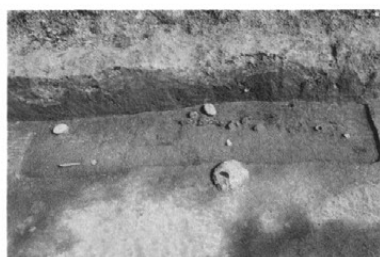
S B85炭化材出土状況



S B86



S B88



S B88遺物分布状況



S B88遺物出土状況



S B89



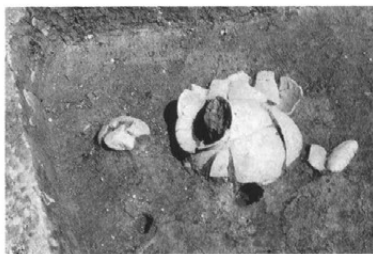
S B89跡址



S B90



S B90遺物分布狀況



S B90遺物出土狀況



同 左



S B92遺物出土狀況